

2005 (平成17) 年度

講義内容

法学部

駒澤大學

KOMSYについて

“KOMSY”とは、本学シラバス管理システムの愛称です。
駒澤大学ホームページトップ「在学生向け」から「KOMSY学内用」で
ログイン画面が開けます。

KOMSYで出来ること

- ・ 冊子と同じ講義内容が登録されています。
- ・ 授業各回のより具体的な内容や補足、その他ホームページへのリンク
などがあります。
- ・ 担当教員へ授業内容等についての質問メールを送信することが出来ま
す。また、その質問内容は掲示板形式で閲覧することも可能です。
※ 詳細情報は、入力されていない科目もあります。

KOMSYを利用するための準備

KOMAnetの「ユーザID」が必要となります。総合情報センターで
取得申請を行ってください。

- ※ KOMSYの初期パスワードは、生年月日です。たとえば、昭和58年
4月2日生まれの場合、パスワードは「19830402」です。

詳しくは『KOMSY利用の手引き』をご覧ください。

(駒澤大学) <http://www.komazawa-u.ac.jp/>

講 義 内 容

目 次

法律学科フレックス A・政治学科

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	23
3	外国語科目	103
4	保健体育科目	243
II	専門教育科目	
1	法律学科	281
2	政治学科	361
III	他学部履修科目	447
IV	随意科目	479
V	「日本語」・「日本事情」科目	485

法律学科フレックス B

I	全学共通科目	
1	宗教教育科目	509
2	教養教育科目	517
3	外国語科目	545
4	保健体育科目	577
II	専門教育科目	591
III	他学部履修科目	639

法律学科フレックス A・政治学科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 法
	専門教育科目	律政 治
	履修科目	他学部
	随意科目	随意科目
法律学科フレックス B	全学共通科目	「日本語」 「日本事情」 宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 専門教育 他学部
	履修科目	他学部
	履修科目	他学部
	履修科目	他学部

法律学科フレックスA

政 治 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間（法A）	〈晴山俊英〉	11
仏教と人間（法A）	〈岩永正晴〉	11
仏教と人間（法A）	〈佐藤秀孝〉	12
仏教と人間（法A）	〈石井清純〉	12
仏教と人間（政）	〈菅原壽清〉	13
仏教と人間（政）	〈渡部正英〉	13
仏教と人間（政）	〈川上新二〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山俊英〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈福田孝雄〉	15
仏教と人間〔再クラス〕	〈村松哲文〉	15
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉津宜英〉	16

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	法A1必	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いわ なが しょう せい 岩 永 正 晴	法A1必	4

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。そこで一般の読書人にも広く親しまれてきた『正法眼蔵随聞記』（道元禪師述・懷辨禪師記）を読みながら、仏教の基本的な考え方や曹洞宗の高祖道元禪師の教えについて解説していきたいと思えます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール

必ずしも『正法眼蔵随聞記』の順序通りではなく、任意の一段を読み解説を行います。また必要に応じて資料を配付して補足します。

履修上の留意点

成績評価に際しては、出席状況やレポートなどの補助的な評価材料を一切用いないので、授業には積極的に参加しておいて貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

懷辨編・和辻哲郎校訂『正法眼蔵随聞記』（岩波文庫・青319-4）

参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）、鏡島元隆『正法眼蔵随聞記に学ぶ』（曹洞宗宗務庁）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐藤秀孝	法A1必	4

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを知ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	石井清純	法A1必	4

講義のねらい

仏教の思想と禅の中心思想について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』・『宗教学Ⅱ』（更生社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	政治1必	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と宗教」という視点から、人間と宗教・仏教について、その営みをとらえてみたいと思います。
授業は講義形式とし、前半は宗教をとらえてゆくための基礎的な講義を、後半では仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禅のこころなどの講義を、スライドなどを用いて進めて行きます。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈宗教へのアプローチ〉
1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
 2. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈人びとの暮らしと仏教〉
5. 仏陀の教え（仏陀の生涯と教え）
 6. 仏教の伝播と変容（中国・チベット仏教）
 7. 〃 （日本の仏教）
 8. 〃 —神仏習合と分離—
 9. 禅のこころ（道元禅師の教え）

成績評価の方法

試験+出席点+レポート点（詳細は授業開始時に説明）

教 科 書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

講義中に紹介

そ の 他

特になし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	わた なべ まさ ひで 渡 部 正 英	政治1必	4

講義のねらい

宗教教育としての「仏教と人間」であり特定宗教にこだわるものではない。ここでは特に我々日本人にとって馴染み深い仏教に主眼をおき、仏教から見た人々の姿、民衆から見た仏教の立場の両方を視点にいれて考察していく。それは宗教としての仏教を頼りにしている人間の行動とその思いを中心テーマにしていくことである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教からの視点で進める。まず、世界宗教としての位置付けから始める。宗教学的立場から、他の諸宗教と比較しながら仏教の特色を考え、ブツダの目指したものを通して、その教えが我々にどのような影響があったかを考える。後期に入っては、民衆の視点で仏教を見ていく。特に仏教儀礼に視点を当てていく。仏教儀礼は現代に生きた宗教の姿である。その中で信仰者、修行者を通して、我々の日常に仏教はどのような立場で接しているのか。また、信仰者としての民衆はなにを考えているのかを研鑽していきたい。さらに民間信仰などの要素を加えた民俗宗教的な立場と仏教儀礼を比較することによって、現代の仏教と人間の関わりを考察していきたい。

履修上の留意点

出席は、たえず注日しチェックする予定。

成績評価の方法

成績は、一年の最終講義日に試験をするほか、途中でレポート等を作成してもらったものを通して評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	かわかみしんじ 川上新二	政治1必	4

講義のねらい

私たちは意識するしないにかかわらず、さまざまな宗教の中で暮しています。視野を世界各地に転じれば、多くの人々が自分は宗教を持っていると明言しながら暮しています。宗教を意識しないで暮している私たちの方がむしろ少数派かもしれません。グローバル化といわれる現代社会で暮していく私たちにとって宗教は無視できるものでなく、信仰するしないにかかわらず宗教の知識は必要なものと思われます。相手の宗教を理解することが相手をさらに理解することやその者が暮す社会を理解することにつながり、一方自分の宗教を理解することは自分自身を省みることにつながります。この講義では、私たちの社会の代表的な宗教である仏教をはじめとして、さまざまな宗教が人々とどのように関わり合いながら存在しているのかという点に焦点をあてながら紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

宗教もさまざまあり、それへの接近方法も多様です。前期では、世界宗教に焦点をあて、仏教を中心に、キリスト教、イスラム教について紹介します。①古代インドの宗教、②釈迦の生涯、③仏教の教え、④仏教が説く苦しみの由来、⑤仏教の修行論、⑥仏教が説く心、⑦ユダヤ教、⑧キリスト教、⑨イスラム教、などについて、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

後期では、民族宗教や民間信仰（民俗宗教）に焦点をあてて紹介します。①儒教、②道教、③民俗宗教（a. 死者を結婚させるという慣習、b. 霊にとり憑かれるという現象、c. 妖術と呼ばれる現象、d. 死者供養と祖先崇拝などについて、それぞれの現象が存在する社会的理由を考察します）などについて、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

履修上の留意点

しばしばレポートの提出を課します。

成績評価の方法

定期試験と課題レポートを総合して評価します。

教科書

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれやましゅんえい 晴山俊英	法A・政治2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	福田孝雄	法A・政治2・3・4年	4

講義のねらい	無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	宗教学の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教各団、經典の組織などについて学んでいくことにする。
成績評価の方法	出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。
参考書等	講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	村松哲文	法A・政治2・3・4年	4

講義のねらい	東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、經典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16） 〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）
履修上の留意点	仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。
成績評価の方法	定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よし 津 よし ひで 吉 津 宜 英	法A・政治2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり目立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.517)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	[日本文学「古典」]	〈八島由香〉	23
文学	[外国文学「フランス文学」]	〈小玉齊夫〉	23
歴史学	[古代オリエント史]	〈大城道則〉	24
歴史学	[日本近世史]	〈小高昭一〉	24
芸術学	(1) [日本美術]	〈北野良枝〉	25
芸術学	(2) [西洋美術]	〈矢野陽子〉	25
芸術学	(3) [音楽]	〈赤羽由規子〉	26
哲学	[西洋思想の源流]	〈中村友太郎〉	26
哲学	[現代文明と人間]	〈黒崎剛〉	27
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈鈴木聡〉	27
論理学	[知の技法]	〈伊古田理〉	28
論理学	[知の技法]	〈箭野浩司〉	28
科学史	[近代科学の成立と展開]	〈長岡亮介〉	29
倫理学	(1) [人間観]	〈古田知章〉	29
倫理学	(2) [応用倫理学]	〈黒崎剛〉	30
倫理学	(3) [価値観]	〈滝沢正之〉	30
倫理学	(4)(7) [応用倫理学]	〈箭野浩司〉	31
倫理学	(5) [制度とモラル]	〈滝口清栄〉	31
倫理学	(6) [東洋倫理]	〈水口拓寿〉	32
宗教学	(1) [比較宗教文化]	〈池上良正〉	32
宗教学	(2) [聖と俗]	〈田中かの子〉	33
宗教学	(3) [世界観と儀礼]	〈小川順敬〉	34
宗教学	(4) [日本人の宗教]	〈洗建〉	34
宗教学	(5) [生活と宗教]	〈菅原壽清〉	35
宗教学	(6) [民俗宗教の諸相]	〈佐藤憲昭〉	35
人文地理学	(1) [風土と文化]	〈竹林和彦〉	36
人文地理学	(2) [風土と文化]	〈高橋健太郎〉	36
人文地理学	(3) [空間と行動]	〈山口太郎〉	37
人文地理学	(4) [空間と行動]	〈伊藤修一〉	38
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	38	
教育の思想	〈坂本信昭〉	39	
教育の思想	〈豊田千代子〉	39	
教育の思想	〈北村三子〉	40	
教育の思想	〈萩原建次郎〉	40	
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	41	
教育と社会	〈坂本信昭〉	41	
教育と社会	〈豊田千代子〉	42	
教育と社会	〈北村三子〉	42	
教育と社会	〈萩原建次郎〉	43	
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	43	
発達と学習の心理学	〈三國隆子〉	44	
発達と学習の心理学	〈夏堀陸〉	44	
発達と学習の心理学	〈角野善司〉	45	
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	45	

カリキュラムと学習〈三國隆子〉	46
カリキュラムと学習〈夏堀睦〉	46
カリキュラムと学習〈角野善司〉	47

(2) 社会分野

社会学〔社会文化を考える〕〈呉炳三〉	48
統計学〔社会現象の統計的分析〕〈田中正光〉	49
文化人類学〔文化と人間〕〈加藤之晴〉	50
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈鈴木一馨〉	50
法学・憲法〔法と社会生活〕〈長谷川日出世〉	51
法学・憲法〔法と権利〕〈茂野隆晴〉	52
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—〈池田実〉	53
政治学〔政治システムと政治参加〕〈水戸克典〉	54
経済学〔現代経済理解へのガイド〕〈佐藤綾野〉	55
社会科学論〔社会認識の思想〕〈大石雄爾〉	56
教育学〔デス・エデュケーション〕〈柳堀素雅子〉	57
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕〈野中弘敏〉	57

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	58
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	〈市川清士〉	59
自然環境論〔生物の集団と環境〕	〈坂巻義章〉	59
自然環境論〔変動する地球と環境〕	－夏季集中－〈山本由弦〉	60
自然誌〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里〉	61
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	62
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	62
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	63
情報数学〔情報と論理〕	〈坂野井和代〉	63
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	64
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	65
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	65
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)(10)	〔コンピュータの実際〕〈小沢誠〉	66
コンピュータ基礎(2)(7)	〔コンピュータの実際〕〈山本博信〉	67
コンピュータ基礎(3)(8)	〔コンピュータの実際〕〈小川健次郎〉	68
コンピュータ基礎(5)	〔コンピュータの実際〕〈澤口隆〉	69
コンピュータ基礎(11)	〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈元木光雄〉	70
コンピュータ基礎(12)	〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈坂野井和代〉	71
コンピュータ基礎(13)(17)	〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈山本博信〉	72
コンピュータ基礎(14)	〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈長坂浩史〉	74
コンピュータ基礎(15)(16)(18)	〔コンピュータの実際〕－夏季集中－ 〈小川健次郎〉	75
コンピュータ基礎(19)(20)	〔コンピュータの実際〕〈坂野井和代〉	77
コンピュータ応用(1)(2)	〔コンピュータの原理〕〈坂野井和代〉	77
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈篠田謙一〉	78
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈仲渡江美〉	78
心理学〔人間関係を考える〕	〈鈴木順一〉	79
心理学〔心を科学する〕	－夏季集中－〈堀内正彦〉	80

(4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷 孝道〉	81
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊本 英人〉	81
総合Ⅱ(2)〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	〈清水 善和 他〉	82
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	83
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	84
総合Ⅲ(3)〔女性学・男性学〕	〈杉山 秀子〉	85
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	86
総合Ⅳ(2)〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	〈西村 祐子〉	86
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	87
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕	〈川股 陽太郎〉	88
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	89
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉田 京子〉	89
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	90
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本 茂他〉	91
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈内海 麻利 他〉	92
総合Ⅷ	〈休 講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「古典」〕	八島由香 <small>やしま ゆか</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

平安後期物語は、『源氏物語』の影響を多大に受けながらも、独自のストーリー展開をさせていこうと、趣向をこらしている物語が多く、『浜松中納言物語』もその一つとしてあげることができます。この作品を読み、内容・特色を理解し、物語文学における平安後期物語のあり方について考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

『浜松中納言物語』は、『更級日記』を書いた菅原孝標女が作者だと言われているものの、不明。主人公・中納言が、唐国の后に叶わぬ恋の思いを抱き続けるという『浜松中納言物語』のストーリーには、后が中納言の切なる恋心によって転生を繰り返すという趣向がこらされています。そのためこの作品は、現実味に欠ける荒唐無稽な物語と評されていますが、果たしてそうなのでしょうか。『浜松中納言物語』に対する不幸な評価は、特定の価値観を尺度とした「読み」によるものではないでしょうか。

この講義では、まず平安時代の物語文学、並びに『浜松中納言物語』の散逸首巻と巻一から巻三の概説をする。それから巻四と巻五を読み進めていくことで、中納言の後への愛の永続性をものがたりながらも、愛する女性と似ている「ゆかり」(=血縁者)である吉野姫に心惹かれる中納言の思いを読み解いて物語の全体像を捉え、特定の価値観に捕らわれない「読み」をしたい。

成績評価の方法

出席状況と講義内で度々行う小レポートによって評価します。講義開始時間から、二十分以上の遅刻は出席としません。二十分以内の遅刻は二回で欠席一回と数え、前・後期各四回を数えた時点で単位を認定しません。なお、出席数が年間を通じて講義数の三分の二に達しない場合、単位を認定しません。

その他

プリントを用いての講義形式です。初回は講義内容や評価方法の説明をするため、二回目の講義から出席をとります。なお、受講を希望する四年生は、別に出席に関する説明がありますので、三日目までには必ず出席して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「フランス文学」〕	小玉齊夫 <small>こたま なりお</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

フランス文学の流れを概観する授業です。ただし、無限定に対象を広めるわけにもいかないので、具体的には、①時代の内に在る個人を扱った、いわゆる「心理小説」、②社会の「文化的意識」の「反映」としての小説、というふたつの流れを辿りつつ、19世紀以降の「フランス文化」の生成について、その方向、意義を抽出していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

フランス文学上の「古典」とされている諸作品を講読(もしくは提示)していき、それぞれに表現された「文化的な意義」(したがって、時には、文学を離れて、絵画、映画等にも触手を伸ばしていく…)を定着させていきます。一、二回の授業で、一人の作家(作品)を扱うという進度予定です。

履修上の留意点

個々の作品を自身で読んでみて、その「現代的意義」を自分で作り上げてみて下さい。

成績評価の方法

課題に基づくレポート(前期および後期)、それと概説的な記述試験(学年末)によって評価します。

教科書

必要に応じて、作品(の一部)のプリント(邦訳)、および、必読文献のリストを配付します。

その他

特に、フランス語の「短期セミナー」に参加希望のひとつには、受講をすすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔古代オリエント史〕	おおしろみちのり 大城道則	法A・政治選	4

講義のねらい

古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期 後期

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| (1) 地中海世界の中のエジプト | (8) 古代エーゲ文明の成立 |
| (2) 古代エジプト形成期（統一王朝の出現） | (9) 東方化の時代と大植民時代 |
| (3) 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程） | (10) エトルリア文明 |
| (4) 古王国時代のエジプト | (11) 古代ローマ皇帝伝 |
| (5) 新王国時代のエジプト | (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ |
| (6) メソポタミアの古代都市 | (13) 古代ローマ人の食生活 |
| (7) 鉄の王国ヒッタイト | (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史 |

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）

その他

スライドとビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本近世史〕	おだかしょういち 小高昭一	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

織田信長から徳川十五代将軍慶喜までの約三百年、日本近世史のおおまかな流れを一年間でたどる。近世に成立した物事は、近代を経て現代にも影響を与えたものが多い。その始点を省みて、現代を生きる我々の知恵となるものを探れないだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を通して読み、江戸時代の流れを捉える。教科書には細かい事項も記述されているが、全体としての流れ、重要な問題を押さえることを主眼とするので、高校までの日本史の勉強とは違う。

成績評価の方法

前期までの授業のまとめとしてレポートを課す。また、定期試験の論述試験での成績で評価する。

教科書

深谷克己著『江戸時代』（岩波ジュニア新書）『日本の歴史6』（岩波書店）2000年3月刊。

参考書等

授業の際、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北野良枝	法A・政治選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) 狩野正信・元信 (12) ～ (13) 狩野永徳と桃山画壇

後期 江戸時代の絵画
 (14) 江戸時代の狩野派 (15) ～ (18) 琳派
 (19) ～ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	法A・政治選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム

(後期) 17・18世紀の美術
 バロック美術 (イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス)／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 〔音楽〕	あかばゆまきこ 赤羽由規子	法A・政治選	4

講義のねらい
 前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。
 後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。
 後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法 夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書 印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	なかむらともたろう 中村友太郎	法A・政治・法B選	4

講義のねらい
 古代ギリシアに起源をもつ西洋思想の展開をその端緒から歴史的に辿ることを通じて、「哲学的に考えること」の基本姿勢を、理解しつつ習得することを目標とします。究極的には、現代世界に生きる者として知的探究することがねらいですが、まずは源流に触れて古典的な思考法を身につける努力から始めましょう。

講義の内容・授業スケジュール
 〔前期〕古代ギリシアの思想家たちにおける自然観と人間観の形成過程を中心に。
 〔後期〕中世キリスト教哲学および近代思想の形成期における哲学思索を中心に。なお、講義の内容も展開も参加者の対応次第で変わることがあります。

履修上の留意点 「哲学」（フィロソフィア）の名に値する知的探求は、みずから問いかけ思考しつづけることが基本ですから、受身的なだけの講義参加は無意味です。熱意をもって取りくむ覚悟が必要です。

成績評価の方法 毎回のリアクション・ペーパーに反映される授業への積極性や夏休みの課題を含みレポート提出と年度末の定期試験により総合的に成績評価します。それゆえ、継続的な意識をもった授業参加が不可欠です。

教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円。ほかに資料等のコピーを適宜配布します。

参考書等 講義の際にその都度紹介する。

その他 小グループ方式等による討議や話し合いの場も大切にしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	黒崎 剛 <small>くろ まさ つよし</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下のテーマを取り上げる予定
1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか
 2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
 3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
 4. 労働の哲学的意義
 5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
 6. 二十世紀の人間解放論
 7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡 <small>すず き さとる</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容は次のものを予定している。
1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論
 - (b) 文論理の統語論
 2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論
 - (b) 第一階量化論理の統語論
 3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義
 - (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。習週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでもものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。
教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	箭野 浩 司 <small>やの ひろし</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しようとしませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジュアル戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいらぬ人やリピーターの参加は歓迎します。

昨年は学生からの提案で〈論理王決定戦〉と題するトーナメントを行いました。盛り上ったので、今年もやりたいと思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	ながおか りょうすけ 長岡 亮介	法A・政治選	4

講義のねらい

我々の今日の文化と文明が、高度の発達した科学と科学に裏付けられた技術に深く依存していることはいうまでもない。むしろ近年ではそれが当たり前すぎて、科学を支えている「方法」や「思想」、あるいは輝かしい技術の背後に潜む非科学性に目が向かないため、「科学」を標榜する似非科学的独善や技術についての非科学的盲信すら目立つ状況にある。本講義は、この科学と技術に歴史を通じて接近することにより、先端的な科学や技術についての個別的な知識なしに今日の社会が直面する諸問題を科学的に深く理解する可能性を探る試みである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、いわゆる科学的な素養なしに理解しやすい古代や中世の科学と技術の話題から出発し、次第に現代へと接近する。学生諸君の希望によっては、先端科学や情報科学の諸問題にも触れる。

履修上の留意点

いわゆる自然科学についての具体的な知識は前提としないが、講義の中で現れる諸概念を必要に応じて調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。

成績評価の方法

出席状況・随時のレポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふるた ともあき 古田 知章	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 ―人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろ まさ つよし 黒 崎 剛	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	たき ざわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性ととは、実のところ、よくわからないものなのだ。
そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4)(7) 〔応用倫理学〕	箭野 浩 司 <small>やの ひろし</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、パックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。しかし、多くの人々は自分が選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、理論の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、チェチェン問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、ヒートアイランド、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。(一年間ですべての問題を扱うことはできないので、この中からセレクトすることになります。)

履修上の留意点

今年から一日二回講演になりましたので、座ることができると思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーで評価します。

教科書

プリントを使用しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清 栄 <small>たき ぐち きよ せい</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書等

高木・末延・宮沢編『人権宣言集』(岩波文庫)
シンガー『私たちはどう生きるべきか』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	みなくちたくし 水口拓寿	法A・政治・法B選	4

講義のねらい 「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール 初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐって、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐって、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点 私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法 学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書
A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等 必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけがみよしまさ 池上良正	法A・政治・法B選	4

講義のねらい 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール 大きなテーマとして、次の三つを考えている。(1)「宗教」概念の成立とその意義。(2)人類史と宗教。(3)現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法 年度末に筆記試験。

教科書 特に指定しない。

参考書等 授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子 <small>たなか</small> <small>このこ</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ソロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立つよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔世界観と儀礼〕	お 川 順 敬 <small>がわ とし ゆき</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのではないでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔日本人の宗教〕	あらい けん 建 <small>らい けん</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

日本人の多くは、自分は無宗教であると思っている。しかし、その同じ人が、正月には神社仏閣に初詣に行き、お彼岸にはお墓参りに行っている。これはどういう事なのであろうか。まず、日本人の宗教意識と宗教生活の実態を事実面に即して明らかにし、それを形成してきた宗教伝統の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半には、諸種の統計資料によって、日本人の宗教生活の実態を明らかにし、なぜそのようになってきたのかを考察する。後半は、日本人の宗教を形成してきた伝統、就中、その基層を流れている神道的なるものをたどって、日本文化の世界観的特徴を考察する。

履修上の留意点

個々の事実を覚えることよりも、問題を理解し、共に考えることを目指したいので、出席して共に考えて欲しい。原則として出席をとりたいたが、受講者多数の場合は出席に代わるレポートを夏休み前に提出して貰う。

成績評価の方法

原則として期末試験により成績評価する。その結果が合格点にやや届かない場合には、出席またはレポートの結果を配慮する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (5) 〔生活と宗教〕	菅原 としきよ すが たら 清	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われる。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (6) 〔民俗宗教の諸相〕	佐藤 のりあき さとう のり あき 昭	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。通常、宗教といえば、仏教やキリスト教などのように、特定の教義、儀礼、教団などが整備されている成立宗教を連想することが多い。だが、これと並んで他方には、仏教やキリスト教などの外来宗教と、日本の土着宗教とが混じり合い、生活に合った形で展開している宗教の存在を忘れてはならない。このような生活場面で展開している宗教を「民俗宗教」と呼ぶ。この講座では、民俗宗教の諸局面を通して日本人の心とその文化に迫ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の学問的特徴と、宗教文化に関する基本的な用語などについて具体的に解説する。次に、民俗宗教の概念を明らかにした上で、「憑霊（ひょうれい）信仰の諸相」「仏教と民俗宗教」などのテーマのもとに考察する。なお、「憑霊」とは、神霊または呪力が人間その他に乗り移り、あるいは影響を与えて、人間や事物に聖なる変化を生じさせると信じられている現象のことである。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出のこと。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（卒業年次生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。

卒業年次生のみ提出のレポートは、次の通り。〔課題〕宗教文化に関する書物を読み、その感想文を作成する。〔字数〕本文は2000字。〔提出先と時期〕授業時に随時受けつける。ただし、授業時以外は受理しない。〔その他〕表紙をつけること。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ぼやし かず ひこ 竹 林 和 彦	法A・政治選	4

講義のねらい 人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. ガイダンス | 10. 文化景観 |
| 2. 人文地理学の学問的性格 | 11. 文化伝播 |
| 3. 人文地理学の基本概念 | 12. 東南アジアの風土と文化 |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法 | 13. 東アジアの風土と文化 |
| 5. 人文地理学と地誌学 | 14. 市場の風景 |
| 6. 地理学にとって文化とは何か? | 15. 都市での居住 (都市の文化) |
| 7. 地域とは (地域概念) | 16. 都市と農村 |
| 8. 文化地域 | 17. まとめ |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ | |

履修上の留意点 授業には必ず地図帳 (中学・高校で使用したものでよい) を持参すること。

成績評価の方法 定期試験80%、平常点20%

教科書 特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等 特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	法A・政治選	4

講義のねらい 人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学の位置づけ、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化、(5) ブナ帯文化、(6) 文化生態、(7) 地域文化と観光、(8) 地図、(9) 地名、(10) 空間認知。

履修上の留意点 講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法 教場レポートの内容 (30%) と定期試験の結果 (70%) で採点する。

教科書 使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等 主な参考書は次のとおり (授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか1995.『文化地理学入門』(東洋書林)
 鈴木秀夫1988.『風土の構造』, 講談社 (講談社学術文庫)
 佐々木高明1993.『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)
 田畑久夫2003.『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)
 市川健夫ほか1984.『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)
 中島峰広1999.『日本の棚田』(古今書院)
 溝尾良隆2003.『観光学』(古今書院)
 若林幹夫1995.『地図の想像力』, 講談社 (講談社選書メチエ)

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	山口太郎 <small>やまぐち たろう</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー

(後期)

- 4 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図
- 5 商品としての都市
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
選好地図、まなごしの権力性、故郷、集団の風景、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3～7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)
〔後期〕 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3～8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教科書

講義ではプリントを随時配布する。

参考書等

北川建次編 (2004)『現代都市地理学』(古今書院)
坂本英夫・浜谷正人編 (1985)『最近の地理学』(大明堂)
富田和暁・藤井 正編 (2001)『図説 大都市圏』(古今書院)
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

その他

プロジェクターを用いて講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう げいき</small>	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	坂本信昭	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	豊田千代子	法B2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴルドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	法B2選	2

講義のねらい	日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートによります。
教科書	ジョン・デューイ『経験と教育』 講談社学術文庫 798円
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	はまわらけんしろう 萩原建次郎	法B2選	2

講義のねらい	この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていきたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流 <ol style="list-style-type: none"> (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ (2) 発達の思想を学ぶ (3) 学習の思想を学ぶ
履修上の留意点	この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらおう。
成績評価の方法	小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。
教科書	特に使用しない。
参考書等	そのつど紹介する。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・現代の教育問題
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	坂本 信昭	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。
 ・学校教育のあゆみ
 ・学校の社会的機能
 ・学校教育の現実と課題
 ・その他（教師論集）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
 デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	とよ 豊 た 田 ちよこ 千代子	法B 2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きた 北 むら 村 みつ 三 こ 子	法B 2選	2

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	萩原 建次郎 <small>はぎ けんじろう</small>	法B2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「居場所」をめぐる言説の登場
- (2) 「居場所」の意味を読み解く
- (3) 子ども・若者の自己形成空間の変容
- (4) 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- (5) 「居場所」に関わる指導者論
- (6) 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	大浜 幾久子 <small>おおはま きくこ</small>	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	みくにりゅうこ 三 國 隆 子	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	なつほり 夏 堀 睦	法B 2選	2

講義のねらい

幼児、児童・生徒の発達と学習のメカニズム、および援助、指導の方法について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②知能・創造性・思考の発達
- ③対人関係（と人格）の発達
- ④特別な教育的ニーズを持つ子どもへの援助（障害児・才能を持つ子ども）
- ⑤新しい「学習」の捉え方
- ⑥多重知能理論に基づく教育実践

履修上の留意点

学期末試験の成績を中心に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

開講時に指示します。

その他

講義形式で行います。授業中に小レポートを課す場合もあります。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみの 野 善 じ 司	法B 2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最
適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ
(10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・14) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのももちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おほ しま 幾 久 子	法A・政治・法B 2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出(定期試験期間)を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	三 くに りゅう こ み 國 隆 子	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	なつ ぼり ちか 夏 堀 睦	法A・政治・法B2選	2

講義のねらい

- 1) カリキュラム—教授—評価のサイクルを中心に、教育活動を構成する諸要素について学習する。
- 2) 現行学習指導要領の特徴をふまえて、実践案作成課題に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール

- ① カリキュラムの意義
- ② 現行学習指導要領の基本方針
- ③ 総合的学習の意義
- ④ 総合的学習の設計に関わる教授理論と評価法
- ⑤ C-I-A サイクルの構成
- ⑥ ポートフォリオ評価法を使ったC-I-A サイクルの設計

成績評価の方法

授業中の小レポートと学期末試験の成績によって評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

授業中に適時紹介します。

その他

一回目の講義のなかで実践案作成課題について説明を行います。必ず出席するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	すみの ぜんの じ 角野善司	法B2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) カリキュラム (教育課程) とは (2) カリキュラムに関する法制 (3) カリキュラム編成の原則 (4) 学習指導要領改訂の歴史 (5-7) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (8-10) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (11-12) 平成10年改訂学習指導要領 (平成15年一部改正) の下での教育評価 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』
講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	呉 焔 三 <small>お びょん さん</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かだろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動ともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代社会において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持っていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。または毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社） 2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	たなかまさみつ 田中正光	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が必要とする情報を適切に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。この数値データの整理・分析の作業は特に実社会に出たときに様々な場面で必要とされるものである。この講義では、この作業に慣れることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

前期後期を通じて、統計的基礎知識の概略の説明に3回程度費やし、4回目に実際に計算ソフト・エクセルを使って（パソコンルームの確保が前提）実際ないし架空の数値による統計的分析を行う。

年間を通して、この作業（3回講義+1回パソコンを使った統計分析作業）を繰り返す予定である。

【前期】

- 1～3：統計データの代表値
平均値、中央値、最頻値などの代表値。
- 4：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 5～7：データの散らばり
分散、標準偏差、度数分布など。
- 8：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 9～11：2変数の関係
相関、単純回帰分析など。
- 12：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）

【後期】

- 1～3：標本と確率分布
母集団と標本、正規分布、二項分布などの確率分について。
- 4：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 5～7：標本分布と推定
推定量の望ましい性質、点推定および区間推定など。
- 8：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 9～11：仮説検定
正規母集団に対する仮説検定、カイ二乗検定など。
- 12：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）

履修上の留意点

パソコン操作、特にエクセルの操作を行う場面が多くなるので、パソコン操作があまり嫌いでないこと。また通常講義では電卓などの持参が望ましい。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験を実施し、この結果に通常授業における練習問題の結果を加味して判断する。

教科書

なし

参考書等

室淳子+石村貞夫著『Excelでやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）
森田優三著『統計概論』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	かとう ゆき はる 加藤 之 晴	法A・政治選	4

講義のねらい

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そしてフィールドワークと呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくおこないを通して、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに世界・家族・身体・宗教・病いなどのキイ・ワードを挙げ、文化人類学ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価するが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とする。

教科書

特定の教科書は用いない。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布し、これに基づいて授業を進行する。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すず き 木 いっ けい 鈴 木 一 馨	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」というものを、さまざまな方向から検討して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期にまず「文化」とそれを研究する「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」について基礎的な知識を得た上で、コスモロジーとはどのようなものを学ぶ。後期はこの基礎に立ち、コスモロジーの具体例として「風水」を成り立たせている様々なコスモロジーと、現実空間への対応、そしてそのことが人間社会にとってどのような意味を持つのかを学ぶ。これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 文化人類学と民族
(1～3)「文化」と「文化人類学」 (4～6)「民族」とはなにか
- 第2部 民族とコスモロジー
(7～8)「コスモロジー」とはなにか (9～10) 天とひととのコスモロジー
(11～13) 世界の断絶と連続
- 第3部 風水のコスモロジー
(14～20) 風水を構成する宇宙論 (21～22) 風水による現実空間の意味付け
(23～26) 風水と人間社会

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないとついていけない。

成績評価の方法

出席状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

- 祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560、1990年）840円
- 国立歴史民俗博物館編『異界談義』（角川書店、2002年）1,470円
- 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院、1990年）1,995円
- 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界―』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	しげの たかはる 茂野 隆晴	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 後期

4・5月 9・10月

- 法とは何か ○憲法とその原理について
 - 法の種類 ○基本的人権の保障
 - 法源 11・12月
 - 法の生成（日本法の歴史） ○統治機構について
 - 法と裁判の基礎知識 ○年間のまとめと「家」制度について
 - 国家の基礎知識
- 6・7月
- 民法と商法の考え方
 - 裁判法、刑法、社会法の考え方

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

その他

授業の方法は講義です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実 <small>いけだ みのる</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。

〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14) (15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14) (15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』（法律文化社）
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』（嵯峨野書院）平成17年4月刊行予定
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金						8月29日	月	○	○	○	○	○
8月1日	月						8月30日	火	○	○	○	○	○
8月2日	火	△	△	△	△	△	8月31日	水	○	○	○	○	○
8月3日	水						9月1日	木	○	○	○	○	○
8月4日	木						9月2日	金	○	○	○	○	○
8月5日	金						9月5日	月	○	○	○	○	○

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	水戸克典	法A・法B選	4

講義のねらい

日々ニュースで報道される政治現象の背後には、政治の表舞台・裏舞台において自らの理念や利益を実現しようと活動する多数のアクター(政治家、政党、官僚、利益集団、有権者など)が存在します。それらアクターはいったいどのような行動原理に基づいて活動しているのでしょうか？

本講義では、政治的アクターの組織と活動、及びそれらを取り巻く政治諸制度の基礎について、具体的かつ身近な事例を取り上げながら、検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

概ね以下の点を中心に講義を進めます。

- 1 ガイダンス
- 2 権力、権威
- 3 選挙制度と投票行動
- 4 国会の制度と立法過程
- 5 政党と政党制
- 6 内閣と首相
- 7 官僚制
- 8 利益集団の圧力活動
- 9 地方政治と政策決定
- 10 マス・メディアと世論
- 11 民主主義のモデル
- 12 日本政治の課題と展望

履修上の留意点

履修にあたり、特に予備知識は必要としません。
但し、現代の政治現象に関心のある学生の履修が望ましいと思われまます。

成績評価の方法

定期試験、平常点(小テスト等)、(場合によってはレポート)の結果を総合的に勘案し、評価します。

教科書

授業中に適宜指示します。

参考書等

授業中に適宜指示します。

その他

授業方法—原則として講義形式とする予定です。詳細は初回の授業時に説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	佐藤綾野	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

本講義では、基礎的な経済理論をできる限り平易に解説し、また社会的に関心の高いトピックを多く取り上げ経済学の重要性を解説します。また学生の皆さんにも積極的に授業に参加してもらうことを希望します。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、「社会人の教養」として、あるいは「本格的な経済学へ向かう導入部分」となるよう、経済学全般にわたって解説します。

講義を進めるにあたり、経済学のなかの基本的なテクニカルタームの解説からはじめ、ニュースや新聞などで報道されているような具体的な経済現象を「経済学的視点」から考えていきます。

講義終了後には、学生の皆さんが現代経済事象に関心をもち、自ら学ぶインセンティブをつけてもらうことを目標としています。

最後に、経済学は学生の皆さんの日常生活においても、とても役に立つ学問です。頑張ってください。

成績評価の方法

平常点・レポート・試験を中心に評価します。

教科書

第一回目の講義で指定します。

参考書等

講義のなかで適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大石雄爾	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳 堀 素雅子 <small>やなぎ ほり すがこ</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

人間の生と死の問題を多角的な方向から考察していく。その際に重要となることは、どのような視点から人間の生と死を考察していくかということである。医学的、生物学的に見た人間の生と死、文化や民族や国や宗教によって異なる死生観、環境問題と人間の関係などの問題を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

戦争と人間の死の問題。
環境問題と人間の関係。
先端医療と人間の生と死の問題

履修上の留意点

単に知識を詰め込むだけでなく、情報を分析し、自分の見解を明確に論じることができるようになることが必要である。出席状況が悪いと講義の内容についていけないので、講義には必ず出席するように。

成績評価の方法

レポートの提出状況、出席状況などを総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

授業中にその都度紹介する。

その他

ビデオ、DVDも豊富に使用する。
参加人数が少なければ、討論も取り入れる予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理学 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	野 中 弘 敏 <small>の なか ひろ とし</small>	法A・政治選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はさまざまにわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類-名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化-生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論-産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論-進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系-命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他

講義に必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわ きよし 市川 清 士	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、地震、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。
後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていききたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

『地球学入門 一惑星地球と大気・海洋のシステムー』（東海大学出版会）2,940円

参考書等

参考書はその都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。
また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生物の集団と環境〕	さかまき よしあき 坂 巻 義 章	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。この知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 生物とは何か (2、3) 環境とは何か (4、5) 生物の歴史と環境
(6、7) 食物連鎖 (8、9) 生態系 (10) 生産者と消費者 (11,12) エネルギー流
(13) 前期のまとめ
後期 (14) 生態ピラミッド (15) 個体群 (16) 出生と死亡 (17) 競争と住み分け
(18) 共生と寄生 (19) 捕食 (20) 土壌 (21) 分解者 (22) 物質循環 (23) 里山の生態系 (24) 人口問題 (25) 環境問題 (26) まとめ

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔変動する地球と環境〕(夏季集中)	やまもと 由 弦 山本 由 弦	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

自然環境の変化を考えるためには、人類による物理的・化学的環境汚染など社会的要因によるものと、地震や火山活動に代表される自然的要因をあわせて考えることが必要とされる。本講義では、後者の自然的要因に焦点をしぼり、これらの諸現象とその地球科学的背景についての理解を深めることをねらいとしている。特に日本列島がプレートテクトニクスなど地球科学体系の中でどういった位置にあるのかを理解することを最初期の目的とし、最新の研究成果を紹介しながら災害や自然環境変化の要因を考える。また、日本列島とは異なった地球科学的背景が見られる世界各地の例も一部紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球の構造と日本列島の地球科学的位置
2. 日本を構成するもの－付加体・衝突帯・火山列
3. 地震と断層
4. 斜面崩壊と液状化
5. 日本の地球科学的環境－関東周辺・南九州
6. 世界の地球科学的環境－大陸：米国・アジア 造山帯：米国・英国

成績評価の方法

出席およびレポート

教科書

使用しない

参考書等

講義の中で紹介

その他

液晶プロジェクターもしくはOHPを使用
授業日程

前半						後半						
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5	
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△	△	△
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月	△	△	△	△

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里	法A・政治選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追再試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価を受けること。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	法A・政治選	4

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微積分』(共立出版) 2,100円(税込)
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠	法A・政治選	4

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメル公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微積分』(共立出版) 2,100円(税込)
参考書等	適宜紹介する。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん いち 福 田 賢 一	法A・政治選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。

本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理解分野を充実させる。また、時間が許せば、経済工学・金融工学の基礎もともに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理解と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理解、線型代数とその応用、

後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用、交通・運輸の数理解、経営の数理解

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。また、社会・経済現象に対する認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数 学 〔情報と論理〕	まかの い かず よ 坂野井 和 代	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理、確率と統計について学ぶ。後期は、主に形式言語理論の基礎について学ぶ。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円
J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I [第2版]』（サイエンス社）2,800円
ISBN4-7819-1027-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	しのはらまさお 篠原正雄	法A・政治選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	持丸真里	法A・政治選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	篠原正雄	法A・政治選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。
なお、履修者数によっては、シラバス通りの講義の実施が物理的に不可能になることもあり得ます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ざわ まこと 小 沢 誠	法 A・政治選	2

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語である HTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みの CSS (Cascading Style Sheet)、作成した HTML・CSS ファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約 FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学びます。HTML では基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTML が一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTP のやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザ ID」と「パスワード」が必要です。ユーザ ID とパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の 3 点で採点をします。

教 科 書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> の HTML と CSS を教科書として使用します。

参 考 書 等

『改訂第 4 版オールカラー HTML ポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円

そ の 他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもとひろのぶ 山本博信	法A・政治選	2

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎
- (3・4) キータッチの基本
- (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
- (6～7) ワープロソフトと日本語変換
- (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
- (11～12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
- (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、(1) 出席状況、(2) 授業期間中に適宜行う演習やレポート(成果物)、(3) 授業の最終回で行う実技試験および筆記試験を総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	法A・政治選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわぐち たかし 澤 口 隆	法A・政治選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	法A・政治選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスをとりあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(11)

前半			1	2	3	4	5	6	後半			1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○					8月29日	月							
8月1日	月	○	○	○					8月30日	火							
8月2日	火	○	○	○					8月31日	水							
8月3日	水	△	△	△					9月1日	木							
8月4日	木	○	○	○					9月2日	金							
8月5日	金	○	○	○					9月5日	月							

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さかのい かずよ 坂野井 和 代	法A・政治選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金				○	○	○	8月29日 月						
8月1日 月				○	○	○	8月30日 火						
8月2日 火				○	○	○	8月31日 水						
8月3日 水				○	○	○	9月1日 木						
8月4日 木				○	○	○	9月2日 金						
8月5日 金				△	△	△	9月5日 月						

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろ のぶ 山 本 博 信	法A・政治選	2

講義のねらい コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTMLファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点 予備知識は假定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法 出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書 未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等 参考書は必要に応じて紹介します。

その他 実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程

コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	△						8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	○	○	○				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	○	○	○				9月5日 月						

(△は予備日)

コンピュータ基礎(17)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△					

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひる ふみ 長 坂 浩 史	法A・政治選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は假定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(14)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	○	○	○				8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	○	○	○				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	△	△	△				9月5日 月						

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (15)(16)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	法A・政治選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (15)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	○	○	○				8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	○	○	○				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	△	△	△				9月5日 月						

(△は予備日)

コンピュータ基礎 (16)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金				○	○	○	8月29日 月						
8月1日 月				○	○	○	8月30日 火						
8月2日 火				○	○	○	8月31日 水						
8月3日 水				○	○	○	9月1日 木						
8月4日 木				○	○	○	9月2日 金						
8月5日 金				△	△	△	9月5日 月						

(△は予備日)

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△	△	△			

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(20) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	さかのい かず 坂野井 和代	法A・政治選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもしよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	さかのい かず 坂野井 和代	法A・政治選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。最後に、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作(ウィンドウ操作、電子メール、wwwの利用など)はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識(関数logなど)が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』(翔泳社) 1,900円
ISBN4-88135-718-2

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 類 学 (1)(2) 〔人類の進化〕	しの 篠 だ 田 けん いち 謙 一	法A・政治選	4

講義のねらい

人類学はひとことでは「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。
「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

R. ルーウィン著、保志 宏訳『ここまでわかった人類の起源と進化』（てらぺいあ）
3,200円 ISBN：4-88699-013-4

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	なか 仲 と 渡 え み 江 美	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

「人とは、何か」についての答えを探るのが、心理学という学問である。日常、私たちは、特に意識せず「見る」、「聴く」、「思い出す」、「考える」といった様々な行動を行なっているが、その背景には複雑な仕組みがある。例えば、「横顔や後ろ姿からでも親友をすぐに見つけることができるのは、なぜ。」、「自分の名前を呼ばれるとすぐに気づくのは、なぜ。」、「語呂合わせをして覚えた電話番号をいつまでも覚えているのは、なぜ。」など、人がどのような行動を行なうのか、なぜそのような行動を取るのかについての仕組みを心理学の様々な領域から捉え、日常生活での私たちの見方、考え方に新しい視点を与えて、自己や他者を理解していくことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で、人が起こす行動とその仕組みについて、知覚、学習、記憶、人格、発達、臨床といった心理学の各領域から毎回トピックスを決めて探っていく。具体的なスケジュールについては、第1回目の講義で提示する予定である。

履修上の留意点

「理解する」ためには、講義の内容を自分の視点で改めて捉え直すことが必要である。そのために、授業中、講義の内容に関して自分なりの意見や感想などを書いてもらう予定である。

成績評価の方法

講義の出席状況と年度末の筆記試験の結果から、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義時にいくつか紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	鈴木 順一 <small>すずき じゅんいち</small>	法A・政治・法B選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解 (4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (7) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の真理 (9～10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達心理学 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16～17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係 (20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席をとります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験、小レポート、グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	法A・政治・法B選	4

講義のねらい 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール 心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点 この講義に限らず何かを学ぶという事の根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- (1) 私語は厳禁である。
- (2) 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- (3) 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法 試験の結果を重視する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 講義の中で紹介する。

その他 授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△			
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月					

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	法A・政治選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。それを前提にして、「肉食」というテーマを、仏教思想を包括する意味でのインド思想全体の関連の中で検討する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教 科 書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参 考 書 等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	法A・政治選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。
 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ(2) 〔自然観察入門富浦を めぐる人と自然〕	清水 善和・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橘詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫	法A・政治選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習を行う。また、夏休み中に千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、泊まり込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習を行う。内容に応じて、合計8名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。

前期半期：本校での講義（一部実習を含む）

(1) ガイダンス (2) 自然観察の方法 (3) 植物の観察1 (4) 植物の観察2 (5) バードウォッチングの方法 (6) バードウォッチングの実習 (7) 化学的な見方1 (8) 化学的な見方2 (8) 地球科学的な見方1 (10) 地球科学的な見方2 (11) 天体観測の方法1 (12) 天体観測の方法2 (13) 富浦実習に向けて

富浦での講義と実習：7月17日(日)午後－7月21日(木)午前(4泊5日)

午前の講義、午後の野外実習、夜の天体観測など。

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加する人のみ履修すること。採点の都合上、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする(予約の都合上、宿泊費1万6千円を4月中に徴収する)。実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計7名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点を総合して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試は行わない。

教科書

特になし。

参考書等

各担当教員が必要に応じて紹介する。

その他

抽選の可能性があるので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	法 A ・ 政治選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか ぎき としいちろう 岡 崎 寿一郎	法 A・政治選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) [女性学・男性学]	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	法A・政治選	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるもの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教科書

プリントその他を必要におうじて配布する。
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参考書等

参考書はその都度列举する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	法A・政治選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむら 西村 祐子	法A・政治選	4

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO (非営利組織) は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり (コミュニティビルディング) において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市のNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。
 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について
 後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO
 日本における移民政策とNPO

履修上の留意点

マルチメディア教場で講義をおこない、インターネットやビデオなどを毎回使う。受講人数は50名に限定。授業でコンピュータにアクセスするためにコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点 (出席率、レポート内容) 重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草 (けいそう) 書房

参考書等

教場にて指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸 小 哲 雄	法 A ・ 政治選	4

講義のねらい

近代思想批判としてのポストモダンの世界を分析して、合理化と絶対世界に対する相対化と主体化の問題を取り上げて、それを乗り越えるための方法を見出すように講義します。

講義の内容・
授業スケジュール

モダニズムからポストモダニズムへの移行過程における問題を扱う。たとえば、近代の啓蒙思想の問題、合理性の問題、理性の暴力（排除されたもの）、相対化の問題、狂気の問題、建築・モード（ファッション）・エロス、携帯電話といったヴィジュアル系文化の問題、そして主体化過程を講義していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

配布されたリーディング・リストに基づいて前期と後期にそれぞれテキストを読み、レポートを作成し提出する。最後にタームペーパーにまとめて、「ポストモダンにおける〈主体性〉のあり方」という表題でレポートを提出すること。なお出席を重視します。

教 科 書

読書リスト配布
プリント配布

参 考 書 等

リーディング・リスト配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 股 陽太郎 <small>また ようなろう</small>	法 A ・ 政治選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとはイギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見たいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、「地理的な面」と「人種的な面」から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するのか、どの人種に属するのかを決めるのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。しかし、「血」もさることながら、それを決定するのはその人の「所属意識」である。

ピクトおよびケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人およびヴァイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性と其の崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように常に自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。

偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白い。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポートはレポート用紙10枚程度のもので、12月末迄に提出。「引用文」には注（書名と頁数）を付し、参考文献名を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義のレジメ、参考文献、資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。その一助として、視聴覚教材（VHS、DVD、PC、書画カメラ）等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ、年間講義予定表に基づき講義を進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔民族とは何か〕	おのの 大野 祐二	法A・政治選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔イスラム〕	よしだ 吉田 京子	法A・政治選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話、儀礼、救済、聖性の四側面から、宗教としてのイスラームにアプローチする予定。各5回から6回の授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) [フェミニズム・ジェンダー]	はやかわのりよ 早川紀代	法A・政治選	4

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきでゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。

b. 労働とジェンダー

企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

後期

c. 家族とジェンダー

皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。

d. セクシュアリティとジェンダー

今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いたもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

資料を随時配布する。

そ の 他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	<small>ふじもと</small> 藤本 茂・ <small>あらか</small> 荒木 正孝 <small>たけなか</small> 竹中 智香・ <small>はらだ</small> 原田啓一郎 <small>ひかさ</small> 日笠 完治・ <small>くにお</small> 山口 邦夫	法A・政治選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔都市論〕	内海 麻利・浦田 早苗 坂井 文・品田 知美 早川 純貴・保坂 尚郎	法 A・政治選	4

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

6名の講師により、各々4回講義を担当する。その順序、時期と講義内容は以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

品田知美「都市の変容と生活様式」（4回：4月・5月）

多くの人々が集う都市には、独特の生活様式が見いだせる。本講義では、大都市圏を中心とした日本の都市的生活様式を、主に2つの視角から振り返る。(1) 環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するか。(2) 家族：都市は、新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるか。過去を知り、現在を理解しながら、ともに近未来を考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」（4回：5月・6月）

都市における労働では、快適な通勤の実現や子育てとの両立などが課題となる。この講義では、通勤と関わる需要サイドを重視した交通政策「TDM」の展望や裁量労働制、SOHOワークなど新たな働き方と保育制度改革のあるべき方向などを検討し、「痛勤」からの解放と労働と子育ての両立を考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

内海麻利 「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られる都市づくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

坂井 文 「都市を公共空間から読む」（4回：11月・12月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にとともに、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

3 . 外国語科目

〔 英 語 〕

英語 I A (法 A)	〈朝川真紀〉	103
英語 I A (法 A)	〈岩原康夫〉	103
英語 I A (法 A)	〈熊沢和明〉	104
英語 I A (法 A)	〈飯沼好永〉	104
英語 I A (法 A)	〈ササキ, M.〉	104
英語 I A (法 A)	〈山岸二郎〉	105
英語 I A (法 A)	〈三浦眞理〉	105
英語 I A (政)	〈西原克政〉	105
英語 I A (政)	〈増田恵子〉	106
英語 I A (政)	〈山岸二郎〉	106
英語 I A (政)	〈三浦眞理〉	106
英語 I A (政)	〈朝川真紀〉	107
英語 I A (法A・政)	〈牧野輝良〉	107
英語 I B (法 A)	〈木元喜久子〉	108
英語 I B (法 A)	〈藤井道行〉	108
英語 I B (法 A)	〈海琳泰子〉	109
英語 I B (法 A)	〈亀田三重子〉	109
英語 I B (法 A)	〈木元喜久子〉	109
英語 I B (法 A)	〈藤井道行〉	110
英語 I B (法 A)	〈海琳泰子〉	110
英語 I B (政)	〈木元喜久子〉	111
英語 I B (政)	〈藤井道行〉	111
英語 I B (政)	〈海琳泰子〉	111
英語 I B (政)	〈濱口真木〉	112
英語 I B (政)	〈亀田三重子〉	112
英語 I B (法A・政)	〈濱口真木〉	112
英語 II A (法 A)	〈照山雄彦〉	113
英語 II A (法 A)	〈平林卓郎〉	113
英語 II A (法 A)	〈澤田真弓〉	114
英語 II A (法 A)	〈塚本利男〉	114
英語 II A (法 A)	〈田中靖子〉	114
英語 II A (法 A)	〈尾上典子〉	115
英語 II A (法 A)	〈堀千和子〉	115
英語 II A (政)	〈風間則比古〉	115
英語 II A (政)	〈木村正俊〉	116
英語 II A (政)	〈ササキ, M.〉	116
英語 II A (政)	〈岩永祥恵〉	117
英語 II A (政)	〈澤田真弓〉	117
英語 II B (法 A)	〈鈴木美貴子〉	118
英語 II B (法 A)	〈林明人〉	118
英語 II B (法 A)	〈井伊順彦〉	119
英語 II B (法 A)	〈尾形重政〉	119
英語 II B (法 A)	〈太田雅子〉	119
英語 II B (法 A)	〈平林卓郎〉	120
英語 II B (法 A)	〈澤田真弓〉	120

英語 II B (政)	〈三幣友行〉	120
英語 II B (政)	〈岸本茂和〉	121
英語 II B (政)	〈岩山義春〉	121
英語 II B (政)	〈丹治弘昌〉	121
英語 II D (法 A)	〈町田尚子〉	122
英語 II D (法 A)	〈川股陽太郎〉	122
英語 II D (法 A)	〈真砂久晃〉	123
英語 II D (法 A)	〈丹治弘昌〉	123
英語 II D (法 A)	〈相馬美明〉	123
英語 II D (法 A)	〈牧野輝良〉	124
英語 II D (法 A)	〈岸本茂和〉	124
英語 II D (法 A)	〈石原孝哉〉	124
英語 II D (法 A)	〈桧山晋〉	125
英語 II D (政)	〈真砂久晃〉	125
英語 II D (政)	〈本間俊一〉	125
英語 II D (政)	〈大淵利春〉	126
英語 II D (政)	〈増田恵子〉	126
英語 II D (政)	〈飯沼好永〉	126
英語 II D (政)	〈手島敬子〉	127
英語 II D (政)	〈本間俊一〉	127
英会話 II	〈ラッセル, S. J.〉	127
英会話 II	〈レーン, C. M.〉	127
英会話 II - 夏季集中 -	〈ピアス, D. M.〉	128
英語 L L II	〈太田雅子〉	128
英語 L L II	〈外池一子〉	128
英語 L L II	〈西村祐子〉	128

[ドイツ語]

ドイツ語 I A (法 A・政)	〈河上和史〉	129
ドイツ語 I B (法 A・政)	〈柴野博子〉	129
ドイツ語 II A (法 A)	〈柴野博子〉	129
ドイツ語 II A (法 A)	〈本橋右京〉	130
ドイツ語 II A (政)	〈柴野博子〉	130
ドイツ語 II A (政)	〈飯塚公夫〉	131
ドイツ語 II B (法 A)	〈飯塚公夫〉	131
ドイツ語 II B (政)	〈森公成〉	132
ドイツ語 II B (政)	〈堀内美江〉	132
ドイツ語 II C (会話) (法 A・政)	〈野島利彰〉	133
ドイツ語 II D (法 A・政)	〈志真斗美恵〉	133
ドイツ語 L L I (法 A・政)	〈小林ゲアリンデ〉	133

[フランス語]

フランス語 I A (法 A・政)	〈伊藤なお〉	134
フランス語 I B (法 A・政)	〈遠山博雄〉	134
フランス語 II A (法 A)	〈小玉齊夫〉	135
フランス語 II A (法 A)	〈沼倉広子〉	135
フランス語 II A (政)	〈前田祝一〉	136
フランス語 II A (政)	〈遠山博雄〉	136
フランス語 II B (法 A)	〈菅谷暁〉	136

フランス語ⅡB	(政)	〈畑 中 千 晶〉	137
フランス語ⅡB	(政)	〈小 玉 齊 夫〉	137
フランス語ⅡC	(会話) (法A・政)	〈大 野 英 士〉	137
フランス語ⅡD	(法A・政)	〈小 玉 齊 夫〉	138
フランス語LLI	(法A・政)	〈ラリア・三倉, M.〉	138

[中 国 語]

中国語ⅠA・ⅠB	(法A・政)	〈岩 崎 皇〉	140
中国語ⅠA・ⅠB	(法A・政)	〈松 本 丁 俊〉	141
中国語ⅡA	(法A)	〈釜 屋 修〉	141
中国語ⅡA	(法A)	〈佐 藤 普美子〉	141
中国語ⅡA	(法A)	〈李 雲〉	142
中国語ⅡA	(法A)	〈松 本 丁 俊〉	142
中国語ⅡA	(政)	〈松 本 丁 俊〉	142
中国語ⅡA	(政)	〈福 地 桂 子〉	143
中国語ⅡA	(政)	〈李 雲〉	143
中国語ⅡA	(政)	〈弘 兼 加奈子〉	143
中国語ⅡB	(法A)	〈岩 崎 皇〉	144
中国語ⅡB	(法A)	〈平 石 淑 子〉	144
中国語ⅡB	(法A)	〈弘 兼 加奈子〉	144
中国語ⅡB	(政)	〈根 岸 政 子〉	145
中国語ⅡB	(政)	〈張 宏 波〉	145
中国語ⅡB	(政)	〈松 本 丁 俊〉	145
中国語ⅡC	(会話) (法A・政)	〈本 間 由香利〉	146
中国語ⅡC	(会話)	〈王 聡〉	146
中国語ⅡD	(法A・政)	〈曹 泰 和〉	146
中国語ⅡD	(法A・政)	〈戸 張 嘉 勝〉	147
中国語ⅡD	(法A・政)	〈三田村 圭 子〉	147
中国語LLI	(法A・政)	〈岩 崎 皇〉	147

[スペイン語]

スペイン語ⅠA	(法A・政)	〈荻 野 雅 司〉	148
スペイン語ⅠA	(法A・政)	〈亀 山 晃 一〉	148
スペイン語ⅠB	(法A・政)	〈上 野 勝 広〉	148
スペイン語ⅠB	(法A・政)	〈真 下 祐 一〉	149
スペイン語ⅡA	(法A)	〈大 岩 功〉	149
スペイン語ⅡA	(法A)	〈福 本 久美子〉	150
スペイン語ⅡA	(政)	〈真 下 祐 一〉	150
スペイン語ⅡA	(政)	〈上 野 勝 広〉	150
スペイン語ⅡB	(法A)	〈大 岩 功〉	151
スペイン語ⅡB	(政)	〈福 本 久美子〉	151
スペイン語ⅡC	(会話) (法A・政)	〈真 下 祐 一〉	151
スペイン語ⅡD	(法A・政)	〈ナバロ, ホワン J.〉	152
スペイン語LLI	(法A・政)	〈ナバロ, ホワン J.〉	152

〔ロシア語〕

ロシア語 I A (法A・政)	〈大須賀 史 和〉	154
ロシア語 I B (法A・政)	〈木 村 英 明〉	154
ロシア語 II A (法A)	〈杉 山 秀 子〉	154
ロシア語 II A (政)	〈木 村 英 明〉	155
ロシア語 II B (法A)	〈木 村 英 明〉	155
ロシア語 II B (政)	〈佐 野 朝 子〉	156
ロシア語 II C (会話) (法A・政)	〈クロチコフ, Y.〉	156
ロシア語 II D (法A・政)	〈クロチコフ, Y.〉	156
ロシア語 L L I (法A・政)	〈安 徳 ニーナ〉	156

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A [再クラス]	〈松 堂 啓 子〉	157
英語 I A [再クラス]	〈岩 井 洋 美〉	157
英語 I A [再クラス]	〈朝 川 真 紀〉	157
英語 I A [再クラス]	〈塙 美智子〉	158
英語 I A [再クラス]	〈吉 江 正 雄〉	158
英語 I A [再クラス]	〈西 村 祐 子〉	159
英語 I A [再クラス]	〈外 池 一 子〉	159
英語 I A [再クラス]	〈高 柳 文 江〉	160
英語 I A [再クラス]	〈桧 山 晋〉	160
英語 I A [再クラス]	〈岩 原 康 夫〉	160
英語 I A [再クラス]	〈丸 山 哲 雄〉	161
英語 I B [再クラス]	〈熊 沢 和 明〉	161
英語 I B [再クラス]	〈木 村 克 彦〉	161
英語 I B [再クラス]	〈江 田 幸 子〉	162
英語 I B [再クラス]	〈牧 野 正 秀〉	162
英語 I B [再クラス]	〈石 原 孝 哉〉	162
英語 I B [再クラス]	〈真 砂 久 晃〉	163
英語 I B [再クラス]	〈高 柳 文 江〉	163
英語 I B [再クラス]	〈熊 沢 和 明〉	163
英語 I B [再クラス]	〈近 藤 真 彰〉	164
英語 I B [再クラス]	〈飯 沼 好 永〉	164
英語 II A [再クラス]	〈菅 原 典 子〉	164
英語 II A [再クラス]	〈太 田 美智子〉	165
英語 II A [再クラス]	〈岡 崎 寿一郎〉	165
英語 II A [再クラス]	〈佐 藤 江里子〉	165
英語 II A [再クラス]	〈岡 崎 寿一郎〉	166
英語 II A [再クラス]	〈塚 本 利 男〉	166
英語 II A [再クラス]	〈太 田 由紀子〉	166
英語 II A [再クラス]	〈矢 島 直 子〉	167
英語 II A [再クラス]	〈相 馬 美 明〉	167
英語 II A [再クラス]	〈川 島 弘 之〉	167
英語 II A [再クラス]	〈町 田 尚 子〉	168
英語 II A [再クラス]	〈三 浦 眞 理〉	168
英語 II A [再クラス]	〈山 岸 二 郎〉	169
英語 II B [再クラス]	〈佐 藤 江里子〉	169

英語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川 公 一〉	169
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川 手 浩 一〉	170
英語ⅡB〔再クラス〕	〈太 田 美智子〉	170
英語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川 公 一〉	170
英語ⅡB〔再クラス〕	〈田 中 保〉	171
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落 合 和 昭〉	171
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川 股 陽太郎〉	171
英語ⅡB〔再クラス〕	〈町 田 尚 子〉	172
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	172
英語ⅡB〔再クラス〕	〈山 懸 裕〉	173
英語ⅡB〔再クラス〕	〈手 島 敬 子〉	173
英語ⅡD〔再クラス〕	〈町 田 尚 子〉	173
英語ⅡD〔再クラス〕	〈川 股 陽太郎〉	173
英語ⅡD〔再クラス〕	〈真 砂 久 晃〉	173
英語ⅡD〔再クラス〕	〈丹 治 弘 昌〉	174
英語ⅡD〔再クラス〕	〈相 馬 美 明〉	174
英語ⅡD〔再クラス〕	〈牧 野 輝 良〉	174
英語ⅡD〔再クラス〕	〈岸 本 茂 和〉	174
英語ⅡD〔再クラス〕	〈石 原 孝 哉〉	174
英語ⅡD〔再クラス〕	〈桧 山 晋〉	174
英語ⅡD〔再クラス〕	〈真 砂 久 晃〉	174
英語ⅡD〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	175
英語ⅡD〔再クラス〕	〈大 淵 利 春〉	175
英語ⅡD〔再クラス〕	〈増 田 恵 子〉	175
英語ⅡD〔再クラス〕	〈飯 沼 好 永〉	175
英語ⅡD〔再クラス〕	〈手 島 敬 子〉	175
英語ⅡD〔再クラス〕	〈本 間 俊 一〉	175

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	〔再クラス〕	〈志 真 斗美恵〉	176
ドイツ語ⅠA	〔再クラス〕	〈井 村 行 子〉	176
ドイツ語ⅠA	〔再クラス〕	〈藪 下 鉦 一〉	176
ドイツ語ⅠA	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	177
ドイツ語ⅠB	〔再クラス〕	〈飯 塚 公 夫〉	177
ドイツ語ⅠB	〔再クラス〕	〈堀 内 美 江〉	178
ドイツ語ⅠB	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	178
ドイツ語ⅠB	〔再クラス〕	〈井 村 行 子〉	179
ドイツ語ⅡA・ⅡB	〔再クラス〕	〈森 公 成〉	179
ドイツ語ⅡA・ⅡB	〔再クラス〕	〈本 橋 右 京〉	179
ドイツ語ⅡA・ⅡB	〔再クラス〕	〈岡 本 時 子〉	180
ドイツ語ⅡD	〔再クラス〕	〈志 真 斗美恵〉	180

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	〔再クラス〕	〈前 田 祝 一〉	181
フランス語ⅠA	〔再クラス〕	〈芦 原 眷〉	181
フランス語ⅠA	〔再クラス〕	〈小 玉 齊 夫〉	181
フランス語ⅠA	〔再クラス〕	〈菅 原 猛〉	182
フランス語ⅠA	〔再クラス〕	〈谷 川 かおる〉	182
フランス語ⅠB	〔再クラス〕	〈菅 谷 暁〉	182

フランス語 I B	[再クラス]	〈今 関 ア ン〉	183
フランス語 I B	[再クラス]	〈伊 藤 な お〉	183
フランス語 I B	[再クラス]	〈長谷川 光 明〉	184
フランス語 II A・II B	[再クラス]	〈畑 中 千 晶〉	184
フランス語 II A・II B	[再クラス]	〈沼 倉 広 子〉	184
フランス語 II A・II B	[再クラス]	〈前 田 祝 一〉	185
フランス語 II D	[再クラス]	〈小 玉 齊 夫〉	185

〔 中 国 語 〕

中国語 I A・I B	[再クラス]	〈江 林 英 基〉	186
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈秋 元 翼〉	186
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈塩 旗 伸一郎〉	187
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈佐 藤 普美子〉	187
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈根 岸 政 子〉	187
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈張 宏 波〉	188
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈曹 泰 和〉	188
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈戸 張 嘉 勝〉	189
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈三田村 圭 子〉	189
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈小 川 隆〉	189
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈徳 間 佳 信〉	190
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈弘 兼 加奈子〉	190
中国語 I A・I B	[再クラス]	〈蘭 明〉	190
中国語 II A	[再クラス]	〈平 石 淑 子〉	191
中国語 II A	[再クラス]	〈岩 崎 皇〉	191
中国語 II A	[再クラス]	〈大久保 明 男〉	191
中国語 II B	[再クラス]	〈李 雲〉	192
中国語 II B	[再クラス]	〈李 雲〉	192
中国語 II B	[再クラス]	〈蘭 明〉	192
中国語 II D	[再クラス]	〈曹 泰 和〉	193
中国語 II D	[再クラス]	〈戸 張 嘉 勝〉	193
中国語 II D	[再クラス]	〈三田村 圭 子〉	193

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈大 岩 功〉	194
スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈大 岩 功〉	194
スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈ナバロ, ホワン J.〉	195
スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈亀 山 晃 一〉	195
スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈大 岩 功〉	195
スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈荻 野 恵〉	196
スペイン語 I A・I B	[再クラス]	〈佐 藤 麻里乃〉	196
スペイン語 II A・II B	[再クラス]	〈福 本 久美子〉	196
スペイン語 II A・II B	[再クラス]	〈大 岩 功〉	197
スペイン語 II A・II B	[再クラス]	〈亀 山 晃 一〉	197
スペイン語 II D	[再クラス]	〈ナバロ, ホワン J.〉	197

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語 I A・I B	[再クラス]	〈廣 田 英 靖〉	198
ロシア語 I A・I B	[再クラス]	〈佐 野 朝 子〉	198
ロシア語 I A・I B	[再クラス]	〈木 村 英 明〉	199

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	199
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.・大須賀 史和〉	199
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	200
ロシア語ⅡD	〔再クラス〕 〈クロチコフ, Y.〉	200

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	201
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	201
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	201
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	202
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	202
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	203
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	203
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	204
マ ル チ ・ メ デ イ ア	〈落 合 和 昭〉	204
マ ル チ ・ メ デ イ ア	〈大 庭 直 樹〉	205
マ ル チ ・ メ デ イ ア	〈西 村 祐 子〉	205
英 会 話 I	〈ウエルズ, J. K.〉	206
英 会 話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	207
英 会 話 I	〈ピアス, D. M.〉	208
英 会 話 I	〈ラッセル, S. J.〉	209
英 会 話 I	〈ラージ, R.〉	210
英 会 話 I	〈レーン, C. M.〉	211
英 会 話 II	〈ラッセル, S. J.〉	212
英 会 話 II	〈レーン, C. M.〉	213
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D. M.〉	214
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	215
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	216
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	217
英 語 L L I	〈太 田 雅 子〉	218
英 語 L L I	〈甲 斐 捷 子〉	218
英 語 L L I	〈加 藤 佐 和 子〉	219
英 語 L L I	〈久 保 ひ さ 子〉	219
英 語 L L I	〈西 村 祐 子〉	220
英 語 L L I	〈埴 美 智 子〉	220
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	221
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	221
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	222
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	223
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	224
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	224
ド イ ツ 語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	225
ド イ ツ 語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	225
ド イ ツ 語 I A (選)	〈五十嵐 信 子〉	226
ド イ ツ 語 I B (選)	〈薮 下 紘 一〉	226
ド イ ツ 語 II (選)	〈薮 下 紘 一〉	226
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	227
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	227
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈出 口 雅 敏〉	227

フランス語 I A (選)	〈遠山博雄〉	228
フランス語 I B (選)	〈菅原猛〉	228
フランス語 II (選)	〈桑田禮彰〉	228
中国語 L L I	〈岩崎皇〉	229
中国語 L L II	〈小川隆〉	229
中国語 I A (選)	〈釜屋修〉	229
中国語 I A (選)	〈宮本厚子〉	230
中国語 I B (選)	〈蘭明〉	230
中国語 II (選)	〈松本丁俊〉	230
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	230
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	231
スペイン語 I A (選)	〈亀山晃一〉	231
スペイン語 I B (選)	〈ナバロ, ホワン J.〉	231
スペイン語 II (選)	〈荻野雅司〉	232
ロシア語 L L I	〈安德ニーナ〉	232
ロシア語 L L II	〈安德ニーナ〉	232
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	233
ロシア語 I B (選)	〈木村英明〉	233
ロシア語 II (選)	〈クロチコフ, Y.〉	234
朝鮮語 I A・I B (選)	〈白賢美〉	234
朝鮮語 II (選)	〈白賢美〉	235

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	あき かわ ま き 朝 川 真 紀	法 A 1 年	2

講義のねらい

英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回単語のテストを行います。テキストにそって文法事項の解説、演習問題を行います。

履修上の留意点

予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

成績評価の方法

単語テスト30%、平常点20%、前期後期試験50%

教 科 書

『コミュニケーションのための大学英語入門』(南雲堂) 1,900円 ISBN523-17462-8

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いわ はら やす お 岩 原 康 夫	法 A 1 年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教 科 書

『Cultivating Writing Skills』(朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	くま まわ かず あき 熊 沢 和 明	法A1年	2

講義のねらい

平易な口語英作文のテキストを使い、日常会話表現を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

各ダイアログでトピックごとにリスニングとペアワークによる実演をし、習得した表現を利用して簡単な口語英作文をしてもらいます。

履修上の留意点

語学トレーニングの科目なので毎回の出席を求められます。メールを利用した指導にも対応します。

成績評価の方法

出席重視。自由課題の提出も含めた総合評価です。

教科書

『Enjoy Expressing Yourself』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	いい むま よし なが 飯 沼 好 永	法A1年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎とし、センテンス単位からパラグラフ単位の英文を書くことのできる英語力を身につけることを目標とする。それには英文のセンテンスの構造だけでなく、英文のパラグラフの構成に関する知識を踏まえながら、英語の文章と日本語の文章との違いを十分に理解することが不可欠である。また、英語の文章を書く時に、単語は和英辞書等で確認することができるが、単語を並べて文章を作る時には文法の知識も要求されるので、随時、文法に関する解説も行っていきたい。

履修上の留意点

テキストでは大学生の日常生活に基づいている例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現も修得して欲しい。また、和英辞書で調べた英単語は英和辞書で再確認する習慣を付け、英単語の微妙なニュアンスの違いも分かるよう心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

山村三郎、木下裕昭、小峰和子 *Expanding Your Writing Skills*（朝日出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	ササキ, M.	法A1年	2

講義のねらい

英語による意志伝達。入学時の英語を基礎として英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

Students will write about daily events in Japan and around the world. An emphasis will be placed on spelling and content. Students will also present and discuss various issues in class.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）をすると成績評価は「不可」になる。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

採用なし。プリント等使用。和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	山岸 二郎	法A1年	2

講義のねらい

自分の考えを伝えるための英文表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

短い英文を読んで、文章のパターンを理解する。その上このパターンに対応して作成された練習問題に取り組む。ここで良く使用される語句・表現などに注意しながら課題のエッセイを書く。更にその後同パターンでオリジナル・エッセイを完成させる。尚ここでは四種類のエッセイ・パターンを扱い、それぞれ充分に習熟して、効果的な英文構成法なども考えてゆく。

履修上の留意点

予習をしておくこと。

成績評価の方法

日常の学習を重視する。小テスト・テスト等総合的に評価する。

教科書

『構造で書く英文エッセイ』(南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-17448-2

参考書等

辞書、参考書等は教室で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三浦 眞理	法A1年	2

講義のねらい

英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

やさしい英文で書かれているニュースを読み、それに関連する練習問題—単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。

履修上の留意点

授業は予習を必ずしておくこと。

成績評価の方法

日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。

教科書

『WRITING ENGLISH THROUGH MAJOR NEWS』(金星堂) 1,650円 ISBN4-7647-3636-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	西原 克政	政治1年	2

講義のねらい

英語の構文をしっかりと把握しながら、平易な英文を多読して、読むことへの慣れを身につける。それを会話に応用する。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを丁寧に読み、受講者の発表を主体にして、それに意見と解説を加えながら、進めていく。

履修上の留意点

特に、予習に全力を注いで臨んで下さい。

成績評価の方法

語学の授業のため、出席を重視する。年間の授業回数の3分の2以上の出席が最低条件。毎回の授業での発表がすべてであり、それを成績評価する。通常の前期末試験は実施しないので、要注意のこと。

教科書

ジョン・マコーネル『自分の生き方を考える』(金星堂) 1,800円 ISBN4-7647-3684-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	増田恵子	政治1年	2

- 講義のねらい 英語による意志伝達のうち、おもにライティングのスキルを伸ばすことを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール 英作文を中心に、さまざまな練習問題をおこなっていく。
- 履修上の留意点 十分な予習と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。
- 成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
- 教科書 『Let's Talk and Communicate!』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3802-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	山岸二郎	政治1年	2

- 講義のねらい 英文による表現能力の向上を図る。
- 講義の内容・授業スケジュール 比較的短い英文を読み、それを素材に文法・語彙・よく使用される表現等を理解整理して、これに関連する練習問題をこなす。この中には短い作文も含まれていて、やがてこれは一定量の自己表現へと発展する基礎力を築くことになる。
- 履修上の留意点 予習を怠らない。
- 成績評価の方法 平常の学習を重視する。小テスト・テスト等総合的に評価する。
- 教科書 未定。
- 参考書等 参考書等は授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三浦眞理	政治1年	2

- 講義のねらい 英文によって、身近なできごと、世界情勢等についての知識を学び、さらには自分の意見を述べたり、書いたりすることができるようになるための基礎的学習をおこないます。
- 講義の内容・授業スケジュール やさしい英文で書かれているニュースを読み、これに関連する練習問題一単語、idioms、英作等に挑戦し、学習します。
- 履修上の留意点 授業は予習を必ずしておくこと。
- 成績評価の方法 日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。
- 教科書 『WRITING ENGLISH THROUGH MAJOR NEWS』（金星堂）1,650円 ISBN4-7647-3636-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	あまき かわ まき 朝川真紀	政治1年	2

講義のねらい

英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回単語のテストを行います。テキストにそって文法事項の解説、演習問題を行います。

履修上の留意点

予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

成績評価の方法

単語テスト30%、平常点20%、前期後期試験50%

教科書

『コミュニケーションのための大学英語入門』（南雲堂）1,900円 ISBN523-17462-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [基礎英語特別クラス]	まきの てる よし 牧野輝良	法A・政治1年	2

講義のねらい

英語の基本を正確に身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間テキストを1課ずつ学習し、3課終了毎に小テストを行ない、記憶を深める。

履修上の留意点

よく予習復習し、授業にはよく出席し、辞書持参し、辞書活用に慣れること。

成績評価の方法

小テストと期末の記述試験の成績による。

教科書

『大学英文法 A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	木 元 喜 久 子	法 A 1 年	2

講義のねらい

国内外の問題を扱う記事を読んで、日本についての理解を深めつつ、世界の出来事に目を向け、自らの位置を確認し世界との距離を測ることで、さまざまな問題の構造を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな記事の速読と精読を通して読解力の向上をめざす。また内容把握を問う設問、リスニングの問題に加え、文法・語法・慣用表現を核にした英作文の問題を通して英語の総合的な力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教 科 書

岩政伸治・Arthur Mitchell 他著『Different Voices - Understanding Current Issues in Japan and the World』(『日本と世界の情勢を知る12の記事-リーディングとリスニング』) (金星堂)

そ の 他

水曜日 3時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	藤 井 道 行	法 A 1 年	2

講義のねらい

新聞・雑誌などメディアの英語に親しむことを目的とした授業です。

講義の内容・授業スケジュール

日本で出ている英字新聞から、今の日本のライフスタイルについて考える糸口となるような記事を取り上げます。授業では、取り組みやすいものから、次第に歯ごたえのあるものに無理なく移行できるように、記事の配列に工夫したいと思います。

履修上の留意点

未知の単語は、その意味を文脈の中で推測してみましょう。また、辞書で単語を調べる時は、訳語だけではなく、発音記号、例文にも目を通してください。

成績評価の方法

前・後期の試験の出来が評価の決め手となります。ただし、出席不良の場合は受験資格を失います。注意してください。

教 科 書

プリント使用。

そ の 他

水曜日 3時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	海 琳 泰 子 <small>み たま やす こ</small>	法 A 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

Reading—先端技術がもたらす光と影の両側面に目を向け、現代社会で話題になっている科学をテーマとした評論を読む。正確に情報を取る訓練をする。Listening—BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation。

成績評価の方法

前・後期末試験と年間 8 回の小テストを実施。期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

瀬谷幸男他著『Break through 「明日を拓く科学の夢」』（南雲堂）1,800円
ISBN4-523-17399-0 C0082

その他

水曜日 3 時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	亀 田 三重子 <small>かめ だ みえこ</small>	法 A 1 年	2

講義のねらい

テキストの英文の内容をしっかりと把握させ、更に吟味出来るようにする。関連した実用英語の訓練も行い、英語に親しみを持たせたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進め、実用的な英文を用いた英会話や英作文もする。それによってテキストの内容をより深く理解させ、と同時に英文を使いこなせるようにする。時々、テキストに関連した記事、最新のニュースや新聞も用いる。

履修上の留意点

予習をしてくる事。辞書必携。私語厳禁。

成績評価の方法

①授業への参加度。授業態度。②ミニテスト。宿題。授業時の発表。③前期、後期の試験結果。以上を総合的に評価する。

教科書

テキストは初回授業で知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	木 元 喜久子 <small>き もと きくこ</small>	法 A 1 年	2

講義のねらい

国内外の政治・経済分野から芸術・スポーツまでのバラエティーに富んだ最新ニュースの記事を読んで、英字新聞の読み方を学ぶだけでなく、世界情勢への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな記事の速読と精読を通して読解力の向上をめざす。また簡潔・明解なスタイルの、今日の生きた新聞英語の表現を学ぶと同時に、内容把握を問う設問、リスニングの問題に加え、ニュース記事に関連する英作文の問題を通して英語の総合的な力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業の 2 / 3 以上）、授業中の発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

木塚晴夫著『NEWSWORTHY 2005 新・世界展望』（マクミラン ランゲージハウス）

その他

水曜日 1 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤井道行 <small>ふじいみちゆき</small>	法A1年	2

講義のねらい

英文の内容をきちんとキャッチする訓練だけでなく、英文を聞き取り、声に出して読むことにも十分な時間を割きます。そうした音読は、簡単な英文を自分で発信する時の助走になります。

講義の内容・授業スケジュール

ある文化にとっての「常識」が、他の文化にとっての「非常識」となる例を、生活のさまざまな場面から切り抜いた、文化比較のスクラップ=ブックと呼べるようなテキストを読みます。テキストの読み進めかたは、上記の「講義のねらい」に即したものになります。

履修上の留意点

授業内外で、コンスタントに英語にふれることが必要です。

成績評価の方法

前・後期の試験の出来が評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失います。注意してください。

教科書

『Kiss, Bow, or Shake Hands 「世界文化比較のエッセンス」』(マクミラン) 1,800円
ISBN89585-420-5 C3082

その他

水曜日 1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	海琳泰子 <small>みたまやすこ</small>	法A1年	2

講義の内容・授業スケジュール

Reading—英語字幕入りと字幕無しを併録のビデオ教材で、「人工知能」「IT」等の最新技術のテーマから「イルカの生態」等の自然科学についてまで学ぶ。スクリプトは、ビデオ上映後配布のため、毎回授業への積極的参加が必須。

Listening—BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation。

成績評価の方法

前・後期末試験と年間8回の小テストを実施。期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

John. S. Lander 編著『Science World. 1 「ビデオで発見：サイエンス・ワールド(1)」』(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15370-1 C1082

その他

水曜日 1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	木元喜久子	政治1年	2

講義のねらい

国内外の政治・経済分野から芸術・スポーツまでのバラエティーに富んだ最新ニュースの記事を読んで、英字新聞の読み方を学ぶだけでなく、世界情勢への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな記事の速読と精読を通して読解力の向上をめざす。また簡潔・明解なスタイルの、今日的な生きた新聞英語の表現を学ぶと同時に、内容把握を問う設問、リスニングの問題に加え、ニュース記事に関連する英作文の問題を通して英語の総合的な力の向上をめざす。

履修上の留意点

十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。授業中には英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書

木塚晴夫著『NEWSWORTHY 2005 新・世界展望』（マクミラン ランゲージハウス）

その他

水曜日 2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	藤井道行	政治1年	2

講義のねらい

アメリカのニュース番組を聴き、その放送内容を活字化したものを読みます。主として、日本、中国、韓国、インドなど、アジア地域をテーマとした放送を取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、放送の聞き取りから始めます。次に、音読。仕上げが、その内容の読解になります。英語の「音」で弾みをつければ、読解も抽象的な作業ではなくなると思います。

履修上の留意点

英語のニュース番組を聞いてみましょう。

成績評価の方法

前・後期に行う試験の出来が評価の決め手となります。ただし、出席不良の場合は、受験資格を失います。注意してください。

教科書

プリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	海琳泰子	政治1年	2

講義の内容・授業スケジュール

Reading—英語学習に不可欠な英国史を、見開きページに必要事項を、年表、地図、図版を多用し、まとめられているテキストで学ぶ。いつも手元におき、ハンドブックとしても使用して欲しい。

Listening—BBC World のニュースの聞き取り、新聞記事の dictation。

成績評価の方法

前・後期末試験と年間8回の小テストを実施。期末試験は、いかなる理由でも、又一回でも欠試の場合は単位修得不可能。

教科書

Antonia Cunningham 著・小野茂・小野恭子注『Essential British History 「図解イギリスの歴史」』（開文社）1,500円 ISBN4-87571-357-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	濱口真木	政治1年	2

講義のねらい	入学時の英語力を基礎に、英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこなう。
履修上の留意点	予習をして授業に臨んで下さい。
成績評価の方法	平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。
教科書	『Making Connections—Health, Welfare and Environment—21世紀の健康・福祉・環境—』(成美堂) 1,800円 ISBN4-7919-0066-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	亀田三重子	政治1年	2

講義のねらい	テキストの英文の内容をしっかりと把握させ、更に吟味出来るようにする。関連した実用英語の訓練も行い、英語に親しみを持たせたい。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進め、実用的な英文を用いた英会話や英作文もする。それによってテキストの内容をより深く理解させ、と同時に英文を使いこなせるようにする。時々、テキストに関連した記事、最新のニュースや新聞も用いる。
履修上の留意点	予習をしてくる事。辞書必携。私語厳禁。
成績評価の方法	①授業への参加度。授業態度。②ミニテスト。宿題。授業時の発表。③前期、後期の試験結果。以上を総合的に評価する。
教科書	テキストは初回授業で知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [基礎英語特別クラス]	濱口真木	法A・政治1年	2

講義のねらい	英文を読みながら基礎的な英文の構造を修得します。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。
履修上の留意点	予習をして授業に臨んで下さい。
成績評価の方法	平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。
教科書	『Newspaper English—2005/2006 Edition—』(成美堂) 1,800円 ISBN4-7919-4827-0

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	てる やま ゆう ひこ 照 山 雄 彦	法 A 2 年	2

講義のねらい

I A を基礎として、II A では、より高度な英語の運用能力を身につけるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

簡単な英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようにします。同時に身近な話題を題材にして文章表現と会話表現を身につけることを訓練します。

履修上の留意点

宿題を毎回出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法

毎時間授業を始める前に小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教科書

おって連絡します。

参考書等

その都度必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	法 A 2 年	2

講義のねらい

第一義的には英語の基礎的ライティング能力を養成することであるがリーディング、リスニング能力の向上をも合わせて目的とする。

履修上の留意点

英語の授業を通して主体性の養成を目的とするので積極的に予習してくること。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心にレポート、出席点などで成績評価をする。

教科書

Tomioka Tatsuaki 『Read better to Write better』 (金星堂) 1,900円+税

参考書等

その都度指示する。

その他

あくまでも学生が積極的に問題を解きまちがいがあれば教師が訂正する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	澤田真弓	法A2年	2

講義のねらい

簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書

熊井信弘・Stephen Timson 共著『Smash Hit Listening ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円 ISBN4-89585-480-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	塚本利男	法A2年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英文を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業で1Unit（3～4ページ）を学習します。第一部、英文を書く時に注意すべき重要事項、第二部、パラグラフの書き方、第三部、各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回、授業の総仕上げとして、英語表現力の実践の場になるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名（例えば、高齢化社会、体罰が必要か、死刑制度など）で小論文を書いて提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『基礎からパラグラフ・ライティングへ』（成美堂）1,600円＋税 ISBN4-7919-5037-2 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	田中靖子	法A2年	2

講義のねらい

このテキストは日本人の英語学習者が、戸惑う用法や共通してみられる誤りを学習しながら正しい表現を学び、英会話の運用力を高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ユニット毎に会話の場面のテープで聴き取りながら、間違いを理解し、正しい表現、語法、文法を確認します。ユニットの終わりには writing の練習問題があり、日常会話ですぐに役立つような表現を学んでいきます。

履修上の留意点

本授業は事前の予習を前提として進めます。

成績評価の方法

この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教科書

『Common Errors in English Japanese students make』（マクミラン ランゲージハウス）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	尾上典子 <small>おのえのりこ</small>	法A2年	2

講義のねらい

現代のアメリカ文化形成に決定的な役割を演じてきた幾つかの大企業について論じたテキストを使用し、アメリカのビッグ・ビジネスの企業研究・アメリカ文化研究を行なうとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時にアメリカのビッグ・ビジネスに関係する様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。
毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験、小テストなどによって、総合的に判断する。

教科書

廣原真由子・Blake Baxter 共著『Big Business in America (ビジネスとアメリカ文化)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	堀千和子 <small>ほりちわこ</small>	法A2年	2

講義のねらい

Global Issues (地球規模の社会問題) を考えながら、読む・聞く・書く・話すの英語の四技能を鍛えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

人権、環境、平和、開発の4本の柱で、地球規模の社会問題を取りあげていきます。教科書の他に、映画、ニュース、新聞、インターネット記事などのいろいろな教材を使い、これらの問題を英語を通して考えていきたいと思います。学生の皆さんの積極的な授業への参加を希望します。

履修上の留意点

毎時間、ビデオを見たり、ワークシートを作成したり、グループワークをしますので、欠席しないこと。また、授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な課題をして提出してもらいます。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の貢献度、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。

教科書

未定。おって指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	風間則比古 <small>かざまのりひこ</small>	政治2年	2

講義のねらい

英語に限らず語学の勉強は'hearing'、'speaking'、'reading'、'writing'に分かれるが、ここでは主に'reading'を通して意味を正確に理解することを学ぶ。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教科書

『Prosperous Life (豊かな生活)』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	木村正俊	政治2年	2

講義のねらい

比較的平易な英文を教材に用い、読解力を高めるだけでなく、聴解力、作文力の向上をも目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは世界のニュースを幅広く取りあげ、社会、文化、政治、経済、情報、言語、教育、科学、環境、スポーツなどの興味深い内容である。そうした英文記事を講読すると同時に、予備的な質問や多様な練習問題に答える作業を行って、多角的に、複眼的に英語の運用能力が自然に培われるように授業を展開する。毎週1課ずつ進む方針である。適当な時期に小テストを行い、知識・技能の定着をはかる。授業では受講学生に英文を暗記させ、声を出して復唱させる。

履修上の留意点

授業は訓練を中心にして実力をつける方式なので、極力出席するようつとめてほしい。復習に比重を置き、毎日音声的なトレーニングを行うことが望ましい。

成績評価の方法

平常点による総合評価とする。すなわち、毎回の授業への出席状況、授業への参加状況、テスト・課題（レポート等）の成績などを全体的に考慮して評価する。

教科書

『English through the News Media』（朝日出版社）1,600円 ISBN4-255-15407-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	ササキ, M.	政治2年	2

講義のねらい

英語による意志伝達。1Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。パラグラフから自由作文を年に3～5回程度提出できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

Students will write about daily events in Japan and around the world. An emphasis will be placed on writing short research papers. Spelling mistakes are not acceptable and the content must be interesting. Students will also discuss various issues in class.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題（レポート、小テスト、プレゼンテーション等）を重視すること。遅刻しないこと（30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い）。カンニング（代返、教室退場、盗作など）をすると成績評価は「不可」になる。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教科書

採用なし。プリント等使用。和英・英和辞典をいつも持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	いわなが よしえ 岩永 祥恵	政治2年	2

講義のねらい

本講義ではスピーキングの習熟を図る。特に近年需要が高まりつつあるパブリックスピーキングに着目し、必要とされる諸要素に慣れ、表現力向上の一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール

スピーキングのテキストを使用し、基礎的要素を説明したエッセイを読み、実際のスピーキングへの応用を図る。同時に内容を吟味したマテリアルも取り上げ、内容と表現の相乗作用にも注目し、定着を図る予定である。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。

教科書

荒井良雄他編著 *Speech in Action* 英潮社

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	さわだ まゆみ 澤田 真弓	政治2年	2

講義のねらい

簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書

熊井信弘・Stephen Timson 共著『Smash Hit Listening ロック&ポップで楽しむ初級リスニング・改訂版』（マクミラン ランゲージハウス）1,800円 ISBN4-89585-480-9

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	すずき みきこ 鈴 木 美 貴 子	法 A 2 年	2

講義のねらい

社会問題への関心を深めると共に、英文読解力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

文化・社会・経済・科学・政治についてのエッセイを読む。また速読の訓練として、随時こちらで用意するプリントを読んでいただく。

履修上の留意点

常に辞書持参、予習必須。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。

教 科 書

Jhon Barton, Anthony Sellick 島村、星『未来を読み解く Knowledge is Power』
(成美堂、1,800円) ISBN4-7919-0074-X C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	はやし あきと 林 明 人	法 A 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

この授業は精読を通し、未知の語を含んだ長文であっても辞書を用いながら何とか文の要素を把握できるようになることを目的とします。自らの英語の知識を駆使し、長文を解読することが、まるで推理小説を読むようにスリリングだと実感できるようになります。あらかじめ各ユニットの試訳を皆さんに提出してもらい、質問をしながら授業を進めます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、ユニットの試訳、出席の総合評価。

教 科 書

『今、生きている世界を読む』（朝日出版）ISBN4-255-15388-4 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	井 伊 順 彦 <small>いの のぶ ひこ</small>	法 A 2 年	2

講義のねらい

現代アメリカ社会の様々な問題に関する文章を読んで内容把握力を伸ばすとともに、英文を「話す」力、「聴く」力、「書く」力をきたえることもめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、かなりの時間はテープを聴いての書き取りに費やされる。また、英作文や、ビデオを用いて視覚面からの学習もおこなう。米国の知識が飛躍的に増すだろう。

履修上の留意点

毎回、全体の半数近い諸君が指名され、なんらかの形で答えることになる。積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

数回の小テスト、相当数の質疑応答、出席数を総合して評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

根間弘海ほか著『アメリカ・ノート』（三修社）1,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	尾 形 重 政 <small>お がた しげ まさ</small>	法 A 2 年	2

講義のねらい

II Bを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度をアップさせることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英字新聞の記事や TOEIC 等の問題も使用します。

履修上の留意点

授業は予習してくること。

成績評価の方法

積極的な授業参加度を重視し、前期後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教 科 書

第1回の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	太 田 雅 子 <small>お お た ま さ こ</small>	法 A 2 年	2

講義のねらい

英文をいちいち日本語に訳さなくても、上から順に読解していく訓練を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。

履修上の留意点

予習は必須。

成績評価の方法

平常点と前期、後期試験。

教 科 書

Jim Knudsen *History or Trial* (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	平林卓郎 <small>ひらばやし たくろう</small>	法A2年	2

講義のねらい	最近のアメリカの雑誌や新聞にのった広告の意味を解明してアメリカの文化を研究し同時に英語力の向上を目指す。
履修上の留意点	英語の授業を通して主体性の養成を目指すので積極的に予習をしてくること。
成績評価の方法	前期、後期の試験を中心として、レポート提出、出席点などにより成績評価をする。
教科書	Inoue Kumi 著『心に響くアメリカの広告』（成美堂）1,600円
参考書等	その都度指示する。
その他	授業はまず最初に学生が本文、あるいは問題を解答し、教師がまちがいがあれば訂正する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	澤田真弓 <small>さわだ まゆみ</small>	法A2年	2

講義のねらい	テーマ別に英語で書かれた簡単なエッセイを読み、文法事項について確認しながら、読解力を養っていきます。
講義の内容・授業スケジュール	授業では毎回担当者を決めて音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうことになります。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前後期試験の結果を総合的に判断して評価します。
教科書	石谷由美子・John Wallis・Suzanne Embury 共著『Skills for Better Reading 構造で読む英エッセイ』（南雲堂）1,500円 ISBN4-523-17409-1

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	三幣友行 <small>みつばし ともゆき</small>	政治2年	2

講義のねらい	英語IBで学んだ事を基礎として、英語を正しく読む力のさらなる向上を目指す
講義の内容・授業スケジュール	予習を前提として授業をすすめる
履修上の留意点	欠席が全体の3分の1を超えたら単位を認めない
成績評価の方法	出席点、平常点、小テスト点、定期テストを総合的に評価する
教科書	未定
その他	その他細かい事は授業開始時に説明する

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	岸本 茂和 <small>きし もと しげ かず</small>	政治2年	2

講義のねらい

VOA 放送からヒトゲノムの解説，地球への惑星衝突，アトランティス大陸の話など，文系・理系をとわず受講生の関心をひく，日常で接する科学的話題を読む．内容把握，リスニング，語法・語彙に関する問題，長文穴埋め問題などをふくむ．

講義の内容・授業スケジュール

「習うより馴れる」をモットーに，一年間でできるかぎりの量をこなしてゆきたいとねがっている．夏季休暇にはテキスト以外の課題を課すことになるであろう．

履修上の留意点

授業には英和辞書をかみならずもってくること．予習は必須．

成績評価の方法

出欠席を勘案しつつ試験結果を重んじる．試験は前期・後期の2回．全授業日数の3分の1以上欠席のばあいは「不可」とする．

教科書

『生活の中の科学—四訂版—』朝日出版社 定価 (1,700円+税)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	岩山 義春 <small>いわ やま よし はる</small>	政治2年	2

講義のねらい

このクラスでは，英文の読解力と CNN ニュース等を聞いてアウトラインを書く力を養うことを目標とする．

講義の内容・授業スケジュール

授業の前半では，ニュースを開き，簡単にまとめる練習をする．毎回身近な話題のニュースを聞くことにより，英会話にも役立つ語彙や英語表現が身につきます．授業の後半では，テキストを読みます．使用するテキストはやや内容が難解なのでしっかりと予習をして授業に出席することを望みます．

履修上の留意点

あらかじめ予習をやってくること．毎回の授業，できるだけ全員に訳してもらおう．

成績評価の方法

前・後期末試験を全評価の60%とし，毎回提出するプリントとクラス・アクティビティーを40%とする．全授業回数の1/3以上を欠席した学生はこのクラスをパスできないものとする．

教科書

Books As Opinion Makers (松柏社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	丹治 弘昌 <small>たん し ひろ まさ</small>	政治2年	2

講義のねらい

テレビドラマから印象的な場面をリッピングして，ヒアリングや表現を学びます．

講義の内容・授業スケジュール

4月—語彙の初歩的知識
5月—簡単なエピソード
6月—やや難しいエピソード
7月—表現のまとめ，期末テスト
10月—語彙表の作成
11月—上記の応用と練習
12月—表現のまとめ，期末テスト

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト，それに前期と後期の期末テストによって評価します．なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと．

教科書

特になし．例文の多い英和辞典または電子辞書を使用すること．

英 語 II D

〈英語 II D の授業内容と履修上の留意点〉

専門学部に応じた英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	町田尚子 <small>まちだ なおこ</small>	法A 2年	2

講義のねらい

海外の英語新聞・雑誌・放送メディアのウェブサイトで Human rights をテーマとする記事・特集・社説を選び、問題意識を持って、電子記事の英語を読みこなせるようになること、さらに自らの見解を表現できるようになることをねらいとする授業です。

講義の内容・授業スケジュール

第1、2回授業ではメディア英語の特徴、報道英語記事の読み方、特集・社説英語の解説をします。教材はプリント・アウトコピーで渡します。インターネット・オンラインまたは保存版を教場画面にディスプレイし説明する予定です。第3回以降は、毎授業ごとに担当者に記事等の内容要旨を発表してもらいます。

履修上の留意点

教材は前もって渡します。予習が授業出席の前提です。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項は KOMSY の講義内容詳細修正に記載します。授業前に必ず確認すること。

成績評価の方法

授業で担当する記事等の要旨発表評価と予習の有無等を平常点評価とし、定期試験成績と同等の扱いをします。欠席が多いと平常点評価が低くなり、単位取得が困難となるので注意してください。

教科書

プリント教材及びウェブサイトのダウンロード表示。

参考書等

教室で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II D	川股陽太郎 <small>かわまた ようたろう</small>	法A 2年	2

講義のねらい

II D にふさわしい英語力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な理解力、読解力、運用能力を習得する練習をする。新聞等のプリント教材を適宜配布する。視聴覚教材も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表と小テスト、および定期試験の成績を総合して評価する。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	真 砂 久 晃 <small>まな ご ひさ あき</small>	法A 2年	2

講義のねらい

法学部2年次生の講読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

『Wise Choices』(金星堂) 1,700円 税別

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	丹 治 弘 昌 <small>たん じ ひろ まさ</small>	法A 2年	2

講義のねらい

教場にて説明いたします。

講義の内容・授業スケジュール

教場にて説明いたします。

履修上の留意点

教場にて説明いたします。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお、期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	相 馬 美 明 <small>そう ま よし あき</small>	法A 2年	2

講義のねらい

これまで培ってきた英語力を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。教科書の読解を通じ、精読、多読の両面から、英語そして日本語訳に対する理解を深める。また、種々の検定試験対策として、適宜 TOEIC のリスニング・セクションの問題等にも触れ聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の2/3以上の出席を基本とし、前期・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を含め総合的に評価する。

教科書

Mituko Sugawara *10-Minute Listening (Introductory)* (桐原書店) 780円
和田晋一・大東俊一他『Your Access To The Future (国際社会へ英語でアクセス)』(南雲堂 フェニックス) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	まきの 野輝良	法A 2年	2

講義のねらい	英文構造の理解をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。
履修上の留意点	かならず出席し、指名されたら和訳出来るように予習しておくこと。
成績評価の方法	3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。
教科書	田本&Sanada 著『基本英語表現』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	きし 本 茂和	法A 2年	2

講義のねらい	文化とな何か、世界語としての英語の現況とそのさまざまな変形形態、文化としてのジェンダーと生物学的セックスの関係等々、このようなテーマを英語をとおして読みといてゆきたいとねがっている。
講義の内容・授業スケジュール	1年間でできるかぎりの分量をこなしたい。つねに基礎に戻り精読と速読をまじえて授業をすすめるつもり。夏季休暇には課題を課すことになるであろう。
履修上の留意点	授業にはかならず英和辞書をもってくること。予習は必須。
成績評価の方法	出席を勘案しつつ試験結果を重んじる。試験は前期・後期の2回。全授業日数の3分の1以上出席のばあい「不可」とする。
教科書	『カルチュラル・スタディーズ』(英宝社) 定価 1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	いし 原 孝哉	法A 2年	2

講義のねらい	現代英語の総合的理解力の向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	教科書のほか、英字新聞から適宜、その時々話題をプリントで配布して勉強します。新聞でよく使う「法律用語」などについても学習します。
履修上の留意点	意欲的な学生の受講を望みます。
成績評価の方法	中間、期末試験のほか、レポート、出席率などを総合的に判断します。
教科書	<i>Looking Backward</i> (南雲堂) 1,800円 配布プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	ひやま すずむ 椋山 晋	法A2年	2

講義のねらい

英字新聞の基本的読解力習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること(問合せには応じない)。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出(未提出者は名簿から削除)。

教科書

第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	まなご ひさあき 真 砂 久 晃	政治2年	2

講義のねらい

法学部2年次生の購読授業。社会科学系の英語の読解力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
 前期、後期共、成績は
 (100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

『Wise Choices』(金星堂) 1,700円 税別

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	ほんま としかず 本 間 俊 一	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

近年の情報革命はかつてない様相を呈し、ITやE-Mail、ECなどによってinternationalという言葉ではなくglobalという言葉で世界を説明しなければならない時代に突入した。このような時代にあって英語教育の世界も極めて刺激的な段階に至ったように思える。ある意味では、変革期は混乱を生み出すことにもなるのだが、私はこれらのNew Mediaを学習の動機づけととらえ、今日的な話題を提供するつもりである。学生諸氏も、これを機会にコンピューター・ネットワークに習熟することが望まれる。

成績評価の方法

前期・後期の二回のテストと不定期に要求されるレポートによって評価される。又、普段の出席回数、授業中の発表も加味される。

教科書

Let's Enjoy Economics (南雲堂) 1,957円
 ISBN4-523-17289-7

その他

土曜日1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	大 淵 利 春 <small>おおぶちとしはる</small>	政治2年	2

講義のねらい	ニュース英語をきき、読むことをとおして、専門の政治学と密着した英語の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	授業の最初リスニングの小テストを行い、その後テキストを読み進める。英字新聞も読んでいきたい。
履修上の留意点	予習をしたうえで授業にのぞんでもらいたい。また、辞書は必ず持参すること。
成績評価の方法	前、後期2回の試験の結果をベースとして、出席率、授業中の態度などを考慮に入れて、総合的に評価する。
教科書	『ニュースの背景を読む』（金星堂）1,450円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	増 田 恵 子 <small>ますだけいこ</small>	政治2年	2

講義のねらい	社会や自然をテーマとした、さまざまなエッセイを読み、高度な英文を正確に理解するための構文を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。
履修上の留意点	積極的に授業へ参加することが望ましい。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
教科書	『英検・TOEFL リスニング徹底対策』（開文社）800円 ISBN4-87571-540-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡD	飯 沼 好 永 <small>いひぬまよしなが</small>	政治2年	2

講義のねらい	日本および世界が抱えるさまざまな問題を題材とした英文や欧米の学者の著した英文を読み、難易度の高い英文でも、正確に内容を把握できる読解力を養っていきたい。
履修上の留意点	授業は予習を前提として進めていきます。
成績評価の方法	出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）
教科書	開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	てじま けいこ 手島 敬子	政治2年	2

講義のねらい

身近な法律問題に関する話題を取り上げた記事を読むことで、抵抗なく法律英語に対する理解力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

なるべく辞書に頼らず短時間に効率良くテキストを読む練習、さらにテキストの趣旨・要点を正確にとらえる練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。

教科書

開講時指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II D	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	政治2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

近年の情報革命はかつてない様相を呈し、ITやE-Mail、ECなどによってinternationalという言葉ではなく global という言葉で世界を説明しなければならない時代に突入した。このような時代にあって英語教育の世界も極めて刺激的な段階に至ったように思える。ある意味では、変革期は混乱を生み出すことにもなるのだが、私はこれらの New Media を学習の動機づけととらえ、今日的な話題を提供するつもりである。学生諸氏も、これを機会にコンピューター・ネットワークに習熟することが望まれる。

成績評価の方法

前期・後期の二回のテストと不定期に要求されるレポートによって評価される。又、普段の出席回数、授業中の発表も加味される。

教科書

New Business For Changing Lifestyles (成美堂)
ISBN4-7919-4049-0

その他

土曜日 2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 II	ラッセル, S. J.	法A・政治2年	2

(P.212) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 II	レーン, C. M.	法A・政治2年	2

(P.213) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	法A・政治2年	2

(P.214) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L Ⅱ	おたまたまこ 太田雅子	法A・政治2年	2

(P.221) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L Ⅱ	とのいけかざこ 外池一子	法A・政治2年	2

(P.221) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L Ⅱ	にしむらゆうこ 西村祐子	法A・政治2年	2

(P.222) 参照

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	かわかみかずひと 河上 和史	法A・政治1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	しばのひろこ 柴野 博子	法A・政治1年	2

講義のねらい

この授業では、ドイツ人の生活や文化についてのある程度まとまった文章を読んで、文法で学ぶ表現形式が実際の場でのように使われているかを見ていきます。ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも関心を持っていただければと思っています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねていくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩節『希望のドイツ語（新訂版）』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	しばのひろこ 柴野 博子	法A 2年	2

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	もと はし う きょう 本橋 右京	法A2年	2

講義のねらい

これまで学んだ初級文法項目を再確認しながら、まとまった文章を読み、より総合的なドイツ語力を涵養します。

講義の内容・授業スケジュール

リライトされたグリム童話を読みます。
全体で22課。収録されているのは「Katze und Maus in Gesellschaft」、
「Der gestiefelte Kater」、
「Haensel und Gretel」および「Der Eisenofen」の4話。
後期に時間的余裕があれば、観光政策としてのMaerchenstrasseについて学びます。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んで下さい。
予習はもちろん、授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Wundt・本橋『グリム童話で学ぶドイツ語』（郁文堂）2,000円＋税

参考書等

『グリム童話』には、さまざまな翻訳があります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	しば の ひろこ 柴野 博子	政治2年	2

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。
私達が、ドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、
少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。予定通りに進めば、12月には更なる
長文を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別
の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章』（三修社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	飯塚公夫	政治2年	2

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習
 (コピー練習問題中心)
 前期後半：練習問題と平行して、読解中心のテキストを読む
 後期：テキストの読解

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること(完全に予習している人は持ってこなくてもよい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)

教科書

Rolf Kralovitz 著『ブーヘンヴァルト10090』 同学社 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	飯塚公夫	法A2年	2

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール
 前期前半：一年の文法の復習と未修部分があればその部分の補習(コピー練習問題中心)
 前期後半：練習問題と平行してテキストの読解
 後期：テキストの読解

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること(完全に予習をしている人は持ってこなくてもよい)。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点(=発表点)

教科書

Andreas Raab 他著『時事ドイツ語 '04年トピックス』 朝日出版社
 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	もり こうせい 森 公 成	政治2年	2

- 講義のねらい

ドイツ語ⅠAとⅠBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。
- 講義の内容・授業スケジュール

用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
- 履修上の留意点

最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします)、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
- 成績評価の方法

定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
- 教科書

テキストはこちらで用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	ほり うち み え 堀 内 美 江	政治2年	2

- 講義のねらい

このドイツ語の授業では、1年次に勉強した基礎的なドイツ語の知識を復習しながら、さらに会話、聞き取り、テキスト理解の能力をバランスよく訓練していきます。また教科書を通して、ドイツの大学生の視点からドイツの社会のさまざまな場面を眺め、日本とは違う文化と歴史を持つということはどういうことか、という異文化理解も促していきたいと思います。
- 講義の内容・授業スケジュール

皆さんの理解度を確認しながら、授業を進めていきます。会話の練習と文法の復習、新しい語彙の学習が各課の主な学習項目ですが、できるだけたくさん視覚資料(雑誌やビデオ、映画など)も使っていく予定です。
- 履修上の留意点

1年次の学習内容を思い出しながら、ゆっくりと授業を進めていきますので、まずは毎回出席を心がけてください。毎回会話や発話練習をしますので、あまり緊張せずにはっきりと声を出してみましょう。
また、授業には辞書を必ず携帯してください。質問はいつでも受け付けますので、授業内容以外でも、ドイツに関することならなんでもどうぞ。
- 成績評価の方法

出席点と平常点、前後期のテストと課ごとの小テストの点数を組み合わせた総合評価となります。
- 教科書

板山真由美他著『自己表現のためのドイツ語2』(三修社)
- 参考書等

随時授業中にご紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡC(会話)	野 ^の 島 ^{しま} 利 ^{とし} 彰 ^{あき}	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

ドイツ語の文に慣れ、音に慣れ、今度はそれを使ってドイツ語で自己表現ができるよう練習します。

講義の内容・授業スケジュール

口頭練習が授業の中心です。

履修上の留意点

ドイツ語作文の教科書です。答は全部CDに吹き込まれています。自宅でそれをよく聞いてください。

成績評価の方法

随時行うヒアリングテストと、年2回期末に行う面接試験で成績を評価します。

教科書

池内著『ドイツ語表現への誘い』 郁文堂 2,625円

その他

語学はまず量の問題です。テレビやラジオのドイツ語講座をもぜひ活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡD	志 ^し 真 ^ま 斗美恵 ^{とみえ}	法A・政治2年	2

講義のねらい

ドイツ語の入門を一通り終えた方たちが、これまで学習したドイツ語の知識を確認しながらさらに能力を深めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法を復習しながら、日常的ないいまわしによる文章を読み、さらに練習問題によって、実用的な表現練習にとりこんでいきます。

履修上の留意点

欠席は極力避け、授業に積極的に参加することを特に望みます。(辞書を毎回持参のこと)

成績評価の方法

平常点と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

須澤通・E-Schmidt 他著『体験するドイツ語』(郁文堂) 2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLI	小 ^こ 林 ^{はやし} ゲアリンデ	法A・政治2年	2

(P.225) 参照

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	伊 藤 ^{とう} な お	法A・政治1年	2

外
国
語

講義のねらい

一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・ 授業スケジュール

日常よく使われる単語と表現を用いて基礎的な文法を体系的に学んでいくとともに、発音練習と音読に力を注ぎます。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。またテキスト付属のビデオによってフランス文化の一端にも触れてもらいます。

履修上の留意点

授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる宿題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教 科 書

太田浩一、明石伸子他『フランス語文法の《基礎》』（駿河台出版社）本体2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	遠 ^{とお} 山 ^{やま} 博 ^{ひろ} 雄 ^お	法A・政治1年	2

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・ 授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を2回行なうこと。その中にリスニングも含まれます。必要に応じて動詞の書き取りもあります。

教 科 書

中村敦子著『友だちとフランス語を』（白水社）2,520円 ISBN4-560-06060-6

参 考 書 等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	小玉 齊夫 <small>こ たま なり お</small>	法A2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

滝川 等著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2005年度版)』(第三書房) 1,700円
ISBN4-8086-2675-6 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	沼倉 広子 <small>ぬま くら ひろ こ</small>	法A2年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして文章を読む力をつける

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを見ながらフランス各地の風土や歴史を通してフランスの文化を知る

履修上の留意点

文法の勉強もするので、休まない事が肝要

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する

教科書

藤田裕二著『彼女は食いしん坊 2 —フランス美味探訪の旅—』
朝日出版社 2,500円
ISBN-255-35166-X C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	まえだのりかず 前田祝一	政治2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

『セレクション・時事フランス語Ⅱ』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	とおやまひろお 遠山博雄	政治2年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教科書

浜名エレース著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01336-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	すがやさとる 菅谷 暁	法A2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『セレクション・時事フランス語』（朝日出版社）1,800円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	はた なか ち おき 畑 中 千 晶	政治2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	こ たま なり お 小 玉 齊 夫	政治2年	2

講義のねらい

クレールさんの料理講義を読みながら、でもむしろ、フランス語を聞き取り、話し、書く力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

一週に一課を終わらせる、という速度で進んでいきます。

履修上の留意点

毎回出席して、その都度、新たな知識をたくわえていって下さい。覚えることは沢山あります。予習・復習も必要です。

成績評価の方法

平常の提出物、授業への「参加」の様子等、それに前期および後期の試験で評価します。

教科書

藤田 裕二 著 『彼女は食いしん坊 2』
（朝日出版社 2,500円）
ISBN4-255-35166-X C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC(会話)	おお の ひで し 大 野 英 士	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、日常的な会話を中心に、表現やコミュニケーション能力を養成するクラスです。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の各章は Dialogues（会話）、文法、応用練習、内容理解で構成されています。一応、教科書に沿って進みながら、応答練習、時には自由会話も行ないます。

履修上の留意点

語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。

成績評価の方法

出席点、前・後期末試験で総合的に評価します。

教科書

『エスカルゴ2』（朝日出版社）2,500円

参考書等

授業開始時に教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡD	小 ^こ 玉 ^{たま} 齊 ^{なり} 夫 ^お	法A・政治2年	2

講義のねらい	やさしい、時事関係のフランス語文を読みながら、現在のフランスの世相といったものへの理解を深めることを目的にします。
講義の内容・授業スケジュール	前期の最初は、文法的な項目の復習も含めて、ゆっくりと読んでいき、後期からは、長いフランス語文の要約の練習も試みようと思っています。
履修上の留意点	予習・復習を必ずしてから、出席すること。
成績評価の方法	ふだんの授業への「参加」状態、提出物の評価、さらに、前期および後期の試験によって成績評価をします。
教科書	Christian Beaumelou 等 著 『ヴァリエテ・フランセーズ 2005』 (朝日出版社 1,900円) ISBN4-255-35168-6 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語LLI	ラリア・三 ^{みくら} 倉, M.	法A・政治2年	2

(P.227) 参照

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内面的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

中国語ⅡD

現在の中国の社会情勢を知ることができるよう、時事的内容のテキストを用いて行われる中国語の授業である。

但し、内容は時事的であっても、社会情勢の解説を主にする授業ではない。あくまで、中国語の文章が読めるようになるための授業である。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまふなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社） 2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円

武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元にあれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	岩 崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	法A・政治1年	2
中 国 語 I B	岩 崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>		

- 講義のねらい
 中国語という言語を体験してもらうことが目標です。とりわけ発音が重要ですから、繰り返し練習します。
- 講義の内容・授業スケジュール
 ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。
- 履修上の留意点
 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。
- 成績評価の方法
 4分の3以上の出席を前提とした上で、授業態度及び試験で判断します。
- 教 科 書
 遠藤光暁「話す中国語北京篇1」（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	松本 丁俊	法A・政治1年	2
中国語 I B	松本 丁俊		

講義のねらい

発音篇でしっかり発音を身につける。本篇に入れば、会話で話す力を学習出来る様にする。毎課に表現のポイントは文法の基礎になる例文を憶えて、最終的に「書く」・「聞く」の力を修得することがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

日本人が中国人の家庭を訪問する設定で、挨拶から始まり、子供とのやり取り、バスでの北海公園見物、食卓での会話等、登場人物に親しみながら発音を学び、文法構造を飲み込める様な授業である。

履修上の留意点

ストーリーのある会話の連続であるため、毎時限しっかり憶えて、休まず頑張る事。

成績評価の方法

前期と後期にテスト、その結果を重点とし、授業中の発音と練習及び出席点を加味する。

教科書

植田渥雄『八木さんの中国家庭訪問』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 II A	釜屋 修	法A 2年	2

講義のねらい

I AB等で学んだ初級の内容を改めて確認し定着させることをめざす。テキストに初級テキストを用いたのはそのためである。このクラスでは口頭練習に力をいれる。

講義の内容・授業スケジュール

全員参加、全員出演を基本とする。

履修上の留意点

出席し、積極的に発声し、中国語の文法現象に興味と探求心をもち、教師を質問で追いつめること。

成績評価の方法

学習態度とテストにより判断。

教科書

相原茂・陳淑梅ほか『恋する莎莎』（朝日出版社）2,625円 CD付。

参考書等

開講後に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 II A	佐藤 普美子	法A 2年	2

講義のねらい

中国語Iで習った文法事項を復習しながら最後のユニットでは中国人が書いた文章を読めるように、段階的に学習を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

各課の本文は「暗記」、練習問題は「宿題」とし、翌週にチェックします。

履修上の留意点

ともかく「出席する」ことと、声に出して課文を復習することが大切です。

成績評価の方法

前後期末試験、出席点、暗記・宿題等の平常点を総合して評価。

教科書

董燕・遠藤光暁『読む中国語』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲	法A2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

阪口直樹等『構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	松本丁俊	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらに出席状況も加味して、総合的に採点する。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	松本丁俊	政治2年	2

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。

1. 「重点」には、対話形式の例文
2. 「比較」には、類義語、類義表現
3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さらに出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周閔『中国見たり聞いたり15章』（光生館）1,890円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	福地桂子	政治2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくる。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト(前後期各1回)、小テスト、授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)、出席状況を総合して評価する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』(金星堂) 1,943円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲	政治2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

三宅登之・張国璐・石黒ひさ子『公式でわかる初級中国語』(朝日出版社) 2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	弘兼加奈子	政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国人の生活を「出生」に始まり、「教育制度」や「結婚」等、8項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

池上貞子・張国璐『中国人のくらし』(朝日出版社) 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	法A2年	2

講義のねらい	中国語の音声に慣れることが目標です。そのためには、大きな声で練習する必要があります。また、限られた回数で憶えてしまえるよう集中力が要求されます。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、授業態度及び試験で判断します。
教科書	董燕・遠藤光暁『話す中国語北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	平石 淑子 <small>ひら いし よしこ</small>	法A2年	2

講義のねらい	初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	中国語の正しい発音の習得に力を入れ、あわせて中国語の表現方法（語順）を学ぶ。一週間に一課進むことを目標とし、随時小テストなどを実施する。
履修上の留意点	（1）四分の三以上の出席を求める。（2）必ず予習をしてくること。（3）指定された宿題は必ずやってくること。
成績評価の方法	平常点（小テストを含む）、及び期末試験による。
教科書	塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	弘兼 加奈子 <small>ひろ かね かなこ</small>	法A2年	2

講義の内容・授業スケジュール	空欄のある本文とドリル等から構成されているテキストを使用する。授業前にはCDを聞く等、必ず予習してほしい。
成績評価の方法	成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
教科書	相原茂・玄直青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,415円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子	政治2年	2

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法

前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

相原茂・郭雲輝・田禾『新概念・中国語会話 訊くが勝ち』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	ちやう こう は 張 宏 波	政治2年	2

講義のねらい

一年次に習得した発音、基本構文を確認しながら、実用的な中国語表現を読み、聞き、話し、書くというコミュニケーション中心の授業をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に沿って基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。
 ・新出単語は授業前に予習しておく。
 ・基本項目を確認しながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」る。

履修上の留意点

授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返して練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属CDを用いて予習・復習に活用する必要がある。

成績評価の方法

授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価する。

教科書

尹 景春・竹島 毅『新版 中国語さらなる一歩』（白水社）2,200円

参考書等

推奨辞書は教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	まつ もと あつ とし 松 本 丁 俊	政治2年	2

講義のねらい

基本動詞の意味合い、取るべき目的語など重点的に列挙し、中級中国語を足もとから固める。

講義の内容・授業スケジュール

中国から日本に来て感じた事を題材に、学生生活、日常生活からバイト先で得たさまざまな体験、日本社会において相手の不可解な反応に当惑し、違和感もち、中国人と日本人の考えかたの違いを感じ取り、不安と模索のなかで日本を理解しようとする文を読む。毎課に動詞を取り上げ、使い方を説明。それに練習として3問の作文が実力向上に役立つ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業の練習問題、発音などをチェック、又出席点を加味する。

教科書

牧田英二・楊立明『留学生的的心声』（同学社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡC(会話)	ほんまゆかり 本間由香利	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義の内容・授業スケジュール	初級の学習を踏まえ、会話文で色々な表現を学習。単語、語句の発音練習、意味の確認後、新しい表現を取り出して学習し、会話文を読み解き練習する。		
履修上の留意点	欠席せず、予習、復習を必ずやる。		
成績評価の方法	出席率、授業態度、課題、期末テストで総合評価する。		
教科書	荒川清秀『美香 in China』(同学社) 1,900円		
参考書等	授業の中で紹介。		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡC(会話)	おうそう 王 聡	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい	発音の復習や実用会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次に学んでいく。会話力を高めることを目標とする。		
講義の内容・授業スケジュール	コミュニケーションの中で実際に使われている基本表現と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。		
履修上の留意点	予習を済ませてあることを前提に授業をする。		
成績評価の方法	出席率・授業態度・平常点30%、定期試験70%。		
教科書	楊光俊他『リナの中国ステイ』(金星堂) 2,310円+税		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡD	そうたいわ 曹 泰 和	法A・政治2年	2

講義のねらい	現代中国社会に関する記事を読みながら、基本文型、慣用句などのマスターを目指す。また、現在の中国の事を学ぶと同時に、異文化についての理解を深める。		
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、慣用句などのマスターし、長文を読解する。		
履修上の留意点	授業に積極的に参加すること。予習、復習を毎回欠かさずすること。記事を順番で読んで、訳していくので、担当者はとくに予習を忘れないこと。		
成績評価の方法	出席率、テスト、学習態度で総合評価する。		
教科書	三瀨正道著『時事中国語の教科書—2005年度版』(朝日出版社) 1,900円		
参考書等	開講時に説明する。		
その他	中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。		

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	とばりよしかつ 戸張嘉勝	法A・政治2年	2

講義のねらい	中級レベルの文章を正確に読み、また正しく日本語に翻訳する能力を育成する。
講義の内容・授業スケジュール	① 発音の復習やピンインの文章を読むことを通して、特に発音上の約束事や日本語にない発音を正しく覚え、中国語の文章が正確に読める能力を身につける。 ② 日中両言語の比較や解析により、両言語の文法や表現法の異同を覚え、中国語の文章を正確に日訳する要領を習得する。 ③ 中国語の法律や事件に関する文章を取り上げ、それを講読することにより、学生の法学知識を増やしてゆく。
履修上の留意点	出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。
成績評価の方法	前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。
教科書	プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡD	みたむらけいこ 三田村圭子	法A・政治2年	2

講義のねらい	時事問題に関する中文を講読する。中国語の基礎を固め、比較的長めの中文を辞典を引きながら、読解できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	現代中国の問題を中文で読む。 中級の文法の解説、練習の後に各自に翻訳してもらう。
履修上の留意点	辞典が必要である。すぐに購入する必要はないが、開講時に説明をするので、その後、各自用意するように。
成績評価の方法	前期・後期テストと、2回の中間テスト。 5題ほどの小テストを5回行い、出席・発表と合わせて評価する。
教科書	三潴正道著『時事中国語の教科書—2005年度版』(朝日出版社) 1,900円
参考書等	開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語LLI	いわさきひろし 岩崎皇	法A・政治2年	2

(P.229) 参照

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	おぎのまさじ 荻野雅司	法A・政治1年	2

外国語

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

橋本定久他著『スペイン語の広場』(大学書林)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	かめやまこういち 亀山晃一	法A・政治1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	うえのかつひろ 上野勝広	法A・政治1年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課〜5課まで、後期は6課〜10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』(同学社)2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>	法A・政治1年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って進めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう平日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

西川 喬 『スペイン語の基礎』（第三書房）

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 II A	大岩 功 <small>おお いわ いさお</small>	法A 2年	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語 I で学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
教科書は教場で販売します。
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	福本久美子	法A2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また訳読を通して現代スペインの社会や文化、政治、経済、教育などの基礎的理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬共著『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	真下祐一	政治2年	2

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 一年次の復習の後、接続法過去まで学びます。
後期 スペインの歴史や文化をテーマにした短いテキストを読みます。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

『基礎固めのスペイン語』荻野恵 サンティアゴ・マルティン 同学社

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	上野勝広	政治2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎（発音・文法・語彙）を確認しながら発展させるクラスです。また日本文化をスペイン語でいかに表現するかについても触れてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～4課まで、後期は5課～7課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

荻野 恵／サンティアゴ・マルティン『基礎固めのスペイン語』（同学社） 2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	おお いわ いさお 大 岩 功	法A2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習しながら、簡単な文章を読んでいます。その後、さらに新しい文法項目の学習と平行して、少しずつ複雑な文章の読解にチャレンジします。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、授業中に適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	ふく もと くみこ 福 本 久美子	政治2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また訳読を通して現代スペインの社会や文化、政治、経済、教育などの基礎的理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬共著『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC(会話)	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・授業スケジュール

一年次の復習から始め、すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習などを通して自由な会話力の基礎を固めます。

履修上の留意点

予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りや発話の小テストの結果で評価します。

教科書

『改訂版』コミュニケーションのためのスペイン語』坂東省次ほか 第三書房

参考書等

西和辞典を一冊、『改訂版現代スペイン語辞典』（白水社）など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡD	ナバロ, ホワン J.	法A・政治2年	2

講義のねらい	一年次で学んだ文法をふまえ、命令形(規則動詞、不規則動詞、肯定、否定)を勉強します。次に直説法点過去、線過去(規則動詞、規則動詞)を学びます。さらに再帰動詞などを扱います。最後に直説法過去完了、未来、過去未来、および関係代名詞の使い方を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。毎回、次の課の説明をします。
講義の内容・授業スケジュール	動詞の過去形(不完了過去・不定過去)を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。
履修上の留意点	予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。
成績評価の方法	授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。
教科書	この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワン J.	法A・政治2年	2

(P.230) 参照

ロシア語

よく一國を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸國を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

II D：一年次の基礎ロシア語の学習を踏まえて、更に文法を補い、読み、話し、聴く力をつけます。単に語学の学習にとどまらず、ロシア文化の奥行きの高さもあわせて理解してもらうように、教材も視野の広がるものを選定します。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	大須賀 史和	法A・政治1年	2
ロシア語 I B	木村 英明		

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

講義の内容・授業スケジュール

2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。前期は、イントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II A	杉山 秀子	法A 2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

楽しいロシア語読本(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次にわたした文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	木村英明	政治2年	2

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

その他 プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	木村英明	法A2年	2

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法 平常点で評価します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他 プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	佐野朝子	政治2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

『楽しいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC(会話)	クロチコフ, Y.	14以降入学生/法A・政治2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡD	クロチコフ, Y.	法A・政治2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語LLI	安徳二一	法A・政治2年	2

(P.232) 参照

《再履修クラス》

〔英 語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	まつ とう ひろ こ 松 堂 啓 子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項を確認しながら、表現力を高めていく。

履修上の留意点

出席を重視する。単位取得には、三分の二以上の出席が必要。

成績評価の方法

出席状況・小テスト・定期試験の結果を総合的に評価する。

教 科 書

English for your Future 1 (マクミラン・ランゲージハウス) ISBN4-89585-483-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわ い ひろ み 岩 井 洋 美	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

日常的な表現を用いて意志伝達できるようにします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの質疑応答、聞き取り、英作文を含む練習問題を行ないながら日常的な表現を覚え、自分のことを伝えることができるようにします。期末試験の他に前、後期数回の小テストも行ないます。

履修上の留意点

出席と熱心に取り組む姿勢を重視します。追、再試験、またそれに代わるものは実施しませんので遅刻、欠席をしないようにして下さい。

成績評価の方法

前、後期試験、小テスト、発表、出席を総合して評価します。

教 科 書

『NEW CROSSROADS 学んで楽しい会話作文』(マクミラン・ランゲージハウス)
2,100円 ISBN4-7773-6026-1

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英文法の運用能力を磨き、英語のコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

映画の SCRIPT に焦点をあて、そこで使われている実用的なフレーズを習得し、映画の内容に関してディスカッションを行います。

履修上の留意点

予習をしてくること。3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。遅刻は授業開始30分以内まで認め、3回遅刻をすると1回欠席になります。

成績評価の方法

平常点、課題、定期試験を総合的に評価します。

教 科 書

『映画英語ワークショップ—漆塗り英語学習法で伸ばす総合運用能力—』(朝日出版社)
1,700円 ISBN4-255-15400-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ 美智子 埜 美智子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。
履修上の留意点	辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。
成績評価の方法	日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『Effective reading & listening—Learning About Different Cultures— 読解・聴解のための効果的学習ブック』（松柏社）1,800円
参考書等	その都度黒板に板書し案内する。
その他	大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	H.G.Wellsの“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。
履修上の留意点	予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。
成績評価の方法	前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点はない。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。
教科書	H.G.Wells 著『A Short History of the World（ウェールズの簡約世界史）』（こびあん書房）教室で販売する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西村 祐子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な英語の文章の聞き取りと基本的な英作文ができる訓練をコンピュータを使用して行う。

講義の内容・授業スケジュール

4－7月：聞き取り訓練 CD-Romの英語会話を聞きながら質問に答える形式で英語を学んでいく。
9－12月：作文訓練 作文の教科書を用いて、基本的な表現を学んでいく。英作文では実際にクラスの中でコンピュータでタイプしながら表現を学ぶ作業を中心にする。

履修上の留意点

コンピュータIDを必ず事前に習得しておくこと。MSワードを使うのでタイピングに慣れておくこと。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	とのいけ かずこ 外池 一子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たかやなぎ ふみ え 高柳文江	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	この授業においては、自分の思っていることを英語で如何に表現するかを、Writing だけでなく、Speaking 両面から出来るように成ることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	皆さんが度々出くわす様々な状況で自分の思っていることをどのように表現していくか、教科書の会話を通じて学びます。導入は Listening と Speaking により行われますが、あくまでも Writing に重点が置かれます。演習問題を中心に Writing は行われますがその問題に関する文法的な点にも及んで説明がなされます。
履修上の留意点	授業の内容上、予習は必ず必要です。単位を取るためには、2 / 3 以上の出席が課されます。座席指定
成績評価の方法	試験（前期試験・後期試験） 60% 平常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み） 40%
教科書	“From Writing to Speaking”[「作文から会話へ」 羽鳥博愛著 弓プレス ISBN4-8034-1128-X
参考書等	テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ひやま すずむ 山 晋	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。
履修上の留意点	私語厳禁。授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等は自己管理すること（問合せには応じない）。携帯電話を授業中に鳴らした者は退室。毎回小テストを行う。
成績評価の方法	小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に不合格。3回以上連続して欠席した場合は説明する文書と診断書等を提出（未提出者は名簿から削除）。
教科書	第一回目の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわはら やす お 岩原康夫	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	丸小哲雄	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

基礎英語に立ちかえりながら、速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・タイムを総理解をとして、リーディング・タイムで日本文化論を読み、自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出を課題とします。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

リーディング・テキスト：The Compact Culture (英宝社)
リスニング・サブテキスト：Listening closer to English (英宝社)

参考書等

随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	熊沢和明	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

平易な英文(手紙形式)を読んで、基本的な読解力を身につけると同時に、会話形式の表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

リスニングおよび会話表現を習得するためのペアワークも行います。

履修上の留意点

語学トレーニングの科目なので積極的な参加姿勢を求められます。

成績評価の方法

平常点重視。ただし毎週単語の小テスト。年2回の期末試験を実施します。

教科書

Why Is That? (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	木村克彦	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『アクティブ・リーディング』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子 <small>えだ さちこ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを飼て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。
英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

映画英語教育学会九州支部著『Every Movie Tells a Story：映画が語る現代社会』1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	牧野 正秀 <small>まさ の まさ ひで</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

再履修クラス故に過去において何らかの理由より、単位を修得できなかった人たちと思う。いかなる理由によりこのクラスに参加するにせよ、真面目に授業に取り組んでほしい。その上で、基本的な英語の再確認、再復習を重ね基礎の習得をねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

語学の授業は講義ではなく演習が中心なので、指名されたら必ず積極的に発表して下さい。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加してください。今日は自分の発表ではないのだと言わんばかりに雑談したり、居眠りを決め込まないように。

成績評価の方法

授業中の発表や予習の度合いといった平常点に、前、後期の試験結果を加味して総合的に単位を認定します。

教科書

開講時教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原 孝哉 <small>いし はら こう さい</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。

教科書

The Whole Story (南雲堂フェニックス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	真 砂 久 晃 <small>まな ご ひさ あき</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

A Guide to Effective Reading (金星堂) 1,900円 + 税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	高 柳 文 江 <small>たか やなぎ ふみ え</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

簡潔な文章を基に現代アメリカの文化と社会を色々な角度から考察します。授業ではReadingだけでなくListeningにも重点が置かれ、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により、更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験 (前期試験、後期試験) 60%、日常点 (出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等) 40%。

教科書

第1回の授業において発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	熊 沢 和 明 <small>くま ざわ かず あき</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

平易な英文 (手紙形式) を読んで、基本的な読解力を身につけた上で、同時に会話表現を聞き取る能力をつけることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

訳読だけでなく、リスニング、ペアワークなどを含んだトレーニングの方式となります。

履修上の留意点

毎回の出席と参加を求めます。メールを利用した指導も対応します。

成績評価の方法

総合評価。単語小テスト、年2回の期末試験実施。

教科書

Why Is That? (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	近藤 真 彫 <small>こん どう ま ほり</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	時事問題を扱った英文を読んで、ニュース記事の読解力をつけながら、その内容について意見が述べられるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を用い、単語や表現に注意しながら読解する。その上で、英語での意見の表現法を学び記事内容について話し合う。
履修上の留意点	必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	定期試験の成績と通常点で総合的に評価する。
教科書	授業で配布するハンドアウトを使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼 好 永 <small>いい ぬま よし なが</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。
履修上の留意点	リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。
成績評価の方法	出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）
教科書	<i>Reading Landmarks of the world</i> （三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	菅原 典 子 <small>すが わらのり こ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	ウィットとユーモアあふれる短編を題材に、英語の運用能力向上をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。
履修上の留意点	授業は予習をしてくること。
成績評価の方法	前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、小テスト、態度等を入れて総合的に評価します。
教科書	L. A. Hill, 安藤賢一 <i>Witty Tales—Readings and Exercises—</i> （成美堂）1,680円（税込） ISBN4-7919-4032-6 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお たち みちこ 太田美智子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Say It In Song (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おか ざき としちろう 岡崎寿一郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

長谷川潔 編注『ことばのはじめ』(金星堂) 1,400円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐藤江里子	法A・政治3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験(50%)と平常点(50%)による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教科書

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おかざきとしちろう</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。
履修上の留意点	テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。
成績評価の方法	平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。
教科書	岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円
その他	火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	塚本 利男 <small>つかもととしお</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英文を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	1回の授業で1Unit（3～4ページ）を学習します。第一部、英文を書く時に注意すべき重要事項、第二部、パラグラフの書き方、第三部、各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回、授業の総仕上げとして、英語表現力の実践の場になるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名（例えば、高齢化社会、体罰が必要か、死刑制度など）で小論文を書いて提出してもらいます。
履修上の留意点	授業の予習をして下さい。
成績評価の方法	授業における発表・小論文と前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。
教科書	『基礎からパラグラフ・ライティングへ』（成美堂）1,600円＋税 ISBN4-7919-5037-2 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	太田 由紀子 <small>おおたゆきこ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。
履修上の留意点	予習・復習をすること。
成績評価の方法	授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。
教科書	Charles Chaplin, <i>My Autobiography</i> (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99 ISBN : 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	矢島直子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

教科書を使って、英語を聞く力と表現する力をつけるような勉強をします。

履修上の留意点

毎回授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分かるようにしてから、授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	相馬美明	法A・政治3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC、TOEFLのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川島弘之	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』(大修館書店) 1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他DVDの映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
『ロックの意味』(草思社)
『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)

その他

DVDの映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	まち だ なお こ 町 田 尚 子	法A・政治3・4年	2

- 講義のねらい** 英語ⅡAの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語での意思疎通を習得します。英文メールの書き方を手はじめとする予定です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向を、アンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。
- 履修上の留意点** プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。
- 成績評価の方法** 授業中の小テスト、質問への解答成績を平常点とし、中間・定期試験の成績と同等の扱いとして成績評価点数を出します
- 教科書** 教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	法A・政治3・4年	2

- 講義のねらい** 英文によって異文化理解、コミュニケーション論等を題材にした英文を読み、国際ビジネスにおける習慣やマナー、エチケット等を身につけ、実践的なビジネス英語を学習します。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストを読み進め、基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指します。また、実践的なビジネス会話の聞き取りをおこないます。
- 履修上の留意点** 受験は予習を必ずしておくこと。
- 成績評価の方法** 日常の発表、出席重視し、小テスト、前期、後期の試験の結果を総合して評価します。
- 教科書** *Global Understanding Success in International Business* (成美堂) 1,785円
ISBN4-7919-4066-0

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	やま まし じ ろう 山 岸 二 郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

ひとつのまとまった考えや意見を英文で表現できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目標達成のために、比較的短い英文を、語順に注意しながらある程度の量を学習し、同時に文法事項の整理を行なう。ここで行なう短文の学習量が、パラグラフ・ライティングの質を左右することになる。

履修上の留意点

予習を欠かさない。予習範囲内の小テストも行なう。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト及びテスト等総合的に評価する。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

教室で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐 藤 江里子	法A・政治3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。スピード・リーディングはもちろん、リスニングの力を向上させるため、毎回テープを使ったリスニング演習も行う。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。各自目標をもって積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

前期後期試験（50%）と平常点（50%）による総合評価。なお、全授業日数の3分の2以上を出席しなければ、試験を受けることができない。平常点には出席状況、授業態度が含まれる。

教 科 書

教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	は せ がわ こう いち 長谷川 公 一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

平易な英文を正確に読むことによって、読解力の向上を目指します。また、ガンジーの「非暴力」の理念は、開発途上国インドが、宗主国であるイギリスに対し、清廉潔白、正直、真実の表明などの徳目の面で優位に立つというねらいを持った現実主義の側面もあります。

つまり、読解力の向上と、国際政治の中でのインドの植民地としての行動についての学生の理解という一石二鳥の効果をねらいました。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教 科 書

『ガンジーその不滅の生涯』（英潮社）本体価格590円

そ の 他

月曜日・4時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	川手浩一 <small>かわ て ひろかず</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	現代亜米利加の文化と社会をいろいろな角度から考察し、ひいては我が国の将来の方向を模索する手がかりになればと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	カリフォルニア、テキサス、ニューイングランド等の地域的なものから、日常的な衣食住に至る多様な局面を扱っている。
履修上の留意点	授業は予習しておくこと。
成績評価の方法	日常の学習を重視し、試験の結果を入れて総合的に評価します。
教科書	『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円 ISBN4-7919-4009-1 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	太田美智子 <small>おお た みちこ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに沿って授業をすすめる。時にはプリントや映像を使用する。
履修上の留意点	必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つこと。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。
成績評価の方法	平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。
教科書	<i>Animal Watching</i> (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	長谷川公一 <small>はせがわ こういち</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	まず第一に、やさしい英文を正確に読む力、つまり読解力の向上を最重視します。次に、非暴力による抵抗運動の旗印の下に、1950年代のアメリカで黒人に対する差別撤廃運動を率いて、歴史的な大成果をおさめた黒人キリスト教牧師マーチン・ルーサー・キング師の生涯を理解することに力点を置きます。キング師はキリスト教の隣人愛、同胞愛の立場から公民権運動をくりひろげ、黒人のみならず、白人の人達にも多大の影響を与えました。
成績評価の方法	出席率+前後期2回のテストで評価します。
教科書	『マーチン・L・キング』（桐原書店）400円
その他	月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	田中保	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

英文の構文を理解し、読解力を培う。また、大意の把握にも心がけ、読む速度を高めていくように学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。

教科書

『数が語る世界』(南雲堂) 1,800円 ISBN4-523-17218-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	落合和昭	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級(英検準二級、二級、準一級)程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう(一人でする場合と、対話形式の場合がある)。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%(課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

Longman Pocket Phrasal Dictionary 1,480円 ISBN0582776422
『コミュニケーションのための口語英作文』(成美堂) 1,600円
ISBN4-7919-5026-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川股陽太郎	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

IBを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意把握の練習をする。随時、視聴覚教材(VHS、DVD、PC等)を使用し、プリント教材は適宜配布する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表と小テスト、および定期試験の成績を総合して評価する。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	まち だ なお こ 町 田 尚 子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい 英語ⅡBの履修に再挑戦するにはそれぞれ異なる理由がある、と考えています。英語は次の10年間で、世界の3人に一人が学習する言語になるだろう、といわれています。好むと好まざるにかかわらず、共通語としての英語に付き合わざるを得ないでしょう。もし不幸にも苦手意識が英語学習の妨げとなっているとしたら、それを払拭する手助けをするのが、この授業です。英語と日本語の言語構造上の違い、発想の違いに注目しながら、英語で書かれたニュース記事や特集記事を読む予定です。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容を読み、この授業で再挑戦を決意して、第一回目の授業に出席した方の意向をアンケート等で把握し、使用教材・テキストと具体的な授業の進行方法を決める予定です。

履修上の留意点 プリント教材は前もって渡します。疑問点を持って授業に臨んでください。欠席する場合はメール等で連絡してください。プリント教材、課題等の指示をします。連絡変更事項はKOMSYの講義内容詳細修正に記載します。必ず確認すること。

成績評価の方法 授業中に担当した要旨等の発表内容、質問への解答をA-D4段階で評価する平常点と中間・定期試験成績を同等の扱いとし、成績評価点数を出します。平常評価の素点換算はAプラス=90以上、A=85、Aマイナス=80、B=79-70、C=69-61、D=60です。通年で5回が発表担当の最低基準です。

教科書 教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	法A・政治3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 *Checknote For Business Trends* (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	山 縣 裕 <small>やまがた ゆたか</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日本人のおかしやすい英語のミスを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

英単語・熟語集とテキストを併用する。小テストも行う。

履修上の留意点

予習をしてくること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。

教科書

『日常会話に役立つ英語ミニ知識』（成美堂）1,700円 ISBN4-7919-4071-7
『データベース5500』（桐原書店）950円 ISBN4-342-01330-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	手 島 敬 子 <small>てじま けいこ</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

本科目では「英文読解力向上」を目標に出来る限り多くの英文を読むことで英文に慣れ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率よく、また的確に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間、定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。

教科書

開講時指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	町 田 尚 子 <small>まちだ なおこ</small>	法A 3・4年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	川 股 陽 太 郎 <small>かわまた ようたろう</small>	法A 3・4年	2

(P.122) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ D 〔再クラス〕	真 砂 久 晃 <small>まなご ひさあき</small>	法A 3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	たん丹 じ治 ひろ弘 まさ昌	法A3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	そう相 ま馬 よし美 あき明	法A3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	まさ牧 の野 てる輝 よし良	法A3・4年	2

(P.124) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	まし岸 もと本 しげ茂 かず和	法A3・4年	2

(P.124) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	いし石 はら原 こう孝 さい哉	法A3・4年	2

(P.124) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	ひ松 やま山 すずむ晋	法A3・4年	2

(P.125) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	まな真 ご砂 ひさ久 あき晃	政治3・4年	2

(P.125) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	ほんま とし 俊一 本 間 俊 一	政治3・4年	2

(P.125) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	おおふち とし はる 春 大 淵 利 春	政治3・4年	2

(P.126) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	ますだ けい こ 子 増 田 恵 子	政治3・4年	2

(P.126) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	いぬめ よし なが 永 飯 沼 好 永	政治3・4年	2

(P.126) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	てしま けい こ 子 手 島 敬 子	政治3・4年	2

(P.127) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ 〔再クラス〕 D	ほんま とし 俊一 本 間 俊 一	政治3・4年	2

(P.127) 参照

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志真 斗美恵	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。

履修上の留意点 さまざまな理由で再履修になった方、編入学した方が受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。新しい語学を覚えるのは楽しいことです。休まず出席してください。

成績評価の方法 平常点（毎回の練習問題の提出・小テスト）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書 清水薫著『ドイツ文法・100語の世界』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	井村 行子	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点 なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法 学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教科書 教科書販売時までに決定して、書店の方に連絡しておきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	藪下 紘一	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい 昨年はドイツ語と戦って負けましたね。今年こそ I A の単位を取りましょう。

講義の内容・授業スケジュール 教科書はまだ未定ですが昨年とは別でしょうから気分を変えてもう一度挑戦しましょう。文法むずかしいでしょうが、外国人が日本語を習うのもどんなに苦しいかを思ってください。彼らも苦労してますよ。

履修上の留意点 是非休まず出席して下さい。1回でも休むとわからなくなります。

成績評価の方法 成績は、前期・後期の試験と平常点で決めます。

教科書 教科書は4月の1講目に決めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で以って、理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	い い づ か み み お 夫 飯 塚 公 夫	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席しただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教 科 書

荻野藏平他著『ビデオ教材 ドイツこころのふるさと ビデオで学ぶメルヘンと伝説』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	ほりうちみえ 堀内美江	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な会話やヒアリングを取りいれながら、文法や語彙の学習もバランスよく取り入れた学習を行います。
またドイツ語を通して、日本とは違う環境や文化、歴史や人々の生き方なども経験していただきたいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

皆さんの理解度にあわせて、ゆっくりと確実に学んでいきます。会話を通じた発話練習と文法習得、そしてヒアリングが各課の学習項目となります。機会を見て、視聴覚資料も導入する予定です。

履修上の留意点

語学は特に最初はやはり、出席すればするほど理解度もアップします。とにかく出席しましょう。
辞書とノートと教科書は必ず持ってくる。わからないことがあったら、どうぞすぐに質問してください。

成績評価の方法

出席点と平常点、前後期の試験および適宜導入する小テストを加えた総合評価を行います。

教科書

秋田静男他『ドイツ語インフォメーション』（朝日出版社）

参考書等

授業中に機会をみてお伝えします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	もとほしうきょう 本橋右京	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

テキストには丁寧な練習問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

小黒・日野・佐藤 『ともかく話そうドイツ語』（郁文堂）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	井村 行子 <small>むら ゆき こ</small>	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	ドイツ語の基礎を復習します。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいきます。
履修上の留意点	なにはともあれ出席を心がけてください。
成績評価の方法	学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。
教科書	『ドイツ語70』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A〔再クラス〕	もり 森 公 成 <small>もり こう せい</small>	法A・政治3・4年	2
ドイツ語 II B〔再クラス〕			

講義のねらい	ドイツ語 I A と I B を基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。
講義の内容・ 授業スケジュール	一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
履修上の留意点	授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
成績評価の方法	定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書	Susanne Schermann／篠原敏昭／岡田恒雄著『CD付きドイツ語万華鏡』（三修社） ISBN4-384-13079-C1084

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A〔再クラス〕	もと 本 橋 右 京 <small>もと はし う きょう</small>	法A・政治3・4年	2
ドイツ語 II B〔再クラス〕			

講義のねらい	やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。
講義の内容・ 授業スケジュール	初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んでゆきます。その際、ローリングプレイなどを折り込みます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
履修上の留意点	テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	山本淳 『新・じゃあ、またあした！』（同学社）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	おかもとときこ 岡本時子	法A・政治3・4年	2

- 講義のねらい** これまでに学んだドイツ語を復習しながらドイツ語の基礎力を更に高めていくことが授業の主たる目標ですが、ドイツ語圏の文化や歴史等単なる語学学習以外の点にも目を向けていきたいと思えます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業の具体的な内容と進度は履修者のドイツ語力や関心に応じて決めていきます。
- 履修上の留意点** この授業の評価は能力検定のように皆さんのドイツ語の実力を評価するのではなく、あくまでもこの授業において皆さんが学んだことを評価するものですので、授業にきちんと出席することが大切です。
- 成績評価の方法** 成績は年間を通しての出席状況と前期後期の計2回の試験の結果を総合して評価します。その他積極的に授業に参加・貢献した場合にも前向きに評価します。
- 教科書** 開講時に指定します。
- 参考書等** 必要に応じて授業中に説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡD 〔再クラス〕	しままるとみえ 志真斗美恵	法A・政治3・4年	2

(P.133) 参照

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教 科 書

『新フランス文法要説』（朝日出版社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	あし はら けん 芦 原 眷	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教 科 書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	こ たま なり お 小 玉 齊 夫	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教 科 書

佐藤 久美子 等 著 『アベセデ フランセ』
（白水社）2,500円
ISBN4-560-06054-1 C3085

参 考 書 等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	すがわら 管原 たいし 猛	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
教科書	久富健『基礎入門、タブロー・グラメール』（朝日出版社）2,200円 ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	たにかわ 谷川 かおる	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	「彼女は食いしん坊」（朝日出版社）2,500円
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すがや 管谷 さとる 暁	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
履修上の留意点	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
成績評価の方法	前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま ぜき 今 関 アン	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2 / 3 の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2 / 3 以上の出席 (25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト (25%) + 前・後期定期試験 (50%)

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社) (7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い とう 伊 藤 なお	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎を学習しながら、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・
授業スケジュール

必要な文法事項を解説し、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、簡単な会話練習を盛り込んだ問題にも取り組みます。また、テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国か、日本とどう異なるかについて知ってもらいます。

履修上の留意点

多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難さも解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川誠司『トーム・アン』(第三書房) 本体2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期末と後期末の計二回行います。また、授業の最後に毎回小テストを実施します。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。
成績評価の方法	前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。
教科書	沼田五十六他『カジュアルにフランス語』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	はた なか ちあき 畑 中 千 晶	法A・政治3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。
履修上の留意点	毎回、辞書を持参してください。
成績評価の方法	前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%
教科書	リアンヌ・ラタンジオ、村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへ（CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	ぬま くら ひろこ 沼 倉 広 子	法A・政治3・4年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい	辞書を使いこなして、文章を読む力をつける
講義の内容・授業スケジュール	文化、地理などを題材にフランスの現在を知る
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する
教科書	野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円 ISBN4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しづつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書

数江編『合本・愉快的コント』（第三書房）1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡD 〔再クラス〕	こ だ ま なり お 夫 小 玉 齊 夫	法A・政治3・4年	2

(P.138) 参照

[中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ことう りん ひでもと 江 林 英 基	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

外国語

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	あきもと たすく 秋 元 翼	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

発音の基礎からやり直し、初級文法・簡単な会話・簡単な文を学ぶ。特にピンインの習得に重点を置く。受講生の理解度に応じ復習をしながら一回一課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。分かる授業、楽しい授業にしたい。

履修上の留意点

ピンインに対する苦手意識をなくすことを目標に、今年は絶対単位を取る気で積極的に授業に望んで欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『聞く・話す フォーアップ初級中国語』（同学社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	しお 塩 なた 旗 しんいちろう 伸一郎	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

まずは中国語の表音記号である拼音（ピンイン）を全て声に出して読めるようになることが第一目標。

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解しよう。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の出題を含め、評価の半分以上を音声的要素が占める。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

4年生の就職活動等で已むを得ず缺席する場合は、必ず事前に、もしかなわぬ場合は直後に申告し、相談すること。後になって言っても受けつけない。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

缺席は年間3回を超えると10点づつ減点。遅刻2回で缺席1回に換算する。ただし4年生の就職活動等による缺席のうち真に已むを得ない理由で、且つ事前に相談のあった場合は、考慮される。

教科書

戸沼・石田・ほか『緑日はとてもにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	さ とう 藤 ふみこ 普美子	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子ほか『緑日はとてもにぎやか（スリム版）』（郁文堂）2,520円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ね ぎし まさ こ 根 岸 政 子	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

関根謙『〔改訂版〕基礎固め中国語—4つのステージ』（同学社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ちょう 張 こう 宏 は 波	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義のねらい** 体系的に初級中国語を学ぶ。発音・声調、簡体字、基本構文・会話をしっかりと身につけ、確実な基礎づくりをめざす。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教科書に沿って、基本的には二回で一課を進める。要領は以下の通りである。
 ・授業開始後10分間程度は、前回の内容を練習問題にして復習し、習得度を確認する。
 ・新出単語は授業前に予習しておく。
 ・発音を磨きながら、構文・会話を反復練習し、「いきた」中国語に「慣れ」ていく。
- 履修上の留意点** 授業時のみの学習では大きな効果が上げられないのが語学学習である。まずは、授業に積極的に取り組み、自ら正しく発音し音を聞き分けられるよう、頭で理解するより大きな声で繰り返し返して練習する必要がある。それに加えて、授業外の時間には、使用頻度の高いセンテンスを暗唱できるようにし、付属CDを用いて予習・復習に活用する必要がある。
 なお、出席率が四分の三に満たないようでは、初級といえども中国語を身につけることは不可能なため、不合格とする。
- 成績評価の方法** 授業に取り組む姿勢、小テスト、出席率、期末テストの結果から総合的に評価します。
- 教科書** 尹景春・竹島毅『最新版 中国語はじめの一步』(白水社) 2,310円
- 参考書等** 推奨辞書は教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	そう 曹 たい 泰 わ 和	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

- 講義のねらい** バリエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業を通して、北京のことを中心に中国のさまざまなことを学ぶ。
- 履修上の留意点** 元気よく、積極的に授業に参加すること。
- 成績評価の方法** テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
- 教科書** 相原茂・李貞愛『北京コレクション』(朝日出版社) 2,500円
- 参考書等** 開講時に説明する。
- その他** 辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	戸張嘉勝 <small>とばり よし かつ</small>	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン）と基礎文法（文型）を覚え、会話の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などの反復練習により、正確な発音を習得する。
- ③書取や質問に答えるなど、口と耳の活用が多く取り入れる。講義の内容や文法などは教科書の展開順序に従って行なう。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

関中研（関西大学中国語教材研究会）共著『中国語@キャンパス会話編』（朝日出版社）本体2,415円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	三田村圭子 <small>みたむら けい こ</small>	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音とピンイン・文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、練習問題で文法の基礎を固める。
後期には、会話のビデオを見ながら学習の進行を確認する。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを5回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

大石智良編『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）2,900円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	小川隆 <small>おがわ たかし</small>	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

山下輝彦『你好！中国語』（金星堂）2,310円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	とく ま よし のぶ 徳 間 佳 信	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義のねらい

中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、発音の仕方を習得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の習得が中心となる。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話ができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。出席と復習を心掛けてほしい。より楽しい授業を目指すため、授業中の積極性を高く評価したい。

成績評価の方法

平常の学習態度（30%：出席・宿題による評価）、小テスト（30%）を重視し、各期末のテスト（40%）とあわせて評価する。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊『はじめて習う中国語』（白水社）2,205円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。希望としては、後半少しスピードアップして授業を進めて行きたい。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、欠席せずに積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語おうとんほあ』（朝日出版社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A [再クラス]	らん めい 蘭 明	法A・政治2・3・4年	2
中国語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

(1) 四分の三以上の出席を求める。(2) 必ず予習・復習をすること。(3) 授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

三瀧正道・陳祖蓓『2005年版 時事中国語の教科書』(朝日出版社) 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわ きき ひろし 岩 崎 皇	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エペンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李雲	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

黄名時・高瀬利恵子・角屋明彦著『漢語街』（白帝社）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭明	法A・政治3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ D 〔再クラス〕	曹 泰和 <small>そう たい わ</small>	法A・政治3・4年	2

(P.146) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ D 〔再クラス〕	戸 張 嘉 勝 <small>と ばり よし かつ と ばり よし かつ</small>	法A・政治3・4年	2

(P.147) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ D 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>み たむら けい こ み たむら けい こ</small>	法A・政治3・4年	2

(P.147) 参照

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	法A・政治2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	数回のテストと小テストの得点、および日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）
その他	火曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	法A・政治2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい	スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を総合して評価します。
教科書	NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号（NHK出版） その他、必要なプリント教材を適宜用意します。
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社） 寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）
その他	水曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	スペイン語の初歩を学びます。基本文法とやさしい会話の習得を目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。
履修上の留意点	出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。
成績評価の方法	出席と2回の期末試験の結果で評価します。
教科書	ホワン, J., ナバーロ <i>Español dinámico</i>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	<small>かめ やま こう いち</small> 亀 山 晃 一	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
履修上の留意点	決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
成績評価の方法	数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
教科書	開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕 スペイン語ⅠB〔再クラス〕	<small>おお いわ いさお</small> 大 岩 功	法A・政治2・3・4年	2

講義のねらい	初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。
履修上の留意点	予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。
成績評価の方法	平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。
教科書	福寫教隆著『生き活きスペイン語』朝日出版社
参考書等	推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社) 寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)
その他	月曜日・5時限目

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	おぎのめぐみ 荻野 恵	法A・政治2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて読解力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	まとうまりの 佐藤 麻里乃	法A・政治2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

毎回の授業内で行う課題による。（このため出席は必須である）

教科書

寺崎英樹『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもとくみこ 福本 久美子	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	法A・政治3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡD〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	法A・政治3・4年	2

(P.152) 参照

[ロシア語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A [再クラス]	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法A・政治2・3・4年	2
ロシア語 I B [再クラス]			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆったり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A [再クラス]	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	法A・政治2・3・4年	2
ロシア語 I B [再クラス]			

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	木村英明	法A・政治2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA〔再クラス〕	安徳 二一	法A・政治2・3・4年	2
ロシア語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.・大須賀史和	法A・政治3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕	安徳 ニーナ <small>あん とく</small>	法A・政治3・4年	2

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡD 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	法A・政治3・4年	2

(P.156) 参照

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	林 明人	法A・政治1・2・3・4選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	矢島直子	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの現代戯曲を読む勉強をします。取りあげる作品は、2004年8月にロンドンで見た評判のよかった芝居です。少々難しいかもしれませんが、基本的にコメディです。文学と歴史の勉強をする高校生が描かれています。中でフランス語が使われていますが、その部分は私がします。

履修上の留意点

毎回全員に当てるつもりですから、辞書を引いて意味が分ってから授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

Alan Bennett The History Boys (faber & faber) ISBN0-571-22464-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	牧野輝良	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

内容のある高度な英文を正確に読む訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間3頁読む。指名された受講生はテキストを読み、和訳する事。時々全員に1頁ほどのパラグラフの和訳を紙に書き、担任者の前で読み上げ、評価を受ける作業を課す。

履修上の留意点

指名されたら和訳出来るようによく予習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間毎の口答による和訳と記述試験。

教科書

『真の国際化とは』（成美堂）980円 ISBN4-7919-1236-5

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林 明人	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	岸本茂和 <small>ましもと しげかず</small>	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの生涯を読む。
少年少女たちはリンカーンといえば「かわいそうな黒人奴隷を開放したおひげをはやしたやさしいのっぽのおじいさん」というイメージを持っているようだがはたしてそうか、どうもそれだけではないらしいことがつかめればこの授業の目標は達したといえる。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももっともだが、新聞はインキのにおいがするあいだだけがいち、それが消えれば捨て去ってかえりみるものはいない。だから新聞はよまない。雑誌はよまない。
一年間でこの作品を読み通すためにクラスをいくつかのグループに分け、一部を夏季休暇の課題にしたり通常授業でもそのグループの「自主研究」を重んじてゆく。作品は1987年度「ニューベリー賞」受賞。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

Russell Freedman, - *Lincoln: A Photobiography*. (Clarion Books, USA)
(テキストは担当者が手配し授業第一週時に受講希望者に買ってもらう予定)

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たんじひろまさ</small>	法A・政治1・2・3・4選	4

講義のねらい

英語の週刊誌の最新号を読みながら、語彙、表現法、文化的な背景を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次の三項目を中心に行う。
(1) 基礎語彙表による単語を記憶する。
(2) 英文記事を毎回プリント2枚分を読解し、内容の把握する。
(3) パソコンを使って電子スクラップを作成して、データの処理を学習する。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教科書

プリント使用。

その他

(注) 受講者多数の場合には人数制限あり。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子	法A・政治1・2・3・4選	4

- 講義のねらい** BBC News Online と日本の英字新聞 Daily Yomiuri のニュースを基にした教科書を使って、英語のニュースをしっかりと読む勉強をします。
- 履修上の留意点** 毎回どんどん当てますから、辞書を引いて意味が分ってから、授業に出席するようにして下さい。
- 成績評価の方法** 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。
- 教科書** 柏原英則『英文ニュース入門 2005/2006年版』(成美堂) 1,800円(税別)
ISBN4-7919-4827-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	落合和昭	法A・政治1・2・3・4選	2

- 講義のねらい** このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級(二級、準一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** 一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする(一人の場合と、対話形式の場合がある)。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。
- 履修上の留意点** このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は48名しか入れない教場を使用するので、48名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。
- 成績評価の方法** 定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%(現代口語英語の和訳)、後期試験は30%(ヒヤリングが10%、会話英作文が20%)である。課題、小テスト、授業中の発表等は全評価の60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは5~10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。
- 教科書**
- 『イディオム表現のマルチ習得法』(北星堂) 1,700円 ISBN4-590-01180-8 C3082
 - 映画総合教材『シャイン』(松柏社) 2,000円 ISBN4-88198-561-2 C3082
 - Longman Pocket Phrasal Verbs Dictionary ISBN0582776422

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	おおば なおき 大庭直樹	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	にしむら ゆうこ 西村祐子	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットとコンピュータを使用して、パワーポイントを使った英語プレゼンテーション素材の作り方やインターネットの情報収集の仕方について学ぶクラス。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：CDRom教材を利用し、パワーポイントをつかって内容を英語で説明していく。
 9-12月：インターネットを使って与えられた課題に答える。海外の文化や社会について情報を収集し、パワーポイントでまとめる訓練を繰り返しおこなう。

履修上の留意点

教場の都合で受講は50名に限定。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1 st semester will be question and answer, while the 2 nd semester will be role playing activities.

講義の内容・ 授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun !

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P. N. F.	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate: book 1 a / David Paul / Macmillan Language House, 1, 230
ISBN0-435-26119-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D. M.	法A・政治1・2・3・4選	2

外
国
語

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

そ の 他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラッセル, S. J.	法A・政治1・2・3・4履	2

講義のねらい

English ConversationIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Fifty - Fifty Book 1 ISBN0-13-920000-2 (Published by Longman)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラージ, R.	法A・政治1・2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・
授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教 科 書

I) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7
 II) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	レーン, C. M.	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。英語ⅡDの振り替え科目として選択できます。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ラッセル, S. J.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

English Conversation II is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Within Your Reach: Keys to Conversation (NAN'UN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	レーン, C. M.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel more comfortable in communicating in English on a variety of different topics.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on speaking practice and improvement of listening skills. students will be invited to give their opinion on a number of different issues, as well as general conversational practice. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester presentations

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D. M.	法A・政治2・3・4選	2

外国語

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

Adam Pelagius *Sociological Notes*, Themis Research Group, 2003

その他

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月					
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月					

英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
Students must have taken English conv.Ⅱ to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ	ラージ, R.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・授業スケジュール Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点 Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法 There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教科書

- I) *New Headway English Course Pre - Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436670 - 7
- II) *New Headway English Course Pre - Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN # 0 - 19 - 436672 - 3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.

- 20%two take home essays (10%each essay)
- 40%two presentations, with discussion sheet (20%each presentation)
- 40%participation within the class (20%each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

参考書等

Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月					
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月					

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	おお たい まさこ 太 田 雅 子	法A・敬始1・2・3・4履	2

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

矢作三蔵 *Basics of Natural English* (開文社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	法A・敬始1・2・3・4履	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同様な発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC 受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教科書

『English20』（英進社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

現地で、一人で、病院に行き、薬局で薬をもらって帰って来られるようにするために、病気や医療場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

医療英会話の短文を、パソコン使用で、聞き取り、書き取り、反復練習する。小テストあり。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習と小テストの合計点。

教科書

尾崎哲夫『病気になっても困らない英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	にしむらゆうこ 西村祐子	法A・政経1・2・3・4選	2

講義のねらい	基本的な表現をつかってみず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：英語の会話ビデオを見基本的な会話表現を学習する。ディクテーションによって会話を書き取ってタイプし、ペアワークのなかで覚える。 9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。概略をMSワードでタイプして提出する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。
履修上の留意点	学生への要望：学生は全員駒沢大学のコンピュータIDを取得しておくこと。
成績評価の方法	定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。
教科書	教場で指定。
参考書等	教場で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	はなわみちこ 埴美智子	法A・政経1・2・3・4選	2

講義のねらい	PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。
履修上の留意点	表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。
成績評価の方法	日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。
教科書	『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円
参考書等	その都度黒板に板書し、案内する。
その他	いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。デジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	<small>おお た まさ こ</small> 太 田 雅 子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力を向上させる。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回日の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

小野田栄 *BBC World Understanding the News in English 2* (金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	<small>との いけ かず こ</small> 外 池 一 子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

英語 LL I を受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生が受講対象です。初回にテストを行いますから必ず出席してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむら ゆうこ 西村祐子	法A・政治2・3・4選	2

外国語

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書は Unit 1-5 まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。教科書は Unit 6-10までを学習。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢のコンピュータ ID を取得しておく。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など。）

教科書

テキスト：*New Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。

参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。

英 語 L L III

〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	レーン, C. M.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20%attendance
- 40%exams
- 40%participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	久保ひさ子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	英語講演等を、大半、理解でき、さらに、ディスカッションできる程度をめざしたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを、聞き取り、書き取り、再生、反復練習する。自己紹介、ビデオ、ディベートも含む。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようにお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習の合計点
教科書	World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	西村祐子	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。
講義の内容・授業スケジュール	4-7月：教科書の Unit 1-5 まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。 9-12月：教科書の Unit 6-10 まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。
履修上の留意点	大学のコンピュータ ID を必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前に LLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。
成績評価の方法	平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。
教科書	<i>New Headway Upper Intermediate.</i> (Oxford Univ. Press)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L I	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L II	<small>こばやし</small> 小林ゲアリンデ	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	いがらし のぶ 五十嵐 信子	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引ながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	やぶ した こう いち 藪 下 紘 一	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

はじめてドイツ語を習う皆さんに一寸苦しんでもらいます。短い易しい文から始めましょう。

履修上の留意点

できるだけ教室に来てください。出欠をとります。

成績評価の方法

前期・後期の試験で評価します。時々ミニテストもやりますか。

教科書

教科書は4月に決めます。

参考書等

特に参考書はなくていいと思います。辞書については4月の第1回目の講義の時4冊程挙げますので、それを参考にして各自買って下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	やぶ した こう いち 藪 下 紘 一	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

1年生で習った事を元にして、辞書を引ながら読めるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は易しい物をゆっくり、後期は2年生らしい文を読みます。

履修上の留意点

出席は是非して下さい。サボるとわからなくなりますから。

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験+平常点で決定します。平常点も入ります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (ペーペーペー) Presenter Pratiquer Produire』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	出口 ^{てぐち} 雅 ^{まさ} 敏 ^{とし}	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A (選)	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	法A・政治1・2・3・4選	2

- 講義のねらい 基礎的な文法事項をきちんと身につけること。
- 講義の内容・授業スケジュール はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。
- 履修上の留意点 必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。
- 成績評価の方法 3回の筆記試験を行ないます。
- 教科書 佐藤久美子他著『フロレゾン』(白水社) 2,100円 ISBN4-560-06036-3
- 参考書等 最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B (選)	ま が わら たけし 菅 原 猛	法A・政治1・2・3・4選	2

- 講義のねらい 英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
- 講義の内容・授業スケジュール 1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
- 履修上の留意点 教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
- 成績評価の方法 年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
- 教科書 石井洋二郎『新フランス文法要説』(朝日出版社) 2,000円 ISBN4-255-35165-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 II (選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	法A・政治2・3・4選	2

- 講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
- 講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
- 履修上の留意点 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
- 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
- 教科書 プリント配布。
- 参考書等 そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L I	いわさき ひろし 岩 崎 皇	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータ教場のLL機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。これは会話の前提となる能力でもあり、練習を通して、自然な発音ができるようになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの音声教材をメインにして練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、授業態度及び試験結果で判断します。

教科書

楊達他著『聞こえる中国語初級テキスト』（南雲堂） 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L II	おがわ たかし 小 川 隆	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級でいどの会話と聞き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）
※「スリム版」でなく旧版の方を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A (選)	かま や おさむ 釜 屋 修	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

正確な発音を習得し、基本文法のいちばん基礎となるところを重点的に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので欠席なく持続的な学習に心がけてもらうが、授業展開も継続性に留意する。

履修上の留意点

週一回の授業なので、一回の欠席は大きな学習欠落となる。出席に注意せよ。

成績評価の方法

出席状況、各種テストにより総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁『中国語プロムナード』（好文出版）2,400円 CD付

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	みやもと あつこ 宮本厚子	法A・政治1・2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。
履修上の留意点	毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。
教科書	プリント配布。
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	らん めい 蘭 明	法A・政治1・2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社） 2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつもと あつとし 松本丁俊	法A・政治2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール	中国の故事や民話を題材にし、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学ぶ。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。
成績評価の方法	前期と後期のテストを重点とし、普段授業中に、発音のチェックや、作文の練習などを見る。出席点も参考にする。
教科書	陳栄生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 LL I	ナバ口, ホワン J.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。
成績評価の方法	授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。
教科書	Viaje al español テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』
テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A (選)	<small>かめ やま こう いち</small> 亀 山 晃 一	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (選)	ナバロ, ホワン J.	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ(選)	おぎの まきじ 荻野 雅司	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ口頭の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』(同学社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L I	あん とく 安 徳 ニーナ	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰ、Ⅱで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S.KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 L L II	あん とく 安 徳 ニーナ	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	法A・政治1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, Y.	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書	杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)
参考書等	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語ⅠA(選)	ベク 白 賢 美	法A・政治1・2・3・4選	2
朝鮮語ⅠB(選)			

講義のねらい	同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。(IA(選)、IB(選)のどちらか一方のみの履修でもよい)
講義の内容・授業スケジュール	文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭の練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。
履修上の留意点	最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
成績評価の方法	授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
教科書	木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座(初級)』(国書刊行会)
参考書等	野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語Ⅱ(選)	白 賢美 <small>ベク ひょん み</small>	法A・政治2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

木内 明著『基礎から学ぶ韓国語講座(中級)』(国書刊行会)

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (サッカー)	〈秋田浩一〉	243
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈館岡儀秋・森本葵〉	244
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈森本葵〉	245
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義〉	246
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈秋田浩一〉	247
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	248
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (トレーニング)	〈秋田浩一〉	249
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (卓球)	〈川村正義・山口良博〉	250
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (バドミントン)	〈牧野茂〉	251
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (ソフトボール)	〈高橋俊介・村松誠〉	252
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (室内球技)	〈鈴木淳平〉	253
健康・スポーツ実習 [集中授業コース] (トレーニング&太極拳)	〈光永吉輝〉	254
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	255
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (卓球)	〈牧野茂〉	257
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	258
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	259
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	260
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	261
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	261
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈鈴木淳平〉	262
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (卓球)	〈牧野茂〉	263
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	264
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	265
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口淳一〉	266
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三幣晴三〉	267
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈村松誠他〉	268

生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード) (竹田 幸夫 他) …	269
健康・スポーツ論 1 (舘 岡 儀 秋) ……………	270
健康・スポーツ論 1 (竹 田 幸 夫) ……………	271
健康・スポーツ論 2 (大 石 武 士) ……………	272
健康・スポーツ論 2 (村 松 誠) ……………	273
健康・スポーツ論 2 (牧 野 茂) ……………	274

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1 時限 (政治)		2 時限 (法律 - 1)		3 時限 (法律 - 2)		
水曜日	※秋田	サッカー		※川村	室内球技		※森本	ソフトボール
	大石	簡化太極拳		秋田	トレーニング		秋田	トレーニング
	森本	ゴルフ		森本	ソフトボール		館岡	ゴルフ
	川村	室内球技		館岡	ゴルフ		大石	簡化太極拳

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日				
1 時限														
2 時限	長	前期・基礎		大	前期・応用		鈴	牧	前期・応用		牧	前期・応用		
		バドミントン			ニュースポーツ※				卓球			バスケットボール		
	濱	後期・基礎		後期・応用		野		後期・応用		後期・応用		野	バスケットボール	
		バドミントン		ニュースポーツ※				卓球		バスケットボール				
3 時限	長	前期・応用		大	前期・基礎		木	牧	前期・基礎		牧	前期・基礎		
		バドミントン			簡化太極拳※				室内球技			卓球		バスケットボール
	濱	後期・応用		後期・基礎		野		後期・応用		後期・基礎		野	後期・基礎	
		バドミントン		簡化太極拳※				室内球技		卓球			バスケットボール	
4 時限	大	前期・応用		石	前期・基礎		木	鈴	前期・基礎		木	前期・応用		
		簡化太極拳※			室内球技				室内球技			バドミントン		
	後期・応用		後期・基礎		後期・基礎			後期・応用		後期・応用				
	簡化太極拳※		室内球技		室内球技			バドミントン		バドミントン				

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	政治1選	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(とらッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング(グランダー)
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のとらッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	<small>たておか</small> 館岡 <small>よしあき</small> 儀秋・ <small>もりもと</small> 森本 <small>まもる</small> 葵	法A・政治1選	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時 限 目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	もり 森 本 ちと 葵 まちる	法A1選	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルール解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむらまさよし 川村正義	法A・政治1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	あき 秋 田 浩 一	法A1選	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のிரらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法A・政治1選	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまくち よしひろ 川村 正義・山口 良博	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。
- （2）体育館シューズを用意すること。
- （3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- （2）実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- （3）実施場所：玉川体育館
- （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッテイング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：『生涯スポーツ実習』と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の種目を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月17日(日)～21日(木)
(後期)12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合すること。
- (2) 実施時間：10:00～12:00 (昼食・休憩) 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館他
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 集中授業コース(トレーニング&太極拳)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	法A・政治(2年次以降)	2

講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難かしいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | | |
|-----|----|------------------------|
| 1日目 | 午前 | オリエンテーション・体力測定 |
| | 午後 | オリエンテーション・基本動作・第一組(3式) |
| 2日目 | 午前 | カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定 |
| | 午後 | 第一組、第二組(3式) |
| 3日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組(2式) |
| 4日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合 |
| 5日目 | 午前 | 体力測定 |
| | 午後 | 総合(1~11式)、テスト |

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。
尚、太極拳は、最終日に演武テストを行う。

そ の 他

再クラス、集中授業コース実施について

- 実施期間：(前期)7月17日(日)~21日(木)
(後期)12月21日(水)~25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- 実施時間：午前10:00~12:00
午後13:00~15:30
- 実施場所：玉川体育館地下トレーニング場
- 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時 限 目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時 限 目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時 限 目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時 限 目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時 限 目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時 限 目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時 限 目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時 限 目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時 限 目：総合
- 12 時 限 目：総合
- 13 時 限 目：総合
- 14 時 限 目：総合
- 15 時 限 目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すず き じゅん べい 平 鈴 木 淳 平	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1 時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓 球)	まさの 牧 野 しげる 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7 時限目：シングルスゲームの練習
 - 8 時限目：
 - 9 時限目：
 - 10 時限目：
 - 11 時限目：
 - 12 時限目：
 - 13 時限目：
 - 14 時限目：
 - 15 時限目：
- } 総合練習、シングルスゲーム練習
- } 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まきの 牧野 しげる 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生業にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス（1）、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス（2）、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（1）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（2）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いた たい し 大 石 武 士	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (ニュースポーツ)		法A・政治4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時 限 目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時 限 目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時 限 目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時 限 目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時 限 目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時 限 目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時 限 目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時 限 目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時 限 目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時 限 目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時 限 目：総合
- 14 時 限 目：総合
- 15 時 限 目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で手軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		法A・政治4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2)ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き じゅん べい 平 鈴 木 淳 平	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		法A・政治4選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	オオ <small>すず</small> 木 <small>き</small> 淳 <small>じゅん</small> 平 <small>へい</small>	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		法A・政治4選	

講義のねらい

生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： }
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓球)	まさの 牧野 しげる 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			法A・政治4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 野 茂	法A・政治1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		法A・政治2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		法A・政治3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バスケットボール)		法A・政治4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	法A・政治選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	法A・政治選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1 日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）

講義：スイングの基本

2 日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）

講義：マナーとエチケット

3 日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）

講義：ゴルフルール

4 日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）

講義：ゴルフコースとラウンドについて

5 日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
特・4時間（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むら まつ まこと 村 松 誠 他	法A・政治選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回月のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月22日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月5日(月) 実技: 12:50~17:20 打撃練習
講義: 10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月6日(火) 実技: 13:30~16:30 打撃練習
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月7日(水) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月8日(木) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義: 19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月9日(金) 実技: 9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程: 9月5日(月)~9月9日(金)の3泊5日(現地集合解散)
- 場 所: (1) 宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
(2) 練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100
(3) コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311
FAX0195-73-5044
- 定 員: 40名
- 集合解散: 現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
- 受講料: 39,350円(左記金額には、交通費は含まれない。)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間: 5月23日(月)~6月4日(土)
- 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだ ゆきお 竹田 幸夫 他	法A・政治選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月13日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月14日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月15日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月16日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月17日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)～2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成17年5月23日(月)～6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論1(前期)	たておか よしあき 館岡儀秋	法A・政治1選	2

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願望にはかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者・エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：人間と健康（体力と健康）
- 3 時限目：〃（寿命と健康）
- 4 時限目：〃（運動不足症）
- 5 時限目：〃（健康管理法）
- 6 時限目：献血と血液製剤
- 7 時限目：エイズ（エイズの現状と推移）
- 8 時限目：〃（エイズの予防・検査・治療）
- 9 時限目：〃（人権と差別）
- 10 時限目：体力とトレーニング（トレーニングの方法・運動処方）
- 11 時限目：救命救急（一次救命処置）
- 12 時限目：〃（一次救命処置）
- 13 時限目：〃（一次救命処置）
- 14 時限目：〃（応急処置）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 授業時間内に次のことを発表するので注意すること。
- (1) 「小テスト」の期日（1、2回実施する予定）
 - (2) 「レポート」の提出期日（1、2回）

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』
『学生のための性とエイズ』（朝倉書店）
『救命救急』（小学館）

その他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	竹田幸夫	法A・政治1選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限：〃（心と体、ストレス）
- 4 時限：〃（心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限：〃（体力要素の特徴）
- 7 時限：〃（トレーニング方法）
- 8 時限：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限：〃（運動の上達、習熟とは）
- 10時限：〃（運動の発達）
- 11時限：〃（スポーツにおける右と左）
- 12時限：〃（イメージトレーニング）
- 13時限：〃
- 14時限：まとめ
- 15時限：試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけではなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教科書

駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円

参考書等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）760円
- 2) D. チョプラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）
- 3) 白石豊著『スポーツ上達の基礎理論』（自由現代社）1,200円

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法A・政治選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論2(前期)	むら まつ まこと 村 松 誠	法A・政治選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、マスコミに溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかというしっかりした健康観をもつことは、適切な選択をするために大切なことである。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

小テストとその他などを加味して評価する。

教科書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 牧野 茂	法A・政治選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か (1) 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か (2)
- 4 時限目：健康とは何か (3)
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進 (1) 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進 (2) 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康 (1) 運動・栄養・休養 (1)
- 11 時限目：日常生活と健康 (2) 〃・〃・〃 (2)
- 12 時限目：日常生活と健康 (3) 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について (1) インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について (2) 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』(カヅサ出版部) 1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

1 法律学科フレックス A

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックス B の頁を参照してください。(→P.591)

法
律

II. 専門教育科目

(1) 法律学科

法 学 概 論	〈北野かほる、高橋洋城〉	281
〔15以前入学生：法学概論A〕		
公 法 入 門	〈塩入みほも・佐藤多美夫・松村 格〉	282
〔15以前入学生：法学概論B〕		
私 法 入 門	〈河野弘矩、鶴井俊吉〉	283
〔15以前入学生：法学概論B〕		
憲 法	〈日 笠 完 治〉	284
憲 法	〈西 修 修〉	285
民 法 総 則	〈河 野 弘 矩〉	286
刑 法 総 論	〈山 口 邦 夫〉	286
刑 法 総 論	〈松 村 格〉	287
会 社 法	〈荒 木 正 孝〉	288
債 権 総 論	〈小 野 健 太 郎〉	289
物 権 法	〈鶴 井 俊 吉〉	290
行 政 法	〈金 子 昇 平〉	291
〔15以前入学生：行政法総論〕		
刑 法 各 論	〈松 村 格〉	292
裁 判 法	〈五 百 田 俊 治〉	293
国 際 法	〈王 志 安〉	294
有 価 証 券 法	〈島 原 宏 明〉	295
商 法 総 則・商 行 為 法	〈川 口 幸 美〉	295
担 保 物 権 法	〈鶴 井 俊 吉〉	296
相 続 法	〈竹 中 智 香〉	297
保 險・海 商 法	〈山 田 泰 彦〉	298
民 事 訴 訟 法	〈間 瀨 清 史〉	298
刑 事 訴 訟 法	〈松 本 英 俊〉	299
労 働 法	〈藤 本 茂〉	300
社 会 保 障 法	〈原 田 啓 一 郎〉	301
行 政 法 各 論	〈金 子 昇 平〉	301
国 際 紛 争 解 決 法	〈王 志 安〉	302
国 際 私 法	〈笠 原 俊 宏〉	303
新 入 生 演 習		
〈藤本茂・荒木正孝・王志安・大宮隆・金子昇平・川口幸美・佐藤多美夫・竹中智香・鶴井俊吉・西修・山口邦夫・山田泰彦〉		304
比 較 憲 法	〈西 修 修〉	305
法 社 会 学	〈岡 寄 修 修〉	305
日 本 法 制 史	〈茂 野 隆 晴〉	306
西 洋 法 制 史	〈北 野 か ほ る〉	307
政 治 学 原 論	〈大 塚 桂 桂〉	308
政 治 史	〈村 井 良 太〉	309
経 済 原 論	〈浅 野 克 巳〉	310
行 政 学	〈田 丸 大 大〉	311
法 律 時 事 英 語	〈牧 野 和 夫〉	311
刑 事 政 策	〈覚 正 豊 和〉	312

環境	法	〈 休 講 〉	
經濟	法	〈若 林 里砂〉	342
消 費 者	法	〈河 野 弘 矩〉	343
知的財產權	法	〈盛 岡 一 夫〉	344
民事執行・保全	法	〈橋 本 聰〉	344
倒産処理	法	〈木 川 裕一郎〉	345
法律學	學	〈高 橋 洋 城〉	346
財 政 特 殊 講	義	〈工 藤 聰 一〉	347
財 政 學	學	〈里 中 恆 志〉	348
國際關係	論	〈三 船 惠 美〉	349
經濟政	策	〈森 岡 仁〉	349
社會政	策	〈原 田 啓一郎〉	350
社 務 演 習	I	〈中 野 辰 久〉	351
實 務 演 習	II	〈鶴井俊吉・上野雅祥・小林 覚・濱中善彦〉	352
現 演 習	III	〈木 村 美 隆〉	352
演 演 習	論	〈 休 講 〉	
演 演 習	II	〈河 野 弘 矩〉	353
演 演 習	II	〈小 林 弘 人〉	353
演 演 習	II	〈鳥 原 宏 明〉	353
演 演 習	II	〈田 丸 大 〉	354
演 演 習	II	〈早 川 純 貴〉	354

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学概論（前期）	きたの 北野かほる・高橋 たかはし ひろき 洋城	16以降入学生/法A1必	2
法学概論 A（前期）		15以前入学生/法A1必	

講義のねらい

法学部に入ってはじめて法学を学ぶひとに、法学科目履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

- 法のイメージと法学部の講義科目
 - 法とは何か
 - 法学部ではどう学ぶか
- 法の一般的分類
 - 法の分類
 - 法令の種類
- 近代日本法とその社会
 - 国家と社会
 - 近代日本が受け継いだ法
 - 近代法の変容
- 立法の角度からの法
 - 制定法主義とその法源
 - 法の体系性
- 司法の角度からの法
 - 紛争解決の仕組みと機構
 - 紛争の種類と解決の種類
- 法令の解釈
 - 事実の法的再構成
 - 事実への法令のあてはめ

法
律

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門』第3版補訂版（有斐閣）

参考書等

参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公法入門（前期）	塩入みほも・佐藤多美夫	16以降入学生/法A1必	2
法学概論B（前期）	松村 格	15以前入学生/法A1必	

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半（刑法入門）

1. 刑法とはどのような法律か（国家法体系の中での位置づけ）
2. 刑罰について（国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判）
3. 犯罪が成立するための要件（なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利）
4. いわゆる罪刑法定主義について（事後法の禁止と法の適正手続）
5. まとめと質疑応答
6. 試験

後半（行政法入門）

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもないと試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする（計2回）。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参考書等

参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
私法入門(前期)	こうの 河野 ひろのり ひろのり つるい つるい しゅんきち しゅんきち	16以降入学生/法A1必	2
法学概論B(前期)	河野 弘矩・鶴井 俊吉	15以前入学生/法A1必	

講義のねらい

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味が持てるように講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
 - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理
4. 私法の効力
 - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参考書等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	ひかさかん 日笠完治	法A1必	4

講義のねらい

憲法学を体系的に理解できるようにする。ただ、憲法学のすべての領域に触れることはできないため、基礎的項目や重要論点を取り上げ講義する。受講者が、講義を聴講するのみならず予復習を行い、憲法学的に思考する能力を修得することを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 第1回イントロダクション、第2～7回憲法原理(国民主権、法の支配、権力分立、象徴天皇制、平和主義)、第8～11回統治機構論(国会、内閣、裁判所)、第12回財政と地方分権、第13回憲法改正などについて学説の検討を交えながら講述する。

(後期) 第1～4回基本的人権の理論(人権の歴史と体系、人権享有主体性、人権の効力、公共の福祉と人権の限界)、第5回人身の自由、第6～9回精神的自由権、第10回経済的自由権、第11回国務請求権、第12回社会権、第13回参政権などについて判例解説を交えながら講述する。

履修上の留意点

授業後に質問を受け付けたい。積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった』改訂版(法学書院)2003年 2,600円

参考書等

法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デリー六法』などの最新版が必要。判例集として、『憲法判例百選I・II [第4版]』『憲法判例集』などを参考に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	にし西 <small>にし</small> 修 <small>おきむ</small>	法A1必	4

講義のねらい

何年前かに発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- (1) 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講生諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- (2) あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。キーポイントと参考文献が示してあります。KOMSYを見るようにしてください。
- (3) 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- (4) 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。
- (5) 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、パワーポイントなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。

講義の内容・授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 日本国憲法の制定過程 | (9) 国会の組織と機能 |
| (2) 憲法の改正と限界 | (10) 経済的自由権 |
| (3) 国民主権と象徴天皇制 | (11) 内閣の機能、議院内閣制 |
| (4) 基本的人権の歴史と意義 | (12) 社会権 |
| (5) 日本国憲法と平和主義 | (13) 司法の構造と権限 |
| (6) 法の下での平等 | (14) 身体的自由 |
| (7) 政治改革と憲法問題 | (15) 憲法の保障 |
| (8) 精神的自由権 | (16) 財政・地方自治 |

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。

前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%。

要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

教科書

西 修編著『エレメンタリ憲法』（成文堂）2001年 2,700円＋税

参考書等

- (1) 西 修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税
- (2) 西 修著『日本国憲法がおどろくほどよくわかる本』（ワニブックス）2002年 1,000円
ほかに配布またはKOMSYの授業細目を参照すること

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法総則 (後期)	河野弘矩	法A1必	4

法律

講義のねらい

民法は、実質的意義において、司法関係を規律する原則的・一般的な法を指し、形式的意義においては民法典を指している。この民法典は、市民生活のうち財産領域を「物権」と「債権」とに分け、それに家族関係の領域の「親族」と「相続」に関する規定を加え、それらの通則として民法の最初に「総則」規定を置くといった5編から構成されている。民法典の編纂にあたって、最初に抽象的命題を置き、次に具体的な法命題へと下降するといった手法を採用したため、民法の最初の編である民法総則は、抽象的で、理解しにくい規定が多く、民法典のなかでは比較的難解な編であると言われている。本講義では、可能な限り具体的事例を通して、抽象的理論をより容易にし、受講者の知的好奇心・学問的興味を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

民法総則は、「権利」を中心に、まず「権利の主体」、「権利の客体」、「権利の変動」といった順序による体系的な構成を採用している。本講は、その体系に従い進行する。
毎回講義終了後、その日の講義内容について質問を受けるほか、「民法総則」の講義の最終日に質問のみを受け付ける日を予定している。

履修上の留意点

講義では、民法の条文は当然のこと、それ以外の法律の条文をも参照する機会が多く、そのため必ず六法を持参して受講してください。授業を休まずに、継続して受講されるように努めてください。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。出席点を加味するか否かについては今後検討したい。

教科書

河野弘矩『民法総則講義』（八千代出版）

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑法総論 (後期)	山口邦夫	法A1必	4

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生としての自覚をもち、講義や読書を通じて、みづから積極的に学ぶ態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

次の2期に分けて講義をする。I期（9・10月）、II期（11・12月）。
I期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。
刑法における刑罰と罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。
II期。ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。
犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の争いを考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。
質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果と、学年末試験の成績とを総合して評価し、単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、そのつど参考書を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑法総論 (後期)	まつむら いたる 松村格	法A1必	4

講義のねらい

刑法総論は、犯罪論・刑罰論・罪数論から成りますが、時間数の都合上、犯罪論に絞って講義します。刑法ないし刑法学を支えている基本原理（罪刑法定主義・責任主義・謙抑主義）および刑法の使命（人権保障・法益保護・秩序維持）については、公法入門の刑法部門で学習したので、その知識を前提として講義を進めます。しかし、刑法の基本原理と使命を理解しないと刑法総論を理解することは不可能なので、今一度、充分に復習して講義に臨んでほしい。その上で、構成要件論、違法論・責任論・未遂論・共犯論について講義します。通説・判例を中心にしながらも、私の考え方も主張します。学生諸君は、どの見解を採用してもかまわないが、すべての問題点について一貫した論理を展開するように学習してください。そして、自分の考えで犯罪論上の諸問題を解決することができるようになってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

構成要件論・違法論・責任論・未遂論・共犯論の順序で講義します。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、厳密な理論構成が必要です。そのためには、緻密な論理の展開が必要です。その点が、私法と異なります。したがって、授業に欠席すると、論理の一貫性を習得することができず、結局、刑法を理解することができなくなりますので、欠席しないようにしてください。また、教科書や参考書を読むだけでは、「なぜか」ということが理解できません。「なぜ」有罪になるのか、「なぜ」無罪になるのか、その理由づけがなければ意味がありません。その点について全てを教科書や参考書に記述することは不可能です。黒板に書いて補充説明しますが、黒板に書いたことだけをノートに写しても意味はありません。講義中の先生の話をよく聞いて自分でノートをとる必要があります。そして、納得するまで教科書を何度も読んでください。また、六法全書は、語学における辞書と同じですから、授業には必需書です。判例解説書を参考にすることも必要です。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをして評価に算入します。年度末試験は論文式です。1度しかありませんので、日々の予習・復習が大切です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要ですので、作文力を養ってください。

教科書

松村格著『日本刑法総論教科書』（八千代出版）8月出版予定 価格未定

参考書等

指定図書・松村他著『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円
 齊藤誠二編『演習ノート刑法総論』（法学書院）
 参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ・総論〔第五版〕』（有斐閣）2,105円

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
会社法	あらきまさたか 荒木正孝	16以降入学生/法A2選必	4
		15以前入学生/法A2必	

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

具体的には、(1) 会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、(2) 会社の設立においては、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、(3) 株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。(4) 会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役および委員会等設置会社などについて各種の問題点を検討する。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法=財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13、14年、15年および16年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成17年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参考書等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 総 論	小 野 健 太 郎 <small>おののけんたろう</small>	法 A 2 選 必	4

講義のねらい

債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法で、財貨の移動関係を定めた法です。この債権法は、民法の条文構成からみると、第三編「債権論」がそれに該り、399条から724条までを対象としています。そして、講学上、債権編第一章総則の部分を「債権法総論」といい、そこでは、債権の目的、効力、多数当事者の債権関係、債権譲渡、債権の消滅などが規定されています（399条～520条）。また、債権法第二章以降の部分を「債権各論」といい、契約、事務管理、不当利得、不法行為などが規定されており、これらは、債権発生原因と解されています。債権総論は、民法典が、いわゆるパンデクテン方式により規定されているため、抽象度が高くわかりにくいといわれています。そこで、本講では、講義のなかで契約等の例示を多く登場させ、極力具体的な理論を説明するようにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期 (1)～(5) 後期 (6)～(8))
- (1) 民法の全体像
 - (2) 債権の意義及びその性質
 - (3) 債権の目的
 - (4) 債権の種類 (a 特定債権 b 種類債権 c 金銭債権)
 - (5) 債権の効力 (a 強制履行 b 債務不履行 c 第三者による債権侵害 d 責任財産の保全)
 - (6) 多数当事者の債権関係 (a 連帯債務 b 保証債務)
 - (7) 債権関係の移転 (a 債権譲渡 b 債務の引受)
 - (8) 債権の消滅 (a 弁済 b 供託 c 相殺)

法
律

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。六法持参すること。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

『民法 (5) 債権総論』(有斐閣双書) を使用する。

参考書等

授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物 権 法	つる 鶴 井 俊 吉	法 A 2 選 必	4

法
律

講義のねらい	<p>物権法の分野について基本的な理解ができるように、できるだけ各制度についての具体的事例をあげて解説する。そして個々の制度や条文が、現実社会で起きるどのような場合を想定して設けられたものであるかを理解できるように講義を進めたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>物権法は、民法典の第二編「物権」のうち、第1章「総則」、第2章「占有権」、第3章「所有権」、第4章「地上権」、第5章「永小作権」、第6章「地役権」までを対象とする。第7章以降は、3年次以降の「担保物権法」の領域である。</p> <p>講義スケジュールとしては、ほぼこの順序で解説するが、物権法において、重要であって複雑な問題がある。不動産売買をめぐるトラブルなどにみられるように、契約による物権変動において、物権の移転はいつ生ずるのか、また物権変動に関して、第三者が生じたとき、どのように解決されているか、理論的にもわかりづらい領域であるため、多くの時間を割くつもりである。</p>
履修上の留意点	<p>物権法は、解釈学上においても体系的理解が困難な分野であるといわれている。それは立法の沿革に基づいている。現行民法がドイツ民法を継受してできあがっているにもかかわらず、物権法の主要な部分については、フランス民法の影響を強く受けているからである。それゆえに講義に出席しないとなかなか興味を持てないし、理解しづらい分野であるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。</p> <p>なお、平成16年に「不動産登記法」が改正され、さらに「民法現代語化案」が成立する予定であるため、必ず平成17年度版の六法を持って講義に出席してください。</p>
成績評価の方法	<p>年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価する。</p>
教科書	<p>遠藤・川井他編『民法（2）物権』（有斐閣双書）を予定している。</p>
参考書等	<p>講義の最初に指示する。</p>

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	かねこしょうへい 金子昇平	16以降入学生/法A2選必	4
行政法総論		15以前入学生/法A2選必	

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げる事が出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に掲示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
 - (1) 法による行政の原理
 - (2) 行政法の意義と範囲
 - (3) 行政法の法形式
 - (4) 行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
 - (1) 行政主体と行政客体
 - (2) 国の行政組織
 - (3) 地方公共団体の行政組織
 - (4) 行政機関・公務員
 - (5) 行政情報と法
- 3) 行政手段法
 - (1) 行政立法
 - (2) 自治法
 - (3) 行政計画
 - (4) 行政行為
 - (5) 行政契約
 - (6) 行政指導
 - (7) 行政調査
 - (8) 行政強制
 - (9) 行政罰
- 4) 行政手続の法

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ、Ⅱ』(第四版)(有斐閣)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 各 論	まつむらいたる 松村格	16以降入学生/法A 2選	4
		15以前入学生/法A 2選必	

講義のねらい

刑法各論は、刑法典各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性をも見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール

刑法典の各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点に注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味ですので、六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論の単位を取得していなければ履修する意味がありません。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをして評価に算入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が少人数の場合には、出欠をとります。

教 科 書

松村格著『日本刑法各論教科書』（八千代出版）

参 考 書 等

指定図書・松村他著『刑法各論』（ミネルヴァ書房）平成17年夏出版予定
参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ・各論〔第五版〕』（有斐閣）2,200円
曾根・日高編『基本判例5 刑法各論』（法学書院）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
裁 判 法	いほた とし ぼる 五百田 俊 治	16以降入学生/法A 2選 15以前入学生/法A 2選必	4

講義のねらい

裁判手続上の基本原則を講義しつつ、弁護士視点から、裁判（特に民事裁判）の実体について説明します（例えば、証拠としての書証の重要性、判決と和解の違い、最高裁判所の意義等）

講義の内容・授業スケジュール

(1) 民事手続の流れ (2) 請求・主張・立証の各段階における基本概念 (3) 口頭弁護の諸原則とその実態 (4) 口頭弁論における当事者の欠席 (5) 貸金返還請求訴訟における当事者の主張・立証 (6) 建物明渡訴訟の実体 (7) 弁論主義と職権探知主義 (8) 証拠の概念 (9) 書証の重要性 (10) 立証責任の分配 (11) 経験則と自由心証主義 (12) 上告審における審理の特色 (13) 刑事手続の流れ (14) 刑事手続における証拠法の特色 (15) 無罪事例の検討

履修上の留意点

できるだけ具体的に裁判の流れや特色を講義したいと考えています。

成績評価の方法

学年末試験の結果のみで判定します。

教科書

特にありません。適宜レジメを配布します。

参考書等

特にありません。適宜レジメを配布します。

その他

講義方式で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	おうしあん 王 志 安	16以降入学生/法A 2選 15以前入学生/法A 2選必	4

法
律

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002、2,800円

参考書等

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、power point を利用した講義を行います。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科目名	担当者名	配当学科	単位
有価証券法	しまはらひろあき 島原宏明	15以前入学生/法A2選必	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形や小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくい。なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法総則・商行為法	かわぐちゆきみ 川口幸美	16以降入学生/法A2選 15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であると言えるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商取引を中心に扱うものとする。また、商法の対象には消費者取引も含まれるから、消費者保護法と商法の関係についても概観する。

講義の内容・授業スケジュール

①-⑥は商法総則、⑦-⑨は商取引法、⑩は消費者保護法であり、各テーマを1~2回に分けて講義を行う。

- | | |
|----------|---------------------|
| ①商法の意義 | ②商法の適用（商行為の概念と商人概念） |
| ③商号と営業譲渡 | ④商業登記の効力 |
| ⑤商業使用人 | ⑥商号の保護 |
| ⑦商取引法の意義 | ⑧ファイナンス・リース |
| ⑨フランチャイズ | ⑩消費者取引 |
| ⑪その他 | |

履修上の留意点

教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目を同時履修するか、履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。

教科書

大塚秀夫・川島いずみ・中東正文共著
有斐閣アルマ「商法総則・商行為法」

参考書等

鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
別冊ジュリスト 商法総則・商行為法判例百選（第4版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
担 保 物 権 法	鶴 井 俊 吉 <small>つる い しゅん きち</small>	15以前入学生/法A3・4選必	4

法
律

講義のねらい

この講義では、民法典の第二編「物権」のうちで、留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等が対象となる。担保物権制度は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法領域で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、著しく変動している。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが土地を買い、建物を建てる、あるいは自動車を買うという場合に、多くは金融機関から融資を受けることになるが、金融機関では何らかの担保を要求してくる。この場合に、抵当権や質権といった担保物権を金融機関に設定する。このように小は個人の資金調達のため、あるいは大は、企業の活動資金獲得のために担保は重要な役割を担っている。担保物権法のもつ経済的意義は極めて重要である。

しかし、学生にとって担保物権法は、民法の中で最も難解なところと感じられ、また比較的なじめない領域だと思われる。それは、多数の関係当事者が複雑に絡み合い、また解釈上でも技術的性格が強いことに原因がある。

そこで講義では、担保物権法の基礎的な考え方を理解できるように、できるだけ判例等の具体例をとりあげ、図解してわかりやすいように心掛ける予定でいる。

履修上の留意点

学期の初めには、担保物権法の主要な部分についての概略の説明を予定している。それによって担保制度の全体像がおおよそ把握できるであろう。それゆえ、最初から講義に出席しないと理解できなく、なかなか興味が持てなくなるので、毎時限の出席と予習を強く希望する。

なお、平成16年に「不動産登記法」が改正され、さらに「民法現代語化案」が成立する予定であるため、必ず平成17年度版の六法をもって講義に出席してください。

成績評価の方法

年度末の定期試験の結果と講義出席の状況を考慮して総合的に評価する。

教科書

遠藤・川井他編『民法（3）担保物権』（有斐閣双書）を予定している。

参考書等

講義の最初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	竹中智香 <small>たけなかちか</small>	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補補訂版]』（有斐閣）1,600円
有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険・海商法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

私達の生活は、いろいろな危険に満ちています。危険が現実になったとき、損害が発生するのが通常です。こうした危険にどのように対処して克服するか。これは、古くから私たちを悩ませてきた問題ですが、保険はその中でもっとも洗練されたシステムとして広く社会に定着しています。この講義では、保険というシステムに法の側面から迫ります。

他方、四囲を海に囲まれたわが国では、海外との経済活動は決定的に大きな比重を占めています。わが国の輸出入の99パーセントは、外航船によって担われており、海上企業がわが国の経済活動に果たす役割は決定的なものがあります。海商法は、船舶を手段とする海上企業活動の法であり、この講義では、海上企業のありかたとその活動内容を法制度の側面から概観します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険法を中心にします。1 保険総論（保険とは何か）、2 保険法総論（損害保険と生命保険に共通する制度の概観）、3 損害保険総論（損害保険に特有の制度）、4 損害保険各論（火災保険）、5 損害保険各論（責任保険と自動車保険）、を見る予定です。

後期は、海商法を中心にします。1 海上企業の意義と発展、2 海上企業組織、3 海上企業の責任と責任制限、4 海上物品運送契約の意義と種類、5 海上企業の契約責任を中心にします。

履修上の留意点

六法は必ず持参して講義に臨んでください。なお、言うまでもないことですが、授業中の私語は厳禁です。毎回、出席を取る予定です。

成績評価の方法

期末試験の成績評価により、評価します。なお、その際、出席状況も考慮しますが、一度も欠席がなくても、試験の結果が悪い場合には、不可となります。

教科書

山野・山田編著「現代保険・海商法30講（第6版）」中央経済社を使用します。

参考書等

平出・田村編著「現代法講義保険法・海商法（第2版）」青林書院

その他

授業スケジュールに挙げた項目は、各項目の重要度に応じて、1回から4回の講義回数を予定しています。講義回数としては、保険法が若干多くなるかと思えます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事訴訟法	ま ぶち きよ し 間 渕 清 史	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民訴手続の全体像と民訴理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 民事紛争の解決制度、(2) 民事訴訟制度の現代的課題、(3) 訴え、(4) 裁判所、(5) 当事者、(6) 第三者による訴訟追行、(7) 本案と訴訟要件、(8) 当事者と裁判所の役割、(9) 口頭弁論の諸原則、(10) 口頭弁論の準備、(11) 証明と証拠、(12) 証明責任、(13) 当事者の行為による訴訟の終了、(14) 終局判決とその効力、(15) 複数請求、(16) 共同訴訟、(17) 訴訟参加、(18) 当事者の変動、(19) 上訴・再審、(20) 簡略な手続

履修上の留意点

問答方式による双方向授業を行います。受講者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席して下さい。

成績評価の方法

日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』（悠々社）2005年予定。
小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）2001年。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
刑事訴訟法	まつもと ひでとし 松本英俊	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理 (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
 (5・6) 任意捜査と強制捜査 (7・8) 証拠の収集 (9・10) 逮捕・勾留
 (11・12) 被疑者取調べ (13) 被疑者の防衛

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度 (16・17・18) 訴因を巡る諸問題 (19・20) 公判手続
 (21) 証拠の基本原則 (22) 排除法則 (23) 自白法則 (24・25) 伝聞法則
 (26) 上訴・再審

法
律

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。口ごもるから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

白取祐司『刑事訴訟法（第3版）』（日本評論社）3,700円

参考書等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

その他

授業は講義形式で行う

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本的雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

毎時間出席。授業のマナーは守ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験(論述式)がメインで、出席、レポートなどとともに総合的に評価して決めます。追・再試験は実施します。

教 科 書

教科書は、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)、労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法(菅野和夫著・弘文堂)がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参 考 書 等

労働判例百選第7版(別冊ジュリスト)、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものがが必要です。第1回目の授業で紹介します。

そ の 他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保険法	原田啓一郎	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。
 社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

法
律

履修上の留意点

社会保障の法政策論などは、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
 六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	金子昇平	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が統出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。
 講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。
- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
 - (2) 行政上の苦情処理
 - (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
 - (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう 王 志 安	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業はPower Pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求められることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 私 法	かさ ほう とし ひろ 笠 原 俊 宏	15以前入学生/法A3・4選必	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分り易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月、6月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月、11月）
3. 国際財産法（11月、12月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

笠原俊宏著『国際家族法要説（新訂補正版）』（高文堂出版社）を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
新 入 生 演 習	藤本 茂・山口 邦夫 川口 幸美・鶴井 俊吉 佐藤多美夫・金子 昇平 竹中 智香・荒木 正孝 大宮 隆・西 修 王 志安・山田 泰彦	16以降入学生/法A1選	2

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、原則として一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していったと欲しいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。国民の休日などの関係で、次回授業日がずれることがあります。毎回出席して、次回授業日を確認してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし ^{おむね} 西 修	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといふ点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは(研究の意義、比較の対象、方法、限界など)(2) 主要諸国の憲法(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など)の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法(韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏)の概要、(4) 項目別の比較(平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など)。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するか、KOMSYに詳細を記載するので、よく読んでおくこと
 (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと (3) 私語は絶対に慎むこと
 (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- (1) 出席・レポート 30点 (2) 前期試験 30点 (3) 後期試験 40点。

教 科 書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参 考 書 等

- (1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』(アスキー) 2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
 (2) アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』(成文堂) 1994年
 (3) 西修著『憲法体系類型的研究』(成文堂) 1997年

そ の 他

授業中に試験をする可能性があるがあるので、注意すること。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 社 会 学	おか ^{ごき} 岡 ^{おさむ} 寄 修	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

法社会学は、自然科学の領域で成功を収めた近代科学の手法を基礎に、19世紀には心理学、社会学などの個別科学が次々と成立する中で、解釈法学とは異なる新たな法律学を目指して誕生した学問である。講義では、学問の変遷や知識の歴史を振り返り、法社会学誕生に到る経緯を辿る。次いで、今日の学問の主流を成す科学的思考と、今日の社会のモデルを成す市民社会との間には、知識と社会における個人主義とデモクラシーを成し遂げた点で、重要な関連性があることを論じ、この観点から今日の日本の分析も試みる。後期に法解釈論を採り上げる場面では、20世紀初めのアメリカにおいて、市場経済と契約自由の堅持を求める自由放任経済陣営と、それを修正しより平等な社会の実現を求めた革新主義陣営との価値の対立を視野に入れ、法解釈とは何かを論じる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：知識の歴史とその展開。法解釈学の伝統手法。科学と市民社会に共通する個人主義とデモクラシー。エールリッヒの唱えた新たな法学。日本の社会分析。
 後期：20世紀初めアメリカ産業社会の到来。市場経済論とその修正要求。双方の価値の対立を背景とした法解釈論争。ホームズ、パウンド、デューイのプラグマティズム法学。それを受け継いだリアリズム法学。

履修上の留意点

法解釈学への関心の他に、知識論や歴史、日本社会の構造などにまで、多くの方面に幅広い関心を持ってほしい。

成績評価の方法

夏休み中の課題とするレポートと、学年末の論述試験とを合計し、成績を決める。

教 科 書

講義内容を一冊でカバーできる書物はないので、教科書は指定しない。その代わりに、講義の際には、数多くの文献引用をしたプリントを配布し、それを用いて講義を進める。

参 考 書 等

参考書としては、講義中にも紹介するが、ここでは碧海純一『法と社会：新しい法学入門』(中公新書) No. 125 1967年を挙げておく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本法制史	しげの たか はる 茂野隆晴	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことにも配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。
年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになっていけばと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
 - II 基礎法学のなかの法制史
 - III 日本法制史の時代区分
 - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族法時代）
- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化
- 第2章 中古（律令法時代）
- (1) 総説 (2) 律令法
- 第3章 中世（武家法時代前期）
- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文
- 第4章 近世（武家法時代後期）
- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令
- 終りに 『家』制度と現代の法意識

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋法制史	きたの 北野かほる	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

法
律

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学原論	おおつか 大塚 かつら 桂	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが、政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

(1) 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

(2) 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

(3) イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

(1) 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

(2) 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

講義の内容・授業スケジュール

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）を参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 史	むら い りょう た 村 井 良 太	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

政治は広く私達の生活に関係しており、また私達は主に選挙を通じて政治を形作っていく立場にもあります。したがって政治を知ることが社会人の大事なたしなみといえます。本講義は、法律学科の1・2年生を対象としていますので、社会人の素養としての活きた政治史を心がけ、政治史上の基本的な知識を修めるとともに、歴史的な分析を通じて現在への政治的理解を深めることを目的としています。

本年度の「政治史」では、第二次世界大戦の戦後史、中でも戦後日本の形成期にあたる敗戦から高度成長期を中心に講義します。世界はどのように変化し、日本は何を選択してきたのでしょうか。戦後も六十年を迎えようという今日、日本政治におけるいわば「今」の誕生を追います。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は、以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

前期：（1）日本政治の戦前と戦後 （2）敗戦と占領 （3）経済復興、講和・独立
後期：（4）「五五年体制」と政党政治 （5）高度成長後の日本 （6）総括—日本の戦後史

履修上の留意点

履修する学生に特別な知識などは求めませんが、講義への積極的な参加と、それを支える熱意と知的好奇心の豊かな学生を歓迎します。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査と中間レポート、学年末試験によって評価します。

教科書

福永文夫『戦後日本の再生』（丸善）2,300円＋税。

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 - 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 - 2. 所得はどのようにして決まるのか
 - 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 - 4. IS-LM分析と財政金融政策
 - 5. 経済の変動と成長
 - 6. 賃金・物価・インフレーション
 - 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 - 1. 市場と価格メカニズム
 - 2. 消費者行動の理論
 - 3. 企業行動の理論
 - 4. 不完全市場とは何か
 - 5. 市場の失敗
 - 6. 不完全情報の経済学
 - 7. リスクと不確実性
 - 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミクス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政学	田丸大	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体(地方)レベルでは、市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている(スケジュールなど詳細は開講後に知らせる)。
1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革 など。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、テストは全範囲から満遍なく出題するので、出席していない者が単位を獲得するのは著しく困難である。

成績評価の方法

学期末のテストおよび学年末のテスト(ともに持ち込み不可)で評価する。テストを欠席した場合でも、レポート等の提出は一切認めない。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』(放送大学教育振興会)2000年 本体2,000円
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房) 価格未定

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
法律時事英語	牧野和夫	法A・法B1・2選	4

講義のねらい

国際取引やビジネスの場で実際に使用されている法律英語のキーワードを分かり易く解説することにより「法律英語」の実際を学習することをねらいとしています。社会に出てからも直ちに役立つように、実践的、実務的な内容で、具体例を挙げつつ講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の順序で進める予定です。
- (1) 英米法の考え方
 - (2) 英文契約の基礎
 - (3) 国際ビジネスにおける法律英語キーワード
 - (4) インターネット上の取引におけるキーワード

履修上の留意点

講義を中心に進めますので、出来る限り講義へ出席することを要望します。

成績評価の方法

学年末筆記試験1回(論文式。但し、教科書・ノート持込み可とする)

教科書

牧野和夫著『法律英語入門』(プロスパー企画)2,800円+税

参考書等

河村實治他著『国際法務グローバル・スタンダード17ヶ条』(プロスパー企画)4,300円(税別)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	かく しやう とよ かず 覚 正 豊 和	法A・法B 2選	4

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 回数 授業の内容
- 第1回 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題
刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。
- 第2回 犯罪学の歴史と展開
その起源から近代学説までを学ぶ。
- 第3回 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。
- 第4回 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。
- 第5回 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。
- 第6回 犯罪の原因 (1)
身体的・生理的要因について学ぶ。
- 第7回 犯罪の原因 (2)
個人環境的要因について学ぶ。
- 第8回 犯罪の原因 (3)
社会環境的要因について学ぶ。
- 第9回 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。
- 第10回 死刑
憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。
- 第11回 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。
- 第12回 財産刑
罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。
- 第13回 保安処分
意義、種類、要件などについて学ぶ。
- 第14回 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。
- 第15回 定期試験 (予定)
- 第16回 犯罪者の処遇
意義、原則、動向について学ぶ。
- 第17回 犯罪者の刑事司法政策 (1) 警察
微罪処分、ダイヴェーションなどについて学ぶ。
- 第18回 犯罪者の刑事司法政策 (2) 検察
起訴猶予などについて学ぶ。
- 第19回 犯罪者の刑事司法政策 (3) 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。
- 第20回 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。
- 第21回 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。
- 第22回 犯罪の予防
意義、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。
- 第23回 更生保護
意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度

- 恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策
少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策
薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ
討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点

初回の授業において指示する。

成績評価の方法

定期試験および平常点

教科書

齊藤静敬著『刑事政策』（創成社）

参考書等

授業において指示する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	高橋洋城 <small>たか 橋 洋 城 はし ひろ き</small>	法A・法B 2選	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思想を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

法律

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アキナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
債権各論	あおのひろゆき 青野博之	法A・法B 2選	4

講義のねらい

債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

法
律

講義の内容・
授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）
 契約の解除
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、賃貸借）
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）
 その他の契約
 事務管理
 不当利得
 不法行為の要件
 不法行為の効果
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教科書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論（第2版）』（法律文化社）2003年 2,700円
 教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等

講義に際して紹介する。

その他

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北 野 かほる	法A・法B 2選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏法	うえい たくひさ 上井長久	法A・法B2選	4

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわれるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

I. 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）

1. 人権宣言と自由の確立

- (1) 人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢 (2) 人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の原理(国民主権、権力分立)
(3) 公的自由と私的自由

2. 法典編纂とその後の私法の変遷

- (1) 法典化の意義・目的 (2) ナポレオンの5法典と王令・中間法
(3) 法典編纂の経緯と問題点 (4) 近現代における私法の変遷

3. 判例の効力

- (1) 判決の構造と判例 (2) 判例観の変遷(古法、中間法) (3) 判決の既判力、判例の拘束力と創造力 (4) 法律の解釈と法学の法律学化(注釈学派、科学学派)

II. 私法の歴史……（後期）

1. フランク王国の法

- (1) 法源(法の属人性) (2) 社会経済制度一人の身分、土地(個人、共同)所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産(相続、贈与、遺贈)、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 (3) 訴訟制度

2. 高期中世(制限王政期)の法

- (1) 法源(法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法) (2) 社会経済制度一階級制、封建的土地所有(分割所有権)と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度(教会婚、自由処分と家族遺留分、夫婦財産共有制) (3) 都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約

3. 絶対君主制(旧体制)の法

- (1) 法源(慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令) (2) 社会経済制度一階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

履修上の留意点

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえます。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

教科書

上井長久著プリント版 Introduction au droit prive 及び Histoire du droit prive (最初の講義の時に配付する予定)

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫=菅野一彦訳『フランス法制史』(白水社文庫クセジュ)
山口俊夫『概説フランス法 上』(東大出版会)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
独 法	やまぐちくに お 山 口 邦 夫	法A・法B 2選	4

講義のねらい

外国法の種類としてドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割が大きかったので、その点を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けたドイツの法律を中心とする。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

一年を次の4期に分けて講義をする。
 I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。
 I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特に Kaiser と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。
 II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。
 III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。
 IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

法
律

履修上の留意点

当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不相当と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法

毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

参考書等

Gerd Kleinheyer/Jan Schroder, Deutsche und Europäische Juristen aus neun Jahrhunderten. 4. Aufl. 1996. (初版の和訳あり)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	おおみや たかし 大 宮 隆	法A 2選	4

講義の内容・授業スケジュール

本講は、3年次から開講されている演習のための基礎知識を修得することを目的とする。「婚姻及び離婚制度の改正問題」を通して、文献・資料の検索、発表の方法を指導する。よって、当初は私が法律雑誌や判例集について解説し、その後、各人の関心に沿ったテーマを選んで勉強し、報告、ディスカッションするという形をとる。

履修上の留意点

予習すること。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	いまおま 今尾真	法A2選	4

講義のねらい

具体的事例（判例・教室説例）を素材として、民法の知識および経験則を総動員して、紛争を解決する際の法的なものの考え方（法的思考法）を身につけ、その考え方を実際に紛争に当てはめ妥当な結論を導く（法解釈学の技術的訓練）という能力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

本演習は、これから法律学、特に民法を本格的に学習するための基礎学力を習得することを目的とする。具体的には、民法総則の法律問題を素材として、民法の考え方、文献の読み方、討論の仕方、文章の書き方の訓練を行う。参加者は、教科書の指定されたテーマに関する諸文献を検索・熟読すること（読む）、法的争点を抽出してこれをめぐる判例・学説の解決策の当否を自分の頭で考えること（考える）、自分の考えを明快に展開して他人と討論できること（論ずる）等が要求される。また、随時、重要で基本的な問題について、レポート作成（書く）を義務づけ、その一部のことを講評して、法律の文章・論文の書き方をもあわせて指導する。

成績評価の方法

出席点・レポート・演習での発言内容等を総合評価

教科書

川井健・鎌田薫・平野裕之編『新判例マニュアル民法I〔総則〕』（三省堂）2000年

参考書等

- 星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I 総則・物権〔第五版〕』（有斐閣）別冊ジュリスト159号2001年
- 加藤一郎・米倉明編『民法の争点I（総則・物権・親族・相続）』（有斐閣）ジュリスト増刊1985年

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	佐藤多美夫	法A2選	4

法
律

講義のねらい

このゼミは刑法における基本的な問題を検討し、法的知識を修得するとともに法的な思考を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

刑法総論講義で修得した犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任の基本的な問題を扱うが、以下のような諸問題も対象としたい。例えば、少年犯罪に関する問題、ハイテク犯罪に関する問題、生命に関する問題、犯罪被害者に関する問題などを予定している。

- 1回 セミ員紹介、レポート・小論文作成について、設問出題
- 2回 グループ決定・グループの研究テーマ決定、レポート・小論文作成について、レポート提出
- 3回 設問解説、レポート・小論文作成について、
- 4回 グループ研究
- 5回 グループ研究
- 6回 グループ研究
- 7回 グループ研究、全グループの研究報告書を提出
- 8回 グループ研究発表
- 9回 グループ研究発表
- 10回 グループ研究発表
- 11回 グループ研究発表、個人研究テーマ提出
- 12回 グループ研究発表
- 13回 グループ研究発表、前期のまとめ
- 後期 個人研究報告を中心に行う

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは、受講者数にもよるが個人およびグループによる研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加できるようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。また、図書館での資料収集の仕方、報告書の書き方等についてもアドバイスをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	原口伸夫	法A2選	4

講義のねらい

この基礎演習は、刑法・犯罪論の基礎を理解するとともに、法律を学習する上で必要不可欠となる基本書・参考文献の探し方・利用の仕方、判例の調べ方・読み方、レポート・論文の作成方法等の習得を目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

まず、刑法総論の重要な解釈問題(たとえば、因果関係、正当防衛、錯誤、共謀共同正犯等)を題材としてテーマを決め、グループ(2～3人)で報告し、議論する。次いで、刑事法に関して各自興味のあるテーマを決め、個別に報告し、皆で議論する。

履修上の留意点

報告者はもとより、報告者以外の者も主体的に参加し議論することによって、本演習での目的である学習方法等を習得し、また、問題点やその背景事情について探り・考える力や、それを整理し・筋道立てて説明する力をしっかりと身につけ、今後の専門ゼミ等においてより深く研究する基礎を固めてもらいたい。

成績評価の方法

報告・出席等の平常点で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

法律

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	池田実	法A2選	4

講義のねらい

文献・判例の調べ方、レポート・論文作成のルールなど、法学研究の方法を習得するとともに、3年次からの演習に備え、憲法に関するさまざまな問題への関心を高めることを目的としています。前期は、教科書を講読しながら、関連法令や学説・判例にも広く接し、日本国憲法の基礎的理解を深めることに重点を置きます。後期は、前期から引き続き内容に加え、担当教員の与える課題や学生から提起された問題について、全員が調べ、まとめ、報告し、討論することを通じて、憲法に対する多角的な視点と広い問題関心を育てていきます。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] (1)～(4) 憲法の入門的講義、法学研究の方法、文献・判例の調べ方(図書館ガイダンス)
 (5)～(13) 日本国憲法に定める統治機構に関する演習
 [後期] (14)～(20) 日本国憲法に定める基本的人権に関する演習
 (21)～(26) 自由課題演習

履修上の留意点

演習は、教員と学生が一体となってつくりあげる授業ですから、遅刻や無断欠席は厳に慎んでください。

成績評価の方法

出席、研究報告、発言、レポート等を総合的に評価します。

教科書

野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院、平成17年4月刊行予定)。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

法令や判例を緻密にフォローする生真面目さと、若者らしい柔軟かつ大胆な発想で憲法を科学する遊び心とを兼ね備えた、バイタリティあふれる学生諸君の履修を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	和知恵一	法A2選	4

法律

講義のねらい	本演習は、三年次以降における民法の専門演習に参加するために必要な基礎知識を整理・確認し、より高度な研究に対する準備を行うことを目的とする。判例や関連文献の収集方法および利用の仕方、レポート・論文の作成方法、報告・討論の仕方などの修得に努める。
講義の内容・授業スケジュール	前半は、民法総則に関する基本的な事例問題をテーマとして、参加者全員にレポートを作成してもらい、割り当てられた数名のグループが報告を行う。その報告を基に、全員で議論する。後半は、各人（グループ）が興味・関心を持った具体的事件について、それぞれがレポートし、全員で議論する。
履修上の留意点	全員がレポート作成・発表・討論に参加することが義務付けられる。したがって、自主性・積極性・責任感を持った、意欲有る学生の参加を期待する。又コンピューターを利用して、インターネットにアクセスし、判例や文献の検索を行うことも考えており、多少のコンピューターの知識があることが望ましい。受講前に学内コンピューター使用のIDを取得しておくこと。
成績評価の方法	受講態度、提出レポートおよび報告内容を総合的に評価する。（出席することは当たり前のことであり欠席は減点とする。）
教科書	法令集（六法）を必ず持参すること。その他については、授業中に適宜指示します。
その他	理由のない欠席があった場合は退ゼミしていただきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	河野弘矩	法A3選	4

講義のねらい	民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。3年生は主として債権法を学習対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。
履修上の留意点	演習参加者は、3年・4年の2年間継続して受講すること。毎週必ず出席すること。
成績評価の方法	毎回の平常点で成績評価を行いたい。
教科書	プリントを用意する予定。
参考書等	教場で指示する。
その他	このゼミは、受講者数にもよるが個人およびグループによる研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加できるようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。また、図書館での資料収集の仕方、報告書の書き方等についてもアドバイスをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	こはやしひろひと 小林弘人	法A3選	4

講義のねらい

この演習は3年生を対象とする。ここでは、行政法のうち「行政作用法」および「行政救済法」分野の基礎的知識を深めることを目的とする。具体的には25～30の論題を事前に提示し、その問題を演習時間又はゼミ合宿などで検討する。なお、当然のことであるが、演習参加者の事前の準備および教場などでの活発な発言がとくに望まれる。

後期においては、公務員受験志望者の希望もとり入れたようなゼミにしたい。ゼミにとって必要なことがらはすべて演習初日に説明する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的な観点から評価する。

参考書等

新山一雄著『行政法』（法学書院）1,800円
藤田宙靖著『行政法入門』（有斐閣）1,900円

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	たまるだい 田丸大	法A3選	4

講義のねらい

本演習では、具体的行政活動や政策を取り上げ、その仕組みや問題点を考察することによって、今後の日本の中央・地方行政のあり方を探ってみたい。現実の行政の観察、問題発見、提案能力を培うことが本演習の最終目標である。（4年次のゼミ（2007年度）は開講されない可能性が高いので、その点に留意してください）

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談して決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。

- (1) ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別あるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
- (2) ディベートを行う。
ちなみに去年は、消費税引き上げの是非、ごみ収集の有料化などがディベートのテーマとなった。

履修上の留意点

4年次（2007年度）のゼミは開講されない可能性が高いので、申し込みに当たってはその点を留意してください。無断欠席は認めない。夏合宿およびコンパ（年3回程度）も出席点に加味する。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。

教科書

適宜指定する。

その他

(1) ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。(2) 公務員志望者には、試験勉強の仕方・併願先のアドバイス・面接対策などを行う予定である。（おそらく勉強会を開催するわけではない。また、公務員志望者を優先するわけではない。）また、ゼミOBの公務員（都庁、国土交通省、警察官など）をゲストに呼んで、業務内容や受験勉強についてアドバイスをもらいます（ゼミの授業時間外に）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	早川 純貴 <small>はやかわ よしき</small>	法A 3選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成17年度の前期・統一テーマは「政策過程分析——政策領域と政策転換」である。現代日本の政策過程は、さまざまな政策領域（安全保障政策、社会保障政策、金融政策、教育政策など）ごとに大きな特徴を有している。そこでの決定のあり方、アクターの数、アリーナの開放度などの違いを調べ、政策的一貫性がいつの時点でなぜ維持できなくなり、どのような経緯で政策転換が生じたのかを考えてみたい。

法律

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	松村 格 <small>まつむら いさる</small>	法A 3選	4

講義のねらい

刑法総論の講義で学習したことを基礎にして、具体的な事例をどのように解決すれば、刑法の基本原則に反することなく刑法の使命（法益保護・人権保障・秩序維持）に適うかを考えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半に、刑法総論の基本的事項について総復習します。毎回全員に質問することによって、刑法総論の理解度を確認します。理解度が足りない学生は履修を断ります。前期の後半以降は、各人が最も関心のある問題点ないし争点を選び、それについて研究したことを発表し、各人の質疑応答によって研究を深めていきます。

履修上の留意点

刑法総論の単位を取得していなければ履修することはできません。毎週、基本書・参考書・判例解説書・六法全書・ノートを携帯して出席してください。参加することが不可欠ですから、理由なき欠席は許しません。毎回必ず何らかの意見を（その是非・妥当性は別として）主張することを義務とします。意見表明のない学生には、履修途中でも脱退をしてもらいます。

成績評価の方法

普段の授業における予習・復習の内容、質疑応答回数と内容、研究発表の内容によって評価します。試験はしません。

教科書

松村ほか『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円
別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論【第五版】』（有斐閣）

参考書等

参考書は予定しない

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あおのひろゆき 青野博之	法A3選	4
演 習 II		法A4選	

講義のねらい

民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。

履修上の留意点

担当グループは、テーマに関する資料の要旨（レジュメ）を少なくとも1週間前に配布すること。

演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、（指名しながら？）質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

そ の 他

議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。
希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あらかきまさたか 荒木正孝	法A3選	4
演 習 II		法A4選	

講義のねらい

会社法や手形・小切手法の講義、またはこれらを理解するのに必要な民法総則、物権法および債権法など各種の講義で聞いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となったかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法と手形・小切手法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。本年度は、近年における会社法の大改正にも相当の時間を割くつもりです。

履修上の留意点

参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。夏期と冬期（学年末試験終了後）に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない参加者間の全人格的な触れ合いを実現したいと思っています。

成績評価の方法

出席と平常の発言や活動を考慮して評価します。

教 科 書

鴻・落合・江頭・岩原編『会社判例百選』（6版）（有斐閣）、鴻・竹内・江頭・岩原・山下編『手形小切手判例百選』（6版）（有斐閣）などを予定していますが、その他については必要なら都度指示します。

参 考 書 等

奥島孝康・中島史雄編『商法演習 I 〔会社法〕』（3版）（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おう し あん 王 志 安	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていきたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。

履修上の留意点

出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

成績評価の方法

演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

教科書

『判例百選国際法』（有斐閣）2001年

その他

ゼミに関する情報などは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おお つか かつら 大 塚 桂	法 A 3 選	4
演 習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

政治学における基礎的的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい！

成績評価の方法

平常点

教科書

M・ヴェーバー（脇圭平訳）『職業としての政治』（岩波文庫）300円
 吉野 作造『吉野作造評論集』（岩波文庫）620円

参考書等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で日を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）。

その他

4 年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年 1～2 回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	おお <small>みや</small> 大 宮 <small>たかし</small> 隆	法A3選	4
演 習 II		法A4選	

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教 科 書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	おお <small>やま</small> 大 山 <small>れい</small> 礼 子	法A3選	4
演 習 II		法A4選	

法
律

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としています。各自が意欲をもって積極的に参加することが最低の条件ですが、自分自身で文献やインターネットを活用し、物事を調べる能力が身につくように配慮したいと考えています。また、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方の学習も重視します。

講義の内容・
授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の新聞記事や基礎的文献などを講読し、基礎知識を確認します。後期には学生が選択したテーマで報告を行ってもらい、4年次でのゼミ論文執筆につながるようにします。4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定です。なお、個人研究のテーマは政治制度に限らず、広く政治に関わることであれば自由に選択可能です。
受講者の希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを実施します。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

そ の 他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	かねこしょうへい 金子昇平	法A3選	4	
演習	II				法A4選

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組み及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究及び、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。
年二回、公的施設の見学会を行う。

法
律

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知るだけでなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に外向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書

適宜指示する。

その他

発表者は、レジュメを作成し、論点及び、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	かわぐちゆきみ 川口幸美	法A3選	4	
演習	II				法A4選

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討し、体系的に理解を深めることを目的とする。具体的には判例研究・事例研究を主とする予定である。また取り上げるトピックについては、学生の希望も聞くので、関心あるテーマを用意しておいて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

初回にテキストのテーマ毎に報告者を決め、レジュメの説明に沿った形で、ディスカッションを行なう予定。スケジュール等については学生と相談する。

履修上の留意点

ゼミは出席重視とする。また年に数回、報告の機会があり、その度、レジュメを準備すること。報告者以外の者は予め資料を読んでおくこと。

成績評価の方法

出席と普段の議論への参加態度、レジュメの完成度で評価する。

教科書

『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣）
テーマによっては別に資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	また 北野 かほる	法A 3選	4
演習 II		法A 4選	

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。
演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等

随時適宜紹介する。

その他

十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。
英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	こほり 小堀 訓 男	法A 3選	4
演習 II		法A 4選	

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなリアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないか、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	演習	佐藤 多美夫	法A3選	4
	II			法A4選	

講義のねらい

このゼミでは、刑法上の重要問題を検討し、法的な思考力を涵養する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、罪刑法定主義、不作為犯（不真性不作為犯）、因果関係、正当防衛問題、錯誤問題、責任問題、共犯問題、生命・身体に対する罪、財産に対する罪等につき、判例事例研究を通して、刑法に関する理論と法解釈を学び、具体的事例に則した問題分析能力、問題解決能力を養う。

履修上の留意点

主体的、意欲的な学生の参加を望みます。

成績評価の方法

報告内容、質問、出席等総合して評価する。

教科書

各自テーマが異なるため特定のテキストはない。

その他

このゼミは報告者の研究発表をもとに行う。発表者は報告の一週間前までにレジュメを配布し他のメンバーはこれをもとに質問出来るようにして、当日は活発な討論に参加出来るようにしなければならない。発表者・質問者はそのテーマについて文献を収集したりその理解に努力する必要がある。

法
律

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	演習	塩入 みほも	法A3選	4
	II			法A4選	

講義のねらい

行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

教科書

未定

参考書等

初回授業の際に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	たか 高 橋 洋 城	法A3選	4
演習Ⅱ		法A4選	

講義のねらい

この演習は、法律の解釈論や政策論を越える（あるいはその基礎となる）原理的な議論に関心を持つ学生のために「法哲学演習」として開講するものである。とはいえ「法哲学」という名称からイメージしがちな抽象的・理論的なアプローチだけではなく、対象に応じて様々な方法や視角を用いて、法と人間、社会、時代、文化 etc. の問題に対して、検討を加えるつもりである。そうした中で、「法律学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に「それに縛られることのない自由な議論を交わす」、この両方が本演習の目標になる。さらに、社会科学的文章の扱い方に慣れること、報告や討論の中で問題を掘り下げる能力、自分の言いたいことをわかりやすく他人に伝える能力、これらのトレーニングも、本演習のねらいの一つである。

講義の内容・授業スケジュール

<基本方針> 1年間を通じて扱う統一テーマを設定しそれに基づいて演習を進めていく。本年度は、たとえば「法の中の言語」、「法的論証の構造」、「共同体主義的な法理論の可能性」あるいは「現代における自然法の可能性」などのテーマから一つを選ぶことを予定しているが、最終的には適切な文献・資料の有無や参加者の意向などを勘案した上で、演習開始時の席上で決定する。全員で読むための文献も演習開始時に選定する。

法
律

<年間スケジュール> 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。その上で、後期から（進行状況によっては早まることもある）は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらうことを予定している。

<運営方法> 毎回の演習は、報告・コメント・質疑・討論の形式で運営する。その概要および留意事項については以下の通り。

- [1] 各回の報告にあたっては、報告担当者（参加人数が多い場合はグループ単位）と、その報告に対するコメンテーターを設定する。報告者はコメンテーターに報告レジュメを事前に渡しておき、コメンテーターはそれに基づいてあらかじめ質問・批判を用意しておくこととする。報告者はもちろんであるが、コメンテーターも担当回の報告の共同運営責任者であることに留意されたい。報告は通年で最低限で2度、コメンテーターも1度は、各人が担当するよう配分を設定する（参加者の人数によってはこれ以上の回数になることも当然ありうる）。
- [2] 報告担当者は、報告担当後、次回の演習日までに、自らの報告に対する質疑や討論等を簡単にまとめた小レポートを提出しなければならない。このレポート提出をもって報告義務が完遂されたものと見なす。
- [3] もちろん、報告者・コメンテーター以外の参加者も積極的な発言が不可欠であることはいうまでもなく、これも評価対象となる。

履修上の留意点

<受講に当たっての心構え> 講義のねらいで述べたように、実際の演習では必ずしも常に純粋に思弁的な問題を扱うわけではないが、「現象への単なる感覚的反応」を克服するために、少なくとも、抽象度の高い議論にも耐える「知的体力」は参加者に要求される。本演習参加者はその点、覚悟しておいてほしい。

<次年度以降の予定> 本年度参加者が4年次に引き続き法哲学演習（高橋担当の演習Ⅱ）を履修するケースも多いと思われるので、次年度の予定も参考までに記載しておく。

法哲学演習は、年度ごとになるべく交互に、現代法理論上の特定の問題を中心にするか、法思想史上の古典的文献精読に重点を置くか、いずれかのやりかたで進める予定である。2004年度は上述の通り、前者（現代法理論上のトピック）を採り上げるが、2005年度の演習は、文献精読を中心としたゼミになる可能性も大きい（詳細は未定）ことを承知しておきたい。毎回のゼミ運営方法は本年と同一である。また卒業年次生には演習での題材とは別に各自の研究テーマを持ってもらい、演習終了までに自分のテーマに関する研究発表の時間を設定し、さらにゼミ総括レポート（成績評価の方法[3]を参照）に替わるものとして、自分の研究に関するレポートの提出を求めることになる。

成績評価の方法

以下の[1]～[3]に基づいて評価する。

- [1] 平常点：出席、報告・コメンテーターの義務を主とし、これに質疑・討論における発言を勘案して評価する。
 - [2] 報告担当回終了後提出のレポート（上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照）。
 - [3] ゼミ総括レポート（全日程終了後、1月定期試験期間終了までに提出）
- 出席、報告義務を果たすことはもちろんだが、[2]、[3]の提出がなされなければ単位認

定はできない。なお [2]、[3] のレポートはゼミ内で公開・共有する。

教科書

演習で用いる文献については上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	たけなかとしか香 竹中智香	法A3選	4
演習 II		法A4選	

講義のねらい

民法第4編の「親族法」と第5編の「相続法」は私たちの生活に最も身近な家族生活を規制する法律です。私たちの家庭生活を取り巻く環境は、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、少子化・超高齢化、女性の社会進出、戦前の家督相続から庶子均分共同相続への変遷、近年増加してきた遺言制度の利用等々に対して、日々刻々と変化しつつあります。このような変化に対して親族法、相続法がどのように対応しているか、どのような限界があり、どのように改善を図るべきなのかについて、判例を題材にして、毎回学生諸君に報告をしてもらい、その報告をもとに参加者全員で検討・考察します。こうした作業を通して報告の仕方、議論の仕方、法的考察力等の取得を目指します。

法律

講義の内容・授業スケジュール

[前期] 親族法における問題点
[後期] 相続法における問題点

履修上の留意点

講義とは違い、少人数で行う演習は、ゼミ生同士あるいはゼミ生と教員との議論が可能です。こうした議論をするためには、十分な準備とともに、毎回の出席することが大変重要となります。

成績評価の方法

報告の内容の評価以外に、毎回の出席と、出席時の参加の様子等を考慮して評価します。

教科書

『家族法判例百選 [第6版]』(有斐閣) 2,200円

参考書等

内田 貴『民法Ⅳ 親族・相続』(東京大学出版会) 3,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	たけなかつみのり 竹花光範	法A3選	4
演習 II		法A4選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

その他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

科目名		担当者名	配当学科	単位
演習 I		つるい しゅんきち 鶴井俊吉	法A 3選	4
演習 II			法A 4選	

講義のねらい

本演習は、金融取引において重要な役割を担う担保制度に関する問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、担保制度を理解するうえで必要な財産法の基礎的な問題を扱う。その方法は、具体的な事案を解決するために必要な民法の基本的な原理・原則をどのように活用し、法律構成として妥当な結論に導くかという、問題把握の仕方を重視する。単なる知識をつめこむというゼミではなく、柔軟な物の考え方でできる頭の訓練をしたい。

履修上の留意点

各自がテーマを設定し、個別報告を行い、それに対する質疑という形式で進めるので、積極的に討論に参加できる意欲ある学生を希望する。

成績評価の方法

課題に対するレポートとゼミでの平常点で評価する。

法
律

科目名		担当者名	配当学科	単位
演習 I		にし おさむ 西修	法A 3選	4
演習 II			法A 4選	

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における活動内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

まじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税、『日本国憲法はこうして生まれた』（中公文庫）2000年 1,143円＋税、『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年 690円＋税など。

その他

授業以外に年2回の簡単なボランティア活動、夏と冬（スキー＆スノーボー）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることもある。
(法律と共通)

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	原 田 啓一郎 <small>はら だ けいちろう</small>	法A 3選	4
演	習	II		法A 4選	

講義のねらい

講学上の理論に終始せず、現実社会に軸をおいて、理論と現実の乖離や接点を認識しながら、社会保障に関する法的問題を受講生が主体的に検討することにより、社会的事実在即しながら法学的討論が行える能力を涵養することを目的とする。その際の検討素材として政策論議や裁判例などがあるが、フィールドワークや関係機関・当事者へのヒアリングといった手法で積極的に社会保障の現場に飛び込むことにより、社会保障の法的問題を実感・抽出することを忘れてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

社会保障法の各領域(年金・医療・福祉・生活保護・雇用・労災など)の基本的な学習を行ったうえで、受講生と相談をして決定する。

社会保障関係の行政機関、政策担当者、施設、社会保障受給者/利用者等へのヒアリングを通して、随時「社会」と接する機会を設ける。その一環として、社会福祉法人・世田谷ボランティア協会との連携により、世田谷区内の病院・福祉施設での施設体験学習を実施している。

履修上の留意点

社会保障法の修得にあたっては、憲法・行政法・民法・労働法等といった主要な法分野の素養が必要である。ゼミへの参加のみならず、他の法分野の積極的な学習が望まれる。

ゼミでの検討成果は、ゼミ論文としてまとめることを予定している。

成績評価の方法

平常点(ゼミ論文の成果を含む)

その他

当演習では、受講生の積極的な勉学態度が要求される。①法的に重要な事実は何か、②問題点をどのように抽出するのか、③問題点についてどのような理論的解決を図るべきか等について、自分の頭で考えてみる事が求められる。

仲間との連帯と社会性を身につける機会として、ゼミ合宿(年2回)やゼミコンパを積極的に行っている。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演	習	I	日 笠 完 治 <small>ひ がさ かん じ</small>	法A 3選	4
演	習	II		法A 4選	

講義のねらい

研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講生各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得(教科書レベル)。

第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得(社会で通用するレベル)。

第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

履修上の留意点

積極的で責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Iと演習IIは続けて履修してもらいたい。

3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。

4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などに基つき評価する。

4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

その他

ゼミとして夏合宿などを行う予定である。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	演習	ふじもと しげる 藤本 茂	法A 3選	4
	II			法A 4選	

講義のねらい

わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。
夏季には研究合宿を行ないます。

履修上の留意点

演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。
ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。
講義科目として、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

成績評価の方法

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追再試はありません。

教科書

開講時に話しをします。

参考書等

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探すことが勉強の第一歩と思っています。

科目名			担当者名	配当学科	単位
演習	I	演習	まつもと ひでとし 松本 英 俊	法A 3選	4
	II			法A 4選	

講義のねらい

演習 I・II では、刑事手続全体を概観した上で、捜査および公判段階における問題を扱う。判例を中心に具体的事例に則して、捜査・公判段階の主要な論点について、問題の所在や学説などを検討し、解決の展望を探る。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストや基本書の輪読を中心に行い、刑事訴訟法の基礎的な知識を身につける。後期は判例百選や判例集掲載の主要判例や比較的最近の判例を素材に、事例研究を行う。

履修上の留意点

刑事訴訟法、刑法、刑事法関連科目を履修していることが望ましい。
担当者の報告に基づいて全員で議論するが、報告担当者以外の者も毎回のテーマについて事前に準備して、自分の見解を持った上で参加し、議論に際しては積極的に発言すること。

成績評価の方法

授業での報告および発言などにより、総合的に評価する。適宜、レポートを課し、その結果も参考とする。

教科書

白取祐司『刑事訴訟法（第3版）』（日本評論社）3,700円
松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

参考書等

参考書等は随時紹介します。

その他

報告者を決め、報告者は論点の整理と検討のための素材を十分な事前準備の上、報告する。授業では、報告者の報告に基づいて、全員で討論を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ま ぶち きよ し 間 瀬 清 史	法 A 3 選	4
演習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で習得した基礎的知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさとを体得してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告書による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。実際の法廷見学にも行きたいと考えています。

履修上の留意点

演習参加者は、毎回予習のうえ出席し、主体的に演習に参加し、且つ積極的に発言する必要があります。

成績評価の方法

演習参加度（出席態度、報告内容、発言の有無・内容等）に依拠して行います。

教科書

『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）2001年。
『法学講義 民事訴訟法』（悠々社）2005年予定。

参考書等

『民事訴訟法の争点〔第3版〕』（有斐閣）1998年
『民事訴訟法判例百選〔第3版〕』（有斐閣）2004年

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	やま ぐち くに お 山 口 邦 夫	法 A 3 選	4
演習 II		法 A 4 選	

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
第Ⅰ期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
第Ⅱ期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
第Ⅲ期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
第Ⅳ期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ問、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法A3選	4
演習Ⅱ		法A4選	

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に私の方から要項を配布し、演習の内容とスケジュールを相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ会誌（昇山会誌—最新号は、7号です）を刊行します。

履修上の留意点

ゼミに積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

レポーターとしての報告を中心に、平常点を加味して評価します。

教科書

会社法判例百選（第6版）（有斐閣）1,900円

その他

ゼミは、3人一組で班を構成し、レポーターの班と、質問班を中心にゼミをすすめます。ゼミは、良い友人、先輩、後輩との出会いの場でもありますので、勉強や課外活動を通して活発な充実したゼミにしたいと思います。2年に1度、ゼミのOB会を開きますので、在ゼミ生の皆さんにはお手伝いをお願いすることにもなります。
なお、ゼミ生の募集は、新3年生です。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ（英書）	おう し あん 王 志 安	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ（英書）		法A・法B4選	

講義のねらい

国際法にかかわる入門的英文教科書、国内・国際裁判の判決原文を講読することを通して、法律文書によく使われる基礎的な表現法、専門用語および英米や国際裁判判例の基本構造を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では主に入門的教科書を中心に、専門知識を表現する英文になれることに重点を置き、文書の翻訳、解説を通して英語と専門知識を習得してゆく。後半では前期の勉学を踏まえて、英米の国内裁判の判決および国際司法裁判所の判決を選定し、翻訳を通して判決文の基本構造、専門用語および特徴を勉強する。

履修上の留意点

国際法にかかわる外書の購読となるので、国際法の講義を習得したことが不可欠です。また、英文の新聞紙をだいたい読める程度のレベル英語能力をもつことが望ましい。
尚、少人数の教育となるので、興味をもって必ず参加するという積極性のもつ学生が期待される。

成績評価の方法

講義への出席状況、担当された翻訳作業の完成度、講義における参加の積極性を中心に、総合的に判断する。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	かねこしょうへい 金子昇平	法A・法B 3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

講義のねらいは、アメリカの憲法や法律、あるいは重要と思われる論文や判例を読むことによって、単なる法知識を得ることのみならず、その基本的な考え方をつかみとっていききたい。すなわち英語を読むだけでなく、考える講義をしていきたい。
そのためには、基礎的学習として法律英語を知ることであり、英単語やテクニカル・タームを豊富に身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主にアメリカ合衆国憲法等の基本的なものを選び講読する。憲法は、構成要素としての統治機構(立法権、行政権、司法権)や、基本的人権について、どの様に規定しているのか、それぞれの意義及び内容について検討してみる。
後期は、受講生の希望をとり入れながら、あらためて指示したい。

履修上の留意点

英和辞典(和英辞典)は、持参すること。英単語の意味がわからないからこそ、辞典が必要である。受講生は、出来るだけ多く、辞典に当たることを身につけて欲しい。

成績評価の方法

講義への出席状態と、発表の評価で成績評価を行う。

教科書

開講時にプリントを配布する。

参考書等

講義内容に応じて適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	かわぐちなみ 川口幸美	法A・法B 3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

この講義では、まずは法律に関する英文に慣れ、法律用語等の基礎知識の習得から始めて、最終的には初歩的な英語の学術論文を読みこなすことを目的とする。また、法と経済学の視点から見た日本の法制度の矛盾や問題点について議論し、それを通じて日本の法制度について理解を深めることも期待する。

講義の内容・授業スケジュール

複数の著書あるいは論文から、受講生の希望を参考に、いくつかのテーマをとりあげて、毎回担当者を決めて、翻訳と解説をしてもらう。

履修上の留意点

基礎的な英文読解力に加え、報告担当者は担当部分の全訳と内容について補足説明できるよう下調べをしてくること。報告内容が不十分であればやり直しさせることもあるので気をつけること。また他の受講生も内容について必ず予習をし、質問および感想を提示できるよう準備しておくこと。

成績評価の方法

出席と報告内容および質問・意見等、平常時の受講態度で評価する。

教科書

Curtis J. Milhaupt & Mark D. West, Economic Organizations and Corporate Governance in Japan (Oxford, 2004).
Ramseyer, J. Mark/ Nakazato, Minoru Corporate Governance in Japan Japanese Law: An Economic Approach (University of Chicago Press, 2001).

参考書等

辞書、参考書、辞典等については随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(独書)	まつむら いなる 松村格	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ(独書)		法A・法B4選	

講義のねらい

ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることが目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。

履修上の留意点

毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。

成績評価の方法

普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。

教科書

未定。第1回目の授業に配布します。

参考書等

未定。

法律

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(仏書)	あらきまさ たか 荒木正孝	法A・法B3選	4
外書講読Ⅱ(仏書)		法A・法B4選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度から多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える大きな枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、経済的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国フランスの思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 I (中国書)	こう りん ひて と 江 林 英 基	法A・法B 3選	4
外 書 講 読 II (中国書)		法A・法B 4選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基き、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

江英居著『中国憲法』(大学書林) 3,500円、『中華人民共和国法律匯編』(北京人民出版社)

そ の 他

学生への要望：授業中私語禁止。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
登 記 法	た のま ひろし 田 沼 浩	法A・法B 3・4選	4

講義のねらい

初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、両法より深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー(活用)能力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) 登記法概論 (3) 不動産登記法総則・商業登記法総則 (4～6) 民法典物権編総則にかかる不動産登記 (7～9) 所有権にかかる不動産登記 (10～13) 民法典相続編にかかる不動産登記
(後期) (14～18) 担保物権にかかる不動産登記 (19) 商法典第一編総則第三章商業登記 (20～25) 商法典第二編会社(会社法)及び有限会社法にかかる商業登記 (26) まとめ

履修上の留意点

不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを旨とし、会社法と相関させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、商法典第二編会社の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らず、広く対象とします。

成績評価の方法

学年末試験の結果と提出物(前期レポート)の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるように配慮します。

教 科 書

法務省民事局編『不動産登記実務[五訂版]』(法曹会) 4,000円
日本法令商業登記研究会編『商業登記の手続』(日本法令) 3,143円
『模範六法』(三省堂) 5,200円

参 考 書 等

遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタール[第四版補訂版] 不動産登記法』(日本評論社) 3,500円(初学者は基本法コンメンタールを直ちに購入しなくても良い。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	ましだお 岸 田 貞 夫	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

税法の体系を法的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次、講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期および後期の試験の結果により評価する。

教科書

岸田貞夫著『税法としての所得課税』（税務経理協会）2,900円

参考書等

金子宏著『租税法』（弘文堂）

その他

授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配付する予定である。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみいゆき 富 井 幸 雄	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わかばやしありま 若林 亜理砂	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
消費者法	河野弘矩	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

今日、消費者を取り巻く生活環境は、訪問販売・通信販売・割賦販売契約、保証契約・クレサラ契約・電子商取引・介護契約・弁護士や医師などの専門家との契約などの例に見られるように多様化・複雑化・専門化の一途をたどっている。本来、消費者と事業者との間のいわゆる消費者契約自体は、自由・公正・安全に締結されることが望まれるものである。しかし、「消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力の格差」のあることは否定できず、結果として消費者側に不本意な自己責任を強いることになり適当ではなく、消費者の利益の擁護と消費者が自己責任に基づいて契約を締結できるための諸環境の整備が不可欠である。そのための法制度としては、民法を基本として、「消費者契約法」、更には各種の取引に対応した特別法(特定商取引に関する法律・製造物責任法他)とが適用法令として制定されており、そのため消費者にとっては極めて複雑な法体系となっている。このうち「消費者契約法」は、2000年5月12日に公布、2001年4月1日から施行されており、「事業者の一定の行為により消費者が誤認し、又は困惑した場合について契約の申込み又はその承諾の意思表示を取り消すことができること」とするとともに、事業者の損害賠償の責任を免除する条項その他の消費者の利益を不当に害することとなる条項の全部又は一部を無効とする事により消費者の利益の擁護を図ること」を目的として日常生活における消費者契約の基本法としての意味を持たせ、消費者が日常生活で締結する全ての消費者契約に対して例外のない適用を意図して制定されたものである(同法1条)。本講義では、この自由で公正・安全な消費者契約が締結されるための環境整備を目的とした同法を中心として以下のスケジュールにしたがった講義を計画している。

法
律

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 総論(消費者契約の特質、消費者問題の多様性)
- 2 諸外国の法制度
- 3 消費者契約法の概要
- 4 特定商取引法(訪問販売、通信販売、電話勧誘販売、連鎖販売取引、特定継続的役務提供)
- 5 クレサラ契約と貸金業法・利息制限法
- 6 製造物責任法
- 7 消費者紛争の解決のための法や制度
 - (1) 小額訴訟(訴状の書き方、申立て手続き等を含む)
 - (2) 調停制度(調停申立て手続きを含む)
 - (3) 各種ADR

履修上の留意点

消費者契約関連法規は、体系的であるとは言えないため、そのため可能な限り継続し受講することを心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

期末試験の成績によって評価する予定である。出席点を加味するかどうかは未定。

教科書

未定。授業の始めに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
知的財産権法	もりおがかずお 盛岡一夫	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれている。知的財産権法は知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

法
律

講義の内容・授業スケジュール

前期：4月・5月・6月 特許法・実用新案法、7月 意匠法
後期：9月・10月 商標法、11月 著作権法、12月 不正競争防止法

成績評価の方法

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会） 中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣） 齊藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事執行・保全法	はしもと さとし 橋本 聡	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

この講義は、権利を迅速に実現するための仕組みを定めた民事執行法と、そのような権利の実現を保全するための仕組みを定めた民事保全法とを対象にします。講義では、これらの法律が権利実現とその保全のためにどのような仕組みを用意しているのか、そして、その仕組みがどのような基本原則に基づいて動かされているのか、また、その仕組みにおいて債権者・債務者・第三者の諸利益がどのように調整されることになっているのか、という点について理解することを主たる目的にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の講義の際にシラバスを配布する予定です。

履修上の留意点

民事訴訟法および民法（特に担保物権）を既に履修しているか、または併行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の定期試験（70%）および夏期休暇中レポート（30%）によって評価を行います。尚、レポートの返却および評価の公表は予定していません。

教科書

上原敏夫・長谷部由起子・山本和彦著『民事執行・保全法 有斐閣アルマ Specialized』

参考書等

適宜、指示をする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	木川 裕一郎 <small>きがわ ゆういちろう</small>	法A・法B3・4選	法

講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債券債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上も不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

法
律

履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となる。

成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

教科書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤真『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

参考書等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo.163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務Q&A』別冊NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一問一答 新しい破産法』（商事法務）。

その他

授業は講義形式で実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法 哲 学	たか ばし ひろ き 高 橋 洋 城	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

法哲学という学問の本来の役割は、法に関する思考の「解体」から始まるといってもいいように思う。本講義も、これまで諸君が学んできたであろう知識や常識に、いったん疑いの目を向けてもらうことを第一の目標とする。「法」というものが本当に存在しているのだろうか？ルールとか客観的基準が存在しているというのは幻想ではないだろうか？このような疑問が湧いてきて、「当然だと思っていたこと・わかっていたはずのことがかえってわからなくなる」ところに「哲学」としての「法哲学」講義の意味がある。しかし「あらためて考え直してみる」という過程で、様々な思想や思考法に触れ理解を深めることは、将来、自らの力であらためて根本的な問題を考えてゆくための手がかり・突破口を得ることにもつながるはず。その意味で、他の法律学の理解を深める一助としても有益なものになるだろうと、担当者としては考えている。また文献抜粋等を中心とした資料を配布することもあるので、通常法律学とはことなる文献に触れる機会を持つこともできるだろう。

法 律

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに、法や法律学にかかわる基本的な諸概念、および法理論史において繰り返し論じられてきた諸トピックをとりあげ、その結論のみならず問題設定方法について批判的に検討する（第1部）。次にその成果を応用する形で、法の客観性、法解釈の性質という問題について集中的に検討していく（第2部）。講義はこの2部構成に沿って進行するので、その範囲内では受講者の理解度、興味等によって、細目の変更等を行なうこともありうる。

第1部 「法」の存在を多角的に検討するための概念装置

- [1] 自然法論と法実証主義、権利概念についての諸見解など、法理論上の基本的な考え方を紹介・再確認する。
- [2] ルールとは何か、その中で法の独自性とは何か。「法と道徳」や「法と強制」などのテーマをとりあげてこうした問題を考えていく。

第2部 法解釈および法の客観性に関する理論の検討：「法が存在する」とはどういうことか、という問いを機軸として考察していく。

- [1] 批判的検討のための準備作業：法解釈の様々な技法、概念など、法的思考の道具立てを再確認する。
- [2] 概念法学という用語とそれをめぐる近代法学史、および自由法運動や英米圏におけるリアリズム法学などこれに対抗する法理論史を採り上げる。
- [3] 日本における法解釈の性質をめぐる論争の意義を若干詳細に紹介・検討する。さらに法解釈学論争以降の我が国における諸理論についても概括的に触れる。
- [4] いわゆる哲学的解釈学の成果：ガダマーをはじめとする哲学的解釈学の紹介と、法学におけるその意義について考えてみる。さらにこの文脈の中でドゥオーキンの法解釈理論について紹介、検討する。
- [5] その他の現代法理論から、日本の法解釈学にも影響を与えている諸動向を紹介し、法の客観性の問題について検討する。
- [6] 全体のまとめ

履修上の留意点

講義に際しては、受講者が、本講義履修対象年次までの必修科目について、最低限でもその基本的・原理的部分にすでに理解があることを前提に進める。その点に不安がある場合には受講にあたって十分な自助努力が必要となることを了解しておいて欲しい。

成績評価の方法

- 次の[1]～[3]を総合して評価する。
- [1] 年度末の定期試験（主たる成績評価材料）
 - [2] 上記第1部終了時に行なう小テスト
 - [3] その他授業時間内に小作文を課する場合はこれをも評価材料に含める（講義スケジュールとの関係で実施できない可能性もある）。

教科書

特定の教科書を、直接試験範囲に指定したり、試験の際の持ち込み対象にしたりすることはない。しかし何らかの概説的な書を手元に置いて講義に望むことを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

- 例として以下のものを上げておく。
- ・三島淑臣編『法哲学入門』（成文堂）2,200円
 - ・田中成明『法理学講義』（有斐閣）3,100円
- ここに上げたもの以外の概説的な参考図書については開講時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法律学特殊講義 〔航空・宇宙法〕	工藤 聡一	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

航空法とは、航空によって生ずる法律関係を規律する規範の総称です。航空法は、規律の対象が国家および国家の私人に対する権力関係にかかわるかどうかにより、航空公法と航空私法とに分類され、また、航空が単一国家の領域内で行われるかどうかにより、国内航空法と国際航空法とに分類されます。本講義は、こうした体系を意識しつつ、航空法上の基本問題を理解することに主眼をおきます。

航空法は比較的新しい法分野といえますが、宇宙開発の進展に呼応して、そこでの活動に対して適用される固有の法の必要性が認識されるようになり、より新しい法分野としての宇宙法が生まれています。本講義では、その主要な問題についても考察することにします。

講義の内容・授業スケジュール

航空公法に関して：領空主権と空の自由、航空に関する国際機関・団体、航空協定、航空従事者の免許、航空機とその運航、航空機の救難と事故調査、ハイジャック等

航空私法に関して：航空運送人の責任、航空機による地上第三者損害、航空機製造物責任、航空保険等

宇宙法に関して：宇宙条約、宇宙の商業利用等

概ね、前期を航空公法に、後期を航空私法および宇宙法の講義にあてる予定です。詳細な講義計画は開講時に発表します。

履修上の留意点

航空・宇宙法が専門的・技術的な性格を持つことは否定できませんが、少なくとも航空は既に現代人の生活と切り離せないものとなっており、それに関する知識も航空関係者のみが独占すべきものではありません。本講義は、比較的身近な例から話をはじめること、航空の専門家を志すひと以外にとっても聞き易いものとします。硬い科目名に身構える必要はありません。

成績評価の方法

学年末試験（70%）、レポート（15%）、平常点（15%）を総合して評価します。

学年末試験は論述式・一問必答とします。レポートは夏休みの課題とし、航空法上の重要問題について、2000字程度で論じてもらいます。平常点は、出席状況を基本とし、発言点を加味します。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

講義中に適宜参照を指示します。必要に応じてプリント教材も配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 学	さと なか つね し 里 中 恆 志	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(第1回)年間授業計画の説明、(第2回)公共財と公共部門、(第3回)財政収入の歴史、(第4回)予算編成と査定、(第5回)予算編成と政党、(第6回)予算政府案と議会審議、(第7回)予算の執行と競争入札、(第8回)予算の政治過程、(第9回)租税原則学説、(第10回)給与所得税、(第11回)申告所得税と累進課税、(第12回)法人税と徴税技術、(第13回)国際化と移転価格税制、(第14回)一般消費税と付加価値、(第15回)地方税と地方歳出、(第16回)地方財政調整の制度、(第17回)機関費と純粹公共財、(第18回)公共事業費と費用=便益分析、(第19回)公共事業費と公共財産の形成、(第20回)社会保障関係費と所得再分配、(第21回)補助金とスビルオーバー、(第22回)公債と公債費負担、(第23回)総需要管理政策と国民所得、(第24回)課税乗数と均衡予算定理、(第25回)公債による財源調達と債券価格、(第26回)大量国債の累積と限界、(第27回)財政金融政策と国際収支、(第28回)財政投融资と政府貯蓄、(第29回)試験と評価についての説明

法
律

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教 科 書

里中恆志=八巻節夫編著『新財政学』(文眞堂)3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303

参 考 書 等

北川力編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

そ の 他

授業の方法は講義形式による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	三船恵美	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。

国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争）について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ一極支配体制の世界政治の意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。

後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念（ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論）を講義します。

成績評価の方法

学期末試験(50%+50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』（南窓社）2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済政策	森岡仁	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学的发展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教科書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	ほらだ けいいちろう 原 田 啓一郎	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の理論的理解を行なうとともに、社会政策の過去と現状を再評価しながら、社会政策の課題を展望することを目的とする。具体的には、労働政策・社会保障政策について、法学・経済学・社会学・政治学などの知見を用いながら、理論的課題を学際的かつ多角的視点で理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会政策の原理
 - 1 社会政策とは
 - 2 社会政策の歴史
 - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
 - 1 労働時間と社会政策
 - 2 賃金と社会政策
 - 3 労働市場と社会政策
 - 4 所得保障と社会政策
 - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点

法
律

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。

参考書等

参考文献については、適宜指示する。

その他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習 I	なかのたつひさ 中野辰久	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

本演習は、旧応用憲法演習が改組された経過を踏まえ、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえ、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とし、あわせて種々の国家試験や法科大学院への進学も念頭に置いていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。基本的には近年問題となった実際の事件・判決を題材にしていきたいと思ひます。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです（括弧内は昨年度取り上げた事例です）。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
- 3 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
表現の自由・検閲の禁止・事前抑制の原則的禁止の法理
（週刊文春事件）
表現の自由・明確性の基準
（青少年保護育成条例事件）
信教の自由・政教分離原則
（内閣総理大臣靖国神社公式参拝訴訟）
- 4 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
職業選択の自由・営業の自由
- 5 社会権を巡る問題
生存権（生活保護費貯蓄容認判決）
教育を受ける権利・特別権力関係論・部分社会の法理
- 6 法の下での平等（議員定数不均衡事件判決）
- 7 その他

法
律

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席が必須と考えます。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思ひます。

成績評価の方法

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席とレポートで評価する予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第四版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジュメを配布する予定です。

その他

弁護士の業務内容その他の法律実務の話等も適宜行っていきたいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅱ	鶴井 俊吉・上野 雅祥 小林 寛・濱中 善彦	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

本演習は、民法の領域を中心に演習を行っていきます。その特徴は、①法科大学院への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、双方向授業を行うこと。②法曹になるための前提として、大学院試験等を念頭に入れ、単なる知識をつめこむという演習ではなく、柔軟な物の考え方のできる頭の訓練をすること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

本演習の性質上、民法総則・物権・債権等を履修している学生を対象とする。なお、受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅲ	木 村 美 隆	法A・法B3・4選	4

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることは、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなっており、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかつた刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	河野弘矩	法A4選	4

講義のねらい

民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。4年生は民法全般を対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、3年・4年の2年間継続して受講すること。毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

法
律

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小林弘人	法A4選	4

講義のねらい

この演習は、原則として、私の演習Ⅰを履修した4年生を対象とする。内容は、行政法の全領域におよび、行政法総論の知識の再確認を行う。具体的には、演習参加者各自に研究テーマを設定してもらい、その設定されたテーマについて、演習時間又は合宿等で発表を義務づける。なお、前期においては要望があれば、各種公務員試験のための「技術的指導」を行うことも可能である。

演習に必要な文献、その他の事項については、すべて演習初日に指示する。

成績評価の方法

出席状況、ゼミでの報告、質問など総合的観点から評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	島原宏明	法A4選	4

講義のねらい

〔商法学演習〕

法律行為論の基本的な思考方法を身に付けることを目標として、前期は手形・小切手法の判例研究を、後期は各自のテーマでゼミ論の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の前半は判例研究を、後半はゼミ生が自ら選択したテーマでゼミ論文の作成を行う。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点で評価します。

参考書等

開講時に指示する。

その他

年2回、春と夏に合宿を行う他、適宜ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。政治政治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	たまるだい 田丸大	法A4選	4

講義のねらい

現実の政治・行政の観察・問題発見・提案能力を培うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 個別研究
- (2) グループ研究

履修上の留意点

無断欠席は認めない。

成績評価の方法

平常点。

法
律

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はやかわよしき 早川純貴	法A4選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成17年度の前期・統一テーマは「政策過程分析——政策領域と政策転換」である。現代日本の政策過程は、さまざまな政策領域（安全保障政策、社会保障政策、金融政策、教育政策など）ごとに大きな特徴を有している。そこでの決定のあり方、アクターの数、アリーナの開放度などの違いを調べ、政策的一貫性がいつの時点でなぜ維持できなくなり、どのような経緯で政策転換が生じたのかを考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教 科 書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

II 專 門 教 育 科 目

2 政 治 学 科

政
治

政

治

(2) 政治学科

政治学概論	〈前期：早川純貴、後期：浦田早苗〉	361
政治学概論	〈前期：浦田早苗、後期：早川純貴〉	362
憲法	〈竹花光範〉	363
政治学原理	〈大塚桂〉	364
現代政治理論	〈白鳥浩〉	365
日本政治論	〈大山礼子〉	366
政治思想史	〈清滝仁志〉	367
行政政治学	〈田丸大〉	368
国際政治学	〈小堀訓男〉	368
政治制度論	〈大山礼子〉	369
日本政治史	〈村井良太〉	370
政治過程論	〈早川純貴〉	370
ヨーロッパ政治史	〈浦田早苗〉	371
地方行政	〈内海麻利〉	371
政策決定論	〈田丸大〉	372
行政法総論	〈塩入みほも〉	372
行政法各論	〈塩入みほも〉	373
地方自治法	〈富井幸雄〉	373
民法（総則・物権法）	〈須賀昭徳〉	374
刑法総論	〈佐藤多美夫〉	375
労働法	〈藤本茂〉	376
刑事政策	〈覚正豊和〉	377
社会政策	〈原田啓一郎〉	378
環境政策	〈横田匡紀〉	379
国際関係論	〈三船恵美〉	380
比較政治学	〈三竹直哉〉	381
国際行政学	〈福田耕治〉	382
国際経済学	〈徳永俊明〉	383
国際法	〈齋藤洋〉	384
北米政治論(1)	〈小堀訓男〉	385
北米政治論(2)	〈小堀訓男〉	385
東南アジア政治論(1)	〈中村正志〉	386
東南アジア政治論(2)	〈深尾康夫〉	386
中国政治論(1)	〈竹花光範〉	387
中国政治論(2)	〈竹花光範〉	387
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野裕二〉	388
ヨーロッパ政治論(2)	〈中野裕二〉	388
ヨーロッパ政治論(3)	〈浅見政江〉	389
ヨーロッパ政治論(4)	〈浅見政江〉	389
アラブ・イスラム政治論	〈中島勇〉	390
中南米政治論	〈岸川毅〉	390
比較都市論	〈内海麻利〉	391
マス・コミュニケーション論	〈相田敏彦〉	392
数量政治学	〈水戸克典〉	393
メディア社会論	〈相田敏彦〉	394
政治心理学	〈真下英二〉	395
政治社会学	〈中野裕二〉	396

政治	経済学	〈白鳥浩〉	397	
比較メデイア	論	〈前期：岩崎宇雄、後期：島中 誠〉	398	
基礎	演習	〈相田敏彦〉	398	
基礎	演習	〈内海麻利〉	399	
基礎	演習	〈浦田早苗〉	399	
基礎	演習	〈大山礼子〉	400	
基礎	演習	〈清滝仁志〉	400	
基礎	演習	〈小堀訓男〉	401	
基礎	演習	〈塩入みほも〉	401	
基礎	演習	〈田丸大〉	402	
基礎	演習	〈早川純貴〉	402	
基礎	演習	〈村井良太〉	403	
比較	憲法	〈西 修〉	403	
現代	国家論	〈大塚 桂〉	404	
国外	安全保障論	〈小堀 訓男〉	404	
日本	外交史	〈村井良太〉	405	
西	法史	〈茂野隆晴〉	406	
英	法史	〈北野かほる〉	407	
会	法	〈北野かほる〉	408	
経	法	〈荒木正孝〉	409	
国際	紛争解決法	〈若林 亜里砂〉	410	
刑法	各論	〈王 志 安〉	411	
民法	(債権)	〈松村 格〉	412	
社会	保障法	〈上井長久〉	413	
社会	学理	〈原田啓一郎〉	414	
財	政	〈渡辺源樹〉	415	
経	原	〈里中恆志〉	416	
経	政	〈浅野克巳〉	417	
農	政	〈森岡仁〉	418	
工	政	〈溝手芳計〉	418	
ヨ	口ッパ	経済論〈休 講〉	419	
商	業	策	〈岩下 弘〉	420
地	方	財政論	〈篠原 章〉	421
交	通	論	〈塩見 英治〉	422
地	域	計画論	〈原 昭夫〉	422
政治学	特殊講義(1)	〈内海麻利〉	423	
政治学	特殊講義(2)	〈三竹直哉〉	424	
政治学	特殊講義(3)	〈大島稔彦〉	425	
政治学	特殊講義(4)	〈大島稔彦〉	425	
外書講読	I・II (英書)	〈相田敏彦〉	426	
外書講読	I・II (英書)	〈大山礼子〉	426	
外書講読	I・II (英書)	〈清滝仁志〉	427	
外書講読	I・II (英書)	〈三竹直哉〉	428	
外書講読	I・II (独書)	〈松村 格〉	429	
外書講読	I・II (仏書)	〈荒木正孝〉	429	
外書講読	I・II (中国書)	〈江林英基〉	430	
現代	企業論	〈休 講〉		
演習	I	〈浦田早苗〉	430	

演						仁志	431
演	習	I		〈清	滝丸	大)	432
演	習	I		〈中	野裕	二)	432
演	習	I		〈早	川純	貴)	433
演	習	I		〈三	船惠	美)	433
演	習	I	•	II	相田	敏彦)	434
演	習	I	•	II	内海	麻利)	434
演	習	I	•	II	大山	礼子)	435
演	習	I	•	II	大塚	桂)	435
演	習	I	•	II	小堀	調男)	436
演	習	I	•	II	塩入	みほも)	436
演	習	I	•	II	竹花	光範)	437
演	習	I	•	II	西	修)	437
演	習	I	•	II	日笠	完治)	438
演	習	I	•	II	三竹	直哉)	438
演	習	I	•	II	村井	良太)	439
演	習	I	•	II	山口	邦夫)	439
演	習	II		〈井	戸正	伸)	440
演	習	II		〈浦	田早	苗)	440
演	習	II		〈島	原宏	明)	441
演	習	II		〈田	原丸	大)	441
演	習	II		〈早	川純	貴)	442
演	習	II		〈真	下英	二)	442

政

治

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学概論	前期：早川 純貴 後期：浦田 卓苗	政治1必	4

講義のねらい

本講義は3コース（＝専門課程）に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①行動論政治学とその批判
- ②権力論 [実体論と関係論]
- ③多元主義論と権力エリート論
- ④イデオロギーについて [社会民主主義、自由主義、保守主義]
- ⑤20世紀のアメリカ政治
- ⑥政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

【後期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会的特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

政
治

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教科書

前期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）2004年2,600円

参考書等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 概 論	前期：浦田 早苗 後期：早川 純貴	政治1必	4

講義のねらい

本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- ①現代日本の政治システムとその問題点
- ②官僚と天下り
- ③日本社会の特異性
- ④自由・権利・公共
- ⑤第二次大戦後の国際政治の軌跡
- ⑥西欧の政治制度

【後期】

- ①行動論政治学とその批判
- ②権力論 [実体論と関係論]
- ③多元主義論と権力エリート論
- ④イデオロギーについて [社会民主主義、自由主義、保守主義]
- ⑤20世紀のアメリカ政治
- ⑥政治参加について [政治的関心、政治的社会化、投票行動、マス・メディア]

政
治

履修上の留意点

政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。

成績評価の方法

前後期に試験を実施する。

教 科 書

後期は教科書を使用する。早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房)2004年2,600円

参 考 書 等

参考文献については講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	たけはなみつのり 竹 花 光 範	政治1必	4

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の存在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の存在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法の概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からほぼ明らかなるものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスをへて成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐる争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章103カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

政
治

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題を取り上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤りは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書

竹花光範『憲法学要論補訂版』（成文堂）3,300円

参考書等

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

その他

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心をもち、憲法問題を積極的に考えていくよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか がつら 大 塚 桂	15以降入学生/政治1・2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2必	

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、ならびに方法

B 政治の原理的究明

(1) 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

(2) 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

(3) イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の実体論的究明

(1) 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

(2) 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化

成績評価の方法

V 成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。

なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

その他

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）を参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代政治理論	しらとり 白鳥 浩	15以降入学生/政治1・2・3・4選必 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

これまで、現代政治学はどのように展開してきたのだろうか。現代政治学において、スタンダードとなっており、重要であると思われる理論家の理論を取り上げることで、現代政治学の理論像を学んでもらいます。特にこの講義においては、現代のデモクラシーを理論的に考えることを目的のひとつとします。更に、そうした理論を乗り越えて、今後の世界における「デモクラシー」のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

以下の理論を初めてのひとつにもわかるように講義します。

- 1、メリアム 「現代政治学の父」
- 2、ラズウェル 「現代政治学の開拓者」
- 3、ダール 「ポリアーキーと民主主義」
- 4、リップセット 「政治社会学への視座」
- 5、サルトーリ 「政党理論」
- 6、ロールズ 「正義の理論」
- 7、パーソンズ 「社会システム論」
- 8、イーストン 「政治システム論」
- 9、アーモンド 「シビック・カルチャー論」
- 10、ドイッチュ 「サイバネティックスの理論」
- 11、レイプハルト 「多極共存型民主主義」
- 12、ロッカフ 「凍結仮説と概念地図」

さらに、こうした理論を用いて、現代政治を分析することを試みます。

履修上の留意点

関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法

試験を中心とするが、総合的に判断する。

教科書

白鳥『市民・選挙・政党・国家』（東海大学出版会）2002年

参考書等

眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年
 白鳥編『現代政治学の理論』（上）（下）（続）（早稲田大学出版部）
 白鳥・曾根編『現代世界の民主主義理論』（新評論）1984年
 授業内で適宜、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本政治論	おおやま れいこ 大山礼子	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

日本政治の機能不全が指摘される現在、これまでの政治のあり方があらためて問い直されています。この講義の目的は、日本の政治のどこが問題なのか、歴史的視点や国際比較の観点から検討し、今後の改革の方向を探ることにあります。1年生の受講者が多いので、まずは他の専門科目を受講する際の基礎ともなる日本政治の常識を身につけてもらうことから始めます。なるべくたくさん「目からうろこが落ちる」経験をし、いろいろな角度から多角的に物事を見られるようになっていただきたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は明治維新以来、現在までの政治史を中心に学習し、後期は地方分権、公共事業などのトピックを取り上げながら、現代日本の政策決定について考えて行きます。

主な内容

(前期)

(1) 日本政治の特質

(2～8) 日本近代政治史概観 (明治維新～自由民権運動～大日本帝国憲法制定～議会開設～政党政治の発展～男子普通選挙権～第二次大戦～敗戦～占領統治～日本国憲法制定～戦後改革の意味～55年体制～冷戦終結)

(9～13) 戦後政治の枠組みとその変化 (政治制度、政党、選挙)

(後期)

(14～16) 国会の立法過程

(17～25) 日本型政策決定の実態 (政官関係、公共事業、中央地方関係など)

(26) まとめ

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語する者には、退場を求め場合があります。

現代日本の政治が講義の対象となるので、毎日、新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること(新聞の政治面を読まない政治学科の学生などというものは存在そのものが矛盾である！)。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価します。

教科書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房、2004年、2,600円)

参考書等

参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。また、なるべく多くの参考文献をKOMSY詳細版で紹介しますので、積極的に読んで下さい。

その他

毎回の講義の内容、参考文献等については、原則として前日までにKOMSY詳細版で公開します。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照し、活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治思想史	清 滝 仁 志 <small>きよ たき ひと し</small>	15以降入学生/政治1・2・3・4履修 14以前入学生/政治2・3・4履修	4

講義のねらい

この講義では、ヨーロッパの政治思想史を歴史上の出来事との関連から著述家の視点を通して、具体的に論じます。変動する時代に直面した人々が同時代をどのように眺め、いかなる心配をし、解決策を考えていったかを明らかにします。この授業で論じる「思想」とは抽象的概念でなく、現実の政治状況に対応して生まれ、実際の制度・政策と結びつく性格のものです。講義では、代表的人物の考えを題材に、(1)現在の政治現象を自分で判断する知的能力を身につけていく、(2)欧米の政治・社会・文化を基礎づける知的背景を理解する、ことを目的にします。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明します。

- 1 ルネサンスと宗教改革—マキアヴェッリ、モア、ルター、カルヴァン—
 - 2 社会契約論の形成と発展—ホブズ、ロック、ルソー—
 - 3 デモクラシーと自由—バーク、トクヴィル—
 - 4 現代の政治理論—シュンペーター、ダール、ロールズ、ハイエク
- 5 グローバル化と< ;イスラーム的なもの> ;

履修上の留意点

本講義では次のことをおこないます。

- 1 授業に関する時事問題を取り上げながら、そのポイントを解説
 - 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
 - 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
- さらに公務員試験やその他の資格試験の関係箇所にも配慮します。

成績評価の方法

定期試験を中心にしますが、レポート、出席状況を勘案します。評価は、講義を受けることでいかに力をつけたか、を重視します。

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介。

参考書等

毎回、レジメと資料を配布。レジメはHPを通じてでも入手可。

その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政学	たまる たい 大丸	15以降入学生/政治1・2・3・4選必 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体(地方)レベルでは、市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている(スケジュールなど詳細は開講後に知らせる)。

1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革 など。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、テストは全範囲から満遍なく出題するので、出席していない者が単位を獲得するのは著しく困難である。

成績評価の方法

学期末のテストおよび学年末のテスト(ともに持ち込み不可)で評価する。テストを欠席した場合でも、レポート等の提出は一切認めない。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』(放送大学教育振興会)2000年 本体2,000円

教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房) 価格未定

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こほり のり お 小堀 訓 男	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 制 度 論	おお やま れい こ 大 山 礼 子	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

民主主義国家においては、政治制度の究極の目的は、いかにして国民の民意を正確に反映する政治を実現するかにあると見てよいでしょう。近代の歴史は、よりよい政治制度の探求の歴史だったと考えることもできます。この講義では、こうした視点から、政治制度の発展史を辿り、議院内閣制や大統領制、あるいはさまざまな選挙制度などのもつ意味を検討していきます。なるべくたくさん「目からうろこが落ちる」経験をし、いろいろな角度から多元的に物事を見られるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 政治制度の考察に入る前に、まず、制度の目的であるデモクラシーとは何かについて考え、その後、デモクラシーを実現するための政治制度の発展を概観します。

- (1・2) デモクラシーとは
- (3・4・5) イギリスにおける議院内閣制の出現と発展
- (6・7) 議院内閣制の展開 (フランス、ドイツ、日本)
- (8・9) 大統領制
- (10・11) 政党
- (12・13) 選挙制度。

(後期) 前期の講義で得た知識をもとに、以下のような政治制度のさまざまな側面を順次検討し、最後に「制度は政治を変えるか?」という問題を考えます。

- (14~17) 議会と政策決定過程
- (18・19) 政治資金
- (20・21) 中央地方関係
- (22) 司法審査制
- (23・24) 官僚制
- (25) 直接民主制
- (26) まとめ

政
治

履修上の留意点

途中で出入りする者、私語る者には、退場を求める場合があります。

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、数回実施する小テストの結果、授業への参加状況を加味して評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

参考になりそうな新聞記事等はコピーを配布します。また、なるべく多くの参考文献をKOMSY 詳細版で紹介しますので、積極的に読んで下さい。

その他

毎回の講義の内容、参考文献等については、原則として前日までにKOMSY 詳細版で公開します。自宅からもインターネット経由でアクセスできるので、必ず参照し、活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本政治史	村井良太	13以降入学生/政治1・2・3・4選必 14以前入学生/政治2・3・4選必	4

講義のねらい

政治を理解するには、思想分析、比較、一般化など様々な方法がありますが、歴史という経験に学ぶのが政治史の分野です。本講義の目的は、第一に、日本政治史を学ぶことを通じて、日本の置かれてきた立場、選択とその結果について基本的な理解と知識を得ることです。留学生など日本で学ぶ方々にとって日本の来歴は興味深いものでしょうし、日本人の学生にとっては自分の国についてしっかりと説明できるというのは重要な能力です。加えて、歴史を学ぶことを通じて、政治を知り、現代を相対化してみる視点を養ってもらいたいと思います。本年度の「日本政治史」では、戦前史、中でも1920年代の政党史を中心に講義を行います。第一次世界大戦を越えた日本がどのような行き方を模索したのか、現代の政党政治の原型を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
前期：(1) 日本政治の戦前と戦後 (2) 明治維新 (3) 明治国家の形成 (4) 日清・日露戦争 (5) 第一次世界大戦と日本 (6) 原内閣と憲政会
後期：(7) 原以後の試行錯誤 (8) 1924年憲政危機と西園寺 (9) 憲政会の体制内化 (10) 政党内閣制の成立 (11) 内政から見た十五年戦争 (12) 戦後政党政治の出発

政治

履修上の留意点

履修する学生には、何より出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポートと学年末試験によって評価します。

教科書

村井良太『政党内閣制の成立』(有斐閣) 6,000円+税。教科書の利用については、必ず初回の授業で説明を受けてください。

参考書等

参考図書は講義の中で随時紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治過程論	早川純貴	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

本年度の政治過程論は、戦後日本における政治過程研究の回顧と再評価を試みる。講義では戦後政治を代表する政策事例に関する研究と理論とのかかわりについて論じていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期	後期
1 戦前と戦後の連続か断絶か	1 三木内閣とスト権スト
2 GHQの戦後改革 ——イデオロギー上の特徴と限界	2 大平内閣・福田内閣について ——大蔵省と「100兆円の背信」
3 吉田内閣・岸内閣について ——安保体制と憲法	3 中曽根内閣と国鉄の分割民営化
4 池田内閣・佐藤内閣について ——日本の外交と日米関係	4 自民党優位体制の確立とその特質
5 高度経済成長の政治的帰結	5 福祉国家の変質——社会保障政策の変遷
6 田中角栄とその時代 ——地方の政治風土と利権構造	6 竹下内閣と消費税
	7 細川内閣・村山内閣——社会党の衰滅

履修上の留意点

講義では事例研究とともに理論の解説に多くの時間をかける。理論の話は継続して聞かないと理解できない。分からないときは遠慮せず質問すること。質問は学生の権利であり、教員はそれに答える義務がある。

成績評価の方法

中間試験と定期試験の合計点数により評価する。

教科書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』(学陽書房) 2004年 2,600円

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	政治1・2・3・4選必	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合—— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回との出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方行政	内海麻利	政治2・3・4選必(行政メディア)	4
		政治2・3・4選(国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

わが国の地方自治体は、国際化、情報化、高齢化など社会経済の急激な変化にさらされる一方、規制緩和、行政改革、地方分権の推進などの行政システム改革の強い要請のもとで、21世紀の地方自治のあり方を探究する変革期にある。本講義は私たちにとって身近な地方自治体における行政の仕組みや政策課題について、そのあり方を生活者市民の視点から明らかにし、学生諸君の地方自治についての専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、地方自治体の政策・制度・管理を中心として多角的に地方行政のあり方を具体的な事例を参照しながら考察し、地方自治に対する主体的な取り組みや可能性またその課題を実践的観点から考えることとしたい。なお、主として地方行政に関する次の枠組みにおいて講義するが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・都市、社会の変容と自治体行政
- ・地方分権とその改革
- ・政策過程と政策評価
- ・自治体における計画行政
- ・地方自治と条例
- ・市民参加と情報公開

履修上の留意点

地方自治体に関する報道記事や関連の専門誌などに目を配り、地方行政について理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

早川・内海・田丸・大山『政策過程論』(学陽書房)2004年

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政策決定論	田丸大	政治2・3・4選必(行政メディア)	4
		政治2・3・4選(国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

本講義では、「政策はどのように作られるのか」をテーマに、なるべく幅広い切り口で考察を加えてみたいと考えている。具体的には、日本の国の省庁や地方自治体（行政）における政策決定のあり方、政治はどのように政策決定に関わっているのかといった点について、理論的な考察を加えるとともに、法律・条例・予算などを取り上げ具体的な政策決定についても論じてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を扱う。スケジュールについては、初回の講義で知らせます。
現代日本の経済状況（デフレと金融など）。その経済状況と政策決定との関係。日本の政策決定における基本的特質。与党における政策決定。省庁における政策決定。法案の作成過程。政策決定のスタイルに関する近年の改革。地方政府における政策決定のスタイル（首長、役所、議会の関係）政策実務家による特別講義（公務員、政治家など）

履修上の留意点

日本の政治に対する基本的な知識、加えて行政学の教科書程度の知識の備わっていることが望ましい。

成績評価の方法

一学期最後の講義におけるテスト（30点）、および学年末のテスト（70点）で評価する（ともに持ち込み不可）。出席は取らない。テストを欠席した場合でも、レポートの提出は一切認めない。

教科書

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）価格未定

参考書等

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣）2001年 本体3,100円
森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法総論	塩入みほも	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組みと理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法/違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法的事態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

内容としては、まず総則——行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式とその法的性質（法的拘束力の有無など）、行政上の強制措置・制裁、行政調査など——について講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教科書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参考書等

最初の講義の際に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法各論	しほ い 塩 入 みほも	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度(=行政救済法)について講義します。

講義の内容・
授業スケジュール

内容的には、国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事件訴訟の各法制度について講義していきます。

履修上の留意点

行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましいです。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能です。特に公務員、行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題、論点についてはその都度指摘します。

成績評価の方法

定期試験(年度末一回)及び不定期に確認する出欠の総合判断により評価します。

教科書

特定の教科書は使用しません。

参考書等

初回講義時の際に紹介します。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみ い 富 井 幸 雄	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 (総則・物権法)	す 須 が 賀 あき のり 須 賀 昭 徳	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつおりの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、ひとつおりの基本となる知識をもてるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期（民法総則）

- ①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④法人（社団法人、財団法人） ⑤権利の客体（物とは） ⑥法律行為（意思の欠缺、瑕疵ある意思表示） ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑩時効（取得時効、消滅時効）

後期（物権法）

- ①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権（法定担保物権） ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保（譲渡担保、仮登記担保）

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（第3版）（有斐閣）2,000円

参 考 書 等

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
刑法総論	佐藤多美夫	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

刑法総論は、刑法典第一編総則にある犯罪の基本的・重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめ、体系的に刑法総論を理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 刑法の基礎理論
- II 構成要件
 - 1 構成要素
 - 2 結果
 - 3 実行行為
 - 4 不作為犯
 - 5 未遂
 - 6 因果関係
- III 違法性
 - 1 正当業務行為
 - 2 正当防衛
 - 3 緊急避難
- IV 責任
 - 1 責任主義
 - 2 責任能力
 - 3 故意
 - 4 過失
 - 5 期待可能性
- V 共犯
 - 1 正犯と共犯
 - 2 共同正犯
 - 3 教唆犯
 - 4 幫助犯
- VI 共犯の諸問題
 - 1 共犯と身分
 - 2 共犯と錯誤
 - 3 共犯の中止、離脱
- VII 罪数論

政
治

成績評価の方法

筆記試験とその他の総合評価とする。。

教科書

開講時に指示する(欠席しないように)。

その他

予習をしてくること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本的雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

政
治

履修上の留意点

毎時間出席。授業のマナーは守ること。

授業は、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし予習復習は欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましい。

成績評価の方法

学年末試験(論述式)がメインで、出席、レポートなどとともに総合的に評価して決めます。追・再試験は実施します。

教科書

教科書は、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)、労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)が手ごろでしょう。物足りなさを感じる受講生は、労働法(菅野和夫著・弘文堂)がいいでしょう。教科書は予習復習をするうえで必要です。少なくとも1冊は用意してください。

参考書等

労働判例百選第7版(別冊ジュリスト)、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものが重要です。第1回目の授業で紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑事政策	かくしょうとよかず 覚正豊和	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探索していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|------|---|
| 回数 | 授業の内容 |
| 第1回 | 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題
刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。 |
| 第2回 | 犯罪学の歴史と展開
その起源から近代学説までを学ぶ。 |
| 第3回 | 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。 |
| 第4回 | 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。 |
| 第5回 | 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。 |
| 第6回 | 犯罪の原因(1)
身体的・生理的要因について学ぶ。 |
| 第7回 | 犯罪の原因(2)
個人環境的要因について学ぶ。 |
| 第8回 | 犯罪の原因(3)
社会環境的要因について学ぶ。 |
| 第9回 | 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。 |
| 第10回 | 死刑
憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。 |
| 第11回 | 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。 |
| 第12回 | 財産刑
罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。 |
| 第13回 | 保安処分
意義、種類、要件などについて学ぶ。 |
| 第14回 | 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。 |
| 第15回 | 定期試験(予定) |
| 第16回 | 犯罪者の処遇
意義、原則、動向について学ぶ。 |
| 第17回 | 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察
微罪処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。 |
| 第18回 | 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察
起訴猶予などについて学ぶ。 |
| 第19回 | 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。 |
| 第20回 | 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。 |
| 第21回 | 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。 |
| 第22回 | 犯罪の予防
意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。 |
| 第23回 | 更生保護 |

- 第24回 意義、措置、概況などについて学ぶ。
恩赦・資格制度
- 第25回 恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
被害者補償
- 第26回 意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
各犯罪と対策
- 第27回 少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
各種犯罪と対策
- 第28回 組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
各種犯罪と対策
- 第29回 薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
まとめ
討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点

初回の授業において指示する。

成績評価の方法

定期試験および平常点

教科書

齊藤静敬著『刑事政策』（創成社）

参考書等

授業において指示する。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

社会政策は、市場経済の限界や市場経済が生み出す弊害から、人々を保護し、国民生活のリスクを社会的に軽減、防止する目的で発展してきたものである。本講義では、社会政策の理論的理解を行なうとともに、社会政策の過去と現状を再評価しながら、社会政策の課題を展望することを目的とする。具体的には、労働政策・社会保障政策について、法学・経済学・社会学・政治学などの知見を用いながら、理論的課題を学際的かつ多角的視点で理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会政策の原理
 - 1 社会政策とは
 - 2 社会政策の歴史
 - 3 福祉国家と福祉社会
- II 社会政策の諸相
 - 1 労働時間と社会政策
 - 2 賃金と社会政策
 - 3 労働市場と社会政策
 - 4 所得保障と社会政策
 - 5 サービス保障と社会政策
- III 社会政策の理論的視点

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

講義開講時に指定する。

参考書等

参考文献については、適宜指示する。

その他

日頃より新聞、雑誌等で社会の動向を注視してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境政策	よこ 横 田 た まさ とし 匡 紀	政治2・3・4選必(行政)	4
		政治2・3・4選(国際メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

環境問題は現代世界の将来にかかわります。従って環境政策は将来の世代の生活にかかわる選択をする営みといえましょう。この講義では、多様化、複雑化、グローバル化している環境問題の状況を踏まえて、環境政策のメカニズムを理解していきます。日本、世界各国、国際社会における環境政策の具体例に言及しながら、行政の視点、企業の視点、市民の視点が交錯する諸相を明らかにします。公務員志望者、マスコミや民間企業志望者あるいは環境問題関連の資格試験なども念頭に置き、有益な情報の提供をこころがけたい。また現代社会の一市民として環境政策をみる視座、問題解決への視座を育成することが期待されます。

講義の内容・授業スケジュール

*前期は「グローバリゼーションと環境問題への対応」と題して、環境政策がグローバルな性質を持つことを理解します。後期は「持続可能な社会のガバナンス」と題して環境問題に対応する社会のあり方を考えます。

前期テーマ「グローバリゼーションと環境問題への対応」

序—将来の世代のための選択：政策科学の視点

・環境政策の射程と担い手—ローカルからグローバルへ

・環境政策のキーワード

持続可能な発展 予防原則 共通だが差異のある責任原則 等

1. ストックホルムからヨハネスブルクへ

—持続可能な発展をめぐるガバナンスの軌跡

・環境のグローバリゼーション

・国連人間環境会議と地球サミット

・ヨハネスブルク・サミットと制度改革

2. 新しい政策課題

・「人間の安全保障」と環境問題

・淡水資源のガバナンス

・ジェンダー／人権と環境問題

・反グローバリゼーションと環境問題

後期テーマ「持続可能な社会のガバナンス」

序—持続可能な社会のキーワード

ガバナンス コモンズ 社会関係資本と環境 政策手法の変質 等

1. 持続可能な社会の政策課題

オゾン層保護

再生可能エネルギー 等

2. 政策統合の諸相

環境経営

貿易と環境

エコツーリズム

持続可能な交通政策 等

3. 京都議定書と日本の課題

地球温暖化のメカニズム

京都議定書の国際制度

京都メカニズム

環境政策の展望

*受講生の関心や授業の進捗に応じて優先順位を変更したり、トピックを選別することがある。

*時事問題を随時とりあげる予定である。

*新聞記事やビデオなどを多用し、理解の深化に努める予定である。

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

出席点はないが、出席しないことで生じる不利益は各自の責任となることに注意してください。

KOMSYの詳細情報にも講義情報のエッセンス、試験情報を掲載する予定であり、出席できなかった学生は確認するように心がけてください。

成績評価の方法

試験を基本とし、レポートや平常点などを加味し総合的に判断する。

教科書
その他

横田匡紀『地球環境政策過程』（ミネルヴァ書房）（第2刷）

環境問題に少しでも関心を持つ学生の履修を歓迎します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	みふねえみ 三船恵美	政治2・3・4選必(国際)	4
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。

国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

政治

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争）について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ一極支配体制の世界政治的意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。

後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念（ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論）を講義します。

成績評価の方法

学期末試験(50%+50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』（南窓社）2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	三竹直哉	政治2・3・4選必(国際メディア)	4
		政治2・3・4選(行政)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2004年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2004年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べるのが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。
他にも指定する可能性はあります。

その他

この文章は2004年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezcmi/>

URL が変更になる可能性があります。その場合、Google などで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際行政学	福田耕治	政治2・3・4選必(国際)	4
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

国際行政学は、国民国家の枠を超える行政現象に注目し、国際機構内部の行政管理、国際行政と国内行政の関係、国際公共政策の管理や国境を越える政府間関係をめぐる諸問題を扱う新しい学問分野である。国際機関の行政は、その加盟国の中央行政や地方行政とどのような関係を持ち、いかにして国際公共政策を形成し、実施していくのか。国内行政の「国際化」への対応はいかなるものであり、国際機関の行政はこれにどのように関わっているのだろうか。国際行政学は、このようなグローバルな視点、地球市民社会の一員として、人類共通の利益(国際公益)の実現という観点に立って、国際社会に貢献することを目的とする実践的性格を持った新しい研究領域である。本講義の内容は、国家公務員、地方公務員志望者、NGO職員、商社等の民間企業志望者にとっても役立つものとなろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 国際行政の発達史と国際行政学の研究 対象と方法
- 2 国際機構の人事行政と国際公務員制度
- 3 国際機構の財源調達と財務行政
- 4 国際公共政策と政策科学
- 5 国際安全保障政策
- 6 地球環境政策
- 7 国際開発援助政策
- 8 国際人権・人道政策
- 9 国際社会保障政策
- 10 国境を越える加盟国警察協力政策
- 11 食品の安全保障政策など
- 12 国際機構と行政統制、行財政改革(国際行政統制論)
- 13 国際機構行政と国内行政の関係-規制の国際的調整、国際機構、国、自治体間の国際規制協力
- 14 国際協力におけるNGO/NPOと自治体の役割
- 15 国際行政学の課題

成績評価の方法

前期・後期の試験による。

教科書

福田耕治『国際行政学』(有斐閣)2003

参考書等

福田耕治『現代行政と国際化-国際行政への序説(第二版)』(成文堂)
福田耕治・真淵勝・縣公一郎編『行政の新展開』(法律文化社)2002

その他

講義に関係する国際機構、NGO等のURLについては、講義の際に適宜紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済学	徳永俊明 <small>とくながとしあき</small>	政治2・3・4選必(国際)	4
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいますのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主體的な受講を期待します。

政治

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——〔援助〕と多国籍企業・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(3回予定)および学年末レポートで評価します。(レポート評価のため追・再試験は行いません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際法	さいとう ひろし 齋藤 洋	政治2・3・4選必(国際)	4
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

国際社会で日々生起している諸現象・諸事件を法学の視点から捉えられるようにするために、その基礎となる知識や原則・ルールの習得をめざす。本講義は各法制度を法の発展過程の中で理解しようとする傾向をもつ。それは、担当者が現在という時間に区切って現行法制度を理解しようとするのではなく、過去から将来に続く一連の法発展過程の一時期の状態という視点で、現行法制度、特に国際法学を研究していることから生ずる傾向である。したがって講義内容も、狭窄な法解釈・判例研究ではなく、当該法制度あるいは判例が人類社会もしくは国際社会の発展の中で如何なる意味を有するのか、それが社会にどのような影響を与えるのか、といったことを中心にして、現行法制度の基本ルールを説明することになる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：戦争観念と国家主権観念、国家と国際法（承認論、責任論、承継論、対外機関、条約法など）、
地的管轄権（1）（主として海洋法）
後期：地的管轄権（2）（主として航空法・宇宙法）、人的管轄権（国籍、外国人問題、犯罪人引渡、難民など）、
国際機関（法主体性論、国連、その他）、紛争解決（平和的解決手段、WTOの紛争処理、国際裁判など）

履修上の留意点

国際法は我々の日常生活に最も縁遠い法制度である。したがって、法学、憲法や民法、国際関係論、外交史などを履修した上で、3年次以上になってからの受講が望ましい。換言すればそれだけの予備知識がないと理解に困難を感じると思われる。
また受講生は、毎日必ず新聞を読むこと。自ら図書館で判例を調べるくらいの気持ちが必要である。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績で評価する。夏期休暇中の課題は原則として課さない。

教科書

齋藤洋『国際法講義ノート・資料2005』（虹有社）予価2,000円＋税

参考書等

授業中、適宜指示する。

その他

受講にあたって、私語を慎み、一所懸命ノートをとること。このノートが定期試験に威力を発揮するはずである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
北米政治論(1)(前期)	こぼりのりお 小堀訓男	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。アメリカは、世界中から集まった、多種多様な人種によって形成された不思議な国家である。その不思議な国家を理解するためには、たった一度の独立革命(独立戦争)で国家が成立してしまった様子、アメリカの国家理念、アメリカの政党と政治を考察し理解する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

1. アメリカ国家の成立過程
2. アメリカ政治の型式
3. アメリカの政党の機能
4. 民主党と共和党——両党の支持者はだれか。
5. 民主党か共和党か——両党の相違点は何か。
6. アメリカ政治の将来

履修上の留意点

この講義では、アメリカ政治の総論を概説するが、政治学の基礎的な知識を必要とする。基礎的な事項は、その都度明示し解説するが、理解できない点は積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

定期試験70%、授業中の小テスト30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
北米政治論(2)(後期)	こぼりのりお 小堀訓男	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、ルーズベルト大統領のニューディール政策からブッシュ大統領までの歴代の大統領の内政と外交を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. ニューディール体制
2. 第2次大戦後の政治と社会
3. 激動の1960年代
4. 社会変動と政治の対応
5. 1970年代後半の保守化への動き
6. レーガン政権、I期II期
7. ブッシュ政権と社会主義諸国との関係
8. 冷戦終結後のアメリカと国際政治

履修上の留意点

ルーズベルト以後の各大統領の内政と外交について、受講生のなかで希望者が研究発表をおこない、受講生全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に授業に参加することを望む。

成績評価の方法

定期試験70%、研究発表30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とする。

教科書

特定のテキストは使用しない。

参考書等

参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介する。

その他

今日の問題とアメリカとの関係について、授業中に討論するので、新聞を毎日良く読んでおくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東南アジア政治論(1)(前期)	なかむらまさし 中村正志	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

民族の多様性は、東南アジア諸国に共通してみられる重要な社会的特徴のひとつです。本講義では、マレーシアの事例を中心に、東南アジアがなぜ多民族化し、それによってどのような社会的問題が発生し、どのような政治的対応がとられてきたのかについて考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義では、以下のトピックを扱います。
- (1) イントロダクション：マレーシアのプミプトラ政策
 - (2) 植民地化と多民族社会、複合社会の形成
 - (3) 多民族社会における民主主義
 - (4) マレーシアの政党システムと選挙
 - (5) グローバル化とナショナリズム：マレーシアの移民問題

履修上の留意点

東南アジアの時事問題についても、随時紹介、コメントしていきます。受講者には、新聞の国際面に目を通し、東南アジア関連のニュースをフォローしておくことを望みます。

成績評価の方法

期末のレポートならびに講義中に行う予定の小論文によって評価します。

教科書

教科書はとくに指定しませんが、初回の授業で参考文献リストを配布します。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東南アジア政治論(2)(後期)	なかおやすお 深尾康夫	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

東南アジアはその地理的・経済的背景から、古来文化的・民族的に多様な社会を発展させてきました。第2次大戦後独立を果たし、国造りをスタートさせた東南アジア各国にとって、いかに国内の多様性を尊重しながら統一国家を維持するのかという問題は、今日に至るまで大きな政治的課題です。本講義では海域部の大国インドネシアの事例を中心に、この課題への対応を探ります。

講義の内容・授業スケジュール

- ※各トピックを1～3回のペースで扱います。
1. 東南アジア及び・インドネシアにおける多様性とその背景、
 2. 中央集権と地方分権化、
 3. 経済開発と地方分権化、
 4. 民主化と地方分権化、
 5. 東ティモールの分離独立、
 6. アチェ・バブアにおける紛争、
 7. 比較

履修上の留意点

インドネシアを中心とする東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法

期末試験、小テスト、出欠などに基づいて評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

初回授業時に参考文献リストを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国政治論(1)(前期)	竹花光範	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、辛亥革命以後の中国の政治制度と政治事情の変遷が中心になるが、とくに中華人民共和国建設後は、そうした変遷が、国家の最高法規であるはずの憲法の上に、どのように反映しているかについて詳述する。恐らく、プロレタリア文化大革命から75年憲法の採択あたりまでの講義になるものと思う。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。
前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範『中国憲法論序説』(成文堂) 3,500円

参考書等

参考書(とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの)は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるとあってよいであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国政治論(2)(後期)	竹花光範	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

当科目は、地域研究入門講座的な性格をもって設けられたものであり、中国政治の歴史と現状について、正しい理解を得ることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

後期においては、78年憲法から現行83年憲法の採択、その後の三度にわたる部分改正について述べることになるが、そこでは、いわゆる「中国の特色をもった社会主義」、すなわち社会主義市場経済体制の特色、並びに問題点についても論及する予定である。

履修上の留意点

時事的な問題をとり上げて解説するなど立体的な講義を心がけるので、できる限り講義には出席すること。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。
前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

竹花光範『中国憲法論序説』(成文堂) 3,500円

参考書等

参考書(とくに、中国政治史、中国共産党史や現代化路線に関するもの)は、必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

中国は「近くて遠い国」であるといわれる。地理的には、まさに隣国といってよく、歴史的にも深い関わりがありながら、お互いの理解は、必ずしも充分とはいえない。そのことが両国の間に不必要な軋轢を生んでいるとあってよいであろう。学生諸君が、正しい中国認識をもって、「あるべき日中関係」を考えるよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(1)(前期)	なかのゆうじ 中野裕二	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選	

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(1)」では「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。国民の「外部者」たる移民・外国人の抱える問題、国や政治勢力の対応・施策を通して、「国民とは何か?」、「国とは何か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっています。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・外国人労働者から移民へ
- ・1990年代以降の新しい移民 ・移民・外国人の直面する諸問題
- ・移民・外国人排斥勢力とその論理 ・移民・外国人に対する施策

履修上の留意点

政治制度論を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(2)(後期)	なかのゆうじ 中野裕二	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(2)」では「フランスにおける新しい共和制像の模索」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。文化的・宗教的・民族的に多様なフランスで、各個人が自らの多様性を享受しながら、フランス社会が一つの社会としてまとまる原理は何か?ということの問題関心とします。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっています。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・伝統的「共和制モデル」 ・移民問題の衝撃 ・ヨーロッパ統合の衝撃
- ・フランス型多文化主義 ・寛容の共和主義 ・新しい共和制像の模索

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。なお、講義の内容上、「ヨーロッパ政治論(1)」の授業内容を前提とすることもありますので、連続して受講することが望ましいです。

フランスを直接の対象としますが、「多民族社会・多文化社会=日本」における社会統合の原理は何か?という問題関心をつねに持って受講してください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(3)(前期)	あきみまさえ 浅見政江	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

本講座ではドイツ連邦共和国を素材に欧州の政治に関する理解を深めていきます。周知のように「ドイツ」は欧州を代表する主要国のひとつです。その「ドイツ」の誕生から現在に至る歴史を概観し、現在のドイツの政治制度、社会、経済について解説します。さらに欧州連合(EU)の中核的存在である「ドイツ」を欧州統合の文脈で評価してみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：「ドイツ」とは何か・「ドイツ」誕生の歴史（3回）
- 第2クール：近代「ドイツ」の歴史（2回）
- 第3クール：戦後ドイツの歴史（3回）
- 第4クール：ドイツの政治制度・社会・経済（2回）
- 第5クール：ドイツとEU（2回）

履修上の留意点

ドイツを対象に講義を行います。特段ドイツ語の知識は必要ありません。ただ、講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

成績評価の方法

学期末の試験とレポート（1回）によって成績評価を行います。

教科書

特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(4)(後期)	あきみまさえ 浅見政江	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

欧州の政治を民主主義という観点で考察することが本講座の目的です。民主主義という概念の起源は古代ギリシャの昔に遡ることができます。しかし、ひとことに民主主義といっても、その概念は多様であり、かつ民主主義理念を反映させた制度は非常に千差万別ともいえます。米国的な民主主義モデルや英国的な（ウェストミンスター型）モデルについては、よく議論されますが、本講座では、これらのモデルとは一線を画する欧州独自の民主制度に関する議論を展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：民主主義について・ヨーロッパの民主主義（4回）
- 第2クール：オランダの民主主義と北欧諸国の民主主義（3回）
- 第3クール：スペイン、ポルトガルの民主主義とイタリアの民主主義（2回）
- 第4クール：欧州連合(EU)と民主主義（2回）
- 第5クール：欧州の新興民主主義諸国の現状（1回）

履修上の留意点

講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

成績評価の方法

学期末の試験とレポート（1回）によって成績評価を行います。

教科書

特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アラブ・イスラム政治論(後期)	なかしま いさむ 中 島 勇	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

現代中東の政治問題を中心に扱う。開講中に発生する事件や紛争を手がかりに、その背景にある民族問題、宗教問題を整理する。中心的テーマは、アラブ・イスラエル紛争、イラク問題、イスラム系組織のテロ問題となる。また一神教の成立など、現在の事件の背景を理解するために必要な歴史にもふれる。

履修上の留意点

ニュースを扱うので、国際報道に関心があることが望ましい。

成績評価の方法

評価は、レポートの提出で行う。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中南米政治論(前期)	まし かわ たけし 岸 川 毅	政治2・3・4選必(国際)	2
		政治2・3・4選(行政メディア)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

比較政治学の観点から、中南米諸国の政治体制の基本構造と変動のメカニズムを解説する。まず独立後の政治史を概観したのち、軍、政党、教会、労組、住民組織、ゲリラ組織など主要アクターの役割を明らかにしつつ、中南米地域に共通して見られる一般的性格や国ごとの独自性を明らかにする。そしてさらに、民主化や経済自由化といった近年の動きが伝統的な政治のあり方をどう変えていったのかを見ていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1・2) 中南米政治の歴史的背景
- (3～6) 主要な政治アクター
- (7～9) 革命と革命後政権
- (10・11) 民主化
- (12) 経済自由化
- (13) 中南米政治の新たな課題

履修上の留意点

積極的な質問を期待する。本講義では基礎的知識の提供を目的としているので、より知識を深めたい学生に対しては、専門文献や研究方法を個別に紹介する。

成績評価の方法

学期末に実施する論述式の試験によって評価する。出席点も若干加味する。

教 科 書

松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』(新評論) 3,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 都 市 論	うち内海麻利	政治2・3・4選必(国際メディア)	4
		政治2・3・4選(行政)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

経済成長を目的に都市開発を進めた時代から、地域管理や経営という視点を含む持続的発展を目指した都市づくりが要請される時代へと移行しつつある。このような変化に対し今日の都市づくりは、経済のグローバル化に伴い国内外にわたる地域間競争にさらされ、持続可能性をもって地域ポテンシャルを高めることが期待されている。一方、地方分権改革により各都市独自の政策に基づき、固有の環境や景観、歴史や文化・産業などの資源を活かした個性豊かな都市のあり方が問われている。本講義では持続可能で個性豊かな都市づくりという観点から、諸外国と日本、日本における各都市について比較し、また、先進的な事例をとおして今後の都市政策における学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、各回毎に今日的なテーマを設定し、様々な都市のデータ及び都市づくりに関する計画や政策、実践的な取り組み等を提示しながら講義を行うが、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

履修上の留意点

授業時に紹介する教科書や参考書を読み理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	相田敏彦	政治2・3・4選必(メディア)	4
		政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治1・2・3・4選必	

講義のねらい

マス・メディア、とりわけテレビは、いわば空気のように、身近で、かつ、なくてはならないものというのが、私達大部分の実感といてようと思います。しかしその身近さやおもしろさ、有用性などによって、メディアは実は気づかれない形で私達のものの方や考え方を、さらには感じ方までも形づくる大きな力の一つになっています。
この問題を掘り下げて考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期：「カメラはウソをつかない」か。
新聞記者の「ペンにはウソをつき得る」が、報道のカメラは事実をありのままに伝えてくれるのかどうか。

- (1) 原理的検討
記号論やカルチュラル・スタディーズに基づいて、この問題を掘り下げます。
- (2) 具体的検討

新聞の具体的写真によって考えてゆきます。

後期：テレビニュースやドラマをめぐって。

- (1) ニュースによる‘よびかけ’
私達はニュースによって‘よびかけ’られて、気がつかないうちに‘国民’や‘消費者’に仕立てられます。このことを具体的にかつ論理的に追求します。
- (2) 視覚的・言語的言説としてのテレビ
‘現実性効果’、‘埋めこまれた前提’について、構造主義の方法を参考に検討します。
- (3) メディアと権力
権力についての新しいとらえ方を学びます。
- (4) ドラマの視聴者への影響
テレビドラマの深い影響力を調べます。

成績評価の方法

レポートと学年末試験の成績を中心に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

U. エーコ『記号論』I、II (岩波書店)
児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
数量政治学	水戸克典	政治2・3・4選必(メディア)	4
		政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわれています。しかしながら、誰が実際に政治の実験を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義ではアクター間の相互作用によってなされる政策形成過程に触れつつ、数量政治学的観点から、現代政治のさまざまな特質を解説し、内外の政治力学を多面的に検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

概ね以下の点を中心に講義を進めます。

- 1 ガイダンス
- 2 政治・権力・国家
- 3 民主主義
- 4 政党
- 5 有権者の投票行動
- 6 議会と立法過程
- 7 官僚制
- 8 利益集団
- 9 中央—地方関係
- 10 政治—経済モデル
- 11 国際政治

政治

履修上の留意点

履修にあたり、特に予備知識は必要としません。但し、現代の政治現象に関心のある学生の履修が望ましいと思われます。

成績評価の方法

定期試験、平常点（小テスト等）、（場合によってはレポート）の結果を総合的に勘案し、評価します。

教科書

授業中に適宜指示します。

参考書等

授業中に適宜指示します。

その他

授業方法—原則として講義形式とする予定です。詳細は初回の授業時に説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディア社会論	相田敏彦	政治2・3・4選必(メディア)	4
		政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

いまやすっかり日常語になっている「メディア」「情報(化)社会」、「情報」の観念・概念に関する的確かつ批判的な把握をめざす。そのために、相互に密接に関連する「情報」、「記号」、「コミュニケーション」などの概念を掘り下げて検討する。また、さまざまな情報メディア(機器)による媒介的(mediated)関係性という、情報社会の基本的特性について論じる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 情報論
通信理論における情報概念は、日常の用語法とはかなり異なる。そこでは情報は確率的な量として定義される。
2. 記号論
ことばや映像はいうまでもなく、世の中の森羅万象が記号たり得るとというのが、現代記号論の基本的視角の一つである。常識的な記号の考え方をくつがえすこの視角について述べ、記号論の基本的タームにも言及する。
3. コミュニケーション論
やはり、通常いだかれていたコミュニケーションの考え方を抜本的に検討・批判する。G. H. ミードの理論にもふれたい。
4. 媒介的關係性、メディア
情報社会の基本的特性は、さまざまな情報メディア(機器)によって媒介された(mediated)関係性・コミュニケーションである。媒介的關係性・コミュニケーションについて論じ、その歴史的展開をふりかえり、さらに、現代情報社会における新たなメディア機器が、通常のコミュニケーションについての観念自体の変容をうみだしていることも指摘する。

成績評価の方法

課題レポートと学年末試験の予定だが、受講者の人数により、最終的に決定したい。

教科書

未定

参考書等

児島和人(編著)『講座社会学8. 社会情報』(東京大学出版会)
 竹内郁郎(編著)『メディア・コミュニケーション論』(北樹出版)
 池上嘉彦『記号論への招待』(岩波書店)
 ラッシュ『情報批判—情報・メディア・コミュニケーション論再考』(NTT出版)
 その他、授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治心理学	眞下英二	政治2・3・4選必(メディア)	4
		政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

本講義は、人々がどのような経緯で政治意識を形成し、あるいは決定を行うのかについての理解を深めることを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

現代民主主義社会においては、選挙をはじめとして、様々な形で有権者が政治に関与することが求められている。また同時に、大衆社会としての現代社会においては、有権者が政治に関する情報に触れ、政治意識を形成する機会やそのための手段が多くなっている。とりわけ近年の情報技術の発達は、そうした流れを促進しているといえる。では、有権者はどのようにして自らの政治意識を形成し、選挙での投票につなげているのだろうか。そしてそこには、どのようなメディアの影響があるといえるのか、あるいはそういった影響は存在しないのだろうか。本講義では、これらの点について、以下の要領で授業を進めていく。

前期：選挙と投票行動

1. 現代政治と選挙
2. 政治参加と選挙の機能
3. 選挙と政党
4. 圧力団体
5. 日本の選挙
6. 投票行動
7. 投票行動研究の系譜

後期：メディアと政治

1. 現代社会とマスメディア
2. 政治的社会化
3. 政治意識と社会
4. 世論と参加
5. メディアと政治
6. 新しいメディアの登場と政治
7. 民主主義とメディア

政治

履修上の留意点

この講義は、政治に関する最低限の知識を持ち合わせていることを前提に行われる。また講義中は、他の受講者の迷惑となるような行為は一切禁ずる。

成績評価の方法

原則として、前後両期末に実施予定の定期試験における評価をもって、成績評価を行う。

教科書

特に指定しない

参考書等

河田潤一・荒木義修『ハンドブック政治心理学』（北樹出版）
堀江湛・上條末夫・富田信男編著『政治心理学』（北樹出版）
など。他は講義内で提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 社 会 学	なかのゆうじ 中野裕二	政治2・3・4選必(メディア)	4
		政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

本年度の「政治社会学」の長期的目標は次の二点にあります。第一に、現代社会を分析し、理解し、説明する力を身につけること、第二に、現代社会の諸問題を解決する理論を模索することです。

しかし、直ちに現代社会の現状分析を行うことは不可能です。それは、分析道具である概念や理論を持たないからです。そこで、この講義では、19世紀の社会学者たちが、19世紀社会をいかに分析し、理解し、説明したか？彼らが19世紀社会の諸問題をいかに理論的に解決し、乗り越えようとしたのか？を学びます。

それでは、なぜ19世紀なのか？理由は二つあります。第一に、19世紀社会は、産業革命と市民革命を経た大変動期であり、われわれの現代社会が抱える問題が初期形態として登場した時代であるからです。第二に、それゆえ、19世紀の社会学者たちの理論的営みは、現代政治学の基礎になっているからです。彼らを抜きにして現代政治学を理解することはできません。

講義の内容・
授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

・トクヴィル ・マルクス ・デュルケーム ・ヴェーバー

履修上の留意点

上記のように、社会学者ごとに項目を設けて講義を進めます。しかし、この講義は「学説史」に重点を置くものではありません。それぞれの社会学者たちが、自分の生きた時代の何を問題視し、それをいかに理論的に乗り越えようとしたのか、という知的営みに焦点を当てます。受講生はつねに、現代社会への応用を念頭に置いて、「自分ならばこういう理論を立てる」という心構えをもって望んで欲しいと思います。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教 科 書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 経 済 学	しらとり 白鳥 浩	政治2・3・4選必(メディア)	4
		政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

政治と経済は、現代においては社会の両輪にも例えられています。また、積極政治の進展とともに、政治と経済をマクロに理解する視座の重要性が叫ばれています。本講義においては、政治経済学の全体像を学んでもらいます。特に、先進国におけるデモクテシーのあり方は、政治と経済に関する政策的なスタンスの違いに起因することを検討することを目的とします。最終的には、国民国家の発展の到達点といわれる福祉国家を理解することにつなげていきたいと考えています。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

1. 政治と経済
2. 戦後政治経済
3. システム論とレジーム論
4. コーポラティズム
5. 福祉国家論「白鳥・ローズの混合福祉論」
6. 福祉国家論「福祉国家の三つの世界論」
7. 経済と文化の間の政治「ヨーロッパの福祉国家」
8. 北欧の福祉国家の変容
9. 福祉国家としての日本
10. 脱工業化社会に向かうのか？

履修上の留意点

関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法

試験を中心とするが、総合的に判断する。

教 科 書

新川・井戸・宮元・眞柄『比較政治経済学』（有斐閣）2004年

参 考 書 等

井戸『経済危機の比較政治学』（新評論）1998年
 眞柄『体制移行の政治学』（早稲田大学出版部）1998年
 白鳥編『福祉国家の再検討』（新評論）2000年
 授業内で適宜、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較メディア論	前期：岩崎 宇雄 後期：島中 誠	政治2・3・4選必(メディア)	4
		政治2・3・4選(行政国際)	
		14以前入学生/政治2・3・4選	

講義のねらい

(前期) 現代のメディアの置かれている状況と現代社会との関わりについて、広範囲な視点から、最近のITの発展と情報ネットワーク社会化が既存のメディア構造をどう変化させるか、その社会へのインパクトについて日本、欧米、アジアモデルを比較し、考察する。
(後期) 新聞業界の歴史と現況、さまざまなメディアが抱える諸問題、職業としての新聞記者のあり方などを、実体験したエピソードをまじえつつ紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 現代メディアの構造、IT革命とメディア、メディアと政治システム、メディアとグローバルイズム、テレビメディア論、メディアと文化摩擦、電子メディアと選挙システム。
(後期) テーマとしては①新聞の理念②新聞の将来③ニュースの定義④ジャーナリストに必要な資質⑤新聞記者の日常⑥職業倫理⑦ニュース発掘、記事作成から紙面掲載までのプロセス⑧誤報とスクープ⑨新聞のタブー⑩国際記者と国際報道⑪新聞ジャーナリズムへの批判(人権報道、偏見報道、記者クラブ)などを考えている。

政
治

履修上の留意点

(前期) 自分自身のメディア・リテラシー度を採点してみる。
(後期) 日ごろ、新聞を熟読すること。一つのテーマを毎日追いかけることが望ましい。

成績評価の方法

学期末試験の結果、授業への積極性、レポート内容等で総合的に評価する。

教科書

教科書は使わない。毎回プリントや新聞の現物・切り抜きを配布する。

参考書等

参考文献、論文等はテーマごとに指定、推薦する。

その他

(前期) テーマごとに課題の提示とレポート提出等をおりませ授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎演習	相田 敏彦	政治2選	4

講義のねらい

マスコミ、広告、パソコン・インターネット普及などの情報化をめぐる広い領域から各自好きな内容を選んでテーマとする。どの領域も研究の蓄積がなされていると同時に、広告・広報や情報化は、非常に多くの仕事・企業とかわりをもつ意味で、実践性・実用性が一層顕著になりつつある。テーマの実践性に加え、卒業後も射程に入れて、人前での発言・発表力、報告書・レポートを書く力などの基礎体力のABCからはじめる。討論、ディベート、合宿などゼミ生同士の交流も深め、大学生活の真の燃焼の場として(ゆったり・楽しく・着実に)活動する出発点としたい。

成績評価の方法

平常点。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	うちうま 内海麻利	政治2選	4

講義のねらい

本基礎演習は、3年次からの演習に向けて、都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関する基礎的な知識を養い、受講者が持つ問題意識を喚起するとともに、問題を研究する手法、分析力、報告・発表する能力を身につけることを主な目的としている。特にその演習方法は、図書や資料で知識を広げるとともに、3・4年次生との交流や、ワークショップ、フィールドワークなど人との対話や実践的な活動を通して知見を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、研究の方法や進め方、テーマ毎に異なる課題への解決方を理解するため、主に4年次生等が行ってきた研究報告に対してワークショップなどの手法を活用しながら議論する。また、受講者の興味に応じて、参考図書や資料、事例などを紹介し、基礎的な知識を養う。後期では、前期の基礎的な知見を踏まえて、演習期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム（問題意識の発掘、研究テーマ・研究方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、とりまとめ方法など）を自ら作成し、各人の問題意識に対する解決策を検討・報告する。例えば、平成15年度の研究テーマには次のようなものがある。密集市街地の狭隘道路整備、自治体の財政状況、自治体税制の可能性、地方都市の合併問題、地方及び中心市街地の活性化、景観問題、市民参加手法、介護・医療保険制度、年金制度、人口安定地域の実態調査、環境問題などである。

政
治

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参 考 書 等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	うらたさな 浦田早苗	政治2選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、纯粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

16年度は共通テーマとして「激動する世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『イラクの復興にむけて』、『ロード・プライシング制』、『地球温暖化問題』、『2大政党制への道』、『望ましい公共事業』、『北朝鮮への経済制裁』、『(ディベート) 裁判員制導入の是非』、『(ディベート) 郵政民営化の是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉学意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

参 考 書 等

文藝春秋編『日本の論点2005』（文藝春秋）2,700円

そ の 他

研究発表では、学生諸君各自が興味あるテーマを自由に選択することができる。年3～4回のコンパと夏合宿が7月にある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	おおやま れいこ 大山礼子	政治2選	4

講義のねらい

3年次からの演習に向けての準備過程として、常識的な政治学の知識を確認すること、自分で調べる能力を養うこと、論理的に考え、発表する力をつけることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

新聞記事を出発点として、時事問題の背景や政治学的な意味を考えていきます。ゼミ生全員に毎週、興味を惹かれた新聞記事の切抜きを作ってきてもらい、そこから素材となる記事を選ぶ方法をとりたいと考えているので、ゼミ生にはまず、新聞の政治面を読む習慣をつけることが求められます。

履修上の留意点

講義課目と違って演習は学生が作っていくものですから、積極的・主体的に参加すること。

成績評価の方法

平常点によります。

教科書

教科書は使用しないが、参考書は適宜紹介するので、なるべく多くの文献に挑戦してください。

その他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	きよたか ひとし 清滝仁志	政治2選	4

講義のねらい

本演習では、政治学科の諸科目を履修するのに必要な政治学の基礎知識を学ぶとともに、自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を身につけることを目的にしています。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テキストを担当者が報告し、議論をする方式をとります。これによって文献を論理的にまとめ、報告する能力をつけます。

後期は、毎回テーマを設定してグループで討論し、全体で報告する方式をとります。就職面接等での集団討論を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得していきます。

履修上の留意点

報告の方法など随時説明しますので、演習を通じて実力UPをめざして下さい。

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度

教科書

なるべく新しく読みやすい新書を選択します（前期）。

その他

行事として、コンパ、合宿・旅行、都内の諸施設見学、可能ならば公務員試験等のサブゼミを開催します。4年生の就職活動報告なども企画予定。

質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	小堀訓男	政治2選	4

講義のねらい	政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。 後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討論する。討論することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。
履修上の留意点	問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということ、研究出来るということは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。
成績評価の方法	講義中の発言、研究発表の内容で評価する。
参考書等	授業中に適宜紹介する。
その他	活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ（各種の国際事象の実録など）を見る予定である。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	塩入みほも	政治2選	4

講義のねらい	三、四年次においていずれかのゼミに所属を希望する者の為に、演習を行える基礎的能力を修得させることを狙いとします。
講義の内容・授業スケジュール	毎回各自に特定のテーマについて研究・報告をしてもらい、報告後には全員でディスカッションを行います。テーマは、主として行政法（国家と国民の関係を規制する法）に関する問題を取り上げます。具体的テーマの割り当ては、学生各自の希望を踏まえて決定する予定です。
履修上の留意点	公務員、行政書士等の国家試験の受験を考えている学生には、特に有意義であると思われま
成績評価の方法	成績評価は、平常点（出席・報告・発言回数等）により行います。
参考書等	適宜必要により指示します。
その他	授業はゼミナール形式で行います。研究・調査方法、報告の仕方、レジュメの書き方等のノウハウは、初回に指導すると共に、その都度必要に応じて教示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	た ま る だい 田 丸 大	政治2選	4

講義のねらい

ディベートやグループ研究といった共同作業を行なうことで、自主的に取り組む勉強は面倒ではあるが、友人も増えて意外と楽しいということを理解してもらうのが、この基礎ゼミの狙いです。

より丁寧に言うと、現実の政治・行政の観察・問題発見・分析・提案能力の基礎を養うことを目的とする。自らが現実の政治・行政の問題に興味を持ち、自分の力でそれを調べ考え、その結果をゼミ生に報告し議論をすることによって、様々な能力を、基礎ゼミの場で身につけて欲しいというのが私の願いです。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談してから決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。

- (1) ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
- (2) ディベートを行う。

ちなみに、去年は、消費税の引き上げ、ごみ収集の有料化、大麻の平和的利用、宝くじ収益金の使途、オレオレ詐欺などを扱った。

履修上の留意点

無断欠席は認めないので、注意すること。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。合宿も出席点に含める。

教 科 書

なし。

そ の 他

(1) ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。(2) なお、ゼミ生のうち、卒業後の進路として、各種公務員を視野に入れている者に対しては、国・地方の公務員の仕事や職場環境がどのようなものであるか、試験勉強をどのようにスタートさせればよいかなどについて、若干のアドバイスをやりたいと考えている。また、ゼミOBの公務員をゲストに呼び、業務内容や受験勉強についてのアドバイスをしてもらう(3年生のゼミと合同で)。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 演 習	はや かわ よし き 早 川 純 貴	政治2選	4

講義のねらい

基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎のリサーチ(フィールドワークを含む)を通して涵養していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題(特に賛否両論が際立つ問題)に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。リサーチは地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当したリサーチについてはレポートを提出してもらう。

履修上の留意点

当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手(聞き手)に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。

成績評価の方法

議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。

教 科 書

教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎演習	村井良太	政治2選	4

講義のねらい

本演習は、大学で政治学を学修し、政治への理解を深める上での基礎的な技術を身につけることを目的としています。教材を読み、レジュメをまとめ、報告し、議論し、書評し、レポートを書くなど一通りのことをします。教材には、戦前戦後の日本政治史を始め、アメリカやアジアなど他の国々の政治史も使い、「世界のなかの日本」という広い視座を身につけるとともに、歴史を学ぶことの楽しさを知ってもらえたら嬉しいです。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、簡単な論文や新書などを用いて教材の読み方やレジュメのまとめ方、報告やコメントの仕方、書評、レポートの書き方などを広範に学びます。後期は、さらに受講生の意欲によって、合宿やディベート、レポート発表など専門書も使いながら貪欲に授業を進め、最終的にゼミ・レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

履修する学生には、たくさんの本をまじめに読み、考え、出席し、積極的に発言しあうことが求められます。それを楽しいと感じる学生を歓迎します。

成績評価の方法

成績は、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。演習は他の講義以上に、教員、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。その貢献は評価の対象になります。積極的に参加してください。

教科書

テキストはこちらから指定するものもありますが、概ね話し合いながら決めていきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつかって報告します。それ以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。他にも、受講生の意欲次第でいろいろと取り入れていきたいと思っています。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	西修	政治2・3・4選	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは(研究の意義、比較の対象、方法、限界など)(2) 主要諸国の憲法(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など)の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法(韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏)の概要、(4) 項目別の比較(平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など)。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するか、KOMSYに詳細を記載するので、よく読んでおくこと
- (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと
- (3) 私語は絶対に慎むこと
- (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- (1) 出席・レポート 30点
- (2) 前期試験 30点
- (3) 後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- (1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』(アスキー)2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- (2) アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』(成文堂)1994年
- (3) 西修著『憲法体系類型的研究』(成文堂)1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おお つか かつら 大塚 桂	15以降入学生/政治2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制フェシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）ならびに、『明治国家と岩倉具視』（信山社）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国家安全保障論	こ ぼり のり お 小堀 訓 男	15以降入学生/政治2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

カントがその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、けっして自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してはならないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であって、戦争それではなかったのである。カントによって提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人は何故集団社会を形成するのか。
2. 近代国家の特質。
3. 国家安全保障の意味・機能・手段。
4. 国家安全保障に関する諸見解。
5. 国家安全保障の理念と現代的課題。

履修上の留意点

「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。

成績評価の方法

ディスカッションでの発言点と期末試験で評価する。

教科書

小堀・志鳥共著『国家安全保障の研究』（高文堂出版） 1,200円

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外交史	むら い りょう た 村 井 良 太	15以降入学生/教治2・3・4選 14以前入学生/教治2・3・4選必	4

講義のねらい

現在の国際政治は混迷と模索の中にあります。そのような中で、過去の経験から学び、未来への糧としようとするのが、外交史の分野です。日本のような民主主義国家では、外交は国民を離れては成り立ちません。また、相互依存の時代にあつて、外交は生活の中にまで深い影響を及ぼしています。本講義を通じて、社会人の一つの素養としての外交理解を身につけてほしいと思います。

本年度の「外交史」では、現代日本にとって大変重要である日米関係の来歴を軸に講義を進めます。ペリー来航から冷戦後までの日米関係史を中心に、世界が、日本がどのように変化してきたのか、また変わらない要素は何か、対アジア外交、経済外交、国際組織などとの関係も含めながら幅広く学びます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

- 前期：(1) 日本外交の戦前と戦後 (2) ペリー来航 (3) 日本の成長と米国
(4) 協調と競争の日米関係 (5) 危機の時代から戦争へ
後期：(6) 占領と講和 (7) 冷戦と日米安保改定 (8) 多極化後の日米関係
(9) 冷戦後の今日 (10) 外交における基本的概念

履修上の留意点

履修する学生には、何より出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

成績は、随時行う出席調査、中間レポートと学年末試験によって評価します。

教科書

特定の教科書は用いません。

参考書等

参考図書は講義の中で随時紹介していきますが、増田弘・土山実男編『日米関係キーワード』(有斐閣) 1,700円+税をまずあげておきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本法制史	しげのたかほる 茂野隆晴	政治2・3・4選	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことに配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。
年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
 - II 基礎法学のなかの法制史
 - III 日本法制史の時代区分
 - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族時代）
- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化
- 第2章 中古（律令時代）
- (1) 総説 (2) 律令法
- 第3章 中世（武家時代前期）
- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文
- 第4章 近世（武家時代後期）
- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令
- 終りに 『家』制度と現代の法意識

政治

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

政
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野 かほる	政治2・3・4選	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二人法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

政
治

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会社法	あらまほたか 荒木正孝	政治2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

具体的には、(1) 会社法総論として、会社の経済的機能、法的概念、権利能力などについて解説し、(2) 会社の設立においては、株主有限責任の原則、資本に関する原則、発起人の意義・地位、定款の作成、会社の実体形成手続、設立関与者の責任、設立無効、設立登記などを説明し、(3) 株式制度では、株式の概念、株式の種類、株式の併合・分割・消却、株式譲渡の自由と制限、名義書換、株式の担保化などに触れる。(4) 会社の管理・運営については、機関の意義・特色・分化、株主総会、取締役、取締役会、代表取締役、監査役および委員会等設置会社などについて各種の問題点を検討する。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13、14年、15年および16年度に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成17年度版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書

荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参考書等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習 I（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	わか ばやし ありさ 若 林 亜理砂	政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教 科 書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参 考 書 等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

そ の 他

授業は毎回配布するレジユメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し 志 あん 安	政治2・3・4選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしつかりと取ってもらいたい。

power pointで講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著「資料で読み解く国際法」第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業はPower Pointを使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 各 論	まつむらいたる 松 村 格	政治2・3・4選	4

講義のねらい

刑法各論は、刑法典各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性を見つけていきます。

講義の内容・授業スケジュール

刑法典の各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。

履修上の留意点

刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点に注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味ですので、六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論の単位を取得していなければ履修する意味がありません。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをして評価に算入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が少人数の場合には、出欠をとります。

教 科 書

松村格著『日本刑法各論教科書』（八千代出版）

参 考 書 等

指定図書・松村他著『刑法各論』（ミネルヴァ書房）平成17年夏出版予定
参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ・各論（第五版）』（有斐閣）2,200円
曾根・日高編『基本判例⁵ 刑法各論』（法学書院）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 (債権)	上 井 長 久 <small>うえ い なが ひさ</small>	政治2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐次的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- (1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系 (前期) (第1回)
- (2) 債権の目的・内容 (第2回)
- (3) 債権の効力——債務と責任、履行強制 (第3回)
- (4) 債務不履行責任 (第4、5回)
- (5) 債権の対外的効力——債権者代位権 (第6回)
- (6) 詐害行為取消権 (債権者取消権) (第7回)
- (7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権 (第8回)
- (8) 連帯債務、保証債務 (第9、10回)
- (9) 債権の譲渡、債務の引受 (第11回)
- (10) 債権の消滅 (第12、13回)
- (11) 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類 (後期) (第14回)
- (12) 契約の成立 (第15回)
- (13) 契約の効力——同時履行の抗弁権 (第16回)
- (14) 危険負担、(第17回)
- (15) 第三者のためにする契約 (第18回)
- (16) 契約の解除 (第19回)
- (17) 贈与、売買、交換 (第20回)
- (18) 消費貸借、使用貸借、質貸借 (第21回)
- (19) 雇傭、請負、委任等の契約 (第22回)
- (20) 事務管理、不当利得 (第23回)
- (21) 不法行為 (第24、25回)

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

遠藤浩・川井健他編『民法(4)～(7)』(有斐閣双書)

参考書等

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2 債権法』(一粒社) および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』(有斐閣大学双書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 法	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	政治2・3・4選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。

社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論などは、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教 科 書

教科書は講義開講時に指定する。

六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原理	わた なべ もと 樹 渡 辺 源 樹	政治2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 社会学とは何か 社会的事実／実証性 “予期せんがために見る” /社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為 なぜ “action”からなのか /社会の基礎的単位として行為 /行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程 人間の行為は “inter”して社会的となる /人間関係・社会関係・国際関係 /交換 /社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準 1、役割の取得－社会化 フロイドとパーソンズの “社会化の過程” を中心に
- 第5回 2、役割の準拠－準拠集団 準拠枠 /所属集団と準拠集団 /動機と態度の概念
- 第6回 3、役割の葛藤 /マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム /マージナルマンとして青年期 /マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為 1、規範と同調－逸脱の次元 行為と社会的秩序 /サンクション・パターン
- 第8回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作 /シンボルとシンボル操作 /逸脱とラベリング /予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団 1、社会集団とは何か 集団の特質 /集団の分類 /家族と企業体
- 第11回 2、集団の構造と機能 社会有機体説と構造・機能 /機能連関 /機能要件 (AGIL図式)
- 第12回 3、地位と役割 集団の単位としての役割 /ロールセット、地位系列 /業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4、集団のリーダーシップ 集団目標 /集団効果性 /ホワイトのリーダーシップ論 /PM理論とリーダーシップ
- 第14回 5、集団の凝集性・モラル 同調への圧力・斉一性 /集団規範 /凝集性を高める条件 /モラル
- 第15回 集団・文化・パーソナリティ
- 第16回 組織論と官僚制 1、組織の一般理論 現代社会と組織体 /組織の一般理論
- 第17回 2、官僚制組織の基本原理解 ウェーバーの支配の3類型 /官僚制組織の基本原理解 (ウェーバー、ミヘルス) /支配・権力・権威
- 第18回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における “目標の転移” /ホーソン実験 /ゲールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識 1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途 /マルクスとウェーバー
- 第20回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3、社会的性格 i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4、社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明 /ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成 1、経済と社会…経済と経済社会学 /産業社会・消費社会 /経済の国際化・従属理論
- 第25回 2、政治と社会…政治と政治社会学 /権力 /政治文化 3、法と社会…法と法社会学 /法の機能 /規範 4、教育と社会…教育と教育社会学 /学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層 /職業構成 /社会移動 /地位の一貫性・非一貫性 /成層研究の課題

政治

成績評価の方法

定期試験のほか、七月に中間試験を行います。

教科書

開講時に提示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 政 学	まど なか つね し 里 中 恆 志	15以降入学生/政治2・3・4選	4
		14以前入学生/政治2・3・4選必	

講義のねらい

財政意志の形成、租税負担配分、歳出の効率と合理性等について基礎的な判断能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(第1回) 年間授業計画の説明、(第2回) 公共財と公共部門、(第3回) 財政収入の歴史、(第4回) 予算編成と査定、(第5回) 予算編成と政党、(第6回) 予算政府案と議会審議、(第7回) 予算の執行と競争入札、(第8回) 予算の政治過程、(第9回) 租税原則学説、(第10回) 給与所得税、(第11回) 申告所得税と累進課税、(第12回) 法人税と徴税技術、(第13回) 国際化と移転価格税制、(第14回) 一般消費税と付加価値、(第15回) 地方税と地方歳出、(第16回) 地方財政調整の制度、(第17回) 機関費と純粹公共財、(第18回) 公共事業費と費用＝受益分析、(第19回) 公共事業費と公共財産の形成、(第20回) 社会保障関係費と所得再分配、(第21回) 補助金とスビルオーバー、(第22回) 公債と公債費負担、(第23回) 総需要管理政策と国民所得、(第24回) 課税乗数と均衡予算定理、(第25回) 公債による財源調達と債券価格、(第26回) 大量国債の累積と限界、(第27回) 財政金融政策と国際収支、(第28回) 財政投融资と政府貯蓄、(第29回) 試験と評価についての説明

政
治

履修上の留意点

関連科目として「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。

成績評価の方法

年度末テストとして行われる筆記試験による。試験は論述式による。自筆のノート持込可。

教 科 書

里中恆志＝八巻節夫編著『新財政学』(文眞堂) 3,200円 ISBN4-8309-4195-2 C3303

参 考 書 等

北川力編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
中谷巖著『入門マクロ経済学』(日本評論社)

そ の 他

授業の方法は講義形式による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるように必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとってもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	もり おか じん 森 岡 仁	政治2・3・4選	4

講義のねらい

経済学の実践部門としての経済政策が自由主義経済に成立した過程と、そこではたす役割を明らかにする。人口高齢化や少子化の経済的帰結にも言及し、最後に高齢化社会における経済政策と人口政策の関係を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代経済と経済政策 II. 経済政策学の発展 III. 現代経済政策の課題 IV. 経済の成長政策 V. 経済の安定政策 VI. 産業組織政策 VII. 社会均衡化政策 VIII. 経済政策と人口政策

履修上の留意点

日常生活に生起する経済問題に日頃から関心を抱き、自分達の身の回りにある経済問題の解決手段として経済政策を考え、学ぶことが大切である。

成績評価の方法

学年末の定期試験、授業の出席状況

教 科 書

森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年

政 治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	政治2・3・4選	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参 考 書 等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工 業 政 策	おく やま まさ ゆき 興 山 雅 之	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現在、わが国の工業は、長引く不況や生産の海外化等の影響で厳しい状況にあります。しかし、将来においても「ものづくり」は、日本にとって重要であることに変わりありません。この講義では、わが国における工業の特徴を確認しながら、それに対する政策の課題と方向性について考察します。

前期では、わが国の工業の役割と状況変化を中心に、日本社会を支える「ものづくり」について様々な観点からみていきます。後期では、環境調和、CSR（企業の社会的責任）、産学連携、知的財産、企業再生など、「ものづくり」をめぐる今日的な題材を取り上げて検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 (1～3) わが国の工業の役割と特徴
 (4～6) 戦後における工業の発展と工業政策
 (7～9) 工場立地の変化と工業集積の効果
 (10～13) 生産の海外化と空洞化問題
- 後期 (14～16) 工業の業種別課題(自動車産業、繊維産業ほか)
 (17・18) 「ソフトなものづくり」産業(アニメーション産業ほか)
 (19) 産学連携 (20) 知的財産の創造・保護・活用
 (21・22) 工業の環境調和とCSR
 (23・24) 資金調達の多様化とベンチャー・企業再生
 (25) 規制緩和と構造改革特区 (26) まとめ

政
治

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することが望まれます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試・再試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を行います。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』(新評論)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	政治2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商業保護政策論 2 流通近代化政策論 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通 2 80年代流通産業ビジョン 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議
 - 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

政
治

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方財政論	篠原章	政治2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編] (主として前期)

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編] (主として後期)

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教科書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参考書等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

その他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
交通論	しおみえいじ 塩見英治	政治2・3・4選	4

講義のねらい

現代における交通が直面するさまざまな問題とその解決策について、経済学の視点から考察を行う。とくに交通市場と規制・緩和政策との関連について検討を行う。今年度前半では、総論をとりあげ、後半では、各論、応用分野として航空輸送をとりあげ、さまざまな角度から検討を行う。

講義の内容・授業スケジュール

〈前半〉

1. 交通経済論の対象 2. 交通経済論の目的と方法 3. 交通サービスの生産と交通技術 4. 交通サービスの生産の特徴と生産方式 5. 交通事業の形態と産業組織 6. 商品生産と自己生産の対比—公共交通対自家用車 7. 情報化と交通サービス 8. 交通サービスの需要と価格 9. 交通サービスの市場的供給と財の性格 10. 交通サービスの市場的供給と規制 11. 規制緩和の潮流 12. 規制緩和の要因と理論

〈後半〉

13. 航空産業の規制政策の展開 14. 航空産業のネットワークと経済的特質 15. 航空の規制緩和の理論と実際 16. 航空の規制緩和と市場構造 17. 航空の規制緩和環境と経営適応 18. 国際航空の自由化と提携 19. 国際航空の自由化と提携 20. 航空の企業行動と競争政策 21. 航空の企業行動と競争政策 22. スロットの配分と競争政策 23. 交通政策の総合性と課題 24. まとめ

履修上の留意点

出席につとめること。

成績評価の方法

課題レポートと期末テストの総合評価によって行う。

教科書

前半は授業時に資料を配布し、後半は、塩見英治著『米国航空政策の研究—規制緩和と競争政策の展開』（仮称）を使用の予定でいる。

参考書等

衛藤卓也『交通経済論の展開』（千倉書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域計画論	はらあきお 原昭夫	政治2・3・4選	4

講義のねらい

地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多様な課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期: i) 4～5月/地域を知る: 地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。
ii) 6～7月/課題を発見する: 地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。
- 2) 後期: i) 9～10月/課題を考える: それらの課題がどのような原因を持つかを考える。
ii) 11～12月/地域を計画する: 地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。

履修上の留意点

現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。

成績評価の方法

出席（授業への積極性の評価）およびレポート（年数回、折々の社会や環境についての自己の意見・論評・提案等の独自性の評価）。

教科書

原昭夫著『自治体まちづくり』（学芸出版社）2,800円＋税

参考書等

『都市計画』（共立出版）3,800円＋税
『都市計画論』（NHK出版）2,400円＋税
その他授業の都度に提示する。

その他

講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習（「地域計画作成ワークショップ」）なども考えたい。（平成16年度は実施した。）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学特殊講義(1)(前期)	うち内 海麻利	政治2・3・4選	2

講義のねらい

近年、社会情勢の変化の中で、市民参加・市民活動が注目されている。特に前者は、政策形成プロセスにおける参加を意味する場合が多く、これは行政が主として担う「公共性」と市民が望む「公共性」との乖離をうめようとするものである。他方、市民活動においては、自治に対する自主的な取り組みやNPO等による公益活動の急速な展開により、地域社会が育て担う「新しい公共」の存在が顕在化している。しかし、こうした市民を中心とした政策形成プロセスや公益活動等には、合意形成や一定の秩序を生み出す政治システムが必要とされる。本講義は全国の事例を通じて市民と公共性との関係を政治という観点からとらえ、その体系と理論、実践手法について学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、主として次の視点につき講義するが、その内、数回、講義に関する議論について受講者の考えを発表する機会を設ける。なお、詳しい授業スケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

- ・市民と公共性
- ・市民団体と市民活動
- ・政策形成プロセスにおける市民参加
- ・合意形成とその手法
- ・コミュニティ・ガバナンス

履修上の留意点

受講期間に身近な地域の市民参加や市民活動に参加、見学されることが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、発表の充実度などを中心に評価する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学特殊講義(2)(後期)	み たけ なお や 三 竹 直 哉	政治2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、他の社会と比較することを通じて、私たちの住む日本の社会や私たち自身について、よりよく理解することを目的とします。外国の話がよく出てきますが、日本の社会や自分たち自身のあり方を考え、よく知ることが目的です。

この授業では、必ずしも私が専門的に研究していることを取りあげるわけではありません。みなさんと一緒に、考えたり悩んだり面白がったりする授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

なるべく日本の政治学ではあまり取りあげられないトピックを取りあげます。特に、社会の中の価値観が問題になるトピックに重点を置きたいと思います。トピックの例は、授業内容を載せてある下記のホームページの、「政治学特殊講義」のところを参考にしてください。(まったく同じトピックを取りあげるかもしれませんが、違うトピックを取りあげるかもしれません。)その他、この授業についての最新情報も、このホームページで確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3・4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

課題をやってきていなかったり、遅刻したり、前の回の授業に出席していなかった学生は、そうしたディスカッション中心の日の授業には参加できませんので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明します。

教 科 書

授業で指示します。

そ の 他

この文章は2004年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学特殊講義(3)(前期)	おおしまとしひこ 大島 稔彦	政治2・3・4選	2

講義のねらい

国会における立法の機能を中心に、国会の構成・組織・運営について、議会の制度論に偏らず、法制度と実態の相互関係を検証しながら、概観します。議会制民主主義のあり方を踏まえ、国会が実際にどのように動いているかを、そのときどきのトピックも取り上げながら、政治の動向と絡めて見ていき、立法過程も含めて、日本の議会制度と議会関係法規の実際の特徴を明らかにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容の構成とスケジュールを予定しています。

- (1) ガイダンス、(2) 国会とルール・法制度
- (3) 民主主義の歴史と制度と原理、(4) 日本の議会－帝国議会と国会
- (5) 議院内閣制・首相公選制、(6) 国会の組織と構成－二院制
- (7) 選挙と政党、(8) 議員と補佐機構、(9) 議院の構成
- (10・11) 国会の権限と機能 立法とその過程、予算、政府コントロール
- (12) 国会の手続と運営－会期と議事手続、(13) 本会議と委員会
- (14) 両院関係

履修上の留意点

憲法をはじめとする国会関係法規も参照すること、新聞は少なくとも全国紙一紙には目を通すことが望まれます。

成績評価の方法

提示する課題テーマについてのレポート提出と授業への出席状況によって決定します。

教科書

講義レジュメを随時配布します。また、大石 眞著『議会法』（有斐閣）（有斐閣アルマ2001、12発行）本体1,600円を参照してください。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学特殊講義(4)(後期)	おおしまとしひこ 大島 稔彦	政治2・3・4選	2

講義のねらい

現代国家における民主主義の基本的な制度である選挙制度について、制度のあり方、日本における制度設計の議論、実際の法制度とその作用を検討します。日本の選挙法制はさまざまな面で特色を持っていますし、これまで政治改革の名の下に、政治とカネとの関係も含めて、いろいろな改革論議がされてきました。これらの特色や議論の再検討を踏まえて、制度の考え方、その作用の実際を、原理的な視点から検証し、選挙制度のあり方を考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容の構成とスケジュールを予定しています。

- (1) ガイダンス、(2) 選挙の原則・方法・政治システム
- (3) 比例代表制の構成、(4) 多数代表制の構成、(5) 混合制の構成
- (6～8) 日本の選挙制度の論議と経緯－衆議院、参議院、地方
- (9) 選挙権・被選挙権と投票、(10) 選挙の種類と執行・管理
- (11) ペナルティーと選挙争訟、(12) 選挙運動と規制
- (13) 制度論議のあり方

履修上の留意点

選挙制度は、政治のあり方と密接に結びついています。政治の動向にも注意を払い、そのためには少なくとも全国紙一紙には目を通すことが望まれます。

成績評価の方法

提示する課題テーマについてのレポート提出と授業への出席状況によって決定します。

教科書

講義レジュメを随時配布します。また、加藤秀治郎著『日本の選挙』（中公新書）2003.3発行 本体700円を参照してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	あいだとしひこ 相田敏彦	政治3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		政治4選	

講義のねらい

英文で書かれたマスコミ、メディア、情報化に関する分析、理論に関する読解力を向上させること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめ数回は、英字の新聞・雑誌などで腕ならし・イントロダクションとしたい。ついで、多方面にわたるマスコミ理論、メディア分析のなかから、読みやすさ、理解しやすさに留意して教材を提示する。

教材は適宜コピーを配布する。

マスコミ、メディア、情報化自体はいかにも身近な対象だが、常識的理解を打ち破る、深く鋭い分析が少なくない。

マスコミ、メディア、情報化に関し、考え、分析することの楽しさが多少とも理解される場としたい。

履修上の留意点

英語が好き、あるいは比較的得意な人であればよく、「マス・コミュニケーション論」、「メディア社会論」の授業をとっている、いないとは関係なく、内容を理解できるようにしたい。

成績評価の方法

平常点による。

試験、レポート等はない。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	おおやま れいこ 大山礼子	政治3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		政治4選	

講義のねらい

外書講読は英語科目ではなくあくまで政治学科の専門科目です。したがって、この講義のねらいも単なる英語の学習ではなく、英語を素材として、ある程度専門的な文献を読みこなし、論理的に考える力を養うことにあります。

英語の文章をきっちり読もうとすると、日頃、日本語の文章を読んでいるとは気づかない読解力、論理把握力の不足を感じる人が多いものです。1年間、積極的に取り組んでもらえれば、英語力だけでなく、日本語の理解力も向上するはずです。

講義の内容・授業スケジュール

おそらく受講者は少人数になると予想されるので、とりあげるテキスト、進度などはなるべく受講者の読解力や希望を勘案して決定する予定です。最終的には、簡単な新聞記事などは辞書に頼らず、全体を通読して内容を把握できるようなレベルを目標とします。

履修上の留意点

予習は必須。辞書をひく手間を惜しまぬこと。また、電子辞書だけでなく、自宅では印刷された辞書を使う習慣をつけてください。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

雑誌記事などのコピーを使用します。ただし、受講者のレベルと希望によっては、平易な英語で書かれた本を読むこともあります。

その他

毎回、必ず英和辞典を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(英書)	きよ たき ひと し 清 滝 仁 志	政治3選	4
外書講読Ⅱ(英書)		政治4選	

講義のねらい

この講義では、英文に慣れ親しむことから始めて、新聞・雑誌を読みこなすことのできる基礎的な英文読解能力を身につけることを目的にします。TOEIC、公務員試験の各種試験における英文読解に対処できるだけの実力をつけることを期待しています。さらに英文読解を通じて、日本語における論理的思考(ロジカルシンキング)、論文・レポートの作成能力の向上にもつながるように配慮します。

講義の内容・授業スケジュール

日本の英字新聞(Japan Timesなど)に掲載された政治関連の最新の記事を毎週、読んでいきます。同時に記事に関連した政治学の基礎知識を講義では学びます。

履修上の留意点

演習方式で運営します。授業で英語力をUPすることを目的にしていますので、成績等に関わりなく参加してください。英文読解に加え、国際事情・時事問題について理解・関心を深めることを期待しています。

成績評価の方法

授業の参加状況を勘案します。評価は、講義を受けることでいかに力をつけたか、を重視します。定期試験は実施せず、平常点で評価します。

教科書

解説を加えた英字新聞、雑誌のコピーを配布します。

参考書等

英語を学ぶ心構えに次の文献を読むことをお勧めします。
斎藤兆史『英語達人列伝』『英語達人塾』(中公新書)

その他

授業を通じて、身の回りの情報に自発的・積極的に関心を抱く知的習慣が身につくことを期待します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 I (英書)	み なけ なお や 三 竹 直 哉	政治3選	4
外 書 講 読 II (英書)		政治4選	

講義のねらい

2005年度は、授業を英語で行う計画です。英語圏の大学等へ留学することを計画している学生さんにとってよい訓練になるよう、「読む」だけでなく、「討論する」「書く」なども鍛えます。もちろん、留学を考えていないけれども、英語で政治学を勉強したい方は、どなたでも歓迎です。

講義の内容・授業スケジュール

以下のどれかをやる計画です。ただし、参加者の希望や人数によって、内容もやり方も変わってきます。

- ・英語で日本のことをきちんと説明し、それについて自分なりの見解を述べるができるように訓練する。
- ・比較政治学の授業内容に合わせた英語文献を読み、それについて議論できるように訓練する。
- ・英語文献を読み、英語のニュースなども見ながら、様々な時事問題について議論ができるように訓練する。

政 治

履修上の留意点

あくまでも政治学科の専門科目です。「英語の授業」ではありません。政治学科の3年次もしくは4年次生として、当然持っているべき知識は前提として授業を進めます。

授業に関連する新聞記事、ドキュメンタリー番組などをどんどん課題として指定しますし、授業で扱った事柄について自ら調べたり勉強したりする課題もたくさん出します。

したがって、自分の将来のために、真剣に政治学や英語を勉強している人向けの授業です。「何となく」ではついて来られません。

中学校の社会科の知識が備わっていない人、高校の社会科レベルの事柄を自分で調べようとしない人、新聞をこまめに読んでいない人には単位を出しません。(テストでチェックします。)

成績評価の方法

期末テストと小テストを行います。テストを行ったほうが、みなさんの実力がつくので、今期から方針を変更しています。

ふつう、外書講読とされている授業は期末テストを行わず平常点だけで採点しますが、今期の三竹担当の外書講読はテストを行いますので注意してください。

詳細は授業開始時に説明します。

教 科 書

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。

参 考 書 等

辞書は中辞典以上の大きさのものを持参してください。電子辞書も可ですが、自分の英語は中級以上であると自信をもって言えない人は、電子辞書だけでなく冊子体の辞書も使ったほうがよいと、個人的には思います。

学習用英英辞典の" Cobuild English Dictionary"はおすすめです。電子辞書も、この辞書が入っているものをすすめます。が、必ず買わなければいけないわけではありません。

そ の 他

このシラバスはあくまでも前年度12月時点での計画に過ぎません。変更もあり得るものであることをご了承くださいと思います。おそらく少人数の授業になるでしょうから、参加する学生のみみなさんの必要性に応じた授業にしていきたいと思っています。

詳しい情報は、三竹ゼミのホームページで確認して下さい。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

ホームページの URL が変更になる可能性があります。変更になっていた場合、Googleなどで検索するか、メールで連絡をください。

mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(独書)	まつむら いたる 松村格	政治3選	4
外書講読Ⅱ(独書)		政治4選	

講義のねらい

ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることがを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。

履修上の留意点

毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。

成績評価の方法

普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。

教科書

未定。第1回目の授業に配布します。

参考書等

未定。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(仏書)	あらきまさ たか 荒木正孝	政治3選	4
外書講読Ⅱ(仏書)		政治4選	

講義のねらい

わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度から多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える大きな枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、経済的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国フランスの思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点

履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法

成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書

教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

参考書は、授業の内容に応じてその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読Ⅰ(中国書)	江 林 英 基 <small>こう りん ひで もと</small>	政治3選	4
外書講読Ⅱ(中国書)		政治4選	

講義のねらい

現在の中国は経済の改革・開放政策をとっており、これを実現するため、1982年に四回目の新憲法を制定・施行し、その後三回にわたる改正を行った。その他の法律もこの憲法に基づき、“雨後春筍”のようにつぎつぎ公布された。“一衣帯水”の隣国である中国を認識することが必要である以上、その法制から着手しなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は中国憲法138条の条文に書かれている中国の内政と外交方針、国民の基本権利と義務、人民代表大会の権限、人民政府の組織などを主な内容とする。

履修上の留意点

授業の進度は一週間5ページ程度である。学生諸君に朗読させ、法律用語、条文の構造(文型)を説明しながら立法理由と現在状況を論評する。

成績評価の方法

出席率、学習態度、レポートなどを判断基準として総合的に評価する。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

江英居著『中国憲法』(大学書林)3,500円、『中華人民共和国法律匯編』(北京人民出版社)

その他

学生への要望：授業中私語禁止。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演 習 I	浦 田 早 苗 <small>うら た さ なえ</small>	政治3選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粋かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

16年度は共通テーマとして「激動する世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『都市交通の未来』、『イラクの原油とアメリカ』、『民主党再生にむけて』、『日本農業改革』、『DV防止法の見直し』、『(パネルディスカッション)少年犯罪増加の要因』、『(ディベート)裁判員制導入の是非』、『(ディベート)安楽死の是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉学意欲(発表に対する質問・意見等)によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2005』(文藝春秋)2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	清 滝 仁 志 きよ たき ひと し	政治3選	4

講義のねらい

本演習では、現在の社会における変化を政治学の観点を通じて考えていくことを目的としています。皆さんの生きている現在は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっています。演習では、同時代の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 講義の内容

前期は、テキストを担当者が報告し、議論をする方式をとります。これによって文献を論理的にまとめ、報告する能力をつけます。

後期は、毎回テーマを設定してグループで討論し、全体で報告する方式をとります。就職面接等を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得していきます。

(2) 講義の目的

- ①政治・経済・社会の基本的問題について理解
 - ②自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得
 - ③さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を習得
- さらに公務員試験やその他の資格試験に対応できるように配慮します。

政
治

履修上の留意点

部活・サークル活動等と両立できるように配慮。

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度

教科書

なるべく新しく読みやすい新書・文庫を選択します。

その他

行事として、コンパ、合宿・旅行、都内の諸施設見学、可能ならば公務員試験等のサブゼミを開催します。4年生の就職活動報告なども企画予定。
質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	田丸大	政治3選	4

講義のねらい

本演習では、具体的な行政活動や政策を取り上げ、その仕組みや問題点を考察することによって、今後の日本の中央・地方行政のあり方を探ってみたい。現実の行政の観察、問題発見、提案能力を培うことが本演習の最終目標である。(4年次のゼミ(2007年度)は開講されない可能性が高いので、その点に留意してください)

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生と相談して決めたいと思うが、現在のところ、以下を考えている。
 (1)ゼミ生がそれぞれテーマを設定し、個別であるいは共同で調査研究し、その成果を発表する。
 (2)ディベートを行う。
 ちなみに去年は、消費税引き上げの是非、ごみ収集の有料化などがディベートのテーマとなった。

履修上の留意点

4年次(2007年度)のゼミは開講されない可能性が高いので、申し込みに当たってはその点を留意してください。無断欠席は認めない。夏合宿およびコンパ(年3回程度)も出席点に加味する。

成績評価の方法

出席・発表・発言などを総合的に評価する。無断欠席者には単位を与えないこともある。

教科書

適宜指定する。

その他

(1)ゼミの諸活動への参加意欲の高い学生を歓迎する。(2)公務員志望者には、試験勉強の仕方・併願先のアドバイス・面接対策などを行う予定である。(おそらく勉強会を開催するが、これは生徒による自主的な運営であり、教員が熟や家庭教師のように受験勉強の指導をするわけではない。また、公務員志望者を優先するわけではない。)また、ゼミOBの公務員(都庁、国土交通省、警察官など)をゲストに呼んで、業務内容や受験勉強についてアドバイスをもらいます(ゼミの授業時間外に)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	中野裕二	政治3選	4

講義のねらい

自分で研究テーマを決め、年度末にゼミ論文として提出することを目標とします。研究テーマは各受講生の自由です。広い意味で政治学であれば内容は問いません。

講義の内容・授業スケジュール

毎回の演習の時間は、各受講生がゼミ論文としてまとめるための中間報告、または論文を書くうえで必要不可欠な文献の内容紹介にあてます。毎回1人または2人の報告を行い、内容の発表と質疑応答を通して、問題点を洗い直し、また自分の問題関心の再確認を行います。

成績評価の方法

毎回の出席、ゼミ論文の提出、報告内容・質疑応答の内容などを総合的に判断し、成績評価とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	早川純貴	政治3選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成17年度の前期・統一テーマは「政策過程分析——政策領域と政策転換」である。現代日本の政策過程は、さまざまな政策領域（安全保障政策、社会保障政策、金融政策、教育政策など）ごとに大きな特徴を有している。そこでの決定のあり方、アクターの数、アリーナの開放度などの違いを調べ、政策の一貫性がいつの時点でなぜ維持できなくなり、どのような経緯で政策転換が生じたのかを考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	三船恵美	政治3選	4

講義のねらい

現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところは対立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異なるものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、報告の仕方や技法、座長の務め方、討論の技法、レジュメの書き方、レポート・論文の書き方を学びます。前期後半から後期には、各自の任意の研究テーマについて研究報告・討論をおこない、学年末にゼミ論文集の作成を目指します。

成績評価の方法

ゼミへの貢献度+報告+レジュメ+レポートの総合評価です。
座っているだけの学生を出席とは認めません。欠席する場合は、必ず授業の開始30分前までにメールで連絡して下さい（ゼミ生を通じての連絡でもかまいません）。連絡せずに欠席を続けている学生には単位を与えません。「無断欠席」4回以上で不合格にします。その場合は救済方法を全く与えません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。
緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

教科書

浜田麻里ほか『論文ワークブック』（くろしお出版）1997年
その他、受講生と相談しながら、受講生の関心のあるテーマについて講読文献を決めます。

参考書等

教場で履修者の学問的関心に基づいて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あい だ とし ひこ 相 田 敏 彦	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。
 テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。
 パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。
 メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。
 合宿やふだんの授業で友人との親しさが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高め(ゆったり・楽しく・着実に)進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。
 当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろさプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

成績評価の方法

平常点。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	うち うみ ま り 内 海 麻 利	政治3選	4
演 習 II		政治4選	

講義のねらい

本演習は、社会情勢が変化し、その変革が求められる都市政策・地方行政・市民参加・まちづくりに関連し、柔軟な発想から問題意識を持ち、実践的かつ創造的な新たな知見を自ら探求するとともに、その解決策を提起できる能力を引き出し伸ばすことを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

研究期間内において各人が行う研究スケジュールやプログラム(問題意識の発掘、研究テーマ・方法の設定、関連文献の収集及び実地調査、考察とりまとめなど)を自ら作成し、問題意識に対する新たな知見や解決策を自主的に進める。主にゼミでは発表・報告、ディスカッションを中心に各研究内容を議論する。

履修上の留意点

ゼミの運営自体も学生の主体性を重視するため、積極的なゼミ活動への参加が望まれる。

成績評価の方法

出席状況、個々人の発表・報告の充実度、ゼミに対する意欲などを総合的に評価する。

参 考 書 等

個々人の研究テーマに応じて適宜紹介する。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
演 習	I	おお やま れい 大 山 礼 子	政治3選	4
演 習	II		政治4選	

講義のねらい

この演習は、議会を中心とする政治制度について理解を深め、学生が主体的に考えるための基礎を築くことを目的としています。各自が意欲をもって積極的に参加することが最低の条件ですが、自分自身で文献やインターネットを活用し、物事を調べる能力が身につくように配慮したいと考えています。また、自分の主張を他人に理解してもらうために必要な、論理の組み立て方、表現の仕方の学習も重視します。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の前期は政治関係の新聞記事や基礎的文献などを講読し、基礎知識を確認します。後期には学生が選択したテーマで報告を行ってもらい、4年次でのゼミ論文執筆につながるようにします。4年次はゼミ論文の執筆を中心とする予定です。なお、個人研究のテーマは政治制度に限らず、広く政治に関わることであれば自由に選択可能です。

受講者の希望により、夏期の合宿または集中ゼミ、国会見学などを実施します。

履修上の留意点

日頃から新聞の政治面の記事を読み、積極的に討論に参加すること。

成績評価の方法

平常点（ゼミ論文の評価を含む）。

そ の 他

無断欠席、遅刻厳禁。周囲の状況をよく見て、自分に求められている役割を積極的に果たすこと。ゼミのイベント時は原則として禁煙。

政
治

科目名		担当者名	配当学科	単 位
演 習	I	おお つか かつら 大 塚 桂	政治3選	4
演 習	II		政治4選	

講義のねらい

政治学における基礎的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

- I 政治学の基本文献を輪読する。
- II 共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。
- III ゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。

履修上の留意点

一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい！

成績評価の方法

平常点

教 科 書

M・ヴェーバー（脇圭平訳）『職業としての政治』（岩波文庫）300円
吉野 作造『吉野作造評論集』（岩波文庫）620円

参 考 書 等

参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）。

そ の 他

4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	政治 3 選	4
演 習 II		政治 4 選	

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなりアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないかと、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかとという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

演習に関連したビデオ（20世紀の戦争の記録など）を見る予定である。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	しお いり みほも 塩 入 みほも	政治 3 選	4
演 習 II		政治 4 選	

講義のねらい

行政法上の諸問題を取り上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

当演習は、学生諸君の主体性を重視し、基本的には、毎回学生一人一人に研究報告をしてもらい、報告後に全員でディスカッションする、という形式で行っていきます。テーマについては、行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野から重要なテーマを選び、学生各自の希望を踏まえた上で割り当てます。

履修上の留意点

公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

成績評価の方法

平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

教 科 書

未定

参考書等

初回授業の際に紹介します。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
演 習	I	たけはなみつのり 竹花光範	政治3選	4
演 習	II		政治4選	

講義のねらい

世界の主要国——アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など——の憲法を比較考察することにより「日本国憲法」の正しい理解を行うとともに、それら諸憲法が定める制度——例えば、議会制度、内閣制度、裁判制度、人権保障の制度など——についても個別研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自がテーマを設定し個人報告を行うことを基本とする。報告終了後、質疑を中心に全員で討論を行う。なお、合宿の際は、統一テーマを設定し、グループ報告を行うことを原則としている。

履修上の留意点

ゼミの運営はでき得るかぎり、学生の自主性にまかせているので、ゼミ活動に積極的に参加することのできる諸君の応募を期待する。

成績評価の方法

出席点やゼミ活動への参加度等を中心に総合的に判断する。

参考書等

必要に応じて適宜紹介する。

そ の 他

個人報告は義務ではない。従って希望者のみの報告となることもある。

政
治

科目名		担当者名	配当学科	単 位
演 習	I	にしおさむ 西 修	政治3選	4
演 習	II		政治4選	

講義のねらい

本演習は、日本国憲法にかかわるさまざまな問題点について、成立過程、解釈、各国憲法との比較などを通じて討究することを主たる内容とする。それゆえ、これまで日本国憲法の基礎的理解をしてきていることが前提になる。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに簡単なシラバスを配布する。前年度における活動内容は、ゼミのホームページで公表している。

履修上の留意点

まじめに出席し、積極的に発言すること。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

教科書

拙著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年 1,500円＋税、『日本国憲法はこうして生まれた』（中公文庫）2000年 1,143円＋税、『日本国憲法を考える』（文春新書）1999年 690円＋税など。

そ の 他

授業以外に年2回の簡単なボランティア活動、夏と冬（スキー＆スノーボード）の合宿、新入生歓迎と卒業生追い出しのコンパ、「ザ・ウエスト」（新聞およびゼミ論集）の作成などへの参加が求められる。各自がなんらかの役員（ゼミ長、レク担当、会計など）に選任される。合宿、コンパでは私の落語を聴かされることがある。
（法律と共通）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ひかさかんし 日笠完治	政治3選	4
演習Ⅱ		政治4選	

講義のねらい

研究会としては、最新の憲法問題を常にフォローすることを目標とする。一方、教育的には、受講者各自が関心のある憲法問題について研究する能力を身につけることを目標とする。担当者としては、一生涯にわたって付き合いのできる仲間づくりを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第1段階は、社会事象への深い関心の惹起、憲法学の基礎能力の修得（教科書レベル）。
第2段階は、専門書や法律雑誌掲載の論文を理解する能力の修得（社会で通用するレベル）。
第3段階は、各自が専門的な意見を発信することができる能力の獲得。

履修上の留意点

積極的に責任感のある学生諸君の演習参加を期待している。研究会参加者の共同学習によって、法学検定試験、行政書士試験などにも挑戦していただく。演習Ⅰと演習Ⅱは続けて履修してもらいたい。

3年次は個別演習を繰り返し行い、基礎力を充実する。
4年次は各自の研究関心により卒業論文を作成する。

成績評価の方法

3年生は、日常の研究活動について、積極性、成果などにに基づき評価する。
4年生は、主として卒業論文を評価の対象とする。

その他

ゼミとして夏合宿などを行う予定である。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	みたけなおよ 三竹直哉	政治3選	4
演習Ⅱ		政治4選	

講義のねらい

比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。

講義の内容・授業スケジュール

年によって、参加者によって異なります。下記授業用ホームページで確認してください。

履修上の留意点

たくさん書き、本や論文にたくさん接し、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

この演習の内容は、下記のホームページで詳しく見ることができます。現在履修している学生のみ皆さんの様子もわかりますし、履修にあたって必要な条件も書いてありますので、私の演習に応募される方は、<必ず>参照して下さい。

4年次にも必ず履修登録し、就職活動と両立させ、最後まできちんとゼミを続けることも条件のひとつにしています。

成績評価の方法

平常点によります。詳しいことは下記サイトをご覧ください。

教科書

たくさんあります。その都度、指示します。

参考書等

その都度、指示します。

その他

授業用ホームページ：
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	村 井 良 太 <small>むら い りょう た</small>	政治 3 選	4
演 習 II		政治 4 選	

講義のねらい

本演習は日本政治史に関わる良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることを目的としています。そこでは、「世界のなかの日本」という大きな視点に立って、学び、考えてほしいと思います。加えて、本演習を通じて、読む、書く、話すという基本的な技術を身につけてもらうことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を軸に、概ね政治・外交・国際関係などに関するものと考えています。始めは論文など簡単なものを用い、次第に内容の濃いものを読んでいきます。また、前期に合宿と課題レポート、後期にディベートとゼミ論文を予定しています。

履修上の留意点

履修する学生には、たくさん本をまじめに読み、考え、出席し、積極的に発言しあうことが求められます。それを楽しみと感じる学生を歓迎します。

成績評価の方法

成績は、出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。演習は他の講義以上に、教官、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。その貢献は評価の対象になります。積極的に参加して下さい。

教科書

テキストは話し合いながら決めていきます。

その他

授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジメをつくって報告します。報告者以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。レポートも書き、時にはディベートも行います。まだ若いゼミですので、スタイルを創っていくのは皆さんです。そんな意欲のある学生を求めています。

政
治

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	山 口 邦 夫 <small>やま ぐち くに お 夫</small>	政治 3 選	4
演 習 II		政治 4 選	

講義のねらい

1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
 第Ⅰ期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
 第Ⅱ期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
 第Ⅲ期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
 第Ⅳ期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点

毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法

演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対する討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ問、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書

判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	井戸正伸	政治4選	4

講義のねらい

本演習では、現代政治理論における重要な著作の輪読を通じて、今日、問題となっている政治・経済現象を政治学的に分析するテクニックを身につけることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、政治と文化、政党、利益集団、民主政への移行・確立、福祉国家などのテーマについてかかれた現代政治学の重要な著作をゼミ生全員で読んでいきます。

後期には、学生自身がテーマを選んで、各自、個人研究を進め、その中間成果をゼミで発表し、最終的にレポートを完成させることを目指します。

履修上の留意点

ゼミ生は必ず『現代政治理論』、『政治経済学』をとること。まずはゼミに毎回、出席してください。そして、わからない点はなんでも聞いてください。

成績評価の方法

レポートの内容とゼミへの熱意により総合的に評価します。

教科書

川入ら『現代の政党と選挙』（有斐閣）2,600円
 アルバール『資本主義対資本主義』（竹内書店新社）2,266円
 ドーア『日本型資本主義と市場主義の挑戦』（東洋経済新報社）2,400円

参考書等

木下『レポートの組み立て方』（筑摩書房）780円

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	浦田早苗	政治4選	4

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

16年度は共通テーマとして「激動する世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行われた。発表のテーマは『都市交通の未来』、『イラクの原油とアメリカ』、『民主党再生にむけて』、『日本農業改革』、『DV防止法の見直し』、『(パネルディスカッション) 少年犯罪増加の要因』、『(ディベート) 裁判員制導入の是非』、『(ディベート) 安楽死の是非』といったものであった。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならない。

成績評価の方法

発表内容と各自の持つ勉学意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

参考書等

文藝春秋編『日本の論点2005』（文藝春秋）2,700円

その他

学内外のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	しま 島 ほん 原 ひろ 宏 あり 明	政治4選	4

講義のねらい

〔商法学演習〕
法律行為論の基本的な思考方法を身に付けることを目標として、前期は手形・小切手法の判例研究を、後期は各自のテーマでゼミ論の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の前半は判例研究を、後半はゼミ生が自ら選択したテーマでゼミ論文の作成を行う。

履修上の留意点

現時点においては、民法・商法に関する予備知識が無くてもかまわない。ただし、ゼミというものは、あくまで学生諸君が自らのエネルギーによって創造していくものであるから、常に自分をアピールできるようにしておく必要がある。

成績評価の方法

平常点で評価します。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

年2回、春と夏に合宿を行う他、適宜ソフトボール等のスポーツを行う機会を設けている。

政
治

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	た 田 まる 丸 だい 大	政治4選	4

講義のねらい

現実の政治・行政の観察・問題発見・提案能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 個別研究
- (2) グループ研究

履修上の留意点

無断欠席は認めない。

成績評価の方法

平常点。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はやかわよしき 早川純貴	政治4選	4

講義のねらい

当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成17年度の前期・統一テーマは「政策過程分析——政策領域と政策転換」である。現代日本の政策過程は、さまざまな政策領域（安全保障政策、社会保障政策、金融政策、教育政策など）ごとに大きな特徴を有している。そこでの決定のあり方、アクターの数、アリーナの開放度などの違いを調べ、政策的一貫性がいつの時点でなぜ維持できなくなり、どのような経緯で政策転換が生じたのかを考えてみたい。

履修上の留意点

当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法

個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。

教科書

教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

政治

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ましたえいじ 真下英二	政治4選	4

講義のねらい

卒業論文の作成およびこれに関する高度な知識の修得を目標とする。

履修上の留意点

時期的に多忙とは思いますが、欠席時には事前に連絡することを心がけて下さい。

成績評価の方法

卒業論文の提出により評価を行う。

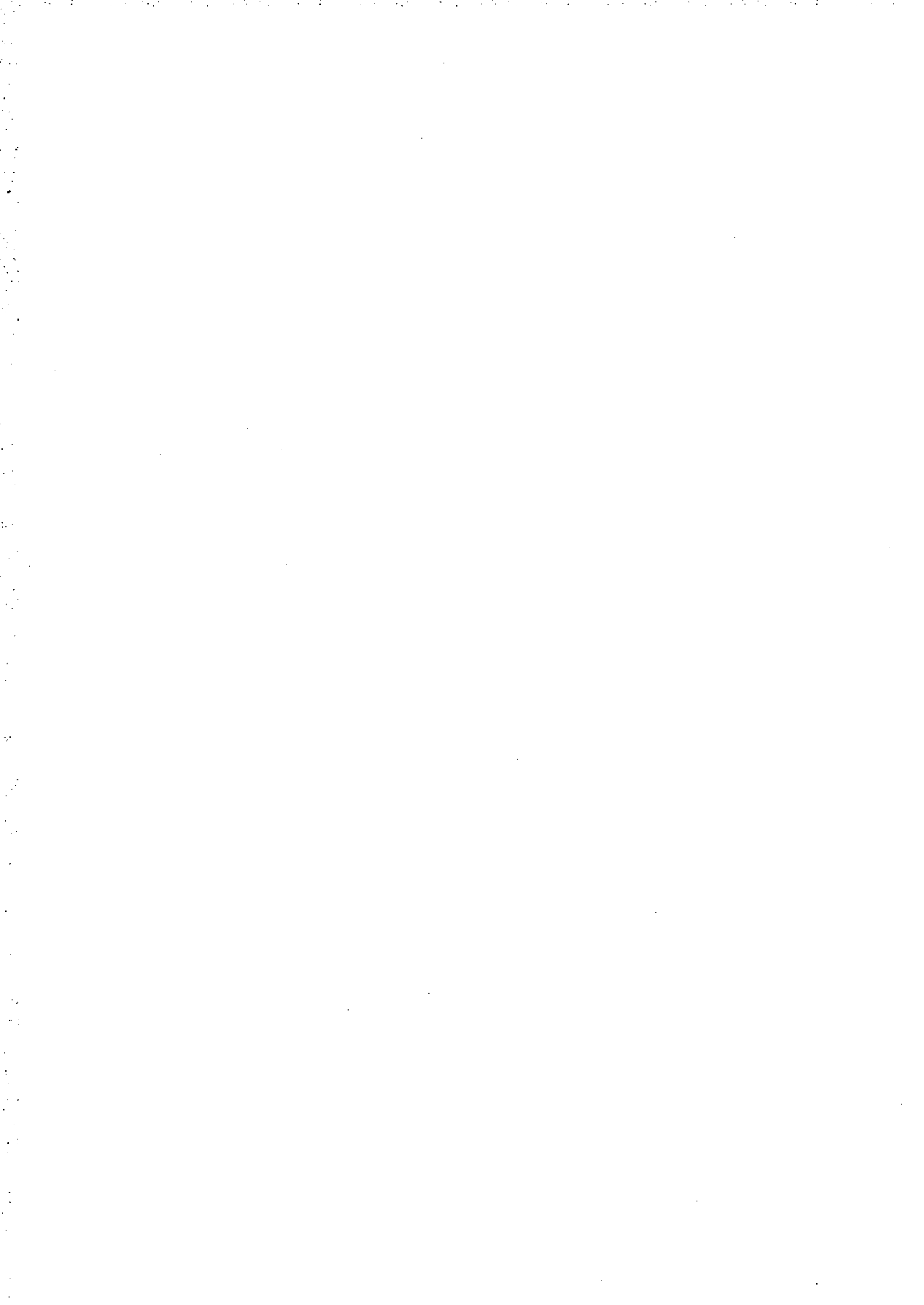
Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.639)

※他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。

Ⅲ. 他学部履修科目

産業・職業社会学	〈 休 講 〉	
社会福祉発達史	〈林 千代〉	447
日本経済史	〈渡 邊 恵 一〉	448
教育経済論	〈谷 敷 正 光〉	449
日本経済論	〈小 林 正 人〉	451
中国経済論	〈 休 講 〉	
アメリカ経済論	〈瀬戸岡 紘〉	452
EU統合論	〈清 水 卓〉	453
現代西欧経済論	〈清 水 卓〉	454
ロシア・東欧経済論	〈山 縣 弘 志〉	455
財務会計論	〈小 栗 崇 資〉	456
会計監査論	〈森 田 佳 宏〉	457
管理会計論	〈石 川 祐 二〉	458
貿易論	〈古 沢 紘 造〉	459
相続法	〈竹 中 智 香〉	460
ヨーロッパ政治論(1)	〈中 野 裕 二〉	461
ヨーロッパ政治論(2)	〈中 野 裕 二〉	461
国際政治学	〈小 堀 訓 男〉	462
ヨーロッパ政治史	〈浦 田 早 苗〉	462
比較政治学	〈三 竹 直 哉〉	463
現代国家論	〈大 塚 桂 桂〉	464
経営労務論	〈鹿 嶋 秀 晃〉	465
国際経営論	〈茂 垣 広 志〉	466
商業史	〈 休 講 〉	
保険経営論	〈石名坂 邦 昭〉	467
財務会計論	〈渡 邊 恵 一 郎〉	468
経営分析論	〈片 桐 伸 夫〉	469
税務会計論	〈高 木 克 己〉	470
経営情報論	〈 休 講 〉	
情報管理論	〈西 村 和 夫〉	471
経営統計	〈長 国 強〉	472
女性史	〈高 嶋 めぐみ〉	472
メディアと表現	〈松 田 直 行〉	473



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 発 達 史	はやし 林 ちよ 代	法A・政治・法B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

他学
部
履修
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一	法A・政治・法B	4

講義のねらい

本講義の目的は、日本経済を歴史的な視点から理解することである。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりにも随時触れ、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

序. 日本経済史の課題と方法
 1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済
 6. 戦時から戦後へ
 終. まとめと展望

履修上の留意点

出席は取らないが、ストーリー性のある内容なので、欠席すればその分だけ話の前後がなくなってしまう。

成績評価の方法

期末試験で評価するが、必要に応じて小テスト等の結果を加味する。

教 科 書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参 考 書 等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

そ の 他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光 やしきただみつ	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「学校の水準と枠組み法」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー 1 「識字率と児童労働」
- (2) 日本の産業化とリテラシー 2 「江戸時代—工業化の準備機能」
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン政権の経済と教育 1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン政権の経済と教育 2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ政権の経済と教育 1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ政権の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン政権の経済と教育 「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー政権の経済と教育 「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア政権の経済と教育 1 「福祉のニューディールとオプティミズム」(一部ビデオ)
- (11) ブレア政権の経済と教育 2 「学校の水準と枠組み法」・ビーコンスクール

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と職工学校・機業地学校
- (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
玉川寛治『製糸工女と富国強兵の時代』（新日本出版社）
猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
岡崎哲二『工業化の軌跡』（読売新聞社）
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	法A・政治・法B	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんぱんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト（<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>）の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

その他

講義についての質問や成績質疑応答への参加を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せとおが 瀬戸岡 ひろし 紘	法A・政治・法B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年、瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年をおすすめします。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
E U 統 合 論 (前期)	し 清 みず 水 たかし 卓	政治	2

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EU の目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。今年にはEU 憲法制定が各国での国会審議や国民投票にかけられます。2001年に流通が始まった通貨ユーロは存在感を増しています。このようなEU を知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU 諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III.EU の制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU 憲法 IV.EU の政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) e-EUROPE (4) 共通農業政策

履修上の留意点

EU は25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEU の骨格を解説するだけです。日々変化するEU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にあるEU 情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2500円

その他

選択科目ですからEU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代西欧経済論(後期)	しみず たかし 清水 卓	政治	2

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつかの挑戦を受けながら、今日なお、イラク戦争という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦争による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・
授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 福祉国家 vs グローバル化 (2) 「ポスト工業化段階」の経済・社会的課題

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るかということが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教 科 書

教科書は指定しません。

参 考 書 等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	法A・政治・法B	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることとはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのの当然のことになるだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	小栗 崇 資	法A・政治・法B	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	もり 森 たい 田 よし 佳 ひろ 宏	法A・政治・法B	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学総論・会计学基礎」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

山浦久司『会計監査論（第3版）』（中央経済社）
 加藤恭彦、友杉芳正、津田秀雄編著『監査論講義（第5版）』（中央経済社）
 石田三郎編著『監査論の基礎知識（4訂版）』（東京経済情報出版）
 (財)財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし かわ ゆう し 石 川 祐 二	法A・政治・法B	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	法A・政治・法B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易 II. 政治・経済・社会と貿易

- | | |
|------------|------------------|
| 1. 農産物と貿易 | 1. 開発援助と貿易 |
| 2. 水産物と貿易 | 2. 環境と貿易 |
| 3. 林産物と貿易 | 3. WTOと貿易 |
| 4. 鉱物資源と貿易 | 4. グローバリゼーションと貿易 |
| 5. 工業製品と貿易 | 5. 持続可能な発展と貿易 |

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	なげ なか も か 竹 中 智 香	政 治	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

〔後期〕

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

他履修科目 学部

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族〔第4版増補補訂版〕』（有斐閣）1,600円
有斐閣双書『民法（9）相続〔第4版増補版〕』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第6版〕』（有斐閣）2,200円
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1)(前期)	なかのゆうじ 中野裕二	法A・法B	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(1)」では「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。国民の「外部者」たる移民・外国人の抱える問題、国や政治勢力の対応・施策を通して、「国民とは何か?」「国とは何か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっています。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・外国人労働者から移民へ
- ・1990年代以降の新しい移民 ・移民・外国人の直面する諸問題
- ・移民・外国人排斥勢力とその論理 ・移民・外国人に対する施策

履修上の留意点

政治制度論を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2)(後期)	なかのゆうじ 中野裕二	法A・法B	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(2)」では「フランスにおける新しい共和制像の模索」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。文化的・宗教的・民族的に多様なフランスで、各個人が自らの多様性を享受しながら、フランス社会が一つの社会としてまとまる原理は何か?ということの問題関心とします。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっています。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・伝統的「共和制モデル」 ・移民問題の衝撃 ・ヨーロッパ統合の衝撃
- ・フランス型多文化主義 ・寛容の共和主義 ・新しい共和制像の模索

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。なお、講義の内容上、「ヨーロッパ政治論(1)」の授業内容を前提とすることもありますので、連続して受講することが望ましいです。

フランスを直接の対象としますが、「多民族社会・多文化社会=日本」における社会統合の原理は何か?という問題関心をつねに持って受講してください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こほりのりお 小堀訓男	法A・法B	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦田早苗	法A・法B	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立—変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	三竹直哉	法A・法B	4

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2004年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2004年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教科書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。
他にも指定する可能性はあります。

その他

この文章は2004年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おお つか かつら 大塚 桂	法A・法B	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制フェシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）ならびに、『明治国家と岩倉具視』（信山社）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>
この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	茂 垣 広 志 <small>も が き ひろ し</small>	法A・政治・法B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営(日米欧多国籍企業比較)、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣(出向)者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教 科 書

茂垣広志『グローバル戦略経営』(学文社) 2,800円

参 考 書 等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』(世界思想社)

そ の 他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。
この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなざが くに あき 石名坂 邦 昭	法A・政治・法B	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学のアプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	法A・政治・法B	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この上たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析論	かた ぼり のぶ お 片 桐 伸 夫	法A・政治・法B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	たかきかつ 高木克己	法A・政治・法B	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	法A・政治・法B	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営統計	ながこ 長国強	法A・政治・法B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。この科目は、再試験を実施しません。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性史	たかしま 高嶋めぐみ	政治	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価（（1）出席、受講の状況（2）レポートまたは試験）

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
メ デ ィ ア と 表 現	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	政治	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

IV 随 意 科 目

随意科目

IV. 随 意 科 目

英 語 (海外演習)	479
フランス語 (海外演習)	479
中 国 語 (海外演習)	479
比 較 思 想 特 講 (小 川 順 敬)	480

随意科目

科 目 名	配 当 学 科	単 位
英 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ンス 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 思 想 特 講	小 ^{がわ} 川 ^{とし} 順 ^{ゆき} 敬	法 A・政治	4

講義のねらい

この講義では、仏教やキリスト教、また日本の民俗宗教などに見られる生命観、人間観（人格概念）について考察したい。

今日、脳死・臓器移植問題の中で、生命の意味が問い直されているが、そうした議論の理解を深めるためにも、宗教的生命観・身体観・人格概念などを整理しておきたい。

なお、本科目は哲学的視点と、宗教学的視点からの講義が一年おきに開講される。本年度は宗教学の立場からの講義である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教・キリスト教の生命観に関する主要な議論のいくつかを概観したい。その際、教義レベルの観念的な議論だけでなく、仏教文化圏やキリスト教文化圏の社会で実際に行なわれている様々な宗教儀礼などを取り上げ、これらを通して生命観の具体的諸相を比較しておきたい。

後期は日本の民俗宗教に見られるアニミズム的生命観の今日的評価について、いくつかの議論を紹介、概観することとしたい。

また、オセアニアを対象とする人間観、人格概念の具体的な研究を取りあげ、文化人類学、宗教人類学で議論されてきたアニミズム的生命観および人格概念を検討することにした。

成績評価の方法

年度末レポート他で評価します。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。関連資料はその都度コピーで配布します。

V 「日本語」・「日本事情」科目

V. 日本語・日本事情科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日本語入門Ⅰ a	〈吉田 露子〉	485
日本語入門Ⅰ b	〈吉田 露子〉	485
日本語入門Ⅱ a	〈吉田 露子〉	486
日本語入門Ⅱ b	〈吉田 露子〉	486
日本語Ⅰ a・Ⅰ b	〈佐野 典子〉	486
日本語Ⅰ a	〈多田羅 哲子〉	487
日本語Ⅰ b	〈多田羅 哲子〉	487
日本語Ⅱ a・Ⅱ b	〈佐野 典子〉	487
日本語Ⅱ a	〈多田羅 哲子〉	488
日本語Ⅱ b	〈多田羅 哲子〉	488
日本語Ⅲ a	〈多田羅 哲子〉	488
日本語Ⅲ a・Ⅲ b	〈湯村 礼子〉	489
日本語Ⅲ b	〈多田羅 哲子〉	489
日本語Ⅳ a	〈石川 守〉	489
日本語Ⅳ a	〈湯村 礼子〉	490
日本語Ⅳ b	〈石川 守〉	490
日本語Ⅳ b	〈湯村 礼子〉	491
日本語Ⅴ a	〈石川 守〉	491
日本語Ⅴ a	〈多田羅 哲子〉	491
日本語Ⅴ b	〈石川 守〉	492
日本語Ⅴ b	〈多田羅 哲子〉	492
日本語Ⅵ a	〈石川 守〉	493
日本語Ⅵ a	〈多田羅 哲子〉	493
日本語Ⅵ b	〈石川 守〉	494
日本語Ⅵ b	〈多田羅 哲子〉	494

《日本事情科目》

日本事情Ⅰ〔地理〕(後期)	〈高橋 健太郎〉	494
日本事情Ⅱ〔自然〕(前期)	〈清水 善和〉	495
日本事情Ⅲ〔歴史〕(後期)	〈浅倉 直美〉	496
日本事情Ⅳ〔思想〕(前期)	〈赤羽 由規子〉	496
日本事情Ⅴ〔社会〕(前期)	〈坪井 建〉	497
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕(後期)	〈中野 裕二〉	498
日本事情Ⅶ〔文学〕(後期)	〈相澤 貴之〉	498
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕(後期)	〈赤羽 由規子〉	498
日本事情Ⅸ〔経済〕(前期)	〈吉田 敬一〉	499
日本事情Ⅹ〔経営〕(前期)	〈宮城 徹〉	499

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語入門 I a (前期)	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子	法 A・政治	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語入門 I b (後期)	よし だ ふき こ 吉 田 蒔 子	法 A・政治	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教 科 書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱa(前期)	よし だ ふまき こ 吉 田 蒔 子	法A・政治	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱb(後期)	よし だ ふまき こ 吉 田 蒔 子	法A・政治	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方や、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰa(前期)	さ の り こ 佐 野 典 子	法A・政治	1
日本語Ⅰb(後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I a (前期)	多田羅 哲子	法A・政治	1

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I b (後期)	多田羅 哲子	法A・政治	1

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II a (前期)	佐野 典子	法A・政治	1
日本語 II b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ a (前期)	たたら あきこ 多田羅 哲子	法A・政治	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ b (後期)	たたら あきこ 多田羅 哲子	法A・政治	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	たたら あきこ 多田羅 哲子	法A・政治	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	湯村礼子	法A・政治	1
日本語Ⅲ b (後期)			

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ b (後期)	多田羅哲子	法A・政治	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ a (前期)	石川守	法A・政治	1

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分です。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。同時にことわざを毎時間のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅴ・Ⅵを履修した上で取るのが理想的です。なお、基礎能力をしっかりつけるため、基礎をゆっくりやっていきます。はやくたくさんやりたい人は他の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度を厳しくチェックしていきます。私語など授業態度が悪いときは、授業中でも、欠席措置の上退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳa(前期)	湯村礼子	法A・政治	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

要約文、報告文を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文(3回)
提出物
授業活動(授業での発言、授業態度など)

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳb(後期)	石川守	法A・政治	1

講義のねらい

日本語の中上級文法を中心にその使い方について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。同時にことわざを毎時間授業のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅳaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。評価は厳しいので、要注意。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業中の私語など、授業態度の悪いものは欠席処置の上、退室を命ずることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳb(後期)	湯村礼子	法A・政治	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文(3回)
提出物
授業活動(授業での発言、授業態度など)

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅴa(前期)	石川守	法A・政治	1

講義のねらい

日本語の文法の基礎を呼称や指示詞などはじめからやり、しっかりとした日本語の基礎を作ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎文法の前半部分からやっています。

履修上の留意点

主に1年生向き。日本語の文法をもう一度振り返り、しっかりした基礎を作るため、より深くやっています。その関係で進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたい場合は、他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点(受講態度、出席など)50%の合計でつけます。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることもあります。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅴa(前期)	多田羅哲子	法A・政治	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 V b (後期)	いし かわ まもる 石 川 守	法 A・政治	1

講義のねらい

日本語の文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 Va の続きをやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 V b (後期)	たたら あまこ 多田羅 哲子	法 A・政治	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅵa(前期)	いし ^{かわ} 石川 ^{まもる} 守	法A・政治	1

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Ⅴに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作ることを目標としています。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Ⅴで行った日本語の後の部分をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は日本語Ⅴの続きの内容なので、日本語Ⅴを履修してから取るのが理想的です。授業はじっくりやっていきますので、進度はあまり速くありません。速くやりたい人は他の先生の授業を取ることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点(出席点、授業態度)50%の合計で出します。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から受講態度を重視していきます。受講態度が悪いときは、授業中でも欠席にした上で退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅵa(前期)	た ^{たら} 多田 ^{あき} 羅 ^こ 哲 子	法A・政治	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点(提出物・小テスト・授業への参加度)、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI b (後期)	いし かわ まもろ 石 川 守	法 A・政治	1

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。
授業のはじめに「ことわざ」をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分をやっていきます。じっくりやっていくため、進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたいときには他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教 科 書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参 考 書 等

辞書を持ってきてください。

そ の 他

今年から受講態度を厳しくチェックしていきます。私語をするなど態度の悪いものは授業中でも欠席にした上で、退室を命じます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI b (後期)	たたら あき こ 多田羅 哲 子	法 A・政治	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 I 〔地理〕(後期)	たか はし けんたろう 高 橋 健太郎	法 A・政治	2

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1)日本の地域性、(2)都市の構造と変容、(3)農山村の生活と地域振興、(4)観光開発、(5)地図と地名。
日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教 科 書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 II 〔自然〕(前期)	し みず よし かず 清 水 善 和	法 A ・ 政治	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第V章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した英語版教科書も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あさ くら なお み 浅 倉 直 美	法 A・政治	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教 科 書

随時プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ほ ゆき子 赤 羽 由規子	法 A・政治	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

そ の 他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 V 〔社会〕(前期)	つばい 井 健 つよし	法A・政治	2

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度 (60%) + 課題レポート (40%)

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例の内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずで。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ 〔政治・法律〕(後期)	なかのゆうし 中野裕二	法A・政治	2

講義のねらい

この講義の目標は次の二点にあります。第一は、日本の政治制度の概要を理解すること。第二は、日本の今の政治状況を自分なりに説明できること。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

・国会 ・内閣 ・裁判制度 ・政党制 ・国際社会の中の日本

履修上の留意点

日本の政治制度に関する基礎知識を前提とはしません。しかし、毎日のニュースをチェックするなど、日本政治に興味を持っていることを前提とします。

成績評価の方法

毎回の出席、期末試験と授業中の発言などを総合的に判断し、成績評価とします。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(後期)	あいざわ たかゆき 相澤 貴之	法A・政治	2

講義のねらい

本講義は、日本語・日本文学を通して、日本の文化や他の国の文化への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、日本の小説・詩歌・演劇・食文化等について、その特徴を説明する。受講する学生は、その講義の内容に基づいて他の国の小説・詩歌・演劇・食文化等を日本の文化と比較し、毎月レポートを提出する。

履修上の留意点

講義をよく聞き、その後討議をするので、活発な発言を期待する。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、提出したレポートと授業態度等によって評価する。

教科書

必要に応じてプリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あかば ゆきこ 赤羽 由規子	法A・政治	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経済〕(前期)	よしだ けいいち 吉田 敬一	法A・政治	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

レポートと平常点・出席点で評価します。再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

その他

本講義は受講生の日本語能力向上を目的の一つとしていますので、講義はすべて日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	みやぎ てつ 宮城 徹	法A・政治	2

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参考書等

参考文献は随時指定する。

「日本語」
「日本事情」

法律学科フレックスB

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (松本史朗)	509
仏教と人間 [再クラス]	
仏教と人間 (村松哲文)	509
仏教と人間 [再クラス]	
仏教と人間 [再クラス] (池田魯参)	510
仏教と人間 [再クラス] (熊本英人)	510
仏教と人間 [再クラス] (四津谷孝道)	511

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	まつもと しろう 松本史朗	法B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		法B2・3・4年	

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	むらまつ てつみ 村松哲文	法B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		法B2・3・4年	

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のはずである。ところが案外と知らないことが多いのではないだろうか。いうまでもなく駒沢大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 釈尊の生涯（1～3）、釈尊の教え（4～8）、経典の内容（9～12）、仏教的世界観（13～14）、大乘仏教と小乗仏教（15・16）
〔後期〕 中国の仏教受容（17）、中国仏教の展開（18）、日本の仏教受容（19）、日本仏教の展開（20）、仏教と仏画で見る仏教（21～30）

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	いけ だ ろ さん 池 田 魯 参	法B2・3・4年	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	法B2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。仏教の開祖ブツダの伝記や、日本における仏教の歴史や人物などを取り上げて、現代につながる話題として解説していく。

日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚が何を意味しているのかを考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	法B2・3・4年	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては、下記のテーマについて順を追って、できるだけわかりやすく説明を加えていきたい。

- ・宗教について
- ・宗教と科学
- ・宗教と仏教
- ・仏教の歴史
- ・仏教の基本的な教え
- ・仏教と輪廻思想
- ・仏教と自然
- ・仏教と社会

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学年末の試験。

教 科 書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参 考 書 等

授業において随時指示する。

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 23)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔比較宗教文化〕	〈田中かの子〉	517
文学〔日本文学「古典」〕	〈田中伸作〉	517
文学〔日本文学「近代」〕	〈保明陽子〉	518
歴史学(1)〔日本近代史〕	〈林彰〉	518
歴史学(2)〔中国史概観〕	〈小林惣八〉	519
歴史学(3)〔アジア史概観〕	〈小林惣八〉	519
哲学〔西洋思想の源流〕	〈滝沢正之〉	519
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈伊古田理〉	520
哲学〔現代文明と人間〕	〈鈴木聡〉	520
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈伊古田理〉	521
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈麻生享志〉	521
倫理学〔現代と倫理〕	〈古田知章〉	522
倫理学〔人生と倫理〕	〈水口拓寿〉	523
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	523
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	524
発達と学習の心理学	〈三國隆子〉	524
カリキュラムと学習	〈三國隆子〉	525

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鶏徳啓登〉	525
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川日出世〉	526
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松正行〉	526
経済学〔現代経済と人間〕	〈明瀬政治〉	527
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉炳三〉	528
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪敏〉	528
統計学〔社会現象の統計的分析〕	〈新行内康慈〉	529
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上新二〉	530
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉井純一〉	531
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈三船恵美〉	532
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村恒雄〉	532

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木順一〉	533
心理学(2)〔人間関係を考える〕	〈鈴木順一〉	534
生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	535
生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	536
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	〈澤口隆〉	537
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	〈坂野井和代〉	538
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	〈加藤潔〉	538
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原正雄〉	539
自然環境論〔生命と環境〕	〈中村敏枝〉	540
情報数学〔情報と論理〕	〈小沢誠〉	540

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子 <small>た なか こ</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教を選び、それぞれの歴史・思想・文化を仏教との比較において講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

田中かの子著『比較宗教学―「いのち」の探究』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	田 中 伸 作 <small>た なか しん さく</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。
また、史実が文学に取り込まれたとき、どういう世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	ほあき ようこ 保 明 陽 子	法B・法A選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探求し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』双文社出版 2,000円
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし あきら 林 彰	法B・法A選	4

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

『日本の近代—国家と民衆』（粹出版）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔中国史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう ほん</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔アジア史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう ほん</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

西洋古代中世哲学史を概説する。
古い哲学者では2500年前にまでさかのぼることになる。しかし、哲学というものは不思議なもので、古い人より新しい人のほうがより正しいことを言っているのかということ、そうでもない。科学とは事情が違うわけだ。古代や中世の哲学者たちは、現代でも十分に現役で通用する面白い考えを示してくれている。
古代中世哲学の時代を超えた洞察を紹介していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

西洋古代中世哲学史から、主要な哲学者を何人か取り上げ、解説する。古代哲学、そのなかでも、プラトンとアリストテレスが中心となる予定。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「世界」について検討する。われわれ人間の住む場である世界の理解のしかたを検討することは、人間の自己理解にもつながるが、こうした「世界」概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点を持っているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要なおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系Ⅰ～命題論理 (3) 公理系Ⅱ～述語論理
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験+年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享 志 <small>あさ お たか し</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（1）論理とは何かを考え、（2）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（3）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古田知章	法B・法A選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上でこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕 倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 - 近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳
 2. 人間の環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	みなくちたくじゅ 水口拓寿	法B・法A選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐる、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐる、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想（前期）	いとうしげき 伊藤茂樹	法B・法A2選 12以降入学生/政治2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会(後期)	伊藤 茂樹	法B・法A 2選	2
		12以降入学生/政治2選	

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・現代の教育問題
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学(前期)	三國 隆子	法B・法A 2選	2
		12以降入学生/政治2選	

講義のねらい

・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
 ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
 ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

・発達とは何か
 ・発達の特徴と発達理論
 ・発達観の変遷と教育
 ・学習とは何か
 ・学習と評価
 ・意欲と学習(1) 動機づけ理論
 ・意欲と学習(2) 自己効力感

成績評価の方法

・毎回の授業でその授業内容について的小テストや課題を提出してもらう。
 ・学期末に筆記試験を行う。
 ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習(後期)	三 國 隆 子	12以降入学生/法B・法A・法倫2選	2

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育(1)教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育(2)教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	鷄 徳 啓 登	法B・法A選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール(規範)が必要である。「社会あるところ法あり。」(法諺)といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - (1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用
2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - (1) 民法上の権利-権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容(財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利)、権利の発生・消滅。
 - (2) 憲法上の権利-自由権(経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権)、平等権、社会権(生存権、教育権、勤労権、労働者の権利)、参政権(選挙権、被選挙権)、受益権(請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権)。
 - (3) 国家・地方公共団体の権利-国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版)3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種類)、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	法B・法A選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	法B・法A選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	みょうせまさはる 明瀬 政治	法B・法A選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- (1) 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - (2) きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- (3) 結構おもしろい(じゃん)、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りで業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	奥 炳 三 <small>お びよん さん</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代社会において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持っていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。または毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社） 2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	橋 爪 敏 <small>はし つめ さとし</small>	法B・法A選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	法B・法A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定
(19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一歩一歩確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕	かわ 川 上 新 二 かみ しん じ	法B・法A選	4

講義のねらい

国境を越えての交流がますます活発になっている現代社会では、私たち一人一人もこれからさまざまな国や地域の友人と出会うことになるであろうし、また既に出会っている人もいます。それらの友人を理解し、交流をさらに深めるためには、彼らが生まれ育った社会の生活様式（すなわち文化）を理解する必要があります。なぜなら人はそれぞれの生活様式の影響を大きく受けて暮しているからです。そのような生活様式の中には、私たちから見て不思議に思うものもあるかもしれません。しかし、なぜそのような生活様式の中で人々は暮しているのかということを考えずに、好奇心や奇異な目だけで眺めると、思わぬ誤解を招くことにもなりかねません。この講義では、世界各地の人々のさまざまな生活様式（文化）を客観的に理解するための視野を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期では文化人類学の概要や文化人類学による異文化の見方を中心に紹介します。①文化人類学とは、②人間と文化、③言語、④異文化と自文化、⑤文化人類学による異文化理解（例として、〈a〉男女の性差と文化、〈b〉生物学的な親と社会的な親、〈c〉結婚と住居、〈d〉父方の苗字と母方の苗字、〈e〉親族など）について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

後期では、異文化の理解を具体的に試みるための例として、主に韓国や中国や台湾・漢族などの文化を取り上げて、人と文化の関わりについて検討します。韓国の人々の①結婚、②親族、親戚、③家族、④相続、⑤中国・台湾漢族の場合との比較、⑥韓国や台湾・漢族の女性、⑦祖先祭祀と死後結婚、⑧日本の場合との比較について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

履修上の留意点

しばしばレポートの提出を課します。

成績評価の方法

定期試験と課題レポートを総合して評価します。

教 科 書

教科書は特に指定しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゆん いち 杉 井 純 一	法B・法A選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み (1)
3. 文化人類学の歩み (2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
6. 環境と人間 (2) 牧畜民
7. 環境と人間 (3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
佐々木宏幹・村武精一編『宗教学人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4～5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	三船恵美	法B・法A選	4

講義のねらい

本講義の目的は、政治学を専攻していない学生が、教養としての政治学というものとはどのような学問であるのかを理解し、政治システムや政治参加についての基本的な理論や概念を学ぶことにあります。現代の政治が如何なる問題に直面しているのか、またそれを解決していく上で、現代政治学がいかなることを示唆しているのか、現代政治学が現実の政治課題を如何に捉えているのかを学びましょう。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 政治を理解するための基本的な知識を講義します。具体的には、政治学とはどのような学問か、政治体制と変動、政治と国家と政府、議院内閣制・大統領制・半大統領制、社会主義国家と独裁国家の政治制度、代表制と議会：二院制と一院制、選挙制度の類型と比較、選挙と世論、利益集団の圧力活動、公共政策と行政、政党と政党制、政治意識と政治文化、集権と分権、などについて講義していきます。
- ② 最近の政治事件・トピックを取り上げて、実際に分析します。

成績評価の方法

学期末試験（前期50%+後期50%）。ただし、時々、教場レポートを課すので、それに学問の誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦『新版・現代政治学』（有斐閣）2003年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	山村恒雄	法B・法A選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	法B・法A選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の某にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング(人間観察)の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知
(9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達の心理
- [後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』(八千代出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅん いち 鈴木 順 一	法B・法A選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析の人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理
(9~10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係
(16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係
(20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水 善和	法B・法A選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

教養教育

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

そ の 他

講義に必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	な ぐ ち む ら と し え 中 村 敏 枝	法B・法A選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

（前期）生物の生活

（1-5）地球の歴史と生命の期限

（6-13）生態系のしくみ

（後期）化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ

（14-21）ゴミ処理とダイオキシン汚染

（22-23）水銀汚染と水俣病

（24-25）人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さわぐち たかし 澤 口 隆	法B選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さかのい かずよ 坂野井 和代	法B選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってよいのか、何をやってはいけないのか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の素顔と地球環境問題〕	かとう さよし 加藤 潔	法B・法A選	4

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に2回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しのほらまさお 篠原正雄	法B・法A選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つかり始めています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』（培風館）2,100円＋税

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	法B・法A選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 人間の活動と自然環境
 (1-6) 自然のしくみ
 (7-12) 自然の改変
 (後期) 食をめぐる問題
 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おさわまこと 小沢誠	法B・法A選	4

教養教育

講義のねらい

コンピュータサイエンスにおける数学の概要を知ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、コンピュータサイエンスと符号化理論の基礎・論理学の基礎・集合論の基礎を学ぶ。後期に、形式言語理論の基礎・オートマトン理論の基礎・グラフ理論の基礎・プログラミング論の基礎を学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

河村一樹『図解雑学コンピュータ科学の基礎 図解雑学シリーズ』(ナツメ社) 1,260円

参考書等

河村一樹『情報とコンピューティング IT Text 一般教育シリーズ』(オーム社) 2,625円

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

3 . 外国語科目

[英 語]

英語 I A	〈佐々木 隆〉	545
英語 I A	〈今井 夏彦〉	545
英語 I A	〈照山 雄彦〉	546
英語 I A [基礎英語特別クラス]	〈町田 成男〉	546
英語 I B	〈林 孝憲〉	547
英語 I B	〈杉本 誠〉	547
英語 I B	〈行廣 泰三〉	548
英語 I B	〈笹倉 貞夫〉	548
英語 I B [基礎英語特別クラス]	〈林 明人〉	548
英語 I A・I B [再クラス]	〈濱口 真木〉	549
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定雄〉	549
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定雄〉	550
英語 I A・I B [再クラス]	〈山縣 裕〉	550
英語 I A・I B [再クラス]	〈本間 俊一〉	550
英語 II A	〈照山 雄彦〉	551
英語 II A	〈甲斐 捷子〉	551
英語 II A	〈北村 弘文〉	552
英語 II A	〈今井 夏彦〉	552
英語 II B	〈行廣 泰三〉	553
英語 II B	〈ササキ, M.〉	553
英語 II B	〈樋渡 俊光〉	554
英語 II B	〈林 孝憲〉	554
英語 II A・II B [再クラス]	〈大淵 利春〉	554
英語 II A・II B [再クラス]	〈町田 成男〉	555
英語 II A・II B [再クラス]	〈飯沼 好永〉	555
英語 II A・II B [再クラス]	〈萩原 輝〉	555

[ド イ ツ 語]

ドイツ語 I A	〈清水 修〉	556
ドイツ語 I B	〈篠原 敏昭〉	556
ドイツ語 I A・I B [再クラス]	〈藪下 紘一〉	557
ドイツ語 II A	〈清水 修〉	557
ドイツ語 II B	〈篠原 敏昭〉	558
ドイツ語 II A・II B [再クラス]	〈藪下 紘一〉	558

[フ ラ ン ス 語]

フランス語 I A	〈八木 明美〉	559
フランス語 I B	〈木下 雄介〉	559
フランス語 I A・I B [再クラス]	〈谷川 かおる〉	559
フランス語 II A	〈八木 明美〉	560
フランス語 II B	〈木下 雄介〉	560
フランス語 II A・II B [再クラス]	〈長谷川 光明〉	560

〔 中 国 語 〕

中国語Ⅰ A・Ⅰ B	〈秋 元 翼・王 聡〉	561
中国語Ⅰ A・Ⅰ B	〈塩 旗 伸一郎・上原 かおり〉	561
中国語Ⅰ A・Ⅰ B〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	562
中国語Ⅰ A・Ⅰ B〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	562
中国語Ⅱ A	〈秋 元 翼〉	562
中国語Ⅱ B	〈上 原 かおり〉	563
中国語Ⅱ A・Ⅱ B〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	563
中国語Ⅱ A・Ⅱ B〔再クラス〕	〈東 映 全〉	563

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語Ⅰ A	〈大 岩 功〉	564
スペイン語Ⅰ B	〈大 岩 功〉	564
スペイン語Ⅰ A・Ⅰ B〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉	565
スペイン語Ⅱ A	〈荻 野 雅 司〉	565
スペイン語Ⅱ B	〈中 山 直 次〉	566
スペイン語Ⅱ A・Ⅱ B〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉	566

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語Ⅰ A・Ⅰ B	〈廣 田 英 靖〉	567
ロシア語Ⅰ A・Ⅰ B〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉	567
ロシア語Ⅱ A	〈廣 田 英 靖〉	568
ロシア語Ⅱ B	〈廣 田 英 靖〉	568
ロシア語Ⅱ A・Ⅱ B〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉	568

《 選 択 科 目 》

英 会 話 Ⅰ	〈永 野 光 一〉	569
英 会 話 Ⅱ	〈永 野 光 一〉	570
英 語 L L Ⅰ	〈甲 斐 捷 子〉	571
英 語 L L Ⅱ	〈山 縣 裕〉	572

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	ささき たかし 佐々木 隆	法B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現からダイアログ (多様な会話表現の理解と運用能力) をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、英語表現に注意を払う。

成績評価の方法

試験の結果を含めた総合判断。

教科書

『アクティブ・コミュニケーション』(南雲堂) 1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いま い なつ ひこ 今井 夏彦	法B1年	2

講義のねらい

基礎的な文法や語彙、口頭でのコミュニケーションに必要な基本的な表現を再確認します。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカからの留学生と日本人の大学生との対話を通して基本的な文法項目などを中心に学びます。

履修上の留意点

語学は何よりも参加することが大切なので出席を重視し、毎回何らかの作業をしたいと思う。

成績評価の方法

出席を重視し、授業への参加度、期末テストなどを総合的に評価します。

教科書

河合忠仁他著『英会話のためのコミュニケーション・英作文』(松柏社) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	てる やま ゆう ひこ 照 山 雄 彦	法B1年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音して、また英文を正しく理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の内容を達成するために、最重要動詞、最重要名詞、また基礎となる文型をいくつかの例題を使った文章を暗記し習得していく。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること。

成績評価の方法

毎回初めに小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教 科 書

おっってお知らせする。

参 考 書 等

その都度必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	まち だ しげ お 町 田 茂 男	法B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、会話表現の場合、日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、カセット・テープやビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席、発表、試験の総合評価とする。

教 科 書

現在、検討中のため未定。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はやし 林 孝憲	法B1年	2

講義のねらい

リスニングとリーディングの双方から英文理解を試みる。

講義の内容・授業スケジュール

最初は映像を見ながらナレーションのリスニングを行い、演習問題を解くことで大意を把握する。次にスクリプトを精読し、完全な内容把握を行なう。

履修上の留意点

単語の意味などの予習が必要となる。

成績評価の方法

平常での発表を重視し、前後期の試験の結果を含め総合的に評価する。

教 科 書

『ビデオで学ぶ世界遺産』(成美堂) 1,900円 ISBN4-7919-4577-8 C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	すぎもと 杉 本 誠	法B1年	2

講義のねらい

グローバル化および情報化の時代の中に置かれた私たちには、それに対応できるような英語の運用能力を保持することが求められる。授業では、このような状況において必要とされる英語力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

代替エネルギー、環境保護観光、時間などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『Polish Up Your English』(成美堂) 1,800円 ISBN4-7919-0070-7 C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ゆき ひろ たい ぞう 行 廣 泰 三	法B1年	2

講義のねらい

この授業では、読解力の基礎的な技能を身につけることと少しでも「英語を読む楽しさが」味わうことができることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、イギリス人の日常生活（スポーツ、メディア、大学生活、教育等）を通して英文の読解力を養う。

- 内容：1. Eating and Drinking
2. Spending Free Time
3. Education and Beyond
4. Spending money

成績評価の方法

評価の方法は、日常の小テスト（8回前後）発表、出席などを総合的な観点から評価します。

教科書

『Intermediate skills for Reading』（成美堂）1,700円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	まさ くら さだ お 笹 倉 貞 夫	法B1年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応しうるような国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用。

履修上の留意点

予習・復習重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）

その他

金曜日7講時

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	はやし あき と 林 明 人	法B1年	2

講義の内容・授業スケジュール

簡単な読み物を使用しながら、英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようになることを目的とします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、出席の総合評価。

教科書

『構文から学ぶやさしい日常英語』（南雲堂）ISBN4-523-17440-7

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A [再クラス]	はまぐち まさき 濱 口 真 木	法B2・3・4年	2
英語 I B [再クラス]			

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として、英語の運用能力の向上を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていき、授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教科書

『The Unchanging Face of Great Britain—イギリスの背景を読む—』（金星堂）1,500円
ISBN4-7647-3797-3

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A [再クラス]	いせむら さだお 伊勢村 定 雄	法B2・3・4年	2
英語 I B [再クラス]			

講義のねらい

実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。

1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教科書

Sadao Isemura, Dennis R. Kogge『アメリカンライフを英語で』（北星堂書店）1,900円
ISBN4-590-01115-8

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日・6時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	いせむら さだ お 伊勢村 定 雄	法B2・3・4年	2
英 語 I B [再クラス]			

講義のねらい	アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。
講義の内容・授業スケジュール	音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。
履修上の留意点	予習必要！辞書持参のこと！
成績評価の方法	年2回のペーパーテスト及び授業態度。
教科書	丸橋 他編注『映像で楽しむオーストラリア (Touring Australia)』(英光社) 1,890円 ISBN4-87097-024-4
参考書等	中型英語辞典なら何でも可。
その他	水曜日・7時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	やま がた ゆか 山 縣 裕	法B2・3・4年	2
英 語 I B [再クラス]			

講義のねらい	大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時に日常会話のリスニングにも慣れる。
講義の内容・授業スケジュール	英単語・熟語集と映画シナリオを併用する。小テストも行う。
履修上の留意点	予習をしてくること。辞書を持ってくること。
成績評価の方法	平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。
教科書	『シャイン』(松柏社) 2,100円 ISBN4-88198-561-2 『基礎から学ぶ TOEIC テスト英単熟語』(南雲堂) 1,100円 ISBN4-523-26418-X

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	法B2・3・4年	2
英 語 I B [再クラス]			

講義の内容・授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を公表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書	『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15154-7

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	照 山 雄 彦 <small>てる やま ゆう ひこ</small>	法B 2年	2

講義のねらい

大学での英語学習の狙いは専門の英語文献読解力を養うことである。そのために修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、実際の英語文献を読解できる能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記をふまえ、わからない語句や表現を調べながらテキストの各章を精読し、内容を把握し暗記していくようにする。

履修上の留意点

宿題を毎回出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法

毎時間授業を始める前に小テストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。

教科書

おって連絡します。

参考書等

その都度必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	甲 斐 捷 子 <small>か い かつ こ</small>	法B 2年	2

講義のねらい

テキストは事実に基づいた裁判劇が題材になっています。訴訟をめぐる状況をテキストで読み、判決をカセット・テープで聞いて、英語による法律用語を習得することがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

全20件の訴訟を扱いますが、判決文はテキストに含まれていませんから、ハンドアウトで配布します。判決文が理解できた段階で、訴訟のポイントを簡単な練習問題で復習します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますから、進度を速めつつ、クラスの弱点を補強するような授業の進め方になる可能性があります。

履修上の留意点

判決文は繰り返し聞いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。別売りカセット・テープは2,650です。

成績評価の方法

一応の日安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

『Viewpoint in Law』
Richard Powell 著 (MacMillan Languagehouse) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	きたむらひろふみ 北村弘文	法B2年	2

講義のねらい

普段日本において英語を話す機会が少ない我々は、外国人の話す英語を聞いてある程度理解はできても、英語で自分の意見を言うとなると、そう簡単ではない。ただこれも習慣の問題で、それほど深刻に考える必要はない。今、我々が英語で自分の意見を言う時、我々はまず頭に日本語が浮かび、次いでその日本語を英語に翻訳して発表する。ところが、もしこの日本語を英語に翻訳するというプロセスを省いて、一挙に頭に英語が浮かぶようにはできないだろうか？ 勿論それができるのです。そういう習慣を身に付ければよいわけです。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

『Try America』（三修社）1,700円

参考書等

授業中に指示する。

その他

受講者は予習、復習を欠かさないようにし、講義の聞きっぱなしのないように留意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	いまいなつひこ 今井夏彦	法B2年	2

講義のねらい

日常の基本的なコミュニケーションを通して英語を学ぶことを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

留学、環境問題、マルチメディア、世界の英語などのようなテーマを取り上げ、それぞれの場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーションの能力を養成します。

履修上の留意点

語学は何よりも参加することが大切なので出席を重視する。

成績評価の方法

出席を重視し、期末テスト・レポートなどを総合的に評価します。

教科書

中田清一他著『日常会話英作文』（成美堂）1,600円

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	ゆきひろ たいぞう 行 廣 泰 三	法B 2年	2

講義のねらい

国際化・情報化といわれる中で、人間同士がコミュニケーションする上で、言葉が重要であることは確かなことです。しかし、異なる文化背景を持つ人々とのスムーズなコミュニケーションを図るには、言葉の土台になっている文化を理解することによってはじめて可能になるのです。そこで、この授業では、英文の読解を通して異文化理解の能力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 内容： 1. Culture and Identity
2. Hidden Culture
3. Stereotypes
4. Words, Words, Words
5. Communication without Words

成績評価の方法

成績評価の方法は、日常の小テスト、発表、出席などを総合的な観点から評価をします。但し、小テストは前期と後期合計で8回前後します。

教 科 書

『Japan and Japanese—An International Comparison』(音羽書房鶴見書店) 1,600円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	ササキ, M.	法B 2年	2

講義のねらい

1Bを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度を上げる。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

Students will read about local and world issues. An emphasis will be placed on comprehension, reading aloud in class, and intonation.

履修上の留意点

3分の2以上出席すること。課題(レポート、小テスト、プレゼンテーション等)を重視すること。遅刻しないこと(30分以上遅刻する場合、欠席取り扱い)。カンニング(代返、教室退場、盗作など)をすると成績評価は「不可」になる。毎日、ニュースを見ること。

成績評価の方法

課題や出席点数の平常点。試験はありません。

教 科 書

採用なし。プリント等使用。和英・英和辞典をいつも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	樋 渡 俊 光 <small>ひ わたり しゆん こう</small>	法B 2年	2

講義のねらい

21世紀を担う国際人として必要な英語力を養成する講義とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、テキストを読みすすめると同時に、音声指導を中心に、又英語の構文の徹底的指導を行ない、英語が好きになる授業としたい。又 CNN のニュースや Japan Times から興味ある Topics を抜粋し英語に親しめる授業としたい。

履修上の留意点

予習の徹底と辞書の持参を重視する。

成績評価の方法

レポート提出、出席を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教 科 書

『A SHORTER COURSE IN READING (5分間リーディング)』(南雲堂) 900円
ISBN 04m4540 B-161

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	林 孝 憲 <small>はやし たか のり</small>	法B 2年	2

講義のねらい

環境問題を中心とした時事的な英文を正確に構文を理解して読んでゆく。特に精読に力を入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

英文は今日、新聞等でしばしば扱われる内容である。そこで、正確に英文を理解することと並行し、英語の時事用語も学習してもらいたい。

履修上の留意点

単語の意味などの予習が必要となる。

成績評価の方法

平常での発表を重視し、前後期の試験の結果を含め総合的に評価する。

教 科 書

『バイオビジネスと環境』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17468-7 C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A [再クラス]	大 淵 利 春 <small>おお ぶち とし はる</small>	法B 3・4年	2
英 語 II B [再クラス]			

外
国
語

講義のねらい

総合的な英語力 (リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング) の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テキストを読み進め、リスニングの小テストを行う。

履修上の留意点

予習はしっかり行って下さい。辞書は必ず携帯して下さい。

成績評価の方法

前、後期2回のテストの結果をベースにしなが、出席状況その他の日常の授業態度を考慮に入れ、総合的に評価します。

教 科 書

『New Moments in Science』(成美堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A〔再クラス〕	まち だ しげ お 町 田 成 男	法B3・4年	2
英語Ⅱ B〔再クラス〕			

講義のねらい

I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。文章表現の場合、パラグラフから自由英作文を年に3～5回程度提出できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめると共に、CD やビデオ教材も時々使用する。

履修上の留意点

英和・和英辞典を持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教科書

現在、検討中のため未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A〔再クラス〕	いい ぬま よし なが 飯 沼 好 永	法B3・4年	2
英語Ⅱ B〔再クラス〕			

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指していきたい。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項を踏まえつつ英語の文章構造も丁寧に捉えていきたい。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

Charles L. Clark 三原京、福本由紀子、荘中孝之、木村博晃著
Basically America, Basically Japan (南雲堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A〔再クラス〕	はぎ わら てる 萩 原 輝	法B3・4年	2
英語Ⅱ B〔再クラス〕			

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experience”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績の評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』(南雲堂) 1,957円

〔ドイツ語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A	し <small>みず</small> <small>おさむ</small> 清 水 修	法B1年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。
また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。
そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。
したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教 科 書

早川東三『完全ドイツ文法 (改訂版)』(朝日出版社)

参 考 書 等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B	し <small>はら</small> <small>とし</small> <small>あま</small> 篠 原 敏 昭	法B1年	2

講義のねらい

簡単なドイツ語の文を口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題をやってくること、辞書を必ずもってこること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教 科 書

『CD付き モデル1 問題発見のドイツ語』(三修社) 2,600円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

CDやビデオをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	やぶ した こう いち 敷 下 紘 一	法B2・3・4年	2
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

ドイツ語と一戦して負けましたね。今年こそは単位とってやると意気込んで下さい。教科書も変わるでしょうし、土曜日の午後、皆が遊んでいるのに学校へ出て来るのはなんともおもしろいものではないですが、今年だけはガマンして単位とって、3年生からの専門科目に立ち向かしましょう。

履修上の留意点

休まないで出て来る事！

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験及び平常点で決めます。

教科書

教科書は別のものを使います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	し みず おさむ 清水 修	法B2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。

受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教科書

プリントを用意します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	篠原敏昭 <small>しのほらとしあき</small>	法B2年	2

講義のねらい

ドイツ語ⅠA・ⅠBで習った基礎的なことからをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの風土、ドイツ人の考え方、行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験（4級）の受験も勧めています。後期には受験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点

予習を必ずやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書

『体験するドイツ語』（郁文堂）2,600円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	藪下紘一 <small>やぶしたこういち</small>	法B2年	2
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

ドイツ語は今年で決着つけて4年生になってもらいたいものです。その為には是非出席して下さい。ノートを1冊用意して下さい。

履修上の留意点

土曜日に出て来るのは今年で終わりにしましょう。

成績評価の方法

前期・後期の試験及び平常点で決めます。

教科書

教科書も変わるでしょうから（4月に決めます）

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	八木 明美 <small>や き あけ み</small>	法B1年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

斉藤昌三著『新版ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	木下 雄介 <small>きの した ゆう すけ</small>	法B1年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進める。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもない。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりであるから、地道な努力を怠らなければ、修得はさほど困難ではない。学生諸君の努力に期待するゆえんである。

成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教科書

滑川明彦『新・街角のフランス語12課』（三修社）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A〔再クラス〕	谷川 かおる <small>たに がわ</small>	法B2・3・4年	2
フランス語 I B〔再クラス〕			

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール

基本文法を学んだのち、練習問題やテキスト読解にとりくみ、基礎力を養います。毎回小テストを行い、学んだことを確実に覚えます。

履修上の留意点

全員参加の演習方式。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験の点数に、小テスト、授業への取り組み態度などを加算し、総合的に評価する。

教科書

藤田裕二著『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	や ぎ あけ み 八 木 明 美	法 B 2 年	2

講義のねらい

初級文法をひとつと学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教 科 書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	きの した ゆう すけ 木 下 雄 介	法 B 2 年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な文章で書かれた短編小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教 科 書

土居・石井編『プチ・ニコラ』（駿河台出版社）922円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	は せ が わ み つ あき 長谷川 光 明	法 B 3・4 年	2
フランス語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期、後期試験及び平常点。

教 科 書

藤田裕二『彼女は食いしん坊！2』（朝日出版社）2,500円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.139) 参照

【辞書について】

(P.140) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	秋元翼	法B1年	2
中国語ⅠB	王聡		

講義の内容・
授業スケジュール

ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。主に秋元が文法を、王が応用練習を担当する。各課を文法、応用練習各一回の割合で進み、一年間で教科書一冊を学ぶ。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

履修上の留意点

中国語は発音が重要なので、授業では積極的に声を出して正確な発音を身につけて欲しい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常点と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『【最新版】《中国語初めの一步》』（白水社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	塩旗伸一郎	法B1年	2
中国語ⅠB	上原かおり		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ読んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

中国語ⅠAとⅠBは連動するので、必ずセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、缺席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-缺席点。
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると思ってしまうのは大なる誤解である。

缺席が年間3回を超えると10点ずつ減点する。遅刻は2回で缺席1回に換算する。

教科書

相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	法B2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい	正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。
履修上の留意点	毎回予習、復習が必要。
成績評価の方法	出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。
教科書	塚本慶一監修・劉顕著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』（白水社） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA〔再クラス〕	そう たい わ 曹 泰 和	法B2・3・4年	2
中国語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい	バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	授業を通して、北京のを中心にして中国のさまざまなことを学ぶ。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
教科書	相原茂・李貞愛『北京コレクション』（朝日出版社）2,500円
参考書等	開講時に説明する。
その他	中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	あき ちと たすく 秋 元 翼	法B2年	2

講義の内容・授業スケジュール	初級の復習をしながら語彙や表現力を増やし、より上の段階へ進める力を養う。会話文を主にした教科書を用いるので、楽しく役に立つ表現が学べる。
履修上の留意点	予習・復習をして授業で習うことを確実に覚えて欲しい。また、音声面もおろそかにしたくないので、目で字を追うだけでなく、授業中、積極的に声を出して欲しい。出席を重視する。4分の3以上の出席を要する。
成績評価の方法	平常の学習態度や到達度と、期末テストの結果によって総合的に評価する。
教科書	荒川清秀『美香 in China』（同学社）2,310円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	うえ ばら 上原 かわり	法B2年	2

講義のねらい

一年次に学んだ基本表現や文法事項の定着を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

使用する教科書は簡単な対話文を通して中国語の基礎を習得するよう構成されています。各課の基本会話文を口頭で繰り返し練習した後、会話文に含まれる文法事項を確認したうえで練習問題に取り組みます。

履修上の留意点

授業中は恥ずかしがらず大きな声で積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）、宿題、出席率で総合評価します。

教科書

陳淑梅、蘇明著『中国を歩こう』（金星堂）2,730円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	法B3・4年	2
中国語ⅡB〔再クラス〕			

講義の内容・
授業スケジュール

中国人の生活を「出生」に始まり、「教育制度」や「結婚」等、8項目に分けて授業を行なう。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

池上貞子・張国璐『中国人のくらし』（朝日出版社）1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全	法B3・4年	2
中国語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

本講座は、一年生で習得した中国語AとBを基礎として、拼音方法の知識を復習しながら、生徒たちの音声を再確認し、さらに短い文を作る能力を高める。それからテキストを通じて、中国の風俗習慣や文化をより多く理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は原則としてテキストに沿って進みます。まず、基本音声「声母・韻母そして声調」等読み方の再復習。それからテキストにある文章と会話の発音を確認しながら意味を説明する。授業は教科書をベースとした説明・理解・反復練習などを中心とする。

履修上の留意点

言葉というのは話せることが大事である。ですから、口を開くことが肝心である。繰り返し練習を重ねていけば必ず出来ると信じて欲しい。事前の「予習」「復習」が不可欠である。また、何よりも大事である。

成績評価の方法

出席重視と授業態度によって、平常点で評価する。

教科書

陳榮生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,890円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	おお いわ いさお 大 岩 功	法B1年	2

講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を勘案して総合的に評価します。

教科書

NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号 (NHK 出版)
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	おお いわ いさお 大 岩 功	法B1年	2

講義のねらい

初級文法を段階的に学習しながら、スペイン語の初歩的な作文能力を身につけることをことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

I-Bは文法の学習と作文を中心とした演習がメインとなります。1年間で現在時制におけるさまざまな文型を学習する予定です。

履修上の留意点

演習が主ですから、必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『読む・書く・話すスペイン語』(教材マルコ社)
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』(三修社)
寿里順平著『基礎スペイン語文法』(東洋書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA〔再クラス〕	くりばやし 栗林 ゆき絵	法B2・3・4年	2
スペイン語ⅠB〔再クラス〕			

講義のねらい

年間で約60の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（基本文、活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

小テスト30%、前後期試験70%の配分で評価。全体の合計が60点以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教 科 書

小池和良『多国籍スペイン語入門』（同学社）2,700円

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	おぎのまさし 荻野 雅 司	法B2年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教 科 書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』（同学社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	なが やま なお し 中山直次	法B2年	2

講義のねらい

スペイン語文法の体系を、できる限り能率よく修得することをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『やさしいスペイン語』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、スペイン語文法の基本項目を解説し、関連問題を解きます。ただし今年度は、文法学習の単調さを避けて授業に変化をもたせるために、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をはさみます。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし「気長に」取り組んでください。

成績評価の方法

平常授業時の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末定期試験は行いません)。

教科書

中山著『やさしいスペイン語』(白水社) 昨年度からの継続受講者は購入不要
中山著『250語でできるやさしいスペイン会話』(白水社) 副教材

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思います。ただ、参考書類を一冊も持っていない人は、何か手頃な自習参考書を一冊購入し、予習・復習の際に常時参照することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	くり ばやし え 栗林 ゆき絵	法B3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

会話表現60文の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それをういて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

活用・文法事項・重要表現の確認→応用作文の順に学習を進める。毎回授業の初めに小テストを実施。

履修上の留意点

辞書(和西つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。基本表現は口をつけて出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト(30%)、前後期の期末試験(70%)を合わせて60点以上で合格とする。

教科書

木村琢也『スペインへのパスポート』(同学社)

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)
*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	ひろ た ひて 廣 田 英 靖	法B1年	2
ロシア語 I B			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A [再クラス]	すま やま ひて 杉 山 秀 子	法B2・3・4年	2
ロシア語 I B [再クラス]			

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円+税

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	法B2年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	法B3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

外国語

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の日安は英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	法B選	2

講義のねらい

英会話の基礎的な力を養成。

講義の内容・ 授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

英 会 話 II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL[®]のスコアー450点、TOEIC[®]のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	なが の こう いち 永 野 光 一	法B選	2

講義のねらい

中級レベルの英会話力を養成。前年度、英会話Iを終了していることが望ましい。

講義の内容・ 授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話す力に更にもがきをかけていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

英 語 L L I

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL[®]で450点、TOEIC[®]500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	<small>が</small> 甲 <small>い</small> 斐 <small>かつ</small> 捷 <small>こ</small> 子	法B選	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Language house 2,000円

英 語 L L II

情報メディア機器（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL[®]で450点、TOEIC[®]500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	やまがた 山 縣 裕	法B選	2

講義のねらい	大学生にふさわしい質と量の英単語・熟語を修得し、同時にクローズド・キャプションのついた映画のビデオを使い、日常会話を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	映画を使った授業だが、単語・熟語の小テストも行う。
履修上の留意点	予習をしてこること。辞書を持ってくること。
成績評価の方法	平常点・小テスト・定期テストを総合的に評価する。
教 科 書	『シャイン』（松柏社）2,100円 ISBN4-88198-561-2 『データベース5500』（桐原書店）950円 ISBN4-342-01330-4

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
限6時							鈴 木	健康・スポーツ論*
7 時 限	※秋田	バドミントン	田 中	健康・スポーツ論*	※高橋	空手道		
	大 石	ニュースポーツ			村 松	卓球		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者。

*時間表で教場を確認のこと。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳 平〉	577
健康・スポーツ論 (前期)	〈田 中 佳 孝〉	578
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村 松 誠〉	579
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田浩一・三幣晴三〉	580
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山 口 良 博〉	581
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	582
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	583
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎／応用)	〈 休 講 〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎／応用)	〈 休 講 〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈村松 誠 他〉	584
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈竹田幸夫 他〉	585

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	すずき しゅん べい 鈴 木 淳 平	法B選	2

講義のねらい

健康であるための条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11時限目：トレーニング理論全般
- 12時限目： 〃
- 13時限目：応急処置の実際、テーピング、アイシング等の実習
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	法B選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』/『貝原益軒の養生訓』/『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』/『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	法B1選	2

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた ころいち みぬさ ほるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	法B1選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スサホツシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	法B1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7～9 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 13～15時限目：ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかほし しゅんすけ 高橋 俊介	法B1選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での七段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法B1選	2

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時 限 目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時 限 目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時 限 目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時 限 目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時 限 目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時 限 目：総合
- 14 時 限 目：総合
- 15 時 限 目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むら まつ まこと 村 松 誠 他	法B選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月22日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月5日(月) 実技: 12:50~17:20 打撃練習
講義: 10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月6日(火) 実技: 13:30~16:30 打撃練習
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月7日(水) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月8日(木) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義: 19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月9日(金) 実技: 9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程: 9月5日(月)~9月9日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 場 所: (1) 宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
(2) 練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100
(3) コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311
FAX0195-73-5044
 - 定 員: 40名
 - 集合解散: 現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 受講料: 39,350円(左記金額には、交通費は含まれない。)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間: 5月23日(月)~6月4日(土)
 - 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだ ゆきお 他 竹田 幸夫 他	法B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2 回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
2. 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1 日目 2月13日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2 日目 2月14日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3 日目 2月15日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4 日目 2月16日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5 日目 2月17日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)～2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成17年5月23日(月)～6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているため特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

法 律 学 科 フ レ ッ ク ス B

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.281)

II. 専門教育科目

法律学科

※印の科目については、法律学科フレックス A の頁を参照してください。

法 学 概 論	〈高橋 洋城〉	591
〔15以前入学生：法学概論A〕		
公 法 入 門	〈金子 昇平・山口 邦夫〉	592
〔15以前入学生：法学概論B〕		
私 法 入 門	〈竹 中 智 香〉	593
〔15以前入学生：法学概論B〕		
憲 法	〈日 笠 完 治〉	594
民 法 総 則	〈大 宮 隆 隆〉	594
刑 法 総 論	〈山 口 邦 夫〉	595
会 社 法	〈荒 木 正 孝〉	596
行 政 法	〈金 子 昇 平〉	597
〔15以前入学生：行政法総論〕		
裁 判 法	〈五百田 俊 治〉	597
国 際 法	〈王 志 安〉	598
※比 較 憲 法	〈西 修 修〉	(305)
新 入 生 演 習	〈高橋洋城・原田啓一郎・北野かほる・松村 格〉	599
債 権 総 論	〈小 野 健 太 郎〉	600
物 権 法	〈今 尾 真 真〉	600
※法 社 会 学	〈岡 嵩 修 修〉	(305)
日 本 法 制 史	〈休 講 〉	
西 洋 法 制 史	〈北 野 か ほ る〉	601
政 治 学 原 論	〈大 塚 桂 桂〉	602
※政 治 史	〈村 井 良 太 太〉	(309)
経 済 原 論	〈藤 原 碩 宣 宣〉	603
行 政 学	〈田 丸 大 大 大〉	603
※法 律 時 事 英 語	〈牧 野 和 夫 夫〉	(311)
商 法 総 則 ・ 商 行 為 法	〈川 口 幸 美 美〉	604
刑 法 各 論	〈佐 藤 多 美 夫 夫〉	605
刑 事 政 策	〈覚 正 豊 和 和〉	606
債 権 各 論	〈長 坂 純 純 純〉	607
※英 米 法	〈北 野 か ほ る る〉	(316)
※仏 法	〈上 井 長 久 久 久〉	(317)
※独 法	〈山 口 邦 夫 夫 夫〉	(318)
法 思 想 史	〈高 橋 洋 城 城 城〉	608
演 習 I ・ II	〈青 野 博 之 之 之〉	609
演 習 I ・ II	〈大 宮 隆 隆 隆〉	609
演 習 I ・ II	〈金 子 昇 平 平 平〉	610
演 習 I ・ II	〈北 野 か ほ る る る 〉	610
演 習 I ・ II	〈河 野 弘 矩 矩 矩〉	611
演 習 I ・ II	〈西 修 修 修 修 修〉	611
演 習 I ・ II	〈原 田 啓 一 郎 郎 郎 〉	612
演 習 I ・ II	〈松 村 格 格 格 格 格〉	612
演 習 I ・ II	〈山 田 泰 彦 彦 彦 彦 彦〉	613

※外書講読 I・II (英書)	〈王 志 安〉	(337)
※外書講読 I・II (英書)	〈金 子 昇 平〉	(338)
※外書講読 I・II (英書)	〈川 口 幸 美〉	(338)
※外書講読 I・II (独書)	〈松 村 格〉	(339)
※外書講読 I・II (仏書)	〈荒 木 正 孝〉	(339)
※外書講読 I・II (中国書)	〈江 林 英 基〉	(340)
担 保 物 権 法	〈長 坂 純〉	613
家 族 法	〈竹 中 智 香〉	614
有 価 証 券 法	〈川 口 幸 美〉	615
登 記 法	〈田 沼 浩 浩〉	616
保 險 ・ 海 商 法	〈山 田 泰 彦〉	617
民 事 訴 訟 法	〈間 渕 清 史〉	618
刑 事 訴 訟 法	〈松 本 英 俊〉	619
劳 働 法	〈藤 本 茂 茂〉	620
社 会 保 障 法	〈原 田 啓 一 郎〉	621
行 政 救 済 法	〈塩 入 み ほ も〉	621
税 法	〈岸 田 貞 夫〉	622
地 方 自 治 法	〈富 井 幸 雄〉	622
国 際 紛 争 解 決 法	〈王 志 安〉	623
国 際 私 法	〈笠 原 俊 宏〉	624
環 境 法	〈 休 講 〉		
經 済 法	〈荒 井 登 志 夫〉	624
※消 費 者 法	〈河 野 弘 矩〉	(343)
知 的 財 産 権 法	〈盛 岡 一 夫〉	625
民 事 執 行 ・ 保 全 法	〈橋 本 聡 聡〉	625
倒 産 処 理 法	〈木 川 裕 一 郎〉	626
※法 哲 学	〈高 橋 洋 城〉	(346)
※法 律 学 特 殊 講 義	〈工 藤 聡 一〉	(347)
財 政 学	〈速 水 昇 昇〉	627
国 際 関 係 論	〈三 船 恵 美 美〉	627
經 済 政 策	〈飯 田 泰 之 之〉	628
※社 会 政 策	〈原 田 啓 一 郎〉	(350)
実 務 演 習 I	〈中 野 辰 久 久〉	629
実 務 演 習 II	〈鶴 井 俊 吉 ・ 上 野 雅 祥 ・ 小 林 覚 ・ 濱 中 善 彦〉	630
実 務 演 習 III	〈木 村 美 隆 隆〉	630
実 薄 記 学 論	〈鈴 木 勝 浩 浩〉	631
營 計 学 論	〈岩 波 文 孝 孝〉	632
会 計 学 論	〈小 栗 崇 資 資〉	633

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学概論(前期)	たか 高 橋 洋 城 たか はし ひろ き	16以降入学生/法B1必	2
法学概論A(前期)		15以前入学生/法B1必	

講義のねらい

法学部に入ってはじめて法学を学ぶひとに、法学科目履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初とはまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 法のイメージと法学部の講義科目
 - 法とは何か
 - 法学部ではどう学ぶか
- 法の一般的分類
 - 法の分類
 - 法令の種類
- 近代日本法とその社会
 - 国家と社会
 - 近代日本が受け継いだ法
 - 近代法の変容
- 立法の角度からの法
 - 制定法主義とその法源
 - 法の体系性
- 司法の角度からの法
 - 紛争解決の仕組みと機構
 - 紛争の種類と解決の種類
- 法令の解釈
 - 事実の法的再構成
 - 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。

教科書

伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門』第3版補訂版(有斐閣)
参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公 法 入 門	<small>かね こ</small> 金子 <small>しょうへい</small> 昇平・ <small>やまくち</small> 山口 <small>くに お</small> 邦夫	16以降入学生/法B1必	2
法 学 概 論 B		15以前入学生/法B1必	

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区分けして、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前半（刑法入門）

1. 刑法とはどのような法律か（国家法体系の中での位置づけ）
2. 刑罰について（国家刑罰権・刑による威嚇と現実の裁判）
3. 犯罪が成立するための要件（なぜ逮捕されるのか・裁判を受ける権利）
4. いわゆる罪刑法定主義について（事後法の禁止と法の適正手続）
5. まとめと質疑応答
6. 試験

後半（行政法入門）

1. 行政法とは何か
2. 行政法の法源
3. 行政法の領域
4. 法治行政
5. 行政作用と法
6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもなければ試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする（計2回）。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教 科 書

前半・後半ともに教科書は使用しない。

参 考 書 等

参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
私 法 入 門 (前期)	たけ なか ち か 竹 中 智 香	16以降入学生/法B1必	2
法 学 概 論 B (前期)		15以前入学生/法B1必	

講義のねらい

この科目は、法律学科の新生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味が持てるように講義を進めます。

講義の内容・ 授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原則
 - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原則 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条例
4. 私法の効力
 - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教 科 書

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。

参 考 書 等

講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲 法	ひ だ 日 笠 完 治	16以降入学生/法B1必 15以前入学生/法B1・2・3・4選必	4

講義のねらい

憲法学を体系的に理解できるようにする。ただ、憲法学のすべての領域に触れることはできないため、基礎的項目や重要論点を取り上げ講義する。受講者が、講義を聴講するのみならず予復習を行い、憲法学的に思考する能力を修得することを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 第1回イントロダクション、第2～7回憲法原理(国民主権、法の支配、権力分立、象徴天皇制、平和主義)、第8～11回統治機構論(国会、内閣、裁判所)、第12回財政と地方分権、第13回憲法改正などについて学説の検討を交えながら講述する。
(後期) 第1～4回基本的人権の理論(人権の歴史と体系、人権享有主体性、人権の効力、公共の福祉と人権の限界)、第5回人身の自由、第6～9回精神的自由権、第10回経済的自由権、第11回国務請求権、第12回社会権、第13回参政権などについて判例解説などを交えながら講述する。

履修上の留意点

授業後に質問を受け付けたい。積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法

原則的には、定期試験の結果に基づき評価を行う。なお、レポート提出などの日常的学習活動については、加点主義で考慮する。

教科書

日笠完治『憲法がわかった』(改訂版)(法学書院)2003年 2,600円

参考書等

法令集として、『ポケット六法』『コンパクト六法』『デューリー六法』などの最新版が必要。判例集として、『憲法判例百選I・II[第4版]』『憲法判例集』などを参考に。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法 総 則	おお 大 宮 隆	16以降入学生/法B1必 15以前入学生/法B1・2・3・4選必	4

講義のねらい

民法は、個人相互間の私的生活関係の基本法として、財産(物の所有や契約など)と家族(夫婦・親子や相続など)に関する事項を規律する法律である。日本の民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の配列で、五編より構成されているが、本講義の対象は、総則編である。総則には、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定が集められている。民法の学習にあたっては、条文数が多いことや、内容が複雑で技術的な構成をとっているため、親しみ難い面があるので、実際の社会生活から遊離することのないように、例示をできるだけ多くして説明することを心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 民法とはどのような法律か
民法典の沿革、構成
- 2 民法の法源(財産と家族に関する法律はどのような形で存在するのか)
- 3 民法の解釈
- 4 民法の指導原理
- 5 権利の主体——自然人・法人
- 6 権利の客体——物
- 7 権利の変動原因——法律行為・意思表示・代理・無効及び取消・条件及び期限・期間・時効

履修上の留意点

教科書をしっかり読んで、出席してもらいたい。

成績評価の方法

数回のテストを予定している。その結果と、学期末試験の成績を総合して、評価する。

教科書

河野弘矩『改訂版民法総則講義』(八千代出版)3,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
刑法総論	やまぐちくに 山口邦夫	16以降入学生/法B1必	4
		16以前入学生/法B1・2・3・4選必	

講義のねらい

一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生としての自覚をもち、講義や読書を通じて、みづから積極的に学ぶ態度を身につけるように諸君も努力してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

次の2期に分けて講義をする。Ⅰ期(9・10月)、Ⅱ期(11・12月)。

Ⅰ期 学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法学とは何か。法学の体系における刑法学の位置づけへと進む。

刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。

Ⅱ期 ドイツの構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を峻別する立場から解説をする。

犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の争いを考慮しながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。

履修上の留意点

原則として出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。

質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質問が可能である。

成績評価の方法

上記の小テストが実行できれば、その結果と、学年末試験の成績とを総合して評価し、単位を認定する。

教科書

教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、そのつど参考書を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 社 法	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	法B2・3・4選必	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、多くの人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらおうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。商法は、民法を一般法とする特別法であるから、会社法に限らず、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層理解しやすい。ただ、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履修していなくても受講には差し支えない。

平成13年、14年、15年および16年に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成17年版の六法をもって講義に臨んで下さい。

成績評価の方法

年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参 考 書 等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』（第6版）（有斐閣）
 奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法 行政法総論	かねこしょうへい 金子昇平	法B2・3・4選必	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に掲示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
 - ①法による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
 - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員
 - ⑤行政情報と法
- 3) 行政手続法
 - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査
 - ⑧行政強制 ⑨行政罰
- 4) 行政手続の法

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』(学陽書房)

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ、Ⅱ』(第四版)(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
裁判法	いほたとしほる 五百田俊治	法B2・3・4選必	4

講義のねらい

裁判手続上の基本原則を講義しつつ、弁護士視点から、裁判(特に民事裁判)の実体について説明します(例えば、証拠としての書証の重要性、判決と和解の違い、最高裁判所の意義等)

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 民事手続の流れ (2) 請求・主張・立証の各段階における基本概念 (3) 口頭弁護の諸原則とその実態 (4) 口頭弁論における当事者の欠席 (5) 貸金返還請求訴訟における当事者の主張・立証 (6) 建物明渡訴訟の実体 (7) 弁論主義と職権探知主義 (8) 証拠の概念 (9) 書証の重要性 (10) 立証責任の分配 (11) 経験則と自由心証主義 (12) 上告審における審理の特色 (13) 刑事手続の流れ (14) 刑事手続における証拠法の特色 (15) 無罪事例の検討

履修上の留意点

できるだけ具体的に裁判の流れや特色を講義したいと考えています。

成績評価の方法

学年末試験の結果のみで判定します。

教科書

特にありません。適宜レジメを配布します。

参考書等

特にありません。適宜レジメを配布します。

その他

講義方式で行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 法	おう し あん 王 志 安	法B2・3・4選必	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版(上)(東信堂)2002年 2,800円

参 考 書 等

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円
市販されている国際条約集

そ の 他

授業はすべてpower pointを使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power pointで使われる簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

科目名	担当者名	配当学科	単位
新 入 生 演 習	高橋 洋城・原田啓一郎 北野かほる・松村 格	16以降入学生/法B1選	2

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、原則として一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していったと欲しいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせ、全体としてこれらの基本的なスキルが身についていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。国民の休日などの関係で、次回授業日がずれることがあります。毎回出席して、次回授業日を確認してください。

成績評価の方法

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書

指定教科書はありません。

参考書等

参考書・課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
債権総論	小野 けんたろう 健太郎	16以降入学生/法B2・3・4選必	4
		15以前入学生/法B2選	

講義のねらい

債権法は、物権法と共に、市民生活のうち財産関係を規律する法で、財貨の移動関係を定めた法です。この債権法は、民法の条文構成からみると、第三編「債権編」がそれに該当し、399条から724条までを対象としています。そして、講学上、債権編第一章総則の部分「債権総論」といい、そこでは、債権の目的、効力、多数当事者の債権関係、債権の譲渡、債権の消滅などが規定されています(399条～520条)。また、債権編第二章以降の部分「債権各論」といい、契約、事務管理、不当利得、不法行為などが規定されており、これらは、債権発生原因と解されています。債権総論は、民法典がパンデクテン方式により規定されているため、抽象度が高く、わかりにくいと言われています。そこで、本講では、講義の中で契約等の例示を多く登場させ、極力具体的な理論を説明するようにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期(1)～(5) 後期(5)～(8))
- (1) 民法の全体像
 - (2) 債権の意義及びその性質
 - (3) 債権の目的
 - (4) 債権の種類 (a 特定債権 b 種類債権 c 金銭債権)
 - (5) 債権の効力 (a 強制履行 b 債務不履行 c 第三者による債権侵害 d 責任財産の保全)
 - (6) 多数当事者の債権関係 (a 連帯債務 b 保証債務)
 - (7) 債権関係の移転 (a 債権譲渡 b 債務の引受)
 - (8) 債権の消滅 (a 弁済 b 供託 c 相殺)

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。六法持参すること。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

『民法(5)債権総論』(有斐閣双書)を使用する。

参考書等

授業のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物権法	いまお まこと 今尾 真	16以降入学生/法B2・3・4選必	4
		15以前入学生/法B2選	

講義のねらい

民法総則講義において、民法全般の仕組みと基本的概念や制度を一通り学習した学生を対象に、債権とともに二大財産権の一つである物権(担保物権を除く)について、人と物の関わり・各物権の特質・各制度の特徴・隣接諸制度等を、より深く、より詳細に理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

物権の意義・性質・効力・物権変動のメカニズムといった物権法総論部分の学習をした上で、各種物権(占有権から用益物権まで)を個別的に細かく学習する。特に、物権取引の安全と公示・公信の要請という理念を反映する物権変動論につき、これらの理念をどこまで貫徹できるかの観点から、各種物権および他の諸制度との関連で検討する。

履修上の留意点

民法総則は、履修済みまたは最低限同時履修の上、本講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

講義の出席回数と前・後期各一回の定期試験の結果を総合判断して評価する。

教科書

宮本健蔵編『マルシェ物権法・担保物権法〔第2版〕』(嵯峨野書院)2004年

参考書等

星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権〔第五版〕』(有斐閣)別冊ジュリスト159号、2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。取立て出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学原論	おおつか 大塚 かつら 桂	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

講義の内容・授業スケジュール

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A 政治学の課題と対象、および方法

B 政治の原理的究明

(1) 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

(2) 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

(3) イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）

C 政治の思想（史）的究明

D 政治の実体論的究明

(1) 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制

(2) 機能論的究明

～政党、圧力団体

成績評価の方法

本年度もまた、受講者との相談のうえ A・B 両方式のうちのいずれかに決定します。

A 方式（レポートによる単位認定）

複数回（前・後期）のレポートを提出してもらい成績を評価します。課題報告（レポート）の作成をとおして、文献の読解力と書く能力を涵養します。

B 方式（試験による単位認定）

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。

※A方式の場合には、追・再試験は実施しません。B方式は、実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	藤原 碩宣 <small>ふじ たら ひろ のり</small>	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

経済学の基本的要件の理解
日本経済の直面する課題
理論と現実の乖離とその説明
といった点を主眼として行います。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、経済学の性格、他分野との関係、成立要件といった基礎と、マクロ経済学国民経済循環、産業連関分析、国民所得概念および国民所得決定論など。
後期では、ミクロ経済学および応用経済学——個別経済主体の行動分析、寡占経済理論、パブルの発生とその崩壊、財政・金融問題など。

履修上の留意点

授業に出席し、ノートをよくとる事が大切です。

成績評価の方法

ペーパーテスト。但し、自発的なレポートやテーマを決めたスクラップ作りなどを試験前に提出すれば、評価に加えます。

教科書

藤原碩宣編著『経済と経済学』（実教出版）
その他は適宜授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政学	田丸 大 <small>た まる だい</small>	法B・法A1・2選	4

講義のねらい

行政学は政治学の中でも比較的新しい分野であるが、私たちの日常生活とも非常に関係の深い学問でもある。例えば、国レベルでは狂牛病騒動に見られる農林水産省の対応や、薬害エイズ・肝炎などに見られる旧厚生省の対応、自治体（地方）レベルでは市町村合併であるとか、原発の是非をめぐる住民投票など、世の中の様々な現象に何らかの形で行政は関わっている。これらの行政現象に流れる行政活動の論理を探ることが、行政学の大きなテーマの1つである。

本講義では、国の省庁や地方の自治体がどのようなメカニズムに基づき活動をしているのか、政策立案や執行さらには評価の過程などにも触れつつ検討することによって、複雑な現代社会の問題点や改革のあり方を正しく理解し、問題の本質を見抜くための基本的知識や思考様式を伝えたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

以下を考えているが、詳細なスケジュールについては、初回の講義において伝えます。
1 官僚制、2 議院内閣制、3 地方自治、4 公務員制度、5 政策過程、6 行政組織における意思決定、7 政策評価、8 行政改革、9 地方分権改革。

履修上の留意点

出席は取らない。レポートは課さない。しかし、授業中に扱ったことがらはずべて試験範囲とし、その中から満遍なく出題するので、出席をしない者が単位を取得することは困難である。

成績評価の方法

1学期末のテストおよび学年末のテスト（ともに持ち込み不可）のみで評価する。テストを欠席した場合でも、レポートの提出は一切認めない。

教科書

森田朗『改訂版 現代の行政』（放送大学教育振興会）2000年 本体2,000円
教科書にアンダーラインを引く、書き込みを行うといった具合に使用するので、必ず用意してほしい。

参考書等

早川・大山・内海・田丸『政策過程論』（学陽書房）価格未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法総則・商行為法	かわぐちゆきみ 川 口 幸 美	法B2選	4

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であると言えるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商取引を中心に扱うものとする。また、商法の対象には消費者取引も含まれるから、消費者保護法と商法の関係についても概観する。

講義の内容・
授業スケジュール

①-⑥は商法総則、⑦-⑨は商取引法、⑩は消費者保護法であり、各テーマを1～2回に分けて講義を行う。

- | | |
|----------|---------------------|
| ①商法の意義 | ②商法の適用（商行為の概念と商人概念） |
| ③商号と営業譲渡 | ④商業登記の効力 |
| ⑤商業使用人 | ⑥商号の保護 |
| ⑦商取引法の意義 | ⑧ファイナンス・リース |
| ⑨フランチャイズ | ⑩消費者取引 |
| ⑪その他 | |

履修上の留意点

教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目を同時履修するか、履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験の成績をもって評価する。また、試験は後期授業期間内（最終授業）に行う予定なので、留意すること。

教 科 書

大塚秀夫・川島いずみ・中東正文共著 有斐閣アルマ「商法総則・商行為法」

参 考 書 等

鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
別冊ジュリスト 商法総則・商行為法判例百選（第4版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 法 各 論	さ とう たみお 佐 藤 多美夫	法B 2 選	4

講義のねらい

刑法各論では、刑法総論で学んだ一般原理・原則をベースにしながら、刑法典第2編各則に規定されている殺人罪、傷害罪、窃盗罪など犯罪の一つひとつについて、その具体的な内容と成立要件や、それらの犯罪の相互関係などを学ぶことにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 生命・身体に対する罪
 - 1 殺人の罪
 - 2 傷害の罪
 - 3 堕胎の罪
 - 4 遺棄の罪
- II 自由に対する罪
 - 1 逮捕・監禁の罪
 - 2 脅迫の罪
 - 3 略取誘拐の罪
 - 4 強制わいせつ・強姦罪
 - 5 住居侵入罪
 - 6 秘密を侵す罪
- III 名誉・信用に対する罪
 - 1 名誉に対する罪
 - 2 信用及び業務に対する罪
- IV 財産に対する罪
 - 1 窃盗罪
 - 2 強盗罪
 - 3 詐欺罪
 - 4 恐喝罪
 - 5 横領罪
 - 6 背任罪
 - 7 盗品等に関する罪
 - 8 毀棄隠匿の罪
- V 公衆の安全に対する罪
 - 1 騒乱の罪
 - 2 放火及び失火の罪
 - 3 溢水・水利に関する罪
 - 4 往來を妨害する罪
 - 5 国民の健康に関する罪
- VI 偽造に関する罪
 - 1 通貨偽造の罪
 - 2 有価証券偽造の罪
 - 3 文書偽造の罪
 - 4 印章偽造の罪
- VII 風俗秩序に対する罪
- VIII 国家法益に対する罪

成績評価の方法

筆記試験とその他の総合評価とする。

教 科 書

開講時に指示する（欠席しないように）。

そ の 他

予習を望む

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 政 策	かく しょう とよ かず 覚 正 豊 和	法B・法A2選	4

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探求していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 回数 授業の内容
- 第1回 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題
刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。
- 第2回 犯罪学の歴史と展開
その起源から近代学説までを学ぶ。
- 第3回 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。
- 第4回 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。
- 第5回 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。
- 第6回 犯罪の原因(1)
身体的・生理的要因について学ぶ。
- 第7回 犯罪の原因(2)
個人環境的要因について学ぶ。
- 第8回 犯罪の原因(3)
社会環境的要因について学ぶ。
- 第9回 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。
- 第10回 死刑
憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。
- 第11回 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。
- 第12回 財産刑
罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。
- 第13回 保安処分
意義、種類、要件などについて学ぶ。
- 第14回 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。
- 第15回 定期試験(予定)
- 第16回 犯罪者の処遇
意義、原則、動向について学ぶ。
- 第17回 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察
微罪処分、ダイヴァーションなどについて学ぶ。
- 第18回 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察
起訴猶予などについて学ぶ。
- 第19回 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。
- 第20回 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。
- 第21回 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。
- 第22回 犯罪の予防
意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。
- 第23回 更生保護
意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度

- 恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策
少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策
薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ
討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点 初回の授業において指示する。

成績評価の方法 定期試験および平常点

教科書 齊藤静敬著『刑事政策』（創成社）

参考書等 授業において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
債 権 各 論	なが さか じゅん 長 坂 純	法B・法A 2選	4

講義のねらい 債権は、物権と異なり、その種類が法律で定められておらず、原則として、当事者間で債権の内容を自由につくることができます。そのため、民法典は、債権全体の体系化をはかる際、債権に共通のルールを定める債権総則のあとに、契約、事務管理、不当利得、不法行為という債券の発生原因を定め、それぞれの発生要件、それぞれの原因によって発生した債権に特有の性質・内容あるいは効果について規定をおきました。本講義では、これら、契約、事務管理、不当利得、不法行為について学んでいきます。

前期では、契約に関する基礎的知識および契約をめぐる全体像を把握してもらい、具体的な契約について順次検討していきます。後期では、さらに契約に関する法的理解を深めるとともに、その他の債権発生原因である事務管理、不当利得、不法行為を学びます。

講義の内容・授業スケジュール (前期) (1・2) 契約の意義と機能、契約自由の原則、契約保護の変容 (3・4) 契約の種類、契約の性質 (5・6) 契約の効力 (7) 契約の解除 (8～10) 財産権譲渡 (売買・供給) 型契約 (11～13) 財産権利用 (貸借) 型契約 (後期) (14～16) 役務提供型契約 (17・18) 事務管理 (19・20) 不当利得 (21～23) 不法行為

履修上の留意点 講義時間のみではなく、予習・復習を含めた時間を確保することを希望します。

成績評価の方法 授業への積極性や学年末試験の結果により行います。なお、問題作成および成績評価にあたっては、授業の出席状況も参考とします。

教科書 藤岡・磯村・浦川・松本『民法Ⅳ債権各論〔第2版補訂〕』（有斐閣）2,500円
ISBN4-641-15900-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	たか 高 橋 洋 城 はし ひろ き	法B・法A2選	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだとすることを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

- 法思想史に関する概説書の例として
- ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 - ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
- 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あおのひろゆき 青野博之	法B3選	4
演 習 II		法B4選	

講義のねらい

民法上の問題を自分で見つけ出し、相手も納得できるような解決を考える。

講義の内容・授業スケジュール

民法上のさまざまな問題の中から、ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出してくる。このテーマがゼミの内容になる。たとえば、授業を聞いていたときに疑問に思ったこと、新聞を読んでいて他の人がどのように思うか聞いてみたくなったことなどであるが、民法上の問題であれば、なんでもよい。

履修上の留意点

ゼミ生が報告したいテーマを自分で探し出し、報告し、全員で質疑応答してほしい。ゼミ生が主役である。主役たちの活発な討論を期待する。ゼミ生の意欲と関心でゼミが進んでいく。そんなゼミになることを希望する。出席して、しっかり発言する、これが大切である。毎回、担当者が作成し、少なくとも1週間前に配布されたレジュメ（要旨）にそって討論する。レジュメは、予習のため必要であるから、必ず準備するように。1回でテーマが終わってもよいし、2回以上続いてもよい。

成績評価の方法

出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

そ の 他

発言しているうちに、聞く方も発言したくなるような、そんな発言をする学生に参加してほしい。そうすると、ゼミ生全員の民法理解も進むであろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おおみやたかし 大宮隆	法B3選	4
演 習 II		法B4選	

講義のねらい

家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点

予習が必要である。

成績評価の方法

年間を通して、総合的に評価する。

教 科 書

泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	かね 子 しょう へい 金 子 昇 平	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組みおよび複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に赴いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書

適宜指示する。

その他

発表者は、レヂュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	きた の 北 野 かほる	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ員全員で選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法

演習Ⅰ（三年次生）はゼミでの報告・発言をもとに平常点評価。演習Ⅱ（四年次生）は上記のほか卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書

提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等

随時適宜紹介する。

その他

十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。
英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	はら だ けいいちろう 原 田 啓一郎	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

本演習では、社会保障法の重要問題について具体的検討を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、医療保障に関する法的問題を中心に検討を行なう。設定されたテーマにそって、受講者にはレジュメを毎回作成してもらい、報告をしてもらう。

履修上の留意点

本演習では、憲法、行政法総論、民法総則、債権総論・各論をすでに履修済みであり、現在、社会保障法を受講している学生であることが前提である。また、毎回の予習が必要である。

成績評価の方法

平常点（出席点も含む）

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

事前連絡のない欠席は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	まつ むら いたる 松 村 格	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

刑法総論の講義で学習したことを基礎にして、具体的な事例をどのように解決すれば、刑法の基本原則に反することなく刑法の使命（法益保護・人権保障・秩序維持）に適うかを考えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半に、刑法総論の基本的事項について総復習します。毎回全員に質問することによって、刑法総論の理解度を確認します。理解度が足りない学生は履修を断ります。前期の後半以降は、各人が最も関心のある問題点ないし争点を選び、それについて研究したことを発表し、各人の質疑応答によって研究を深めていきます。

履修上の留意点

刑法総論の単位を取得していなければ履修することはできません。毎週、基本書・参考書・判例解説書・六法全書・ノートを携帯して出席してください。参加することが不可欠ですから、理由なき欠席は許しません。毎回必ず何らかの意見を（その是非・妥当性は別として）主張することを義務とします。意見表明のない学生には、履修途中でも脱退をしてもらいます。

成績評価の方法

普段の授業における予習・復習の内容、質疑応答回数と内容、研究発表の内容によって評価します。試験はしません。

教 科 書

松村ほか『刑法総論』（ミネルヴァ書房）3,800円
別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ総論【第五版】』（有斐閣）

参 考 書 等

参考書は予定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	こ 河 の 野 ひろ のり 矩	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

民法に関する具体的事例に直面した場合に自分の頭で考え、妥当と思われる結論を創造する習慣を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教材の事例を通して、自分の思考を助けるため、参考文献や判例の研究を行うことはもちろんであるが、演習参加者の活発なる議論を主体として進行する。3年生は主として財産法を学習対象とする。夏と冬に合宿を予定しています。

履修上の留意点

演習参加者は、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回の平常点で成績評価を行いたい。

教科書

プリントを用意する予定。

参考書等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	にし 西 おさむ 修	法B 3選	4
演 習 II		法B 4選	

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけ出す場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1)日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2)憲法第9条をめぐる諸問題、(3)世界の憲法トレンド、(4)人権の現代的意味などを考えています。その他、年2回の合宿を行います。従来例では、レジャーとしてテニス、スキーをとりいれています。また私の落語を聴かされることがあります。

成績評価の方法

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	山田 泰彦	法B 3選	4
演習 II		法B 4選	

講義のねらい

株式会社法の基本的な内容理解を中心に、現代の経済社会において必要不可欠の組織となっている株式会社を法的側面から、研究します。前期に会社法総論を中心に、株式会社の特徴を確実に理解した後、引き続き、株式制度、会社の機関（総会、取締役・取締役会、代表取締役等）を判例を素材に検討する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミであるから、上述の基本的な予定に沿って、小テーマを選び、これを各ゼミ生に順次レポーターになってもらい、その報告をたたき台として、全員で討論します。小テーマは、株式会社法の各種制度・原則から、これらに関連する判例研究を取りまぜつつ、私の方で予め提示し、ゼミ生に割り振ることにします。会社法総論、株式制度、機関総論（総会、取締役・取締役会・代表取締役、監査体制等）、制度の基本となる部分については、私のほうから概説講義もする予定です。

履修上の留意点

会社法の授業を履修しているか、あるいはゼミと併行して会社法の授業を履修することが必要です。

成績評価の方法

成績評価は、レポーターとしてのレジュメ作成内容、報告内容、発言等を総合して行ないます。出席は、必ずとりますので、理由のない欠席、遅刻に対しては、厳しく対応します。

教科書

教材として、『会社法判例百選（第6版）』（有斐閣）1,800円を指定します。この他、必ず、会社法についての概説書は購入しておくこと。

その他

ゼミは、ゼミ生諸君が作り上げていく側面が大きいです。なるべく、全員参加の楽しいゼミにできたらと思います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
担保物権法	長坂 純	法B 3・4選	4

講義のねらい

本講義では、民法第二編物権の担保物権を中心に扱います。債権回収の方法としては、債務者以外の第三者の資力をあてにする人的担保と、債務者または第三者が提供する目的物を担保する物的担保があります。民法典は、物的担保(担保物権)として、留置権、先取特権、質権、抵当権を定めていますが(典型担保)、さらに、実務上、さまざまな非典型担保が形成され、判例および学説によりその効力が認められています。ここでは、担保物権の共通の性質を理解するとともに、それぞれの種類に応じた担保物権の特質・効力について学びます。

前期では、担保物権の意義と種類、担保物権の性質と効力を理解した上で、典型担保を扱います。後期では、典型担保の理解を深めるとともに、非典型担保を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2) 担保物権の意義と種類 (3・4) 担保物権の性質と効力
 (5～7) 留置権 (8～10) 先取特権 (11～13) 質権
 (後期) (14・15) 抵当権の意義・設定・効力 (16・17) 抵当権の実行・処分・消滅
 (18・19) 特殊の抵当権 (20) 仮登記担保 (21) 譲渡担保 (22) 所有権留保
 (23) まとめ

履修上の留意点

講義時間のみではなく、予習・復習を含めた時間を確保することを希望します。

成績評価の方法

授業への積極性や学年末試験の結果により行います。なお、問題作成および成績評価にあたっては、授業の出席状況も参考とします。

教科書

遠藤・川井・原島・広中・水本・山本編『民法(3)担保物権 第4版増補版』(有斐閣) 1,700円 ISBN4-641-11243-6

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 法	たけ なが ち が 竹 中 智 香	法B3・4選	4

講義のねらい

民法典のうち、第四編「親族法」と第五編「相続法」の講義を行います。前期に取り上げる親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、戦前の家督相続が、第二次大戦の敗戦後、庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補補訂版]』（有斐閣）1,600円
有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』（有斐閣）2,200円
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
有価証券法	かわぐちゆきみ 川口幸美	法B3・4選	4

講義のねらい

現代の企業間取引では、手形や小切手等の有価証券が多数用いられている。手形には為替手形と約束手形があり、わが国では為替手形はほとんど用いられていない。したがって本講義では約束手形を中心に振出から裏書、支払いについて説明し、最後に小切手を取り扱うものとする。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第1編為替手形と第2編約束手形から構成されるが、本講義では約束手形を中心に、以下のトピックスをそれぞれ1～2回に分けて解説する。

- | | |
|-----------------|------------|
| ①講義ガイダンスと手形の仕組み | ②手形法のキーワード |
| ③手形行為と意思表示の瑕疵 | ④手形行為独立の原則 |
| ⑤他人による手形行為 | ⑥変造と抹消 |
| ⑦裏書 | ⑧善意取得 |
| ⑨取り立て委任裏書 | ⑩手形抗弁 |
| ⑪支払い | ⑫利得償還背請求権 |
| ⑬白地手形 | ⑭小切手 |

履修上の留意点

授業には必ず六法を持参すること。

成績評価の方法

成績評価は中間試験（50点）と期末試験（50点）で行う。日程については授業内で連絡し、また1ヶ月前には掲示をするので注意すること。

教科書

川村正幸「手形小切手法（第2版）（新法学ライブラリ）」（新世社）

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
登 記 法	たぬまひろし 田 沼 浩	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、両法のより深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー（活用）能力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2) 登記法概論 (3) 不動産登記法総則・商業登記法総則 (4～6) 民法典物権編総則にかかる不動産登記 (7～9) 所有権にかかる不動産登記 (10～13) 民法典相続編にかかる不動産登記
- (後期) (14～18) 担保物権にかかる不動産登記 (19) 商法典第一編総則第三章商業登記 (20～25) 商法典第二編会社（会社法）及び有限会社法にかかる商業登記 (26) まとめ

履修上の留意点

不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを目指し、会社法と関連させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、商法典第二編会社の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者に限らず、広く対象とします。

成績評価の方法

学年末試験の結果と提出物（前期レポート）の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるように配慮します。

教 科 書

法務省民事局編『不動産登記実務 [五訂版]』（法曹会）4,000円
日本法令商業登記研究会編『商業登記の手続』（日本法令）3,143円
『模範六法』（三省堂）5,200円

参 考 書 等

遠藤浩・青山正明編『別冊法学セミナー 基本法コンメンタール [第四版補訂版] 不動産登記法』（日本評論社）3,500円（初学者は基本法コンメンタールを直ちに購入しなくても良い。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 ・ 海 商 法	やま だ やす ひこ 山 田 泰 彦	法B3・4選	4

講義のねらい

私達の生活は、いろいろな危険に満ちています。危険が現実のものになったとき、損害が発生しますが、これにどのように対処して克服すればいいのでしょうか。これは、古くから私達を悩ませてきた問題です。保険は、危険克服のもっとも洗練されたシステムとであり、それゆえ広く社会に定着しているのです。この講義では、保険というシステムを法制度の視点から概観します。他方、四囲を海に囲まれ、資源の乏しいわが国では、海外との取引が大きな比重運を占めています。海外との輸出入の99パーセントは、外航船舶の運送によって支えられており、船舶による運送を行う海上企業の役割は、わが国の経済活動、ひいては国民生活にとって、決定的な重みがあるといえましょう。海商法は、船舶を手段とする海上企業に関する法であり、この講義では、海上企業のあり方とその活動内容を、法的視点から見てみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、保険法を中心にします。1 保険総論（保険とは何か）、2 保険法総論（損害保険と生命保険に共通する制度の概観）、3 損害保険総論（各種損害保険に共通する特有の制度）、4 古典的損害保険（火災保険）、5 現代的損害保険（責任保険と自動車保険）、を見る予定です。後期は、海商法を中心にします。1 海上企業の意義と発展（海商法とは何か）、2 海上企業組織（海上企業とはどのようなものか）、3 海上企業の責任制度、4 海上物品運送契約の意義と種類、5 海上企業の契約責任、を中心に概観します。

履修上の留意点

六法は、必ず持参して講義に臨んでください。なお、言うまでもないことですが、授業中の私語は厳禁します。毎回、出席を取る予定です。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価します。なお、成績評価にあたっては、出席状況も考慮しますが、毎回出席していても、ペーパー試験の結果が悪い場合には、不可となります。

教 科 書

山野・山田編著「現代保険・海商法30講（第6版）」中央経済社を使用します。

参 考 書 等

平出・田村編著「現代法講義保険法・海商法（第2版）」青林書院

そ の 他

授業スケジュールに挙げた項目は、その重要度・内容に応じて、1回から4回の講義回数を予定しています。講義回数としては、保険法が若干多くなるかと思えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 事 訴 訟 法	間 渚 清 史	法B3・4選	4

講義のねらい

この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた学生を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続だけでなく、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民訴手続の全体像と民訴理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 民事紛争の解決制度、(2) 民事訴訟制度の現代的課題、(3) 訴え、(4) 裁判所、(5) 当事者、(6) 第三者による訴訟追行、(7) 本案と訴訟要件、(8) 当事者と裁判所の役割、(9) 口頭弁論の諸原則、(10) 口頭弁論の準備、(11) 証明と証拠、(12) 証明責任、(13) 当事者の行為による訴訟の終了、(14) 終局判決とその効力、(15) 複数請求、(16) 共同訴訟、(17) 訴訟参加、(18) 当事者の変動、(19) 上訴・再審、(20) 簡略な手続

履修上の留意点

問答方式による双方向授業を行います。履修者は相当の覚悟をもち、かつ必ず予習のうえ出席して下さい。

成績評価の方法

日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教 科 書

小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』(悠々社) 2005年予定。
小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』(悠々社) 2001年。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
刑 事 訴 訟 法	まつもと ひでとし 松 本 英 俊	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

我々は日々、事件の大小にかかわらず、多くの事件報道、犯罪報道に接している。社会的に重大な事件であればその報道も大量になされる。しかし、日常的に我々が接する、このような情報は概ね捜査段階という刑事司法手続のごく一部にすぎない。また、公判段階の問題については、その情報量はとりわけ少ないといえよう。

本講義では、まず刑事司法手続の全体像を確認・把握し、報道や捜査段階および公判段階等に見られる問題点を刑事司法の理念をふまえて検討することを目的とする。

講義では、憲法・刑事訴訟法の理念に基づいた解釈から、現状を批判的に検討し、実務上どのような問題があるのかを考え、あるべき司法の姿を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1・2) 刑事手続の概観・基本原理 (3・4) 捜査の全体像・捜査の端緒
- (5・6) 任意捜査と強制捜査 (7・8) 証拠の収集 (9・10) 逮捕・勾留
- (11・12) 被疑者取調べ (13) 被疑者の防御

後期

- (14・15) 公訴・検察官制度 (16・17・18) 訴因を巡る諸問題 (19・20) 公判手続
- (21) 証拠の基本原則 (22) 排除法則 (23) 自白法則 (24・25) 伝聞法則
- (26) 上訴・再審

履修上の留意点

テキストおよび六法を持参すること。日ごろから問題意識を持ち、新聞・テレビ等の犯罪報道にも注意を向けてもらいたい。

成績評価の方法

原則として、定期試験により評価する。適宜、小テストやレポートを課し、その結果も参考とする。

教 科 書

参考書等を授業で紹介します。

参 考 書 等

松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円

そ の 他

授業は講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	法B3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保険法	原田啓一郎	法B3・4選	4

講義のねらい

今日の社会保障制度が本格的に構築されたのは、第二次世界大戦後であったこともあり、社会保障法学が本格的な法学の一研究領域として認知されたのはごく最近である。
 社会保障は、第一義的には国民の生活保障を目的とする制度であり、その重要性は私たちの日常生活において無視し得ないものになっている。本講義では、社会保障法の基礎と個別制度の特質・内容の理解を通して、社会保障の法的理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- I 社会保障とその特質
- II 社会保障法の理論と課題
- III 年金制度——国民年金、厚生年金、企業年金
- IV 社会手当制度
- V 医療保障制度——国民健康保険、健康保険
- VI 労災保険制度
- VII 雇用保険制度
- VIII 社会福祉制度
- IX 公的扶助制度

履修上の留意点

社会保障の法政策論は、同担当者による「社会政策」で詳細に取り扱う。

成績評価の方法

原則、筆記試験の結果によって成績判定を行う。出席はとらない。ただし、出席せずして単位を取得できるほどやさしい評価ではないことに留意されたい。

教科書

教科書は講義開講時に指定する。
 六法は、『社会保障関係法規集』（労働新聞社）を必ず携帯すること。

参考書等

適宜紹介する。

その他

履修にあたっては、憲法、行政法、民法、労働法、社会政策、法哲学などの科目を既修若しくは本科目と平行履修していることが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政救済法	塩入みほも	法B3・4選	4

講義のねらい

行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度（＝行政救済法）について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

内容的には、国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事件訴訟の各法制度について講義していきます。

履修上の留意点

行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましいです。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能です。特に公務員、行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題、論点についてはその都度指摘します。

成績評価の方法

定期試験（年度末一回）及び不定期に確認する出欠の総合判断により評価します。

教科書

特定の教科書は使用しません。

参考書等

初回講義時の際に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	岸 田 貞 夫 <small>きしだ さだお</small>	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

税法の体系を法的な見地から検討し、所得税法等の規定の解釈を中心として、税法の意義、役割、問題点等を研究する。

講義の内容・授業スケジュール

税法の意義、機能、体系、租税法律関係の特色、租税の確定手続き、所得税法における納税義務者、課税所得の意義、所得の種類、収入及び必要経費の範囲等について、順次講義する。

履修上の留意点

予習の上、問題意識をもって授業に参加されたい。

成績評価の方法

前期および後期の試験の結果により評価する。

教 科 書

岸田貞夫著『税法としての所得課税』（税務経理協会）2,900円

参 考 書 等

金子宏著『租税法』（弘文堂）

そ の 他

授業は講義方式で行う。なお、レジュメを配付する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	富 井 幸 雄 <small>とみ いゆきお</small>	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 私 法	かさ ほう とし ひろ 笠 原 俊 宏	法B3・4選	4

講義のねらい

渉外的要素を有する私法問題の解決を目的とするのが国際私法である。それは、狭義において、準拠法の選定を主たる役割とする。その意味において、国際私法は、民法や商法のように私法問題の直接的な判断基準となる法律とは、規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範などと呼ばれることがある。講義においては、国際私法のこのような特質を明らかにしつつ、実質法における理念の変化が国際私法にとっても無縁でないことを実証的に論じたいと考えている。時として難解な科目であるといわれることがあるが、最近の身近な問題を具体例として取り上げるなどして、できる限り分かり易いものとなるよう工夫したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容およびスケジュールについては、ほぼ次のように予定している。

1. 国際私法総論（4月、5月、6月）
2. 国際家族法（6月、7月、9月、10月、11月）
3. 国際財産法（11月、12月）

履修上の留意点

基礎となる他の科目、就中、家族法について、基礎知識を有することが好ましく、民法についても併せて学習することを期待する。

成績評価の方法

学年末の筆記試験によって行なう予定である。

教 科 書

笠原俊宏著『国際家族法要説（新訂補正版）』（高文堂出版社）を使用する。

参 考 書 等

いずれかの六法を常に携帯することを望む。

そ の 他

授業は普段講義によって進行するが、時折、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	あらい としお 荒 井 登 志 夫	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われあるいは行われようとしています。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③具体的な適用事例を挙げて説明して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔前期〕（1～3）前史、全体像・基本的概念（4～5）私的独占（6～10）不当な取引制限等（価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金）（11～14）不公正な取引方法・前半
 〔後期〕（15～17）不公正な取引方法・後半（景品表示法・下請法）（18）寡占問題（独占的狀態・価格の同調的引上げ）（19～20）第四章規定（株式所有・合併・持株会社）（21～24）適用除外・域外適用、公正取引委員会、手続規定・訴訟（25）国際的環境（26）事例研究（27）まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題の作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教 科 書

根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説 [第2版]』（有斐閣）3,800円
 なお、適宜プリントを配付し、理解の促進と新たな情報提供に役立つよう努めます。（六法全書をできる限り持参してください。）

科目名	担当者名	配当学科	単位
知的財産権法	もり おか かず 盛岡 一夫	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

知的財産権法には、狭義の工業所有権法（特許法・実用新案法・意匠法・商標法）の他に著作権法等が含まれる。知的財産権法は、知的所有権法または無体財産権法といわれることもある。

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるように、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：4月・5月・6月特許法・実用新案法、7月意匠法
後期：9月・10月商標法、11月著作権法、12月不正競争防止法

成績評価の方法

前期・後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説』（法学書院）

参考書等

特許庁編『工業所有権法逐条解説』（発明協会）、中山信弘『工業所有権法上』（弘文堂）
鴻・紋谷・中山編『特許判例百選』（有斐閣）、齊藤・半田『著作権判例百選』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
民事執行・保全法	はし もと 橋本 聡	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

この講義は、権利を迅速に実現するための仕組みを定めた民事執行法と、そのような権利の実現を保全するための仕組みを定めた民事保全法とを対象にします。講義では、これらの法律が権利実現とその保全のためにどのような仕組みを用意しているのか、そして、その仕組みがどのような基本原則に基づいて動かされているのか、また、その仕組みにおいて債権者・債務者・第三者の諸利益がどのように調整されることになっているのか、という点について理解することを主たる目的にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第一回目の講義の際にシラバスを配布する予定です。

履修上の留意点

民事訴訟法および民法（特に担保物権）を既に履修しているか、または併行して履修していることが望ましい。

成績評価の方法

年度末の定期試験（70%）および夏期休暇中レポート（30%）によって評価を行います。尚、レポートの返却および評価の公表は予定していません。

教科書

上原敏夫・長谷部由起子・山本和彦著『民事執行・保全法 有斐閣アルマ Specialized』

参考書等

適宜、指示をする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	木川裕一郎 <small>まがわ ゆういちろう</small>	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債権債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上にも不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となる。

成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

教科書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤真『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

参考書等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo.163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務Q&A』別冊NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一問一答 新しい破産法』（商事法務）。

その他

授業は講義形式で実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	速水昇	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成15年度末で国債の発行残高が約450兆円、地方公共団体の赤字が約199兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約686兆円になる。この数字は15年度わが国のGDP見込みの137.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇著 要説『財政学』第三版（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	三船恵美	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。

国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念（国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争）について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ極支配体制の世界政治の意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。

後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念（ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論）を講義します。

成績評価の方法

学期末試験(50%+50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』（南窓社）2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 政 策	飯 田 泰 之 <small>いいだ やすゆき</small>	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。

複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。

講義全体に必要な基本ツールの学習後

- (1) 理論的な枠組みを解説し
 - (2) それを用いて政策的課題を論じ
 - (3) 現実の事例・データで確認する
- というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

0. 経済学の基本思考
1. データを用いた議論
2. 需給均衡分析
3. 市場の失敗
4. 情報の経済学
5. 価格硬直性
6. 法と経済学（時間に余裕があれば）
7. GDP 統計
8. マクロ経済学の基礎知識
9. 金融市場と金融政策
10. 国際収支統計
11. 日本経済の現状
12. デフレ危機とその対策
13. 昭和恐慌とリフレション（時間に余裕があれば）
14. おわりに

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教 科 書

飯田泰之『経済学思考の技術』（2003年 ダイアモンド社）

参 考 書 等

その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習 I	なかのたつひさ 中野辰久	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

本演習は、旧応用憲法演習が改組された経過を踏まえ、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とし、あわせて種々の国家試験や法科大学院への進学も念頭に置いていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

憲法の中でも基本的人権論を中心に取り上げ、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。基本的には近年問題となった実際の事件・判決を題材にしていきたいと思ひます。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです（括弧内は昨年度取り上げた事例です）。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
- 3 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
表現の自由・検閲の禁止・事前抑制の原則的禁止の法理
（週刊文春事件）
表現の自由・明確性の基準
（青少年保護育成条例事件）
信教の自由・政教分離原則
（内閣総理大臣靖国神社公式参拝訴訟）
- 4 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
職業選択の自由・営業の自由
- 5 社会権を巡る問題
生存権（生活保護費貯蓄容認判決）
教育を受ける権利・特別権力関係論・部分社会の法理
- 6 法の下での平等（議員定数不均衡事件判決）
- 7 その他

履修上の留意点

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席が必須と考えます。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思ひます。

成績評価の方法

演習（ゼミ）形式を想定しておりますので、出席とレポートで評価する予定です。

教科書

芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第三版』（岩波書店）
芦部信喜・高橋和之・長谷部恭男編『別冊ジュリスト 憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ（第四版）』（有斐閣）

参考書等

演習の都度、レジメを配布する予定です。

その他

弁護士の業務内容その他の法律実務の話等も適宜行ってきたいと思ひます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅱ	鶴井 俊吉・上野 雅祥 小林 寛・濱中 善彦	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

本演習は、民法の領域を中心に演習を行っていきます。その特徴は、①法科大学院への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、双方向授業を行うこと。②法曹になるための前提として、大学院試験等を念頭に入れ、単なる知識をつめこむという演習ではなく、柔軟な物の考え方のできる頭の訓練をすること、の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

演習内容は、三名の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律構成して妥当な結論に導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのために、積極的に討論に参加できるように希望する。

検討するテーマは、受講者決定後にプリントを配布する予定です。

履修上の留意点

本演習の性質上、民法総則・物権・債権等を履修している学生を対象とする。なお、受講者が多数の場合は、最初の演習の時間に選択を行う予定です。全員が成績証明書を持参して下さい。

成績評価の方法

出席状況と平常点で総合評価する。

参考書等

演習の都度、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実務演習Ⅲ	木村 美隆	法B・法A3・4選	4

講義のねらい

実定法上のひとつである刑法は、現実の社会への適用を前提に存在している。そうであれば、その適用の現実を知ることが、刑法の学習上不可欠でもあることは言うまでもないし、ひいては大学での学習と実社会との接点を知ることにもなる。またこれを検討することによって、これまで学んできた知識の正確さが問われるとともに、さらには新たな興味が喚起されることともなっており、より高いレベルへの学習の契機となるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

このような視点から、基礎刑法演習等で充分時間をとって紹介することのできなかった刑法の重要判例を、総論、各論の分野にとらわれずとりあげ、これを素材に社会に生起する現実の事件に対する刑法の適用の姿を知ることとしたい。

履修上の留意点

この講義を有意義なものとするためには、受講者は、単に判例を知識として集積しようというだけでなく、常にこれを批判的に検討しようとする姿勢が大切である。

成績評価の方法

講義で取り上げた判例のうち、任意のものをテーマにレポートを提出してもらい、成績を評価することとしたい。

参考書等

教科書、参考書としては、開講の際、受講者が入手しやすい学生向けの判例集を紹介するが、できれば、各判例の原典に当たってみることをお勧めしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	鈴木勝浩	法B3・4選	4

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続きに従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

新井清光『入門簿記』中央経済社

参考書等

『要点整理 日商簿記検定練習問題集3級』（一橋出版）

その他

講義の際には、電卓を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営学総論	いわ なみ ふみ たか 岩 波 文 孝	法B3・4選	4

講義のねらい

21世紀の企業経営は、グローバル化とIT革新の進展という急激な経営環境の変化や企業の社会的責任(CSR)に対応することが求められています。長期的な不況など実感を持って企業経営のあり方を学ぶ機会でもあるといえます。

経済学部には、現代企業の経営に関連する科目が多く開講されています。とくに経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、企業統治論、財務管理論、マーケティングなどは現代企業の構造と機能、あるいは企業経営に関連する諸問題の系統的・体系的理解に不可欠な科目です。経営学総論では経済学部において経営学関連科目を学ぶことの意義について講義します。また、はじめて経営学を学ぶ学生に向けて、企業経営の仕組みについて身近な例を取り上げながら授業を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業の概要・ガイダンス
2. 株式会社論 (企業形態論)
3. コーポレート・ガバナンス
4. 中小企業論 (ベンチャー論)
5. 協同組合論
6. 非営利組織論 (NPO 論)
7. 経営思想の発展
8. 経営戦略論
9. リーダーシップ論
10. 生産管理論
11. 人的資源管理論
12. 日本的経営論
13. 小集団活動
14. 情報化と企業経営
15. 国際化と企業経営
16. 環境経営
17. 企業倫理・CSR
18. 企業経営をめぐる諸課題

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末試験により総合的に評価します。

教科書

百田義治編著『経営学基礎』(中央経済社) 2005年

参考書等

仲田正機・夏目啓二編著『企業経営変革の世紀』(同文館) 2002年

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学総論	おぐり たかし 小栗 崇資	法B3・4選	4

講義のねらい

「会計学総論」は会計学入門のための講義です。会計学の基礎知識を身につけることをめざして、興味深いケースステディもまじえてわかりやすく講義します。財務会計を中心に進め、会計の高度な学習に向けた基本的能力や経営分析能力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマに沿って講義を進めます。

1. 会計とは何か
2. 簿記・会計の仕組み
3. 会計理論と会計制度
4. 財務諸表の仕組み
5. 貸借対照表の内容
6. 損益計算書の内容
7. キャッシュフロー計算書の内容
8. 連結財務諸表の内容
9. 会計監査の基礎
10. 経営分析の基礎

履修上の留意点

会計学は専門知識や技術を1つ1つ理解し身につけていく学習方法が重要です。教科書中心に進めますが、副教材としてプリントも配布して使います。必ず出席してください。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また時々、小テストやレポートも課して、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意してください。

教科書

永野則雄『ケースブック会計学入門（第2版）』（新世社）1,650円

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.447)

※他学部履修科目は、3年次生以上を対象とします。

Ⅲ. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	639
社会思想史	〈休講〉		
国際経済論	〈徳永俊明〉	640
商業政策	〈休講〉		
アジア経済論	〈休講〉		
銀行論	〈休講〉		
マーケティング	〈江上哲〉	641
中小企業論	〈吉田敬一〉	642
人口論	〈森岡仁〉	643
労務管理論	〈堀龍二〉	644
法思想史	〈高橋洋城〉	645
倒産処理法	〈木川裕一郎〉	646
アメリカ経営学	〈休講〉		
経営財務論	〈高田光明〉	647
経営組織論	〈休講〉		
公益企業論	〈菅谷実〉	648
管理会計論	〈猿山義広〉	649
会計監査論	〈阿部一人〉	650
日本経済論	〈羽鳥茂〉	651

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぐき かつ お 大 吹 勝 男	法A・政治・法B	4

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということです。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試は実施する。

教 科 書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）4月刊行予定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	とくながとしあき 徳 永 俊 明	法 A ・ 法 B	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈上台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱として重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすのです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は、読書ノート(2~3回)および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません。)

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	えがみ さとし 江上 哲	法A・政治・法B	4

講義のねらい

前期ではマーケティングの基礎というべき4Pを中心に講義します。後期においては、①マーケティング管理 ②マーケティングと経営組織 ③マーケティングとブランドを講義します。本講義の目的は、マーケティングの諸活動を通じて社会を見る眼を培うことです。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 第1回目 寡占経済とマーケティングの生成
- 第2回目 マーケティング論研究の発展
- 第3回目 フォーダイズムとマネージャリアルマーケティング
- 第4回目 製品戦略—製品差別化論
- 第5回目 製品戦略—市場細分化論
- 第6回目 価格戦略—非価格競争論
- 第7回目 価格戦略—管理価格論
- 第8回目 流通経路戦略—商業排除論
- 第9回目 流通経路戦略—流通系列化論
- 第10回目 販売促進戦略—広告と情報
- 第11回目 販売促進戦略—人的販売と営業
- 第12回目 前期まとめ

後期

- 第1回目 市場創造とマーケティング
- 第2回目 マーケティング組織論
- 第3回目 マーケティング活動と経営組織
- 第4回目 製品ポートフォリオ論
- 第5回目 消費者行動論
- 第6回目 ブランドマーケティング①
- 第7回目 ブランドマーケティング②
- 第8回目 日本型消費者のマーケティング
- 第9回目 ウェブマーケティング①
- 第10回目 ウェブマーケティング②
- 第11回目 マーケティングと消費者問題
- 第12回目 後期まとめ

成績評価の方法

レポートを前期と後期に1回課します。基本的には定期試験を評価の対象の主たるものとします。

教科書

講義がはじまって指定します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	法A・政治・法B	4

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・
授業スケジュール

〈前期の講義概要〉

- I 中小企業の基礎理論、
 - I-1 独占段階固有の中小企業問題、
 - I-2 中小企業の法的規定、
 - I-3 中小企業の経営類型、
 - I-4 中小企業の企業形態、
 - I-5 日本型下請構造の特質、
- II 日本型下請システムの形成過程、
 - II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
 - II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
 - II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、

〈後期の講義概要〉

- II-4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟
- II-5 グローバル化と下請構造の大転換
- III 戦後日本の中小企業政策、
 - III-1 復興期の中小企業政策、
 - III-2 高度成長と中小企業近代化政策、
 - III-3 中小企業政策の大転換、
- IV 中小企業の経営問題、
 - IV-1 不公正取引と下請問題、
 - IV-2 中小企業の金融問題

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教 科 書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口論	もり 森 岡 仁	法A・政治・法B	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 龍二	法A・政治・法B	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
 2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
 3. 採用・配置慣行と人事制度
 4. 職能資格制度と人事考課
 5. 賃金制度とその成果主義化
 6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
 7. 労働時間の現状と弾力化
 8. チーム作業方式の特徴
 9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
 10. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	たがはしひろき 高橋洋城	政治	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを実感する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・履修スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んで講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

- 法思想史に関する概説書の例として
- ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 - ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣 S シリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	木 川 裕 一 郎 <small>きがわ ゆういちろう</small>	政治	4

講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債権債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上にも不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体法的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となろう。

成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

教 科 書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤眞『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

参 考 書 等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo.163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務Q&A』別冊NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一问一答 新しい破産法』（商事法務）。

そ の 他

授業は講義形式で実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たかだみつあき 高田光明	法A・政治・法B	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつて意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	菅 谷 実 <small>すが や みのる</small>	法A・政治・法B	4

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)
〈企業各論〉
6. エネルギー・水道 (3)
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)
〈規制課題〉
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPOの役割 (1)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教 科 書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年3月刊行予定

参 考 書 等

講義の必要に応じて紹介する。

そ の 他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	法A・政治・法B	4

講義のねらい

この講義の目的は現代における管理会計の考え方と計算問題の解き方を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学分野の演習を受講する学生はかならず履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学分野の演習を受講する学生もできるだけ履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算
- 第3回 利益計画の意義と体系
- 第4回 短期利益計画における CVP 分析 I
- 第5回 短期利益計画における CVP 分析 II
- 第6回 原価予測
- 第7回 最適セールス・ミックスの決定
- 第8回 経済的発注量 (EOQ) の決定
- 第9回 標準原価計算による原価管理
- 第10回 活動基準原価計算 (ABC)
- 第11回 予算管理
- 第12回 マーケティング管理会計
- 第13回 事業部制の管理会計
- 第14回 原価企画
- 第15回 インテグレートド・コストマネジメント
- 第16回 バランスド・スコアカード (BSC)
- 第17回 業務的意思決定 I
- 第18回 業務的意思決定 II
- 第19回 キャッシュ・フローの計算
- 第20回 設備投資の意思決定 I
- 第21回 設備投資の意思決定 II
- 第22回 資本コストの測定
- 第23回 不確実性下の意思決定
- 第24回 無形資産の管理会計

履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算および公認会計士第二次試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっている。学習上の効果を高めるためにも、まだ「原価計算論」を履修していない者は、できるだけ併せて履修してほしい。

成績評価の方法

全部で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

教科書

テキストは開講時に指示する。
例題および練習問題は授業中に配布する。

参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。なお、この科目は再試験を実施しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	法A・政治・法B	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1) | 10. 監査人 |
| (1) 監査の必要 (2) 監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| (3) 監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的 (2) | 13. 内部統制 |
| (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷 | 14. 試算 |
| (3) 監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調書 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| (3) その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準 (1) | (1) 監査概念の拡大化 |
| (1) 必要性 (2) 生成と展開 | (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準 (2) | |
| (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準 | |
| (4) 実施基準 (5) 報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山本忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	は 羽 ^{とり} 鳥 ^{しげる} 茂	法A・政治・法B	4

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年
3,200円

参 考 書 等

講義の進み具合に応じて適時紹介します。

そ の 他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。
この科目は再試験を実施しません。

